

臨床工学技士の業務実態報告 2024

調査・統計委員会

『臨床工学技士の業務実態報告 2024』を 2024 年 10 月 1 日から 11 月 18 日の期間で実施しましたので結果を報告いたします。
お忙しい業務の中、貴重なお時間を割いていただき、ご協力賜りましたことをお礼申し上げます。
さて、本報告は、貴重な経験と知識を基に、臨床工学の領域における課題やニーズ、そして将来の展望について報告いただくものです。
皆様の声を通じて、より良い未来のための一翼を担うことができます。
今年度の報告は、個人報告の回収率 52% という高い結果を得ました。当会への協力の高さや報告結果に偏りが少なく信憑性の高い資料ともなりえることから、重ね重ねお礼申し上げます。
なお、今回の報告結果は（公社）日本臨床工学技士会の活動の貴重な資料として活用させていただき、事務局にて適正に保管いたします。

1. 本報告の目的
業務実態報告は、公益社団法人日本臨床工学技士会定款第 2 章目的及び事業に基づき、労務に関する報告を行い、実態を把握すること。
国民の臨床工学技士に対するニーズを業務の実施状況から把握する。
臨床工学技士の業務を量的、質的に明らかにして事業運営の基礎資料とする。
業務の拡大、診療報酬の評価、待遇の改善などの臨床工学技士業務に関する課題の抽出と解決のための基礎資料とする。
2. 報告の範囲及び対象
日本臨床工学技士会 正会員
3. 報告対象者
正会員数 25,519 名（2024 年 10 月 2 日時点）
4. 報告事項
1) 「個人報告」正会員全員が回答
2) 「施設基本報告」施設代表者が回答
3) 「施設基本報告」に加え（アドオン）血液浄化編、腹膜透析編、呼吸治療編、在宅呼吸編、集中治療・救急編、内視鏡編、手術室編、心臓・血管カテーテル編、不整脈アブレーション編、心臓不整脈デバイス編、医療安全編、高気圧治療編、ハイパーサーミア編を実施した。
5. 報告の時期
2024 年 10 月 1 日から 2024 年 11 月 18 日に行った。
6. 報告方法
日本臨床工学技士会 会員情報システム「e-ブリバド」内のアンケートを使用してオンラインにより回収する方法を使用した。
7. 有効回答数、有効回収率、重複回答数

項目	有効回答数	回収率	
1.個人報告	13,240	52	
項目	回答数	重複削除後	重複数
2. 施設報告	2,080	2,003	77
3. 施設報告 血液浄化アドオン	1,618	1,573	45
4. 施設報告 腹膜透析アドオン	592	581	11
5. 施設報告 呼吸治療アドオン	1,019	1,002	17
6. 施設報告 在宅呼吸アドオン	548	545	3
7. 施設報告 集中治療・救急アドオン	520	514	6
8. 施設報告 内視鏡アドオン	682	676	6
9. 施設報告 手術室アドオン	898	887	11
10. 施設報告 心臓・血管カテーテルアドオン	698	686	12
11. 施設報告 不整脈アブレーションアドオン	475	466	9
12. 施設報告 心臓不整脈デバイスアドオン	612	605	7
13. 施設報告 医療安全アドオン	1,090	1,076	14
14. 施設報告 高気圧治療アドオン	230	226	4
15. 施設報告 ハイパーサーミアアドオン	164	162	2

※重複回答数：施設報告、アドオン報告で同一施設名の回答を重複回答とした。なお、回答は役職上位者を採用し、不明な場合は回答日時順で最新の回答を採用した。

8. 結果の表記
1) 選択、単一回答は回答数を n (%) で表し、複数回答では回答者数を n (%) で表記した。
2) 量的変数は、階級 n (%) を表記した。
3) その他は、代表的な内訳 n を表記した。
9. 今後の課題
1) 報告に関する問い合わせについて
業務実態報告期間中の事務局への問い合わせは、メール対応件数は 1,376 件であり電話対応を含めると 1,400 件を超えた。ログイン方法、ID・パスワードが不明などの対処方法を事前に周知したが過去最高の問い合わせ数となった。事務局の皆様には多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。
2) 施設報告の重複について
施設報告およびアドオン報告について、施設名の重複は 0.5 ～ 3.7% 発生した。施設 1 回答に制限できる仕組みを引き続き検討する。
10. 調査・統計委員会
石井 宣大 東京慈恵会医科大学附属柏病院
今田 寛人 広島大学
勝又 稔 魚沼基幹病院
岸上 香織 医療法人 厚生会 福井厚生病院
久行 菜帆 中央内科クリニック
布江田 友理 森ノ宮医療大学
三春 摩弥 山形大学医学部附属病院
森下 世紀 福岡徳洲会病院
担当理事
五十嵐 茂幸 福井県済生会病院

臨床工学技士の業務実態報告 2024

報告期間：2024 年 10 月 1 日～11 月 18 日
正会員数：25,519 名
回答数：13,240 件
回収率：52%
調査・統計委員会

1. 業務実態報告 2024 個人報告

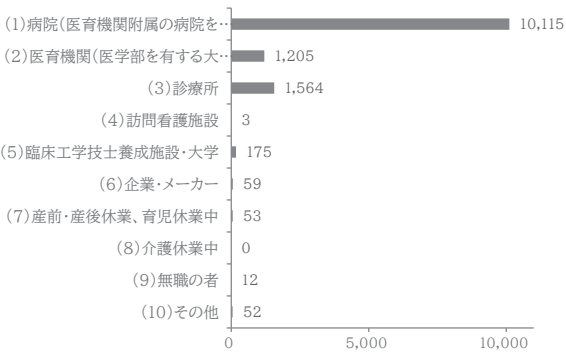
問 1 勤務先について選択してください。(単一回答)
目的：臨床工学技士の就業状況の把握
定義：勤務先の機関, 勤務状況を選択してください。
対象：2024 年 10 月 1 日時点
有効回答数：13,238

項目	n	割合
(1)病院(医育機関附属の病院を除く)	10,115	76.4%
(2)医育機関(医学部を有する大学またはその附属機関)	1,205	9.1%
(3)診療所	1,564	11.8%
(4)訪問看護施設	3	0.0%
(5)臨床工学技士養成施設・大学	175	1.3%
(6)企業・メーカー	59	0.4%
(7)産前・産後休業, 育児休業中	53	0.4%
(8)介護休業中	0	0%
(9)無職の者	12	0.1%
(10)その他	52	0.4%

その他 透析クリニック:7, クリニック:6, 記載なし:16

解説：病院で働く臨床工学技士が最も多く、次いで、診療所で働く臨床工学技士が多い。

問1 勤務先について選択してください。n=13,238



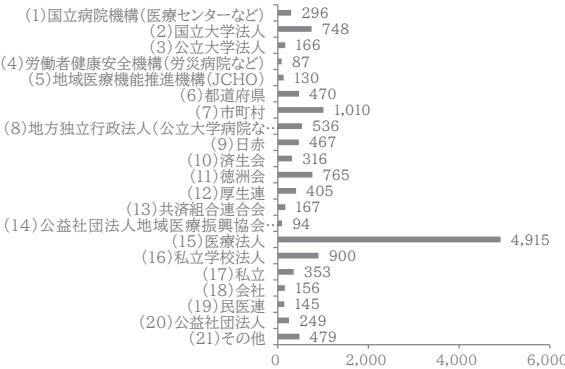
問 2 勤務施設の設置主体を選択してください。(単一回答)
目的：設置主体別の分析調査
定義：所属母体名を選択してください。
対象：2024 年 10 月 1 日時点
有効回答数：12,854

項目	n	割合
(1)国立病院機構(医療センターなど)	296	2.3%
(2)国立大学法人	748	5.8%
(3)公立大学法人	166	1.3%
(4)労働者健康安全機構(労災病院など)	87	0.7%
(5)地域医療機能推進機構(JCHO)	130	1.0%
(6)都道府県	470	3.7%
(7)市町村	1,010	7.9%
(8)地方独立行政法人(公立大学病院など)	536	4.2%
(9)日赤	467	3.6%
(10)済生会	316	2.5%
(11)徳洲会	765	6.0%
(12)厚生連	405	3.2%
(13)共済組合連合会	167	1.3%
(14)公益社団法人地域医療振興協会(国民健康保険組合など)	94	0.7%
(15)医療法人	4,915	38.2%
(16)私立学校法人	900	7.0%
(17)私立	353	2.7%
(18)会社	156	1.2%
(19)民医連	145	1.1%
(20)公益社団法人	249	1.9%
(21)その他	479	3.7%

その他 社会福祉法人:61, 社会医療法人:36, 公益社団法人:66, 一般財団法人:52, 財団法人:5, 国立研究開発法人:4, 社会福祉法人聖隷福祉事業団:4, 防衛省:5, 宗教法人:3, 個人のクリニック:3, 個人事業:3.

解説：勤務施設の設置主体は、医療法人 38% が最も多く、次いで市町村 8%、私立学校法人 7% であった。

問2 勤務施設の設置主体を選択してください。n=12,854



問3 勤務施設の区分を選択してください。(単一回答)

目的：病院、クリニック勤務の状況確認。

定義：病院、無床・有床診療所を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

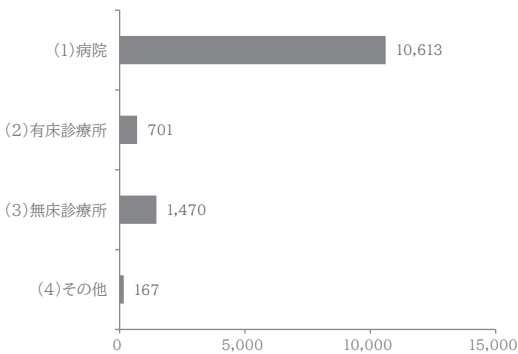
有効回答数：12,951

項目	n	割合
(1)病院	10,613	81.9%
(2)有床診療所	701	5.4%
(3)無床診療所	1,470	11.4%
(4)その他	167	1.3%

その他 養成校:7, 大学:7, 教育機関:7, 企業:5, 会社:4, 医療機器メーカー:3, 臨床工学技士養成校:2, 養成大学:2, 透析クリニック:2, 学校:2.

解説：勤務施設の区分では、病院が最も多かった。

問3 勤務施設の区分を選択してください。n=12,951



問4 許可一般病床数を選択してください。(単一回答)

目的：一般病床数別のCEの分布や解析に使用する。

定義：許可一般病床数を選択してください。※無床診療所は0になります。

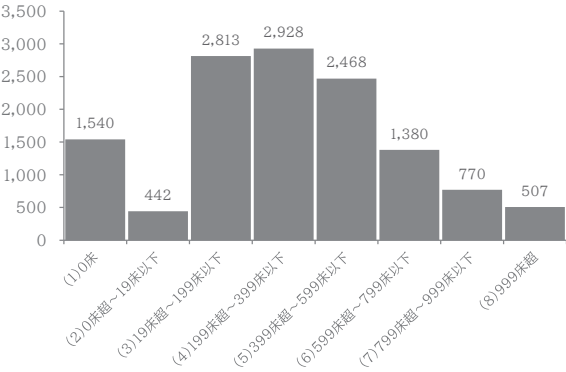
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：12,848

項目	n	割合
(1)0床	1,540	12.0%
(2)0床超～19床以下	442	3.4%
(3)19床超～199床以下	2,813	21.9%
(4)199床超～399床以下	2,928	22.8%
(5)399床超～599床以下	2,468	19.2%
(6)599床超～799床以下	1,380	10.7%
(7)799床超～999床以下	770	6.0%
(8)999床超	507	3.9%

解説：臨床工学技士の約44%は、19床超～399床以下の病院で就業している。

問4 許可一般病床数を選択してください。n=12,848



問5 許可療養病床数を選択してください。(単一回答)

目的：療養病床数別のCEの分布や解析に使用する。

定義：許可療養病床数を選択してください。※無床診療所は0になります。

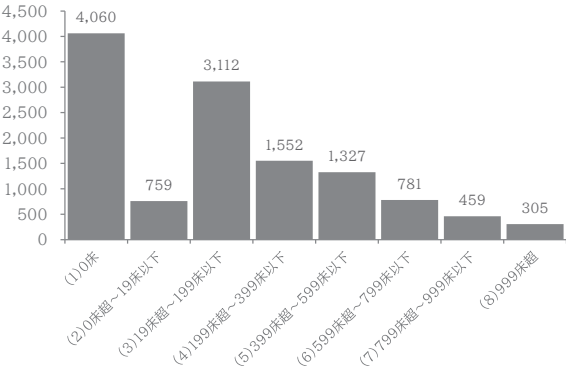
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：12,355

項目	n	割合
(1)0床	4,060	32.9%
(2)0床超～19床以下	759	6.1%
(3)19床超～199床以下	3,112	25.2%
(4)199床超～399床以下	1,552	12.6%
(5)399床超～599床以下	1,327	10.7%
(6)599床超～799床以下	781	6.3%
(7)799床超～999床以下	459	3.7%
(8)999床超	305	2.5%

解説：臨床工学技士が勤務する医療施設のうち許可療養病床数0床が33%と最も多かった。

問5 許可療養病床数を選択してください。n=12,355



問6 あなたが専従で従事している業務を教えてください。（単一回答）

目的：臨床工学技士従事業務の調査

定義：あなたが専従で従事する臨床工学技士業務を選択してください。 ※専従：担当者となっており、その他の業務は緊急時以外は行わないものとする。内視鏡関連業務とは、内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）で内視鏡等を使用する業務とする。手術領域（周術期、清潔操作、内視鏡外科手術、麻酔支援を含む）での業務とする。専従100%，専任50%以上，兼任50%未満とする。

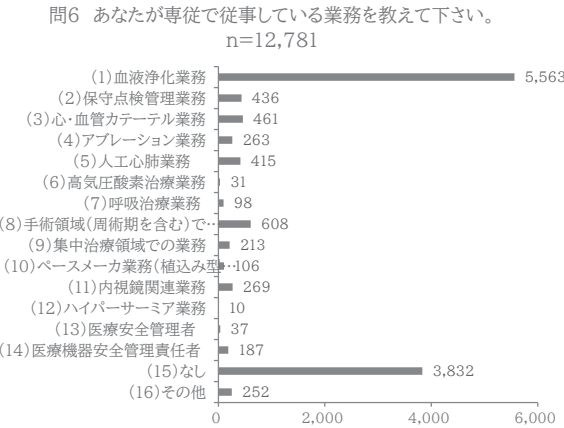
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：12,781

項目	n	割合
(1)血液浄化業務	5,563	43.5%
(2)保守点検管理業務	436	3.4%
(3)心・血管カテーテル業務	461	3.6%
(4)アブレーション業務	263	2.1%
(5)人工心肺業務	415	3.2%
(6)高気圧酸素治療業務	31	0.2%
(7)呼吸治療業務	98	0.8%
(8)手術領域(周術期を含む)での業務	608	4.8%
(9)集中治療領域での業務	213	1.7%
(10)ペースメーカ業務(植込み型除細動器等含む)	106	0.8%
(11)内視鏡関連業務	269	2.1%
(12)ハイパーサーミア業務	10	0.1%
(13)医療安全管理者	37	0.3%
(14)医療機器安全管理責任者	187	1.5%
(15)なし	3,832	30.0%
(16)その他	252	2.0%

その他 管理職:12, 管理業務:8, ローテーション:16, 事務:6, 専従ではない:9, 事務:13, 中央材料室:2, 兼任業務:2, 管理者:2, 医療機器開発:2

解説：専従業務では血液浄化業務が 44%と最も多かった。



問7 あなたが専任で従事している業務を教えてください。（単一回答）

目的：臨床工学技士従事業務の調査

定義：あなたが専任で従事する臨床工学技士業務を選択してください。 ※専任：担当者となっており、その他の診療を兼任しても差し支えないものとする。ただし、その就業の少なくとも5割以上，当該業務に従事している必要があるものとする。内視鏡関連業務とは、内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）で内視鏡等を使用する業務とする。手術領域（周術期、清潔操作、内視鏡外科手術、麻酔支援を含む）での業務とする。専従100%，専任50%以上，兼任50%未満とする。

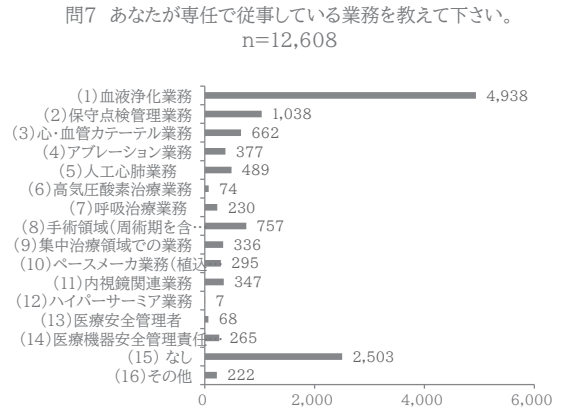
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：12,608

項目	n	割合
(1)血液浄化業務	4,938	39.2%
(2)保守点検管理業務	1,038	8.2%
(3)心・血管カテーテル業務	662	5.3%
(4)アブレーション業務	377	3.0%
(5)人工心肺業務	489	3.9%
(6)高気圧酸素治療業務	74	0.6%
(7)呼吸治療業務	230	1.8%
(8)手術領域(周術期を含む)での業務	757	6.0%
(9)集中治療領域での業務	336	2.7%
(10)ペースメーカ業務(植込み型除細動器等含む)	295	2.3%
(11)内視鏡関連業務	347	2.8%
(12)ハイパーサーミア業務	7	0.1%
(13)医療安全管理者	68	0.5%
(14)医療機器安全管理責任者	265	2.1%
(15)なし	2,503	19.9%
(16)その他	222	1.8%

その他 事務:9, 教育:14, 眼科業務:3, 管理業務:28, ローテーション:8, 医療ガス管理:2, 医療機器開発:3, 在宅業務:3, 中材業務:2, 養成校:3, 滅菌業務:2, 補助人工心臓業務:3, 術中神経モニタリング:2

解説：専任業務では血液浄化業務が 39%と最も多かった。



問8 あなたが兼任で従事している業務を教えてください。（複数回答）

目的：臨床工学技士従事業務の調査

定義：あなたが兼任で従事する臨床工学技士業務を選択してください。※担当者ではなく、他に5割以上主担当の業務に従事している。内視鏡関連業務とは、内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）で内視鏡等を使用する業務とする。手術領域（周術期、清潔操作、内視鏡外科手術、麻酔支援を含む）での業務とする。専従100％、専任50％以上、兼任50％未満とする。

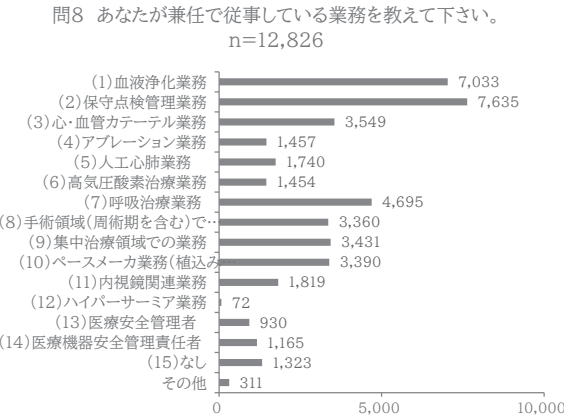
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：12,826

項目	n	割合
(1)血液浄化業務	7,033	54.8%
(2)保守点検管理業務	7,635	59.5%
(3)心・血管カテーテル業務	3,549	27.7%
(4)アブレーション業務	1,457	11.4%
(5)人工心肺業務	1,740	13.6%
(6)高気圧酸素治療業務	1,454	11.3%
(7)呼吸治療業務	4,695	36.6%
(8)手術領域(周術期を含む)での業務	3,360	26.2%
(9)集中治療領域での業務	3,431	26.8%
(10)ペースメーカ業務(植込み型除細動器等含む)	3,390	26.4%
(11)内視鏡関連業務	1,819	14.2%
(12)ハイパーサーミア業務	72	0.6%
(13)医療安全管理者	930	7.3%
(14)医療機器安全管理責任者	1,165	9.1%
(15)なし	1,323	10.3%
その他	311	2.4%

その他、SAS業務:7、シャント関連:9、VAD:10、医療ガス管理:10、管理業務:26、医療安全:18、医療情報システム:14、教育:13、在宅関連:14、中央材料業務:8

解説：兼任業務では血液浄化業務・保守点検管理業務が多く、昨年と同様の結果であった。



問9 最終学歴を選択してください。（単一回答）

目的：学歴の分布の調査

定義：最終学歴を選択してください。

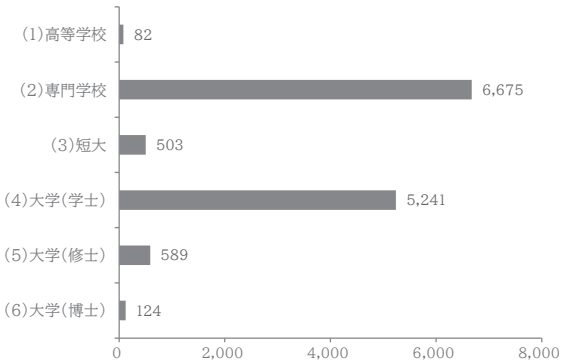
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：13,214

項目	n	割合
(1)高等学校	82	0.6%
(2)専門学校	6,675	50.5%
(3)短大	503	3.8%
(4)大学(学士)	5,241	39.7%
(5)大学(修士)	589	4.5%
(6)大学(博士)	124	0.9%

解説：最終学歴は専門学校が多いが、大学（学士）が増加している。

問9 最終学歴を選択してください。n=13,214



問10 現在の役職として、近いものを選択して下さい。（単一回答）

目的：役職従事割合の調査

定義：役職の近いものを選択する。※管理職（管理監督職）とは、厚生労働省の管理監督者の見解では、管理監督者は労働条件の決定その他労務管理について経営者と一体的な立場にある者をいい、労働基準法で定められた労働時間、休憩、休日の制限を受けません。

対象：2024年10月1日時点

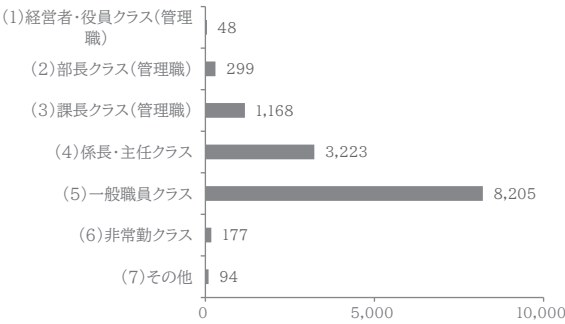
有効回答数：13,214

項目	n	割合
(1)経営者・役員クラス(管理職)	48	0.4%
(2)部長クラス(管理職)	299	2.3%
(3)課長クラス(管理職)	1,168	8.8%
(4)係長・主任クラス	3,223	24.4%
(5)一般職員クラス	8,205	62.1%
(6)非常勤クラス	177	1.3%
(7)その他	94	0.7%

その他 再任用:5、委託:3、定年継続雇用:3、パート:2、教授:3、副主任:3、無職:2、助教:4、講師:3、准教授:6。

解説：一般職員が約 60 % と多く、約 11 % は課長クラス以上の管理職となっている。

問10 現在の役職として、近いものを選択して下さい。
n=13,214



問11 あなたの雇用形態を教えてください。(単一回答)

目的：正社員割合の調査

定義：雇用形態

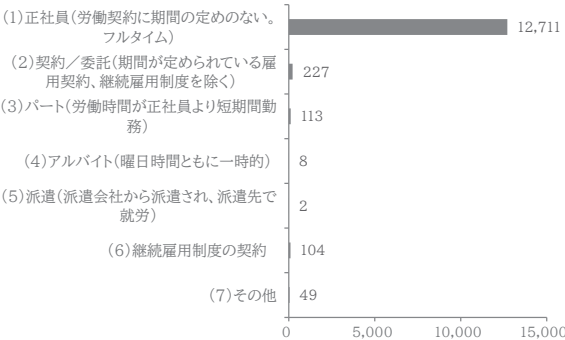
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,214

項目	n	割合
(1) 正社員(労働契約に期間の定めのない、フルタイム)	12,711	96.2%
(2) 契約／委託	227	1.7%
(3) パート(労働時間が正社員より短期間勤務)	113	0.9%
(4) アルバイト(曜日時間ともに一時的)	8	0.1%
(5) 派遣(派遣会社から派遣され、派遣先で就労)	2	0.0%
(6) 継続雇用制度の契約	104	0.8%
(7) その他	49	0.4%
その他 正社員(時短勤務):9, 委託:3, 特例常勤:3, 任期付職員:3, 非常勤:2, 無職:2.		

解説：正社員が 96 % と最も多かった。

問11 あなたの雇用形態を教えてください。n=13,214



問12 あなたの勤務形態を選択して下さい。(複数回答)

目的：勤務体系の調査

定義：勤務体系・勤務状況を把握する。深夜勤務とは午後 10 時から午前 5 時まで(場合によっては午後 11 時から午前 6 時まで)とする。

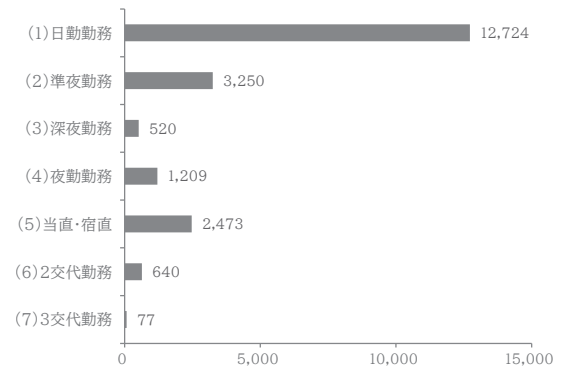
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,207

項目	n	割合
(1) 日勤勤務	12,724	96.3%
(2) 準夜勤務	3,250	24.6%
(3) 深夜勤務	520	3.9%
(4) 夜勤勤務	1,209	9.2%
(5) 当直・宿直	2,473	18.7%
(6) 2 交代勤務	640	4.8%
(7) 3 交代勤務	77	0.6%

解説：日勤勤務が最も多く、2 交代・3 交代制は約 5 % であった。

問12 あなたの勤務形態を選択して下さい。n=13,207



問13 残業時間は月平均どのくらいありますか。(単一回答)

目的：残業時間・労働環境の調査

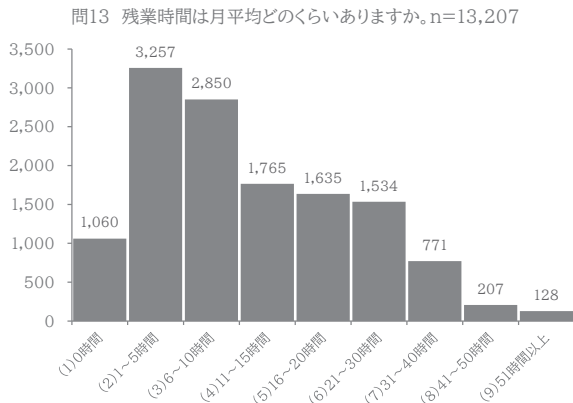
定義：残業時間の月平均値(時間)を選択する。

対象：2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日

有効回答数：13,207

項目	n	割合
(1) 0 時間	1,060	8.0%
(2) 1~5 時間	3,257	24.7%
(3) 6~10 時間	2,850	21.6%
(4) 11~15 時間	1,765	13.4%
(5) 16~20 時間	1,635	12.4%
(6) 21~30 時間	1,534	11.6%
(7) 31~40 時間	771	5.8%
(8) 41~50 時間	207	1.6%
(9) 51 時間以上	128	1.0%

解説：1時間～10時間が46%であり、昨年より減少傾向である。



問14 残業に対する対価を受け取っていますか。(単一回答)

目的：正当な労働環境の調査

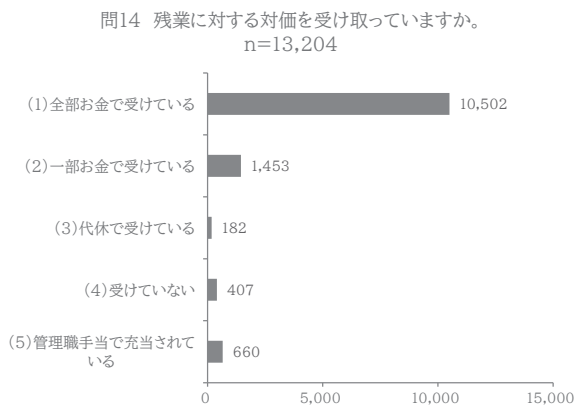
定義：残業賃金支払い方法

対象：2023年4月1日から2024年3月31日

有効回答数：13,204

項目	n	割合
(1)全部お金で受けている	10,502	79.5%
(2)一部お金で受けている	1,453	11.0%
(3)代休で受けている	182	1.4%
(4)受けていない	407	3.1%
(5)管理職手当で充当されている	660	5.0%

解説：全部お金で受けているは80%であった。受けていないは3%であった。



問15 年休取得状況について、1年あたりに何日取得していますか。(単一回答)

目的：労働環境の調査

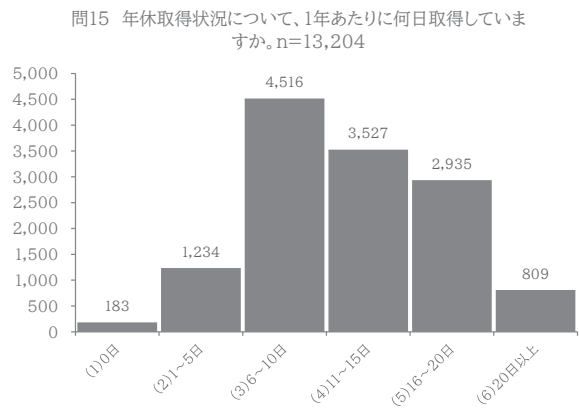
定義：年休取得日数（有給休暇取得日数）を選択してください。

対象：2023年4月1日から2024年3月31日

有効回答数：13,204

項目	n	割合
(1)0日	183	1.4%
(2)1～5日	1,234	9.3%
(3)6～10日	4,516	34.2%
(4)11～15日	3,527	26.7%
(5)16～20日	2,935	22.2%
(6)20日以上	809	6.1%

解説：6～10日が最も多く、約10%が0～5日であった。



問16 休憩時間はきちんと取れていますか。(単一回答)

目的：正当な労働環境の調査

定義：休憩取得で最も近いものを選択してください。

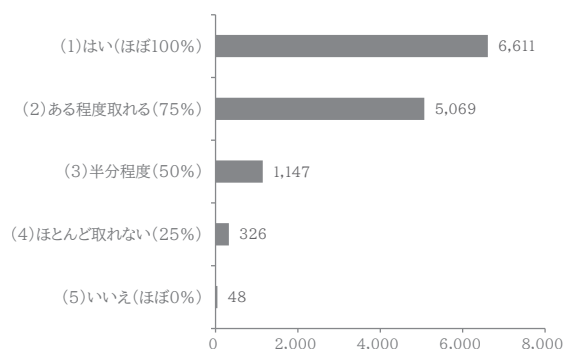
対象：2023年4月1日から2024年3月31日

有効回答数：13,201

項目	n	割合
(1)はい(ほぼ100%)	6,611	50.1%
(2)ある程度取れる(75%)	5,069	38.4%
(3)半分程度(50%)	1,147	8.7%
(4)ほとんど取れない(25%)	326	2.5%
(5)いいえ(ほぼ0%)	48	0.4%

解説：はい（ほぼ 100%）は 50%であり、12%は半分以下の取得状況であった。

問16 休憩時間はきちんと取れていますか。n=13,201



問17 あなたは、ワークライフバランスに課題を感じていますか？（単一回答）

目的：ワークライフバランスに課題を感じる技士の実態を把握する。（単一回答）

定義：あなたが、ワークライフバランスに感じている課題を選択してください。※ワークライフバランスとは、誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう、仕事と生活の双方の調和の実現を目指すもの（内閣府：仕事と生活の調和憲章）とする。

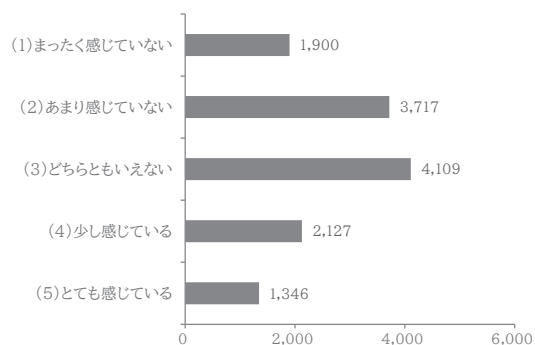
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,199

項目	n	割合
(1)まったく感じていない	1,900	14.4%
(2)あまり感じていない	3,717	28.2%
(3)どちらともいえない	4,109	31.1%
(4)少し感じている	2,127	16.1%
(5)とても感じている	1,346	10.2%

解説：まったく感じていない・あまり感じていないが 43%，少し感じている・とても感じているが 26%であった。

問17 ワークライフバランスに課題を感じていますか？
n=13,199



問18 問17で(4)少し感じている、(5)とても感じていると答えた方に質問です。具体的に、どのような課題を感じていますか？

目的：ワークライフバランスに課題を感じる技士の実態を把握する。

定義：あなたが、ワークライフバランスに感じている課題の内容を具体的に記載してください。複数はカンマで区切る。

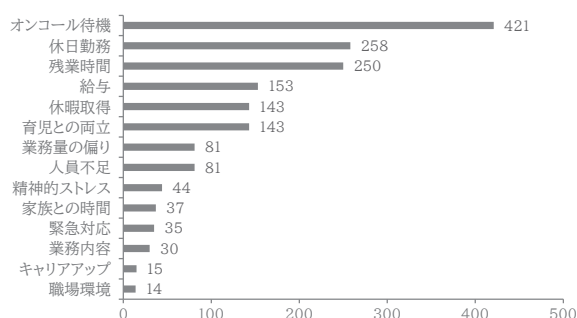
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,822

項目	n	割合
オンコール待機	421	14.9%
休日勤務	258	9.1%
残業時間	250	8.9%
給与	153	5.4%
休暇取得	143	5.1%
育児との両立	143	5.1%
業務量の偏り	81	2.9%
人員不足	81	2.9%
精神的ストレス	44	1.6%
家族との時間	37	1.3%
緊急対応	35	1.2%
業務内容	30	1.1%
キャリアアップ	15	0.5%
職場環境	14	0.5%

解説：ワークライフバランスに課題を感じている理由として、オンコール待機が最も多く、次いで休日勤務であった。

問18 問17で(4)少し感じている、(5)とても感じていると答えた方に質問です。具体的に、どのような課題を感じていますか？ n=2,822



問19 仕事以外に打ち込めることはありますか。
※(2)を選択された方は問21に進んでください。(単一回答)

目的：政府が推奨するワークライフバランスの本来の意味である「仕事と生活の調和の潜在的好循環」が生まれているかを調査する。

定義：仕事以外に打ち込めることがあるか選択してください。(趣味、資格取得など)

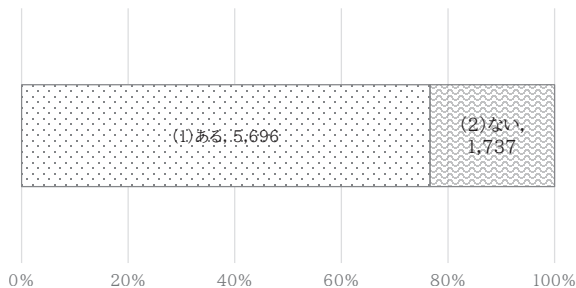
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：7,433

項目	n	割合
(1)ある	5,696	76.6%
(2)ない	1,737	23.4%

解説：仕事以外に打ち込めることがあるのは77%であった。

問19 仕事以外に打ち込めることはありますか。n=7,433



問20 問19が「ある」の場合、それによって意欲的に仕事に取り組むモチベーション維持やストレス緩和になっていますか。(単一回答)

目的：政府が推奨するワークライフバランスの本来の意味である「仕事と生活の調和の潜在的好循環」が生まれているかを調査する。

定義：仕事以外に打ち込めることで、意欲的に仕事に取り組むモチベーション維持やストレス緩和に役立っているかを選択してください。

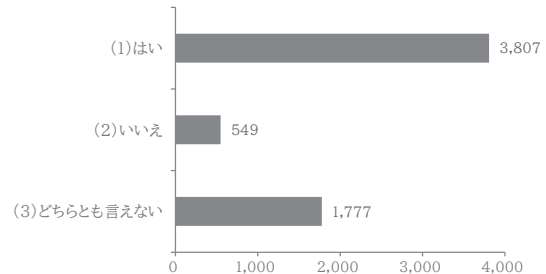
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：6,133

項目	n	割合
(1)はい	3,807	62.1%
(2)いいえ	549	9.0%
(3)どちらとも言えない	1,777	29.0%

解説：仕事以外に打ち込めることがある人の内、62%はそれが意欲的に仕事に取り組むモチベーション維持やストレス緩和になっていた。

問20 問19が「ある」の場合、それによって意欲的に仕事に取り組むモチベーション維持やストレス緩和になっていますか。n=6,133



問21 問19が「ない」の場合、その理由を教えてください。(複数回答)

目的：政府が推奨するワークライフバランスの本来の意味である「仕事と生活の調和の潜在的好循環」が生まれているかを調査する。

定義：理由を記載してください。

対象：2024年10月1日時点

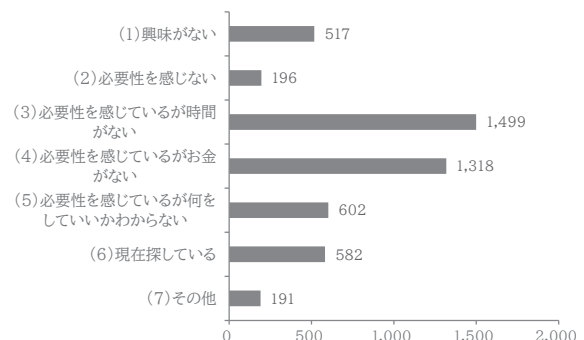
有効回答数：3,721

項目	n	割合
(1)興味がない	517	13.9%
(2)必要性を感じない	196	5.3%
(3)必要性を感じているが時間がない	1,499	40.3%
(4)必要性を感じているがお金がない	1,318	35.4%
(5)必要性を感じているが何をしたいかわからない	602	16.2%
(6)現在探している	582	15.6%
(7)その他	191	5.1%

その他 オンコールで時間が確保できない：3、時間がない：12、疲労によりできない：6、気力がない：3、育児で時間が確保できない：6、仕事優先で時間がない：1、趣味であるためストレスの発散にはならない：2、質問の意味がわからない：3。

解説：必要性を感じているが時間がないが41%と最も多く、次いで、必要性を感じているがお金がないが多かった。

問21 問19が「ない」の場合、その理由を教えてください。n=3,721



問22 現在、就学している。もしくは今後就学を考えていますか。(5)を選択された方は、問24に進んでください。(単一回答)

目的：ライフデザインとして、就学および就学の予定を把握する。

定義：あなたは、現在、大学院に就学している。もしくは今後就学を考えているかを選択してください。

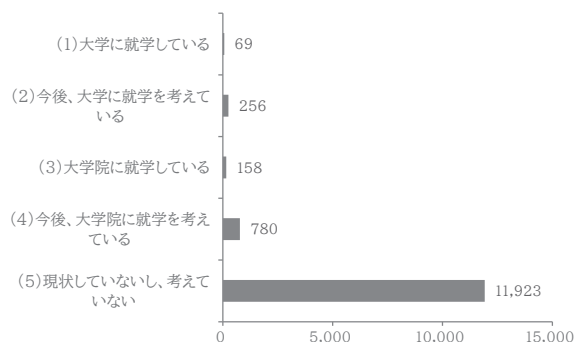
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：13,186

項目	n	割合
(1)大学に就学している	69	0.5%
(2)今後、大学に就学を考えている	256	1.9%
(3)大学院に就学している	158	1.2%
(4)今後、大学院に就学を考えている	780	5.9%
(5)現状していないし、考えていない	11,923	90.4%

解説：進学をしていない・考えていないが90%と最も多く、8%は大学・大学院への進学を考えている。

問22 現在、就学している。もしくは今後就学を考えていますか。n=13,186



問23 どのような学部就学している、または、就学する予定ですか。(単一回答)

目的：ライフデザインとして、就学および就学の予定を把握する。

定義：就学している学部は何系か、または、何系の学部就学する予定を選択する。

対象：2024年10月1日時点

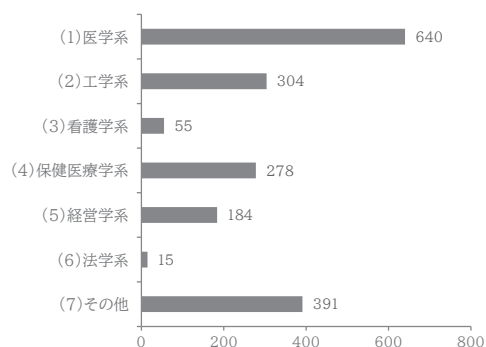
有効回答数：1,867

項目	n	割合
(1)医学系	640	34.3%
(2)工学系	304	16.3%
(3)看護学系	55	2.9%
(4)保健医療学系	278	14.9%
(5)経営学系	184	9.9%
(6)法学系	15	0.8%
(7)その他	391	20.9%

その他 IT 関連:3, 医工学:5, 医療安全:6, 教育学部:9, 教育工学:3, 情報系:11, データサイエンス学部:2, 芸術:3, 獣医学:2, 心理学:5, 人文社会系:2.

解説：就学学部・就学予定学部として医学系が最も多かった。

問23 どのような学部就学している、または、就学する予定ですか。n=1,867



問24 自身のキャリアアップに年間どのぐらい費用をかけてもいいと考えていますか。(単一回答)

目的：キャリアアップにかけても良い費用を把握する。

定義：自身のキャリアアップにかけてもよい年間費用を選択してください。※特に考えていない方は0を記入してください。

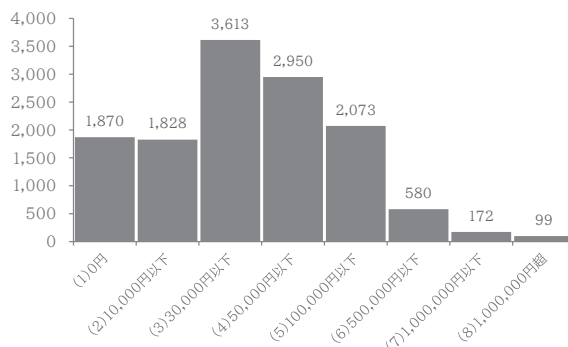
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：13,185

項目	n	割合
(1)0円	1,870	14.2%
(2)10,000円以下	1,828	13.9%
(3)30,000円以下	3,613	27.4%
(4)50,000円以下	2,950	22.4%
(5)100,000円以下	2,073	15.7%
(6)500,000円以下	580	4.4%
(7)1000,000円以下	172	1.3%
(8)1,000,000円超	99	0.8%

解説：30,000円～50,000円が約50%を占めた。

問24 自身のキャリアアップに年間どのぐらい費用をかけてもいいと考えていますか。n=13,185



問25 あなたの職場で資格取得や進学に対する支援はありますか。（複数回答）

目的：所属施設で資格支援に対する支援があるかを調査する。

定義：所属施設における CE への資格支援について当てはまるものを全てを選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

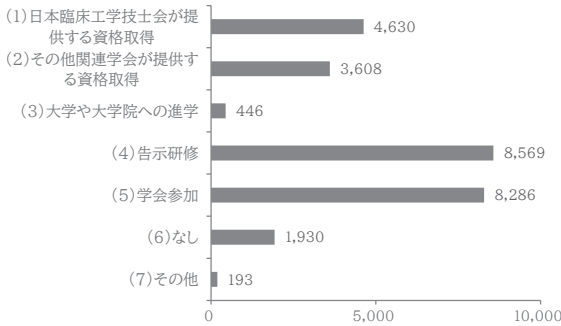
有効回答数：13,182

項目	n	割合
(1)日本臨床工学士会が提供する資格取得	4,630	35.1%
(2)その他関連学会が提供する資格取得	3,608	27.4%
(3)大学や大学院への進学	446	3.4%
(4)告示研修	8,569	65.0%
(5)学会参加	8,286	62.9%
(6)なし	1,930	14.6%
(7)その他	193	1.5%

その他 メンテナンス研修:10, わからない:19, 一部の資格取得:2, 学会発表時:20, 学会参加の一部負担:4, 診療報酬に関わる資格:8, 体外循環技術認定士:2, 把握していない:2, 病院の利益になる場合:3, 病院の経営上必要な資格:2.

解説：支援として告示研修や学会参加が多く、進学への支援は3%と低値であった。

問25 あなたの職場で資格取得や進学に対する支援はありますか。n=13,182



問26 現在、就業上の自身の問題で解決を試みたい事がありますか？（複数回答）

目的：就業上の個人の問題で解決したい内容を把握する。

定義：就業する上で自身の問題で解決を試みたい事を選択する。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

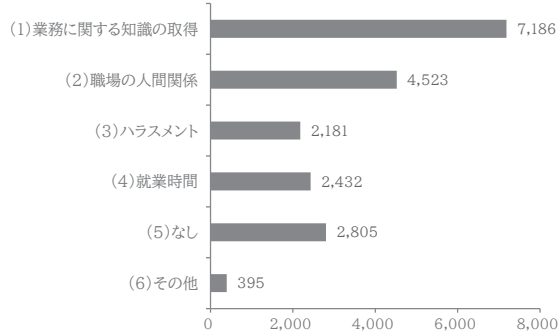
有効回答数：13,180

項目	n	割合
(1)業務に関する知識の取得	7,186	54.5%
(2)職場の人間関係	4,523	34.3%
(3)ハラスメント	2,181	16.5%
(4)就業時間	2,432	18.5%
(5)なし	2,805	21.3%
(6)その他	395	3.0%

その他 オンコールについて:11, お金について:5, タスクソフトウェアについて:3, マネジメント業務:3, 人員不足:9, ワークライフバランス:4, 給与について:57, 有給取得:5, 副業について:4, 待遇面:4, 人材育成:3.

解説：就業上の問題として、業務に関する知識の取得が55%と最も多かった。

問26 現在、就業上の自身の問題で解決を試みたい事がありますか？n=13,180



問27 現在、プライベートの自身の問題で解決を試みたい事がありますか？（複数回答）

目的：プライベートの自身の問題で解決したい内容を把握する。

定義：プライベート上の自身の問題で解決を試みたい事を選択する。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

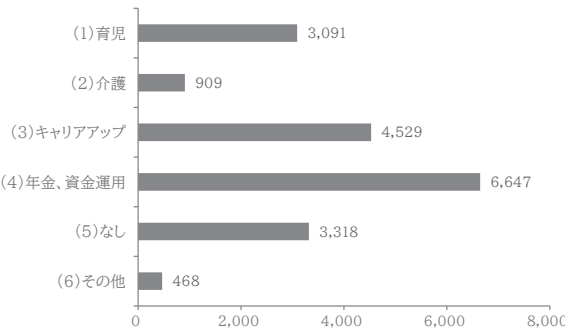
有効回答数：13,178

項目	n	割合
(1)育児	3,091	23.5%
(2)介護	909	6.9%
(3)キャリアアップ	4,529	34.4%
(4)年金、資金運用	6,647	50.4%
(5)なし	3,318	25.2%
(6)その他	468	3.6%

その他 副業:8, 夫婦関係:6, 病気:6, 妊活:5, 転職:8, 定年退職後のこと:7, 単身赴任:2, 体調について:11, 相続問題:3, 時間の確保:4, 婚活:8, 健康に関すること:22, 結婚について:16, お金に関すること:13.

解説：プライベートの問題として、年金資金運用が50%と最も多く、次いでキャリアアップが34%であった。

問27 現在、プライベートの自身の問題で解決を試みたい事がありますか？ n=13,178



問28 就業に関して、職場で勤務以外の副業は許可されていますか？（単一回答）

目的：職場の副業の可否の状況を把握する。

定義：職場で勤務以外の副業は許可されているか選択してください。

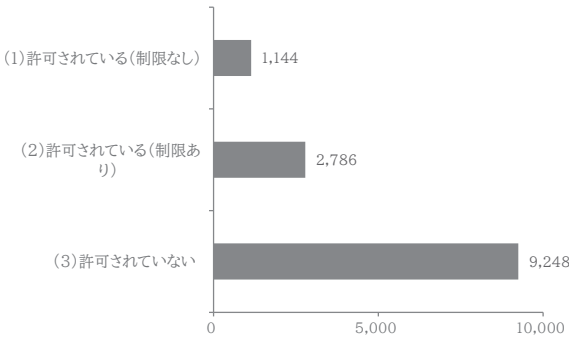
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：13,178

項目	n	割合
(1)許可されている(制限なし)	1,144	8.7%
(2)許可されている(制限あり)	2,786	21.1%
(3)許可されていない	9,248	70.2%

解説：副業は許可されていないが70%と最も多かった。

問28 就業に関して、職場で勤務以外の副業は許可されていますか？n=13,178



問29 問28で就業に関して副業が許可されている方にお伺いします。（単一回答）

目的：副業の実施状況を把握する。

定義：職場で勤務以外の副業が許可されている場合、副業について選択してください。

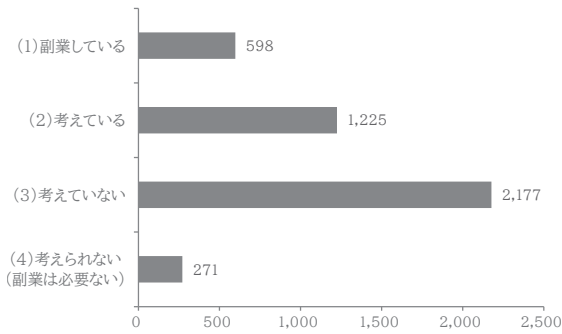
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：4,271

項目	n	割合
(1)副業している	598	14.0%
(2)考えている	1,225	28.7%
(3)考えていない	2,177	51.0%
(4)考えられない(副業は必要ない)	271	6.3%

解説：副業が許可されている方の内、副業をしている方は、14%であった。

問29 問28で就業に関して副業が許可されている方にお伺いします。n=4,271



問30 就業に関して副業されている方にお伺いします。副業の内容を可能な限りでご記入ください。

目的：副業の実施状況を把握する。

定義：副業されている内容について記載してください。複数はカンマで区切る。

対象：2024年10月1日時点

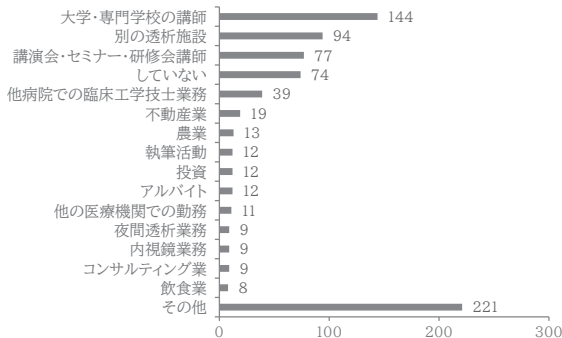
有効回答数：663

項目	n	割合
大学・専門学校の講師	144	21.7%
別の透析施設	94	14.2%
講演会・セミナー・研修会講師	77	11.6%
していない	74	11.1%
他病院での臨床工学士業務	39	5.9%
不動産業	19	2.9%
農業	13	2.0%
執筆活動	12	1.8%
投資	12	1.8%
アルバイト	12	1.8%
他の医療機関での勤務	11	1.7%
夜間透析業務	9	1.4%
内視鏡業務	9	1.4%
コンサルティング業	9	1.4%
飲食業	8	1.2%
その他	221	33.3%

その他 家業:6,県技士会関連業務:5,医療機器開発アドバイザー契約:5,Webデザイン:5,アドバイザー:4,告示研修講師:4,物販:4,配達業務:4,教育研究活動:4,映像作成・動画編集:4,有害鳥獣駆除:3,試験監督:3,販売:3,医療機器開発コンサルタント:3,ユーチューブ:3.

解説：副業を許可されている方の内、副業の内容として大学・専門学校の講師が22%と最も多く、次いで別の透析施設が14%であった。

問30 就業に関して副業されている方にお伺いします。副業の内容を可能な限りでご記入ください。n=664



問31 あなたが取得している認定資格を教えてください。（複数回答）

目的：認定資格取得者の割合調査

定義：取得認定資格

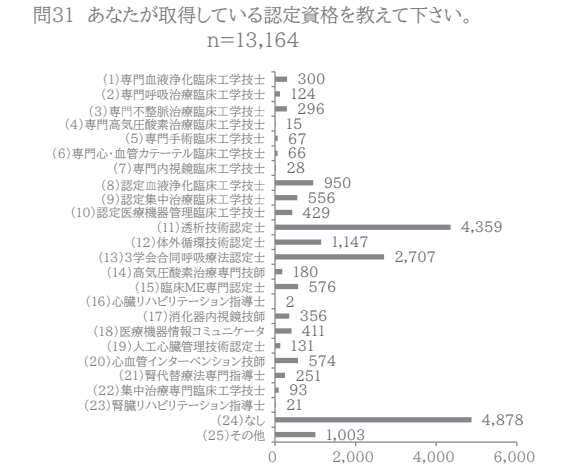
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：13,164

項目	n	割合
(1) 専門血液浄化臨床工学技士	300	2.3%
(2) 専門呼吸治療臨床工学技士	124	0.9%
(3) 専門不整脈治療臨床工学技士	296	2.2%
(4) 専門高気圧酸素治療臨床工学技士	15	0.1%
(5) 専門手術臨床工学技士	67	0.5%
(6) 専門心・血管カテーテル臨床工学技士	66	0.5%
(7) 専門内視鏡臨床工学技士	28	0.2%
(8) 認定血液浄化臨床工学技士	950	7.2%
(9) 認定集中治療臨床工学技士	556	4.2%
(10) 認定医療機器管理臨床工学技士	429	3.3%
(11) 透析技術認定士	4,359	33.1%
(12) 体外循環技術認定士	1,147	8.7%
(13) 3 学会合同呼吸療法認定士	2,707	20.6%
(14) 高気圧酸素治療専門技師	180	1.4%
(15) 臨床 ME 専門認定士	576	4.4%
(16) 心臓リハビリテーション指導士	2	0.0%
(17) 消化器内視鏡技師	356	2.7%
(18) 医療機器情報コミュニケーター	411	3.1%
(19) 人工心臓管理技術認定士	131	1.0%
(20) 心血管インターベンション技師	574	4.4%
(21) 腎代替療法専門指導士	251	1.9%
(22) 集中治療専門臨床工学技士	93	0.7%
(23) 腎臓リハビリテーション指導士	21	0.2%
(24) なし	4,878	37.1%
(25) その他	1,003	7.6%

その他 植込み型心臓不整脈デバイス認定士:138, 周術期管理チーム:79, アフェレンシス学会認定技士:71, CDR (Cardiac Device Representatives):49, ホスビタルエンジニア:45, DMAT:34, 透析技能検定:32, 医療情報技師:31, 第二種 ME:31, CPAP 療法士:26, 血管診療技師(CVT):25, 心電図検定:25, 滅菌技士:23, 臨床検査技師:21, 未記載 128.

解説：取得している認定資格は、透析技術認定士が 33%と最も多く、次いで 3 学会合同呼吸療法認定士であった。またその他では、植込み型心臓不整脈デバイス認定士が最も多かった。



問32 「臨床工学技士基本業務指針 2010」に分類されていないが、従事している業務があれば記述して下さい。

目的：業務指針に明記されていない臨床工学技士実務業務調査

定義：「臨床工学技士基本業務指針 2010」1) 呼吸治療業務指針, 2) 人工心肺業務指針, 3) 血液浄化業務指針, 4) 手術室業務指針, 5) 集中治療業務指針, 6) 心血管カテーテル業務指針, 7) 高気圧酸素業務指針, 8) ペースメーカー／ICD 業務指針, 9) 医療機器管理業務指針, 10) 内視鏡業務指針, 11) 不整脈治療領域業務指針に分類されていない実務業務を選択してください。（例：情報処理関連業務, 眼科領域関連業務, 電波監理業務, サイバーセキュリティ業務）（複数はカンマで区切ってください）

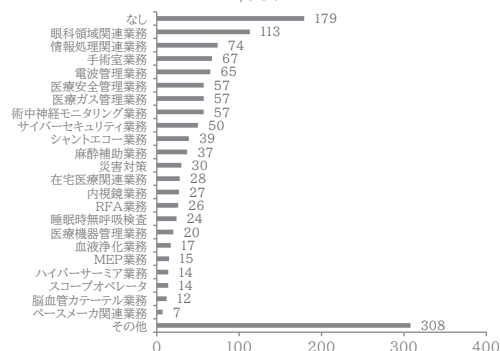
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,337

項目	n	割合
なし	179	13.4%
眼科領域関連業務	113	8.5%
情報処理関連業務	74	5.5%
手術室業務	67	5.0%
電波管理業務	65	4.9%
医療安全管理業務	57	4.3%
医療ガス管理業務	57	4.3%
術中神経モニタリング業務	57	4.3%
サイバーセキュリティ業務	50	3.7%
シャントエコー業務	39	2.9%
麻酔補助業務	37	2.8%
災害対策	30	2.2%
在宅医療関連業務	28	2.1%
内視鏡業務	27	2.0%
RFA 業務	26	1.9%
睡眠時無呼吸検査	24	1.8%
医療機器管理業務	20	1.5%
血液浄化業務	17	1.3%
MEP 業務	15	1.1%
ハイパーサーミア業務	14	1.0%
スコープオペレーター	14	1.0%
脳血管カテーテル業務	12	0.9%
ペースメーカー関連業務	7	0.5%
その他	308	23.0%

解説：「臨床工学技士基本業務指針 2010」に分類されていない従業務では、昨年同様、眼科領域関連業務が最も多く 9%であった。

問32「臨床工学技士基本業務指針 2010」に分類されていないが、従事している業務があれば記述して下さい。
n=1,337



問33 日本臨床工学技士会が 2023 年度に開催したセミナーや講習会に参加したことがありますか？
(単一回答)

目的：技士会講習会の利用・参加方法の調査

定義：参加の有無・参加方法

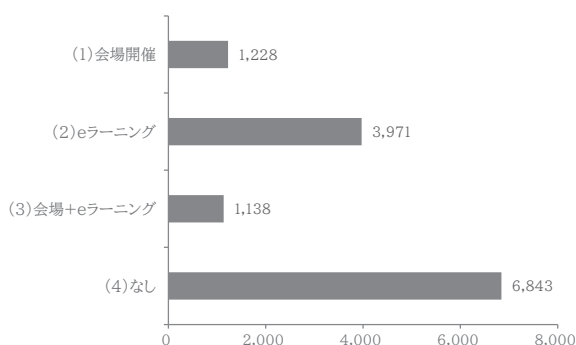
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：13,180

項目	n	割合
(1)会場開催	1,228	9.3%
(2)e ラーニング	3,971	30.1%
(3)会場+e ラーニング	1,138	8.6%
(4)なし	6,843	51.9%

解説：日本臨床工学技士会が 2023 年に開催したセミナーや講習会の参加は、なしが 52%と最も多く、次いで e ラーニング 30%であった。

問33 日本臨床工学技士会が2023年度に開催したセミナーや講習会に参加したことがありますか？ n=13,180



問34 日本臨床工学技士会の事業に対する理解度を教えて下さい。(やや理解しているまたは非常に理解している事業を選択してください。複数回答)

目的：技士会運営における会員の理解度調査

定義：技士会事業の内容について、どの程度理解していますか。

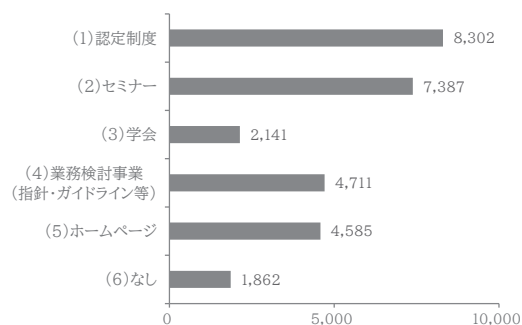
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：13,178

項目	n	割合
(1)認定制度	8,302	63.0%
(2)セミナー	7,387	56.1%
(3)学会	2,141	16.2%
(4)業務検討事業(指針・ガイドライン等)	4,711	35.7%
(5)ホームページ	4,585	34.8%
(6)なし	1,862	14.1%

解説：日本臨床工学技士会の事業に対する理解度は、認定制度が 63%と最も多く、次いでセミナー 56%であった。

問34 日本臨床工学技士会の事業に対する理解度を教えて下さい。(やや理解しているまたは非常に理解している事業を選択してください。)n=13,178



問35 日本臨床工学技士会の事業に対する満足度を教えて下さい。(やや満足または非常に満足と感じた事業を選択してください。複数回答)

目的：技士会運営における会員の満足度調査

定義：技士会事業に対する満足度

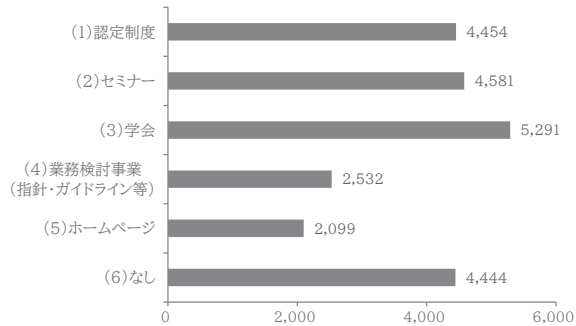
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：13,161

項目	n	割合
(1)認定制度	4,454	33.8%
(2)セミナー	4,581	34.8%
(3)学会	5,291	40.2%
(4)業務検討事業(指針・ガイドライン等)	2,532	19.2%
(5)ホームページ	2,099	15.9%
(6)なし	4,444	33.8%

解説:日本臨床工学技士の事業に対する満足度は、学会が最も多く40%,次いでセミナー35%,認定制度34%であった。

問35 日本臨床工学技士の事業に対する満足度を教えてください。(やや満足または非常に満足と感じた事業を選択してください。)n=13,161



問36 日本臨床工学技士会に期待する事業を教えてください。(複数回答)

目的:技士会運営における会員の期待度の調査

定義:技士会事業に期待する事業を選択してください。

対象:2024年10月1日時点

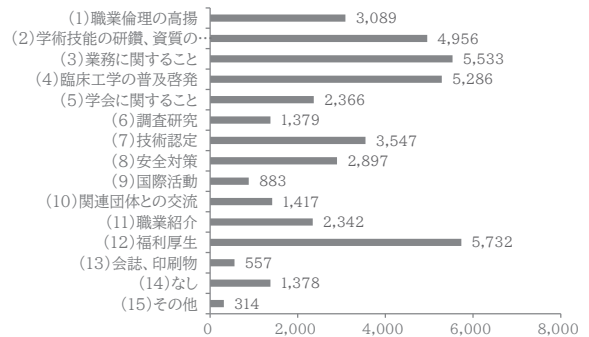
有効回答数:13,142

項目	n	割合
(1)職業倫理の高揚	3,089	23.5%
(2)学術技能の研鑽、資質の向上	4,956	37.7%
(3)業務に関すること	5,533	42.1%
(4)臨床工学の普及啓発	5,286	40.2%
(5)学会に関すること	2,366	18.0%
(6)調査研究	1,379	10.5%
(7)技術認定	3,547	27.0%
(8)安全対策	2,897	22.0%
(9)国際活動	883	6.7%
(10)関連団体との交流	1,417	10.8%
(11)職業紹介	2,342	17.8%
(12)福利厚生	5,732	43.6%
(13)会誌、印刷物	557	4.2%
(14)なし	1,378	10.5%
(15)その他	314	2.4%

その他 賃金・待遇の改善:47,診療報酬の反映:41,未記載:32,業務範囲の拡大・明確化:23,社会的地位・認知度の向上:15,認定制度の見直し:14,政治への働きかけ:14,教育・研修体制の充実:13,技士会運営の改善:11,ワークライフバランスの向上:6,求人・転職支援:5,

解説:日本臨床工学技士会に期待する事業は、福利厚生が最も多く44%,次いで業務に関すること42%,臨床工学の普及活動40%の順であった。

問36 日本臨床工学技士会に期待する事業を教えてください。n=13,142



問37 日本臨床工学技士会に入会した理由(きっかけ)を教えてください。(複数回答)

目的:技士会入会理由の調査

定義:技士会入会の理由に近いものを選択してください。

対象:2023年4月1日~2024年3月31日

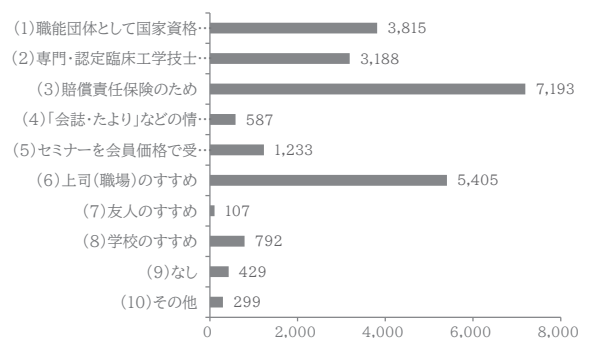
有効回答数:13,176

項目	n	割合
(1)職能団体として国家資格を守るため	3,815	29.0%
(2)専門・認定臨床工学技士制度取得のため	3,188	24.2%
(3)賠償責任保険のため	7,193	54.6%
(4)「会誌・たより」などの情報を入手するため	587	4.5%
(5)セミナーを会員価格で受講できるため	1,233	17.1%
(6)上司(職場)のすすめ	5,405	41.0%
(7)友人のすすめ	107	0.8%
(8)学校のすすめ	792	6.0%
(9)なし	429	3.3%
(10)その他	299	2.2%

その他 未記載:48,告示研修:47,職場からの強制:31,強制参加:23,上司命令:13,学会で発表のため:12,県技士会に入会したため:11,入るものと思っていた:5,

解説:日本臨床工学技士会に入会した理由は、賠償責任保険のためが最も多く55%,次いで上司のすすめが41%であった。

問37 日本臨床工学技士会に入会した理由(きっかけ)を教えてください。n=13,176



問38 臨床工学技士の業務範囲に伴う告示研修を受講する予定はありますか？（単一回答）

目的：告示研修に対する理解の調査

定義：告示研修受講予定を選択してください。

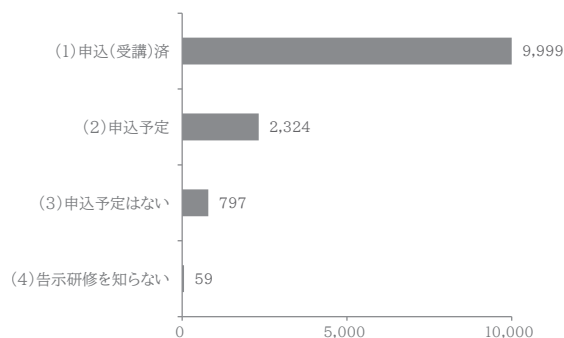
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：13,179

項目	n	割合
(1)申込(受講)済	9,999	75.9%
(2)申込予定	2,324	17.6%
(3)申込予定はない	797	6.0%
(4)告示研修を知らない	59	0.4%

解説：告示研修を受講する予定は、申込（受講）済が最も多く76%であり昨年より増加傾向である。また申込予定はないは6%であり昨年より減少している。

問38 臨床工学技士の業務範囲に伴う告示研修を受講する予定はありますか？ n=13,179



問39 告示研修を受講された（予定含む）方のみお答えください。告示研修の業務で現在実施しているまたは今後実施予定の業務はありますか？（複数回答）

目的：告示研修に対する理解の調査

定義：告示研修を受講しないと実施できない業務のうち、現在実施しているまたは今後実施予定の業務を選択してください。

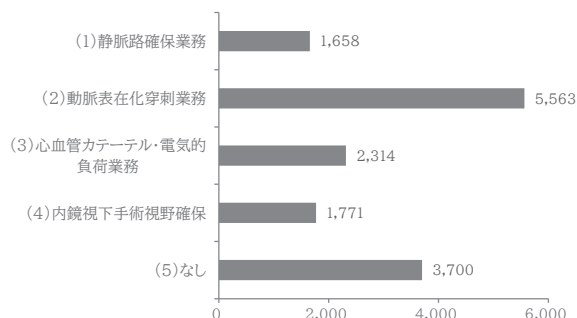
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：11,557

項目	n	割合
(1)静脈路確保業務	1,658	14.3%
(2)動脈表在化穿刺業務	5,563	48.1%
(3)心血管カテーテル・電氣的負荷業務	2,314	20.0%
(4)内鏡視下手術視野確保	1,771	15.3%
(5)なし	3,700	32.0%

解説：告示研修の業務で現在実施しているまたは今後実施予定の業務は、動脈表在化穿刺業務が最も多く48%、次いでなしが32%、心血管カテーテル・電氣的負荷業務が20%であった。

問39 告示研修を受講された（予定含む）方のみお答えください。告示研修の業務で現在実施しているまたは今後実施予定の業務はありますか？ n=11,557



問40 当会に対するご要望、ご意見があればご記入下さい。

目的：当会に対する要望、意見を把握する。

定義：当会に対するご要望、ご意見があればご記入下さい。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,806

1. 給与アップ、待遇改善

各種業務での保険点数獲得に注力して欲しい。また、地位向上については給与面等待遇改善に努めて欲しい。専門資格を作ったなら、合格者にだけ施設認定若しくは、加算にしてもらわないと、その資格がただの自慢にしかならない。上級 CE と下級 CE と区別すべきでは？

若い世代に技士会へ入る大きなメリットを打ち出す必要がある。昔は先輩が入れと言えば済んだが、今はパワハラ、モラハラに抵触する恐れがあるため勧められない。(金額も1年目にしたら高い)

賃金のアップについて検討よろしくお願いします。生活が非常に苦しいです。

業務によってリスクが違うので技士のなかでも差別化を行っていただきたいです。救急業務と慢性透析業務を一緒にしてほしくないです。患者のリスクが違うのにも関わらず処遇が同じというのは納得がいきません。別の資格にしてほしいぐらいです。海外のように業務別に資格を検討して欲しいです。

臨床工学技士を目指す子ども達が増えるように、広報・普及活動、教育機関との連携強化、支援体制の拡充、待遇改善、魅力度改善などを最優先事項と位置付けて取り組んでいただきたい。

独占業務が無いこともあり、施設内での地位向上が難しい。幹部の認知度も低い。

年会費を値下げしてほしい

臨床工学技士の地位向上、賃上げなど改善をお願いいたします。

どんな世代もどんな立場の方も働きやすい環境の提供や働きに見合った賃上げをして頂きたいです。

臨床工学技士の待遇・労働環境の改善

専門臨床工学技士制度の診療報酬への関連付けを希望します。

専門臨床工学技士の学会参加費の割引などお願いします。

診療報酬に必要なような活動や看護協会のような、賃金アップにつながる活動をしてほしい。

地方(田舎)に行けば行くほど CE の認知度が低く、給料も安く、待遇もそれほどよくない。

CE の地位向上、給料の上昇に期待しています。

給与アップ

責任ある業務を担う場面も多い職業である一方、給与はそれに見合っていない。

給与の増加に学会で働きかけてほしい

臨床工学技士の給与はやはり全国的に低いと思います。賃金のペースアップの問題はなんとかならないものではないでしょうか。

臨床工学技士の給与格差に対する是正として、医療機関への副業解禁および制限などの解除要請をしてほしい。医師や看護師などでは解除している場合が多いが医療技術職での副業解禁要請を強く要望する

2. 業務範囲の明確化、拡大

シャント PTA 業務は心・血管カテーテル業務に含まれますか？

他学会などと業務指針やガイドラインは単発ではなく、定期的に更新を進めてほしいです。

他の職種に比べ、臨床工学技士ができない業務が浮き彫りになり、かつ診療報酬でも臨床工学技士だけ名前が入っていない項目が多い気がする。法的に認められるのが生命維持管理装置の操作のみでは、医師や特定行為看護師、ましてやナースプラクティショナーなどの職種が出てきている中、今後の職種として生き残れるのか怪しいと個人的には考えています。ずっと言われていることだとは思いますが、専門の資格取得が現時点では自己満足となっている。維持にかなりコストが掛かるくせに病院からは評価の対象とならないため無駄な資格とまで言われてしまっている。

他には医療機器の発展に伴い、手術室での需要が高まっている中で業務指針にダビンチの清潔に関する文言が無いいため撤退しようとして上司から圧をかけられている。

臨床工学技士が行える業務をはっきりと提示するのも技士会の仕事かと思います。そうしないと事件沙汰になったさい、資格のイメージダウンが避けられません。

昨今タスクシフトの兼ね合いで業務の線引きがされてきており大変危惧しております。

手術室関連のセミナーを増やして欲しいです。手術室専門 CE を目指していますが、取得更新時の単位が、セミナー数が少ないかつ遠方開催が多くて、負担に思い取得を悩んでいます。

病院毎で業務内容や進め方がガラパゴス化している節があるため、そういった部分の実態把握、その業務が始まった経緯、今後の展望等を代表施設の回答として知りたい。

タスクシフトがまだ続く限り、消化器内視鏡業務を法律的に可能な業務にできるように国に要望し続けて頂きたい。

早く基本業務指針を更新してほしい。現場として判断材料が古すぎる。アバウトなたたき台を作って意見や事例募集で

もいいので業務指針に対して何か一般に見えるアクションがほしい。
人工呼吸器に関するタスクシフト、特に集中治療に関するものに関して法改正を行うよう働きかけてほしい。また、特定看護師とのすみ分けが難しく、業務を取り合っている感がある。
臨床工学技士によるシャントエコーの技術料(診療報酬)が法律で認められるように働きかけてほしい。
内視鏡業務を専任で行っております。臨床工学技士での咽頭麻酔の実施と手術室・集中管理室以外での静脈血管路確保、薬剤の調剤(できれば緊急時の投与まで)できるようにしてほしいです。
内視鏡業務に関しての処置具の取り扱いや、私たちの業務が診療報酬にかかわるようになってほしい。
業務範囲拡大をどんどんしてほしい。
内視鏡業務に関する厚生労働省の許可を貰ってほしい
今後のスキルアップのために認定士の資格取得に挑戦したいが、資格が診療報酬の点数に加算されたり、賃上げに影響されたりということがないので、それなりの金額を支払って受けることに抵抗がある。
内視鏡業務検討委員会は何をしているのか不明瞭。タスクシフトがとれていないのにも関わらずいつも同じメンバーで何を決めているのか。
重複しますが告示研修で一部業務拡大となったが、循環器や急性期救急領域を担う私含めた臨工は今の告示研修での業務項目では全然不十分です。

3. 認定制度の見直し

認定はまあ良いのですが、他の医療職と比べ専門があまりに合格率が低いのは如何なものでしょうか。学会の出席や論文、座長、講演などをもう少し評価し、症例報告や面接諮問も行うような感じでも良いのではないのでしょうか。
専門臨床工学技士制度の診療報酬への関連付けを希望します。また認知度拡大のために専門臨床工学技士専用のピンバッジを検討してもらいたい。
専門臨床工学技士のメリットがなさ過ぎて後輩が全く興味を示しません。
認定資格増やしすぎると価値が薄まる？
資格取得費用を下げしてほしい
専門や認定の資格を作るだけでなく、臨床工学技士の地位向上や教育活動などのため、資格取得した人材を有効活用する仕組みを作って頂きたい。
技術認定士の認定ポイントが地方は取得しづらい。地域差をなくして欲しい。
個人ページ(プリバド)に資格取得一覧を掲載して欲しい。
意味のある認定・専門制度の構築。
認定制度のお金を安くしろ
団体としての力が強い看護師や理学療法士を見習い、社会における CE の立場向上を目指して欲しい。
認定資格取得が給料に反映するようにして欲しい。
認定資格受験・更新の減額
資格試験、告示研修などにおいても日臨工のみならず地方の技士会加入者而非加入者の線引きをもっと明確にし金額だけではなく優遇することを検討し加入率を向上させたほうが？
専門臨床工学技士のセミナー受講費用が高すぎるのにも関わらず、テキストの誤字脱字があまりにも多く、きちんと確認されているのか疑問に思った。
認定制度は外部から見て合格率が低い(敷居が高い)のはマイナスの評価につながっているのではないのでしょうか
試験費が高い 単位取得数が多すぎる 単位取得可能なセミナーや学会が分かりづらい
認定資格取得に伴う業務範囲拡大とその限定解除による資格取得の意義を明確化。
軟性内視鏡の介助行為に関して、ルールを早く作ったほうがいい。全国の CE がグレーな環境に置かれているのがかわいそう。
認定制度が高すぎる。
看護師は認定資格を受けて従事すれば保険点数がつくが、臨工は全く加算されない。自己満足の認定制度になっており、病院にとってもメリットが生まれていない。もう少し日程制度あり方などそのあたりを頑張って頂きたい。

4. 臨床工学技士の認知度向上

他の職種に比べ、臨床工学技士ができない業務が浮き彫りになり、かつ診療報酬でも臨床工学技士だけ名前が入っていない項目が多い気がする。
色々な事業を行われているのに、いまいち会員に情報が届いていないように思います。公式 LINE の PR に力を入れたり、ホームページの充実を図って、もっと情報発信に力を入れてほしいです。
臨床工学技士の認知度向上に向けた取り組みを更に行って欲しい。
臨床工学技士を目指す子ども達が増えるように、広報・普及活動、教育機関との連携強化、支援体制の拡充、待遇改善、魅力度改善などを最優先事項と位置付けて取り組んでいただきたい。
もっと業界の認知度上げるように各所にプッシュしてください。まだまだ足りないです。
昔から技士がメインとして関わる業務(透析、人工心肺、人工呼吸器)がなかった医療施設ほどいつまで経っても技士に

対する理解が進んでいない。もっとこういう施設に対して会としてアピールというか、ある程度の圧力をかけて欲しいと思います。

もっとシーブリンを使ったり活用したりした方がいいと思う。また広報(SNS)に力を入れていかないと若い人達に情報が届かないと思う。

時代に合わせた活動が必要かと思います。

近年若い職員は非会員が多いです。会員を獲得するための明確なメリットなどを提示していただけると助かります。

職業としての認知度があまりにも低すぎる。これに対して SNS などを活用してアプローチをしてはいるようだが、若い子向けではない印象を受ける。

広報専門業者に入ってもらい、お金をかけて広報する必要がある。

昔のままの感覚では選ばれない職業になりつつある。

業務の幅が広がることに尽力するだけでなく、若年者の取り込み、地位向上、働き方(お金も含めて)改善しなければいけないとつくづく感じる。

臨床工学技士の需要を向上させ、給料アップを図る目的で、普及・啓発に勤めてもらいたい。

臨床工学技士の存在が診療報酬に繋がる活動をご継続いただきたい。

臨床工学技士の認知度アップ。若手の育成とやりがい認知度のアップ。連盟の認知度アップと必要性の理解。

臨床工学技士出身の国会議員誕生に期待しています。

医療業界での臨床工学技士の価値を目に見える形でさらに高めてほしい。

臨床工学技士の知名度向上をお願いします。

どうか、引き続き第2, 第3の告示研修を実施していただき、臨床工学技士の業務拡大に向け尽力していただきたい。

5. 会費の減額

技士会から送られてくる資料などを電子化してほしい。経費、資源の削減もできる

会誌を PDF にして会員に無料配布してほしい。→配布されるたびに会誌がかさばるから。できるなら早急をお願いしたいです。冊子でほしい場合は有料にするとか

都道府県技士会にも在籍しなければならないことで費用負担が大きくなっている。

年会費が高いです。

LINE があるので会報を紙から移行可能ならば LINE に切り替えしてほしい。もしくはログイン後 HP で閲覧できるようにしてほしい

会誌やたよりなどを経費削減のためにもメール等デジタル配信してほしい

ペーパーレス(会誌は各施設冊など) ペーパーにストレスを感じてる人も少なからずいるはず。

年会費を安くしてほしい

紙媒体が勿体ないので電子媒体にほしい。(すぐ破棄する&保存不可)

会員費を安くしてほしい

地方技士会と分けてほしい。

年会費の値下げ。

セミナーや試験などの受講料を安くしてほしい。高過ぎる。

会費や学会費の金額、認定制度の更新条件などもう少し余裕が欲しい。

技士会費または日本臨床工学会の参加費を安くしてほしい

頻繁な印刷物の配布の必要性を考えて欲しいです。メールで送ればよいと思います。

会誌などの書類系のものはすべてオンライン配付とし経費削減に繋げていただきたい

年会費を 2000 円下げて、代わりに技士会連盟加入を強制的にしたい。政治活動をしないと保険点数が無く、給料も上がりようが無いと思われる為。

会費を安くしてほしい

年会費安くしてほしい。

臨床工学技士の年収は田舎は低いです。

6. 情報提供の改善

今回の業務実態報告含め、ホームページを利用するものがリニューアルしても操作しにくい。

技士会から送られてくる資料などを電子化してほしい。

情報伝達が行き届いていないシーンがあり不安を感じる。特に学会発表は発表者にとっても貴重な機会であり舞台なので、ポスターの規格等迅速な情報開示を願いたい。

後援申請、講師派遣依頼、単位申請等、なぜ郵送なのか？なぜ郵送で送ったのに承認のお知らせが PDF でメールで送られてくるのか？メールでやり取りできるならメールで申請を受け付けてほしい。

メールでの問い合わせのレスポンスが非常に遅くて困っている。無視されている気分になる。なんとか専門試験が難しすぎる。正答率が分かるように開示してほしい

旧プリバドへのリンク・案内はもう終了してもいいのではないかな。現在使用可能なものだけ表示してほしい。
シープリンもう少し使いやすくしてほしい。著作権が厳しい。
プリバドをもっと活用できるようにしてほしいです。
プリバドが使いにくい
ホームページが分かりにくい
認定士がわかりにくいのと、ホームページもおかしい、プリバドも使いにくい。もっと頑張ってほしいです
ホームページが見にくい(必要なページまでたどり着けない)
e プリバドが非常に使い難い
ホームページを見やすくして頂きたいです。また、認定関連のページがわかりにくく申し込みだけで一苦労しました。
新しいプリバドが使いにくい
HP がPC からアクセスするとバナーの配置などで見難い。
e-プリバドの名称が分かりにくい。業務実態調査を依頼するため、e-プリバドをお願いしているが認知度が低い。一度改称することで認知度向上を図るべきと考えます。
e-privado がわかりにくい
責任賠償保険の加入者数や支払い事例、請求件数、支払い件数など情報提供してほしい。

7. 紙媒体の廃止

紙媒体が勿体ないので電子媒体にしてほしい。(すぐ破棄する&保存不可)
技士会に入っている特典として毎年シープリングッズがほしい。ボールペンとか工具とかにシープリンコラボしてほしい。
LINE 等の活用を増やして紙媒体をできるだけ減らして欲しいです。
定期的に送付されている勉強会等の資料を紙媒体ではなく PDF でメールで送ってほしいです。
資源削減になり、封筒代も削減されるのでお金の使い道を別のところで有効に使用していただきたいと思っています。
会誌やたよりは紙媒体ではなく電子媒体にして欲しい。紙のコストも無駄だし SDGS からみてもよくないと思います
たよりや抄録号以外の会誌はデジタル媒体のみにしてほしい。認定・専門の講習会テキストはデジタル媒体のみと紙媒体追加送付(有料でも可)を選択できるようにしてほしい。
会報は紙媒体をやめてほしい
配布資料(たよりなど)を神奈川県臨床工学技士会のように紙媒体ではなく、データでの配布にして欲しい
郵送資料を紙媒体から電子媒体にしてほしい
紙媒体のお知らせ、不要。
認定士が給料に反映されることもなく、CE 以外に認知もされておらず、さらに合格率も低く、受ける意味を感じない。(講習会はためになりました。)
紙媒体で郵送される「たより」や「チラシ」を、早急に電子化していただき、個人の会員メールで閲覧できるよう整備していただきたい。
会誌の紙媒体をなくして、PDF データにしてほしい。
会誌・印刷物を紙媒体ではなく、PDF 配布かネット上で閲覧できるようにしてほしい
技士会誌など印刷物・冊子は紙媒体ではなく、希望者には電子媒体での配布を検討してほしい。
(保管場所に困る場合があり、紙媒体だと劣化するため。また、時代に沿い、地球環境に配慮してほしい。)
会誌を紙媒体ではなくデータにして欲しい。
会費が高すぎる。紙媒体配布など減らせるところは減らして会費を安くしてほしい。
紙媒体ではなく、SDGsを踏まえて電子媒体での会誌などにしてほしい
会誌以外は QR コードでのアクセスにして年間費をコストダウンして欲しい。
送料や印刷代等コスト削減のため会誌等の郵送物は個人宛ではなく施設宛(1 冊)でいい
会報とかはプラバドで確認する様にして、郵送物の廃止→紙の無駄遣い、それに伴って会費の減額希望
会誌を紙ではなく、データで配布・閲覧できるようにしてほしい。

8. セミナー・講習会等の充実

会員の無料セミナーを充実させてほしい
血液浄化領域の情報やセミナーが多い印象を受ける。今後 CE が深く介入するであろう分野(ICU, NICU, 在宅など)の情報やセミナーも多く企画してほしい
日臨工主催もしくは後援以外のセミナーも HP 上で業務別で載せてほしい。
手術室関連のセミナーを増やして欲しいです。手術室専門 CE を目指していますが、取得更新時の 50 単位が、セミナー数が少ないかつ遠方開催が多くて、負担に思い取得を悩んでいます。セミナー数増加、Web 開催とのハイブリッド開催を検討して頂けると有難いです。
セミナーの会員料金が高い
今後も e ラーニングで参加可能なセミナーの充実、日本臨床工学技士会のハイブリッド開催(現地 + web)を引き続き行って頂きたい。

年会費や認定、専門の講習会の受講費など、全体的にもう少し価格が下がるありがたいと思う。

セミナーなどの地方開催が増えると参加しやすい。

年会費や研修・セミナーなどの参加費用が高すぎるので技士会での負担割合を増やすなど会員への還元をして頂きたいです。

セミナーの費用をもう少し安くしてほしい

資格を取得するための講習会、および受験料が高い。もっと安くしてくれ。

セミナー・講習会の案内を見落としてしまうなど、わかりにくい。50代、40代人材が増えてきた。キャリアアップする中で、管理職の研修・セミナーをもっと増やしてほしい。

受験料、講習会費の引き下げ

プリバドがやや使いにくい。購入済みの講習会を探しにくい。

認定講習会など e-learningであればいつでも受けれるようにしてほしい。

e-ラーニングの終了証や冊子が pdf で電子になり、郵送費などがかからないにもかかわらず、講習会・研修会の値段が下がらないのはなぜでしょうか？

コロナ流行を機に、e-ラーニングで受講できる講習会・セミナーが増えたと思います。コロナに関わらず今後も e-ラーニングは継続して頂きたいです。地方から主要都市開催に参加するのは費用・時間がかかるため参加したくても出来ないです。自身、部下のスキルアップ向上のために検討願います。

認定集中治療臨床工学技士のポイントが獲得できる関連学会を増やしてほしい。指定講習会学習範囲となっているため、例 心血管インターベンション治療学会(補助循環管理)、植込みデバイスデバイス冬季大会(ICD, CRT)

認定資格の講習会費用を安くしてほしい

CE が関係する診療報酬や施設基準に関する無料 web セミナーをやしてほしい。

9. 業務指針の改定

業務指針やガイドラインは単発ではなく、定期的に更新を進めてほしいです。

医療機器の発展に伴い、手術室での需要が高まっている中で業務指針にダビンチの清潔に関する文言が無いため撤退しようと上司から圧をかけられている。

早く基本業務指針を更新してほしい。現場として判断材料が 2010 は古すぎる。アバウトなたたき台を作って意見や実例募集でもいいので業務指針に対して何か一般に見えるアクションがほしい。サイバーセキュリティ分野を頑張ってほしい。

なぜ消化器内視鏡が業務指針も出ているにもかかわらず、技士が医師の介助に携わるのがグレーになるのかわからない。発展するために新しい人を入れることも大切だと思うが、現在声を上げている CE を大切にしたい方がいいのではないと思う。

業務指針の改訂。グレーゾーンの業務が多すぎる。施設によって行って良いと思っていることがバラバラ。

業務指針の改定や人口動態と関連した医療体制の変化、志望者の減少、若年者のコミュニケーション力・社会性の減退、会員の当事者意識の欠如など課題は山積みかと思いますが、健全な運営と、会員の資質向上、会の盛衰を願うところ。この事も何卒よろしく願いいたします。

ご多忙中とは思いますが、一刻も早く業務指針を作成していただき、法律を遵守した業務の推進をお願いしたい。

偏見もありますが、団塊の世代と呼ばれる方が ME という仕事を作ったことは尊敬しますが、その世代の各個人では医者より偉いや医者より優れた能力を持っている自覚があるせいなのか臨床工学技士法や業務指針を超越した手技を行い問題となるケースでも反省をせず同じことを繰り返しています。黎明期を支えたのは充分わかりますが、その時代の内容は教科書となり、今じゃ当たり前の状態に來たり更新されて新たな考えが生まれてます。時間が経てば定年を迎え退職するとは言いますが、そういう方々を報告する場を作って欲しいです。お願いします。

業務指針改定における従事可能業務の追加(業務範囲の拡大)

業務指針の改訂

業務指針を早期に改訂していただきたいです。施設内で業務改善しようとしても業務指針に明記されていない場合、院内決済がとれない

業務指針が更新されない

告示研修の内容により業務内容が増え、院内規定で行っていたものが認められるようになりました。しかしスコープオペレーター業務では、それに付随するカメラポートの挿入や閉鎖時の視野展開などの補助を医師に求められます。業務指針や技士法に明記られておらず、まだ院内規定で行っている業務も多々ある為この実態調査を通して将来的に業務内容詳細を明記していただけることを期待しております。

業務指針の書き方が曖昧なため、判断に困ることが多い。告示研修でできると明記できるようになったことも、今まで実際行われていた内容だったりでいまだグレーなものが多い。カテーテル検査や内視鏡の直接介助はどこまで可能なのか、など。CE が実施しても良い内容などへの医師側の認知度が低いと、タスクシェアをする場合に危険な領域まで任せられることもある。他職種の告示研修などでカテーテル部門で実施可能な内容として明記された部分などは、業務移行が起こる可能性もあるため、CE 側もきちんと明記してほしい。

行っていい業務、行ってはいけない業務を業務指針なのできちんと示してほしい。他職種が思っている業務、他施設で CE が行っている業務と私が理解している臨床工学技士法で行える業務に違いがあるように感じる。

業務指針にない業務のガイドラインの作成、業務範囲の提示。タスクシフトに伴う業務拡大はあるが、実際に臨床工学技士が法的に行える業務範囲が狭いため、実際のタスクシフトに加わることができない。

業務指針に記載されている内容以外に、医師や看護師から求められる業務がある。解釈によっては可能と思われることがあるが、それらの行為について問い合わせできる窓口を設置してほしい。また、今までに問い合わせのあった内容と回答を会員にも共有してほしい。

業務の見直しで期待すること 内視鏡検査での処置介助(生検など)を認めてほしい。腹腔鏡手術での硬性鏡の体内への挿入を認めてほしい。輸液ポンプの操作・ルート確保・抜針の可能な範囲を広げてほしい(救急外来や病棟でも)。

臨床工学技士の業務指針を常にアップデートしていただきたい。個々や病院の判断でグレーゾーンの業務を行うことは危険であり、個人としては資格を失う可能性もある。また、職能団体としては業務指針をアップデートしていないということで、グレーゾーンの業務を黙認している事にも繋がりがかねない。例:心カテ時のインデフ操作等(知らなかったといえればそれまでだが、学会で堂々と発表している施設もあるので)。

早急に業務指針の改定と倫理規範(特に資格外業務)をしっかりと明示してください。

消化器内視鏡の介助業務について、明確にして欲しい。各種の業務指針について、現状を踏まえ更新(改定)して欲しい。

10. 若手技士の育成、支援

臨床工学技士の認知度アップ。

若手の育成とやりがい認知度のアップ。

連盟の認知度アップと必要性の理解。

専門臨床工学技士の合格率が低過ぎる(また取得しても業務や給与に関係なく特典がない)。タスクシェアシフトの内容追加(告知研修内容)、もしくは特定行為認定技士の育成。例)透析条件の指示変更業務、大腿静脈穿刺、短期カテーテル留置等。その他、他病院交流会活動、地域セミナーの増加。

専門認定制度の費用が高額すぎる。その上、合格率が低すぎる。明らかに敬遠している受験者数であるのに改善がみられない。そもそも資格取得しても全く給料等に反映されないのが大半であるため、ただの自己満足の資格であるにもかかわらず高額である事を理解していない。eラーニングの内容も試験内容と全く離れており、スペシャリストを育成するための講習会であるのに役に立たない。何のための講習費用なのか全く理解できない。ここまでくると運営費用集めとしか思えず詐欺まがいである。早急に費用および内容の改訂が必要。

属性を収集することが目的になっており、分析が全くできていない。回答数を上げることは精度を上げているだけ。予測分析は既にどの分野でも取り入れているので行うべき。CE が最も弱いのは学術ではない分野の研究者がいない(医療政策学、行動経済学等)ために診療報酬などのアセスメントが行われていないこと、告示研修に一生懸命なばかりに他職種に比べ 5 年以上は進歩が遅れている。研究者を育成することが CE の職種的な魅力度に繋がることに気づいて欲しい。

認定に関わる研修会の回数が少ない、地方からの出張が厳しい、同じ講師ばかり、専門教育より、新人教育が難航している、新人育成のための講座が必要(新卒者、指導者それぞれの講座)。現場での教育に限界を感じる、現場労働者は、教育のプロではない、教育のプロを育成する仕組みが必要。

臨床工学技士としての他分野の職業の斡旋。資産運用の効率化についての勉強会。接遇について。一般企業への研修会と実技接客など。臨床工学技士として新たな知識を増やし応用の利く対応ができること。よく考える新人育成。

看護師の人材不足のより、CE が新たに任される事も多くなり後進の育成にもっと力を入れるべき。自身の子が中高生である事もあり実感しているが、中高生向けの職業紹介に力を入れて欲しい。

中学生の職業体験を毎年受け入れているが、臨床工学技士を知ってもらうため自作のチラシを配っている。看護協会のように配布できるクリアファイルとかありませんか？

認定・専門のセミナーについて数年前まではセミナーのテキストを紙ベースで配布してくれていたが、受講料が同じにもかかわらず現在 PDF になっている。そこそこのお金を取ってそのような認定試験を開催するのであれば、テキストは PDF 形式ではなく紙ベースで配布するべきだと思う。それが難しいならば PDF の人は値段を安くする、または追加料金で紙ベースのテキストを購入できるようにしてほしい。認定・専門制度がより専門性の高い CE を育成するためのものなら、しっかり勉強できるように日臨も考えてほしい。切にお願いします。

少子高齢化と医療環境の変化に対応するため、医療 DX と AI 技術を活用できる人材育成が求められる。研修プログラムや講習会の充実、eラーニングの導入を検討していただきたい。

透析患者の減少に伴う業務の変化に備え、職域拡大を支援し、多様な医療機器の管理に関する研修を強化することが重要である。

医療 DX と AI の導入、業務の変化に対応する人材育成と職域拡大が臨床工学技士の発展に不可欠であると考え。

地域ごとにぎゅぎゅり分けた会誌の追加(例えば北海道、東北、北陸、中部、関東、関西、山陰以西、九州、沖縄)学会やセミナー情報の拡散・周知に力を注ぐというアイデアはどうでしょうか？ 各都道府県の臨床工学技士会の役割ともかぶるが、大阪在住ならば、兵庫・京都・奈良・和歌山・三重などの近隣のアクセスが良く学会には参加できるが、学会情報が少ないという問題点がある。各都道府県の技士会HPまでのぞきに行く人間は少ないはずなので定期刊行物でそのあたりがカバー出来れば若手のスキルアップや県をまたいだ技士の交流が活発化する。

当院の CE は時間外緊急業務に関してすべてオンコール対応(いわゆる宅直)を無償で行っており、透析、ME、心カテ、人工心臓がある程度の頻度であるため、CE の負担が大きい。不満を持つ若手も多い。夜勤体制へ移行することでワークライフバランスを保たれると考えている。

セミナーや資格に関して、勉強させていただいた私は、非常に技士会の大切さが認識できたが、各病院の上司となる方々は管理する側へ考え方なども変わったためか、技士会の重要性や学術面において不勉強であるように見受けられる。そのためか、技士会に関する話題は全く聞かず、若手は、ただ業務に追われているように見受けられる。日本臨床工学技士会は地方の技士会と共に、それら上の立場の方々とのコミュニケーションが必要であるように感じる。

政治活動は CE を長く守るために非常に大事です。連盟の加入をもっと勧めるべき。しかし若手には分かりません。都道府県の技士会に入会後に日臨工へ入会となるが、どこかの段階で申込を同時に済ませるぐらいにしないと増えない。申

込用紙に連盟に入るにチェックを付けるぐらい簡単になりませんか。

人工心肺業務に関する認定もそろそろ作るべきではないか。

他学会との兼合いもあるのは推察できるが、人工呼吸器や透析などは他学会と共存する形で認定ができていながらもかわらず、体外循環のみ実現していないのは少し異常な状況に映る。また、この件に関しては、若手技士からも質問をされるので、学会としてどの様に考えているのか、今後どのように整備して行くのか、一度情報発信しても良いのではないか。

若手にとって認定制度が取得者の自己満足となってしまうている。先に述べた、診療報酬加算など病院の収益、または施設基準の取得・維持など医療機能の確保に貢献できるもの、厚労省の医療に関する広告が可能な資格に追加されるよう働きかけをお願いする。他職種への認知を深めるため、専門・認定臨床工学技士が職場でどのような取り組みをしているか紹介する記事の配信などを行っていただきたい。名札等に取り付けられるバッジも作成していただきたい。

学会の参加費が高く感じる。(特に若手 CE は収入も少なく、安くしてほしいと思う。)

デバイス系の認定資格を導入してほしい。若手 CE の勉強できる教材としても有効だと思う。

今後重要となってくる若手や中堅層を対象とした短い時間で視聴ができる業務に関する動画のコンテンツがあればいいと思います。また、長く働きやすい環境を整えるための委員会やハラスメントの相談などを気軽にできる第3者委員会などの設置、罰則等の整備などしていただけたらいいかと思います。若手が働きやすく離職もないような環境をお願いしたいと思います。

専門臨床工学技士取得者に対するメリットが少なすぎる。

取得者に対して学会への参加費の削減や、学術集会等の際に座長やコメンテータなどの役割を積極的に与えるなど技士会として見える形のアクションが欲しい。取得から維持するまでに、受験するための講義受講費、試験受験費、合格後の申請費用、更新費用、トータルで10万円程度の出費が予想される。受験することで知識の補強となることは間違いないが、それ以上のメリットを感じることが出来ない環境において、若手スタッフに対して取得を積極的に進めることは出来ない。

資格取得やセミナー等の参加費の支援等

臨床工学技士の立場向上

認定資格等の金銭的支援など

11. 業務実態報告について

アンケートは3年～5年に1回にしてください。

本調査に対する意見です。

職能団体であるので、病院に勤める技士を対象とするアンケート構成になるのはやむを得ないと思いますが、それ以外の企業や大学、養成校等に勤務する技士の業務内容についても調査分析する必要があると考えております。これらの職種に就く技士の方々も課題を抱えているかと存じます。是非とも技士会として把握していただき、支援することをご検討頂ければ幸いです。

多くの会員が在籍していますがアンケートの回答率が低い等、意識の高さ低さが顕著だと思います。

臨床工学技士会に在籍することのメリットを色々増やしていただきたいです。よろしくお願いいたします。

自分の周囲にプリバドを全く使えてない人が多いとお知らせ等を何も知らない人が多いです。

プリバドをもっとたくさん使えるように、スケジュール機能や通知機能があると個人個人で使いやすいと思うのですが、難しいでしょうか。

また、試験情報等 自分の気になる分野のみのお知らせをピックアップして受け取れたり、自分の試験の更新点数の掲示などがあればよりアクセス数も増えるのでは無いかと思います。

アクセス数が増えれば自ずとお知らせやアンケートを目にする人も増えて回答数も増えるのではないかと思います。

どこにアンケートがあるのか分かりにくいときがあります。

アンケートの結果や国に要望を提出した結果を教えてください。

何回かアンケートには答えているが進展がないため、効果が出ているのか疑問である。

アンケートにもあった各施設での副業の許可や、管理職のマネジメントスキル向上等の専門分野外の学習機会の普及には、技士会の後押しが必須であると考えます。

時代の流れにあった変革とその加速を期待する。

人工心肺業務の待機体制や緊急体制のアンケート、実態を調査して明るみにしてほしい。陰ながら自分を犠牲にして耐えている人がたくさんいます。このような人達のおかげで病院は成り立っています。

昨年のアンケートまとめで、紙媒体のたより廃止、日本と都道府県の技士会への同時入会廃止など多くの意見が寄せられていたのに、何の動きが無かったのは残念です。このアンケートは意見をまとめて貼り付けるのみで、何の意味も無いことが分かりました。

また、エコー下だからと言う名目で、皮静脈から注射を入れたり、頸静脈からルートを取っていた臨床工学技士が居たのですが、技士会の方で啓発活動をした方が良いのではないのでしょうか。

現場で実際に行われている業務において、法的に実施が許可されるかどうか不明瞭な内容がたくさんあると感じる。学会に問い合わせをしても、施設にお任せするなどの回答ではっきりとした回答が得られない。

こういったアンケートを活用して、現場でグレーとされているような業務を吸い上げて、個々に見解を示してほしい。やるかやらないかを施設に任せるのは無責任と思われる。はっきり断れる理由が無いと、施設によっては、CEとは全く関係のない業務を任される事になりうる。

業務実態調査の結果を開示してほしい

今回の業務実態報告含め、ホームページを利用するものがリニューアルしても操作しにくい。

・診療報酬に関わることなど認定・専門臨床工学技士取得に対する旨みが欲しい。

・業務拡大も大事かと思いますがその分の待遇改善も日臨工から訴えてほしい。

・業務実態報告について、必要なこととは思いますがもう少しコンパクトにしていいただけると解答率が上がるのではないかと思います。時間がかかると面倒になる人も多いかと思います。

業務実態調査をしたことでどれくらい我々に還元されるのか知りたいと思っている。

なぜ消化器内視鏡が業務指針も出ているにもかかわらず、技士が医師の介助に携わるのがグレーになるのかわからない。

発展するために新しい人を入れることも大切だと思うが、現在声を上げている CE を大切にしたい方がいいのではないかなと思う。

臨床工学技士の業務実態調査を実施する中で、臨床現場で働く臨床工学技士の実態の把握は大切であると思うが、養成校で教育に携わる臨床工学技士についても興味を持っていただきたい。今後、「どのような臨床工学技士を育てていくのか」、「進路の選択で臨床工学技士を選んでもらえるように、職業の認知度や PR 活動をどのように進めていくのか」をともに考えていただきたい。

いつも応援してますし、感謝しています。引き続き、よろしくお願いいたします。業務実態報告について、一時保存がありがたかったです。ただ、以下の点が改訂していただきたいです。・「次へ」を毎回カーソルでクリックするのが大変なので、Tab キーなどですぐに選択できるようにしていただけると嬉しいです。・呼吸治療を施設代表で入力する際に、呼吸療法でも急性期と慢性期を想定した設問がほしいです。・施設代表の入力ではフリー欄がほしいです。・この欄の字数制限があり、入力ができません。お願いします。

業務実態報告の設問が読みにくい。

端末によっては一時保存できず最初からやり直し。

e-ブリバドの名称が分かりにくい。

業務実態調査を依頼するため、e-ブリバドをお願いしているが認知度が低い。

一度改称することで認知度向上を図るべきと考えます。

毎年の業務実態調査をやめて欲しい。できれば5年ごと、せめて2～3年ごとの調査にして欲しい。毎年だと新鮮味がなく、回答数も多いのでただ面倒としか感じない。

本年、初めて、業務実態調査の施設調査担当をさせていただきました。

報告方法について、個人報告はこの形式でも問題ないと思いますが、施設報告など他の報告事項に関しては施設代表者一人では回答しきれない項目が多くあります。それぞれの業務の担当者に内容を確認したいのですが、現状の調査方法では回答を進めていかないと設問が見れず、一緒に作業をする必要があります。

質問項目と回答の選択種類を一覧で印刷できるようなPDFを付けていただけると、次回以降とても有り難いと感じました。

2. 業務実態調査報告 2024 施設報告

問1 臨床工学技士の施設調査について、必要に応じて追加調査にご対応いただけますか。(単一回答)
目的：厚生労働省などから詳細情報を求められることが多くあるため、追加調査の協力施設を把握する。
定義：施設調査結果などに応じて、新たな記述式アンケート調査や聞き取り調査などの追加調査に協力するか可否を選択してください。

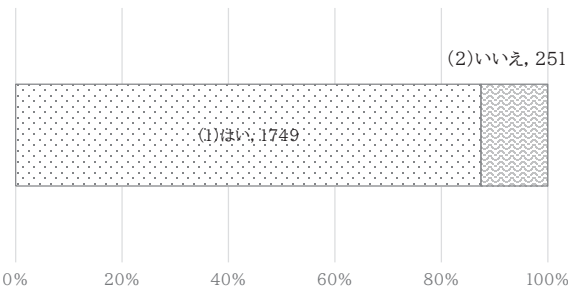
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：2,000

項目	n	割合
(1)はい。追加調査に協力的。	1,749	87.5%
(2)いいえ。追加調査に協力的でない。	251	12.6%

解説：必要に応じて追加調査に対応いただける施設は、1,749 施設 88%であった。

問1 臨床工学技士の施設調査について、必要に応じて追加調査にご対応いただけますか。(単一回答) n=2,000



問2 お勤め先について選択してください。(単一回答)

目的：臨床工学技士の所属施設の把握，所属別の母数となる。

定義：勤務先の機関を選択して下さい。※主な業務から所属を選択して下さい。

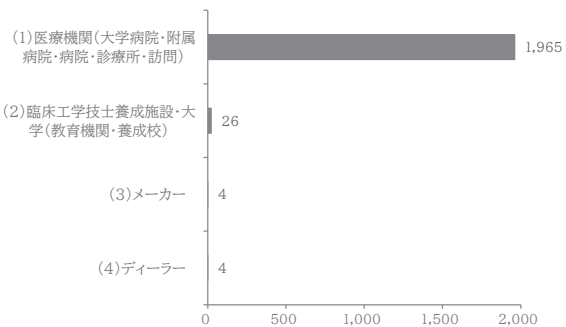
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,999

項目	n	割合
(1)医療機関(大学病院・附属病院・病院・診療所・訪問)	1,965	98.3%
(2)臨床工学技士養成施設・大学(教育機関・養成校)	26	1.3%
(3)メーカー	4	0.2%
(4)ディーラー	4	0.2%

解説：臨床工学技士の所属施設は、医療機関が最も多く 98%，次いで臨床工学技士養成施設・大学 1%であった。

問2 お勤め先について選択してください。(単一回答) n=1,999



問3 医療機関勤務施設の設置主体を選択してください。(単一回答)

目的：設置主体別の分析調査。

定義：医療機関の所属母体名を選択して下さい。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,919

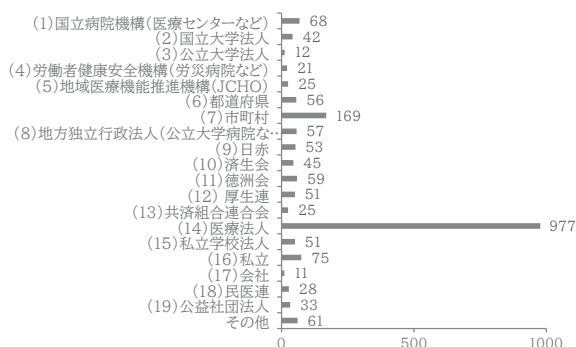
項目	n	割合
(1)国立病院機構(医療センターなど)	68	3.5%
(2)国立大学法人	42	2.2%
(3)公立大学法人	12	0.6%
(4)労働者健康安全機構(労災病院など)	21	1.1%
(5)地域医療機能推進機構(JCHO)	25	1.3%
(6)都道府県	56	2.9%
(7)市町村	169	8.8%
(8)地方独立行政法人(公立大学病院など)	57	3.0%
(9)日赤	53	2.8%
(10)済生会	45	2.3%
(11)徳洲会	59	3.1%
(12)厚生連	51	2.7%
(13)共済組合連合会	25	1.3%
(14)医療法人	977	50.9%
(15)私立学校法人	51	2.7%
(16)私立	75	3.9%
(17)会社	11	0.6%
(18)民医連	28	1.5%
(19)公益社団法人	33	1.7%
その他	61	3.2%

その他 社会福祉法人：8,公益財団法人：8,社会医療法人：7,公益社団法人：2,一般財団法人：7,防衛省：3,法務省：2,個人事業主：2,他。

解説：医療機関勤務施設の設置主体は、医療法人が最も多く51%，次いで市町村9%，私立4%であった。

問3 医療機関勤務施設の設置主体を選択してください。

(単一回答) n=1,919



問4 医療機関の区分を選択してください。(単一回答)

目的：病院，クリニック勤務などの状況を確認する。

定義：病院（入院床20床以上），有床診療所（入院床1床～19床以下），無床診療所（入院床0）とする。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,952

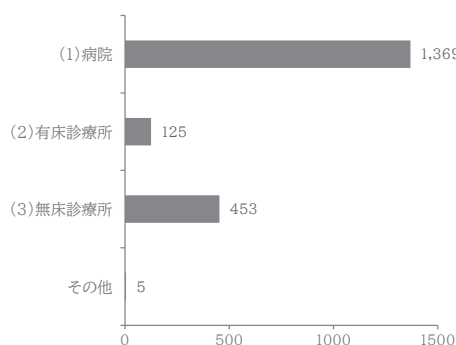
項目	n	割合
(1)病院	1369	70.1%
(2)有床診療所	125	6.4%
(3)無床診療所	453	23.2%
その他	5	0.3%

その他 医療福祉施設:1, 株式会社:1, 重症心身障害者施設:1, 両方:1, 老健施設, 介護医療院を併設:1.

解説：医療機関の区分は，病院が最も多く70%，次いで無床診療所23%であった。

問4 医療機関の区分を選択してください。(単一回答)

n=1,952



問5 許可一般病床数を選択してください。

目的：一般病床数別のCEの分布や解析に使用する。

定義：許可一般病床数を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

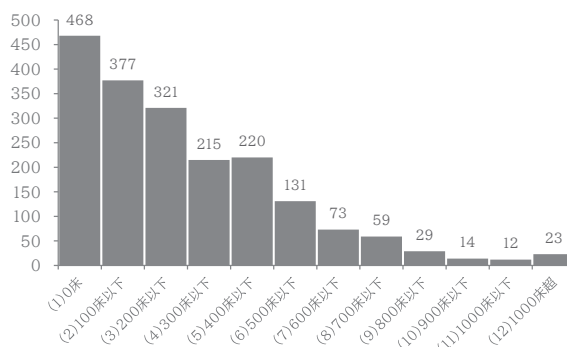
有効回答数：1,942

項目	n	割合
(1)0床	468	24.1%
(2)100床以下	377	19.4%
(3)200床以下	321	16.5%
(4)300床以下	215	11.1%
(5)400床以下	220	11.3%
(6)500床以下	131	6.7%
(7)600床以下	73	3.8%
(8)700床以下	59	3.0%
(9)800床以下	29	1.5%
(10)900床以下	14	0.7%
(11)1000床以下	12	0.6%
(12)1000床超	23	1.2%

解説：CEの所属施設の一般病床数は，0床が最も多く24%，次いで100床以下は19%，200床以下は17%であった。一方で1,000床を超える施設は23施設あった。

問5 許可一般病床数を選択してください。

n=1,942



問6 許可療養病床数を選択してください。

目的：療養病床数別のCEの分布や解析に使用する。

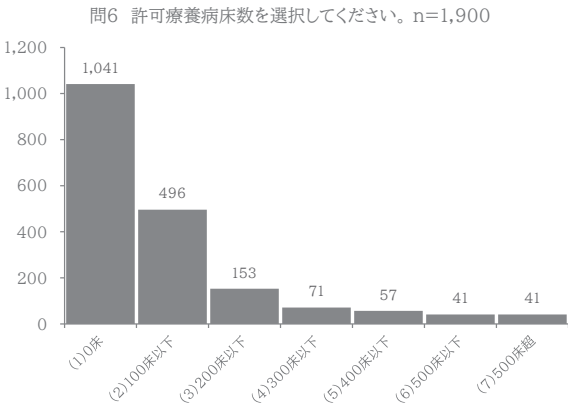
定義：許可療養病床数を選択してください。※無床診療所は0になります。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,900

項目	n	割合
(1)0床	1,041	54.8%
(2)100床以下	496	26.1%
(3)200床以下	153	8.1%
(4)300床以下	71	3.7%
(5)400床以下	57	3.0%
(6)500床以下	41	2.2%
(7)500床超	41	2.2%

解説：CEの所属施設の療養病床は、0床が最も多く55%，次いで100床以下は26%であった。



問7 臨床工学技士配置数（常勤換算）を記載してください。（半角数値のみ）

目的：CEの分布や解析に使用する。

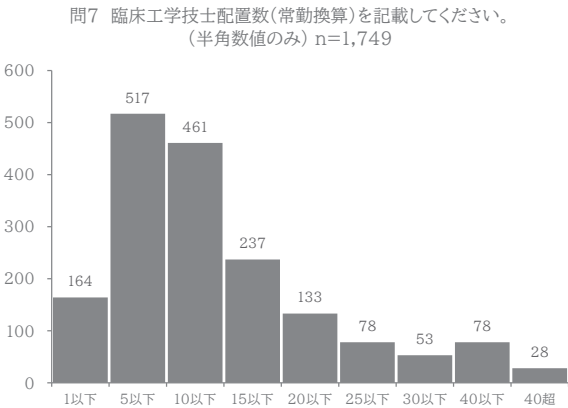
定義：臨床工学技士配置数を常勤換算で記載する。（半角数値のみ）

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,749

項目	n	割合
1以下	164	9.4%
5以下	517	29.6%
10以下	461	26.4%
15以下	237	13.6%
20以下	133	7.6%
25以下	78	4.5%
30以下	53	3.0%
40以下	78	4.5%
40超	28	1.6%

解説：臨床工学技士の配置数は、5以下が最も多く30%，次いで10以下は26%，15以下が14%であった。一方、40超は28施設あった。



問8 臨床工学技士が入職した人数を記載してください。（半角数値のみ）

目的：CEの入職率を把握するため。

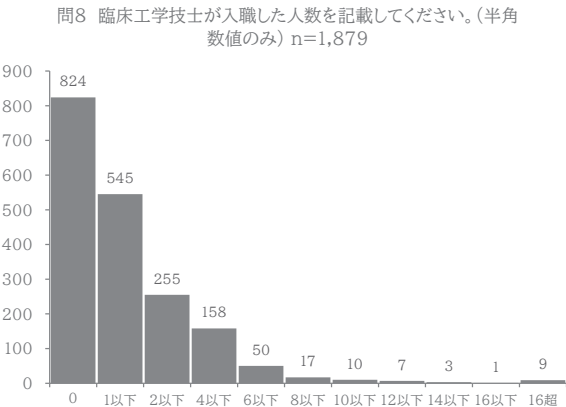
定義：対象期間に入職した臨床工学技士の人数を入力してください。（半角数値のみ）

対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：1,879

項目	n	割合
0	824	43.9%
1以下	545	29.0%
2以下	255	13.6%
4以下	158	8.4%
6以下	50	2.7%
8以下	17	0.9%
10以下	10	0.5%
12以下	7	0.4%
14以下	3	0.2%
16以下	1	0.1%
16超	9	0.5%

解説：昨年度入職した人数について、入職していないが最も多く44%，次いで1以下が29%，2以下が14%であった。一方16超の施設が9施設あった。



問9 臨床工学技士が退職した人数を記載してください。（半角数値のみ）

目的：CEの離職率を把握するため。

定義：対象期間に退職した臨床工学技士の人数を入力してください。（半角数値のみ）

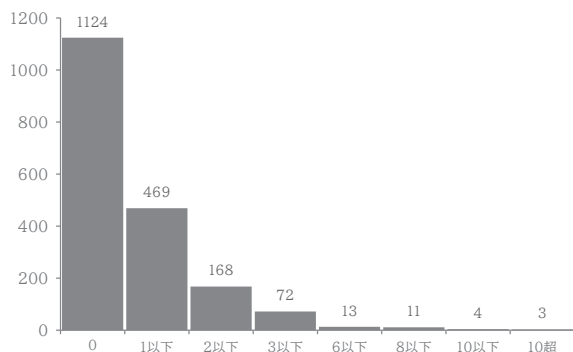
対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：1,864

項目	n	割合
0	1,124	60.3%
1以下	469	25.2%
2以下	168	9.0%
3以下	72	3.9%
6以下	13	0.7%
8以下	11	0.6%
10以下	4	0.2%
10超	3	0.2%

解説：昨年度退職した人数について、退職していないが最も多く 60%，次いで 1 以下が 25%，2 以下が 9%であった。一方 10 超の施設が 3 施設あった。

問9 臨床工学技士の退職した人数を記載してください。(半角数値のみ) n=1,864



問10 臨床工学技士の勤務形態を選択して下さい。(複数回答)

目的：勤務形態の調査。

定義：勤務体系・勤務状況を把握する。深夜勤務とは午後 10 時から午前 5 時まで（場合によっては午後 11 時から午前 6 時まで）とする。

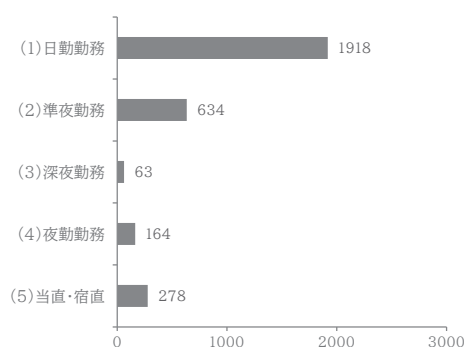
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,933

項目	n	割合
(1)日勤勤務	1,918	99.2%
(2)準夜勤務	634	32.8%
(3)深夜勤務	63	3.3%
(4)夜勤勤務	164	8.5%
(5)当直・宿直	278	14.4%

解説：勤務形態は、日勤勤務が最も多く 99%であった。当直・宿直は 14%，夜勤勤務は 9%であった。

問10 臨床工学技士の勤務形態を選択して下さい。(複数回答) n=1,933



問11 宅直勤務(オンコール)を実施していますか。また平日の 1 回の宅直手当の金額を教えてください。(単一回答)

目的：宅直勤務と宅直手当の実態を把握する。

定義：宅直勤務と宅直手当の状況について該当する項目を選択してください。

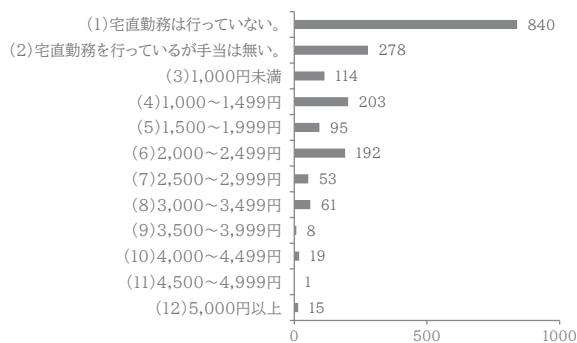
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,879

項目	n	割合
(1)宅直勤務は行っていない。	840	44.7%
(2)宅直勤務を行っているが手当は無い。	278	14.8%
(3)1,000 円未満	114	6.1%
(4)1,000～1,499 円	203	10.8%
(5)1,500～1,999 円	95	5.1%
(6)2,000～2,499 円	192	10.2%
(7)2,500～2,999 円	53	2.8%
(8)3,000～3,499 円	61	3.2%
(9)3,500～3,999 円	8	0.4%
(10)4,000～4,499 円	19	1.0%
(11)4,500～4,999 円	1	0.1%
(12)5,000 円以上	15	0.8%

解説：平日に宅直勤務(オンコール)を行っていないが 45%，行っている施設で一番金額が多い宅直手当は 1,000～1,499 円が 11%，2,000～2,499 円が 10%であった。また行っているが手当が無い施設が 15%であった。

問11 宅直勤務(オンコール)を実施していますか。また平日の 1 回の宅直手当の金額を教えてください。(単一回答) n=1,879



問12 宅直勤務（オンコール）を実施していますか。
また、土日祝日の1回の宅直手当の金額を教えてください。（単一回答）

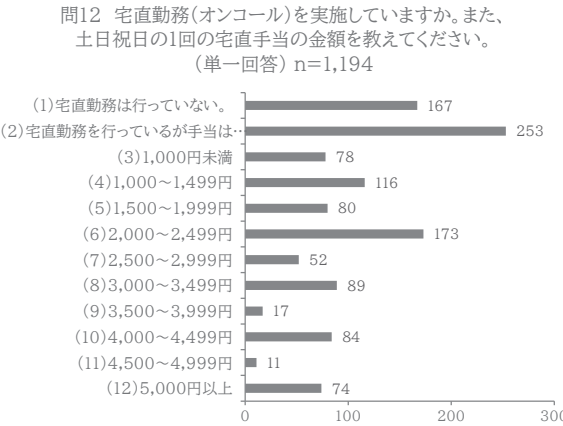
目的：宅直勤務と宅直手当の実態を把握する。
定義：宅直勤務と宅直手当の状況について該当する項目を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,194

項目	n	割合
(1)宅直勤務は行っていない。	167	14.0%
(2)宅直勤務を行っているが手当は無い。	253	21.2%
(3)1,000円未満	78	6.5%
(4)1,000～1,499円	116	9.7%
(5)1,500～1,999円	80	6.7%
(6)2,000～2,499円	173	14.5%
(7)2,500～2,999円	52	4.4%
(8)3,000～3,499円	89	7.5%
(9)3,500～3,999円	17	1.4%
(10)4,000～4,499円	84	7.0%
(11)4,500～4,999円	11	0.9%
(12)5,000円以上	74	6.2%

解説：土日祝日に宅直勤務を行っていないが14%、
行っている施設で宅直手当の金額帯が多いのは
2,000～2,499円が15%、1,000～1,499円が10%で
あった。また行っているが手当が無い施設が21%
であった。



問13 9月における宅直勤務（オンコール）者の
1日平均員数を選択してください。

目的：1日平均の宅直勤務者数を把握する。
定義：9月1日～9月30日の間に実施した宅直勤
務の1日平均人数を選択してください。小数点以下
は四捨五入してください。

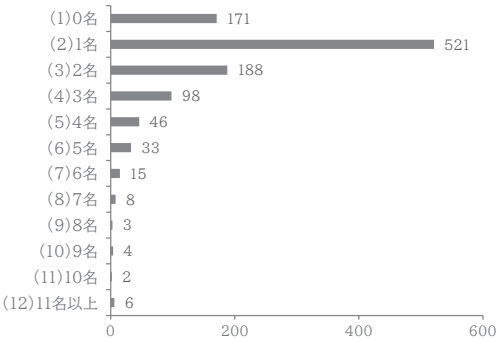
対象：2024年9月1日～9月30日

有効回答数：1,095

項目	n	割合
(1)0名	171	15.6%
(2)1名	521	47.6%
(3)2名	188	17.2%
(4)3名	98	8.9%
(5)4名	46	4.2%
(6)5名	33	3.0%
(7)6名	15	1.4%
(8)7名	8	0.7%
(9)8名	3	0.3%
(10)9名	4	0.4%
(11)10名	2	0.2%
(12)11名以上	6	0.5%

解説：9月における宅直勤務（オンコール）者の1
日平均員数は1名が最も多く48%、次いで2名の
17%であった。11名以上の施設が6施設あった。

問13 9月における宅直勤務（オンコール）者の1日平均員数
を選択してください。 n=1,095



問14 当直勤務（宿直勤務）の勤務状況について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答）

目的：当直勤務の状況を把握する。

定義：当直勤務の勤務状況について該当する項目をすべて選択してください。

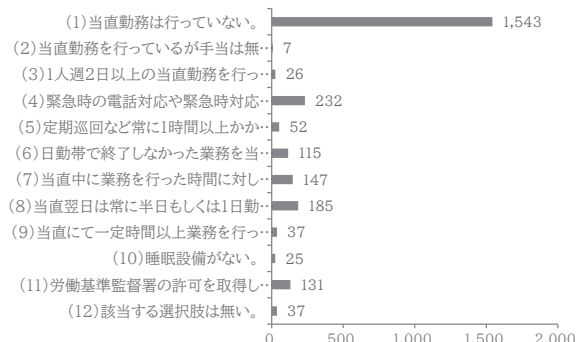
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,887

項目	n	割合
(1)当直勤務は行っていない。	1,543	81.8%
(2)当直勤務を行っているが手当は無い。	7	0.4%
(3)1人週2日以上当直勤務を行っている。	26	1.4%
(4)緊急時の電話対応や緊急時対応が主な業務である。	232	12.3%
(5)定期巡回など常に1時間以上かかるルーチン業務がある。	52	2.8%
(6)日勤帯で終了しなかった業務を当直者が行っている。	115	6.1%
(7)当直中に業務を行った時間に対して超過勤務手当が支給される。	147	7.8%
(8)当直翌日は常に半日もしくは1日勤務免除となる。（年休取得によるもの含む）	185	9.8%
(9)当直にて一定時間以上業務を行った際、当直翌日が半日もしくは1日勤務免除となる。（年休取得によるもの含む）	37	2.0%
(10)睡眠設備がない。	25	1.3%
(11)労働基準監督署の許可を取得している。	131	6.9%
(12)該当する選択肢は無い。	37	2.0%

解説：当直勤務（宿直勤務）の勤務状況について、行っていないが82%と最も多く、次いで緊急時の電話対応や緊急時対応が主な業務と答えた施設が12%であった。

問14 当直勤務（宿直勤務）の勤務状況について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答） n=1,887



問15 当直勤務（宿直勤務）の手当の金額を教えてください。（単一回答）

目的：当直手当の実態を把握する。

定義：当直（宿直）勤務の手当について該当する項目を選択してください。

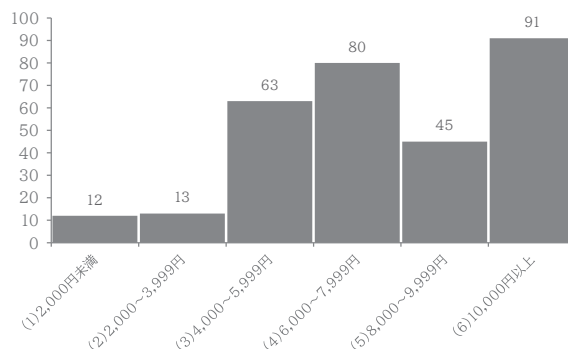
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：304

項目	n	割合
(1)2,000 円未満	12	3.9%
(2)2,000～3,999 円	13	4.3%
(3)4,000～5,999 円	63	20.7%
(4)6,000～7,999 円	80	26.3%
(5)8,000～9,999 円	45	14.8%
(6)10,000 円以上	91	29.9%

解説：当直勤務（宿直勤務）の手当の金額は、10,000円以上が最も多く30%，次いで6,000～7,999円が26%，4,000～5,999円が21%であった。

問15 当直勤務（宿直勤務）の手当の金額を教えてください。（単一回答） n=304



問16 夜勤（準夜勤務・深夜勤務を含む）を実施していますか。また1回の夜勤手当（深夜割増は除く）の金額を教えてください。（複数回答）

目的：夜勤と夜勤手当の実態を把握する。

定義：夜勤と夜勤手当の状況について該当する項目を選択してください。

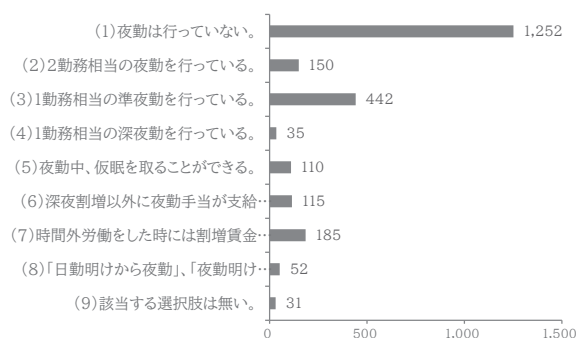
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,892

項目	n	割合
(1)夜勤は行っていない。	1,252	66.2%
(2)2勤務相当の夜勤を行っている。	150	7.9%
(3)1勤務相当の準夜勤を行っている。	442	23.4%
(4)1勤務相当の深夜勤を行っている。	35	1.8%
(5)夜勤中、仮眠を取ることができる。	110	5.8%
(6)深夜割増以外に夜勤手当が支給される。	115	6.1%
(7)時間外労働をした時には割増賃金が支給される。	185	9.8%
(8)「日勤明けから夜勤」、「夜勤明けから日勤」など連続シフトがある。	52	2.7%
(9)該当する選択肢は無い。	31	1.6%

解説：夜勤（準夜勤務・深夜勤務を含む）を実施していますかに対して、行っていないが最も多く66%，次いで1勤務相当の準夜勤を行っているが23%であった。また時間外労働をした時には割増賃金が支給される施設が10%であった。

問16 夜勤（準夜勤務・深夜勤務を含む）を実施していますか。また1回の夜勤手当（深夜割増は除く）の金額を教えてください。（複数回答） n=1,892



問17 夜勤（準夜勤務・深夜勤務を含む）の手当の金額を教えてください。（単一回答）

目的：夜勤と夜勤手当の実態を把握する。

定義：夜勤と夜勤手当について該当する項目を選択してください。

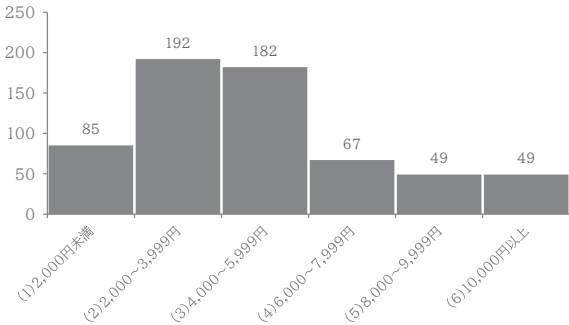
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：624

項目	n	割合
(1)2,000 円未満	85	13.6%
(2)2,000～3,999 円	192	30.8%
(3)4,000～5,999 円	182	29.2%
(4)6,000～7,999 円	67	10.7%
(5)8,000～9,999 円	49	7.9%
(6)10,000 円以上	49	7.9%

解説：夜勤（準夜勤務・深夜勤務を含む）の手当の金額について 2,000～3,999 円が最も多く 31%，次いで 4,000～5,999 円が 29%，2,000 円未満が 14%であった。

問17 夜勤（準夜勤務・深夜勤務を含む）の手当の金額を教えてください。（単一回答）
n=624



問18 所属部門を選択してください。（単一回答）

目的：臨床工学技士部門の独立状況の調査のため。

定義：臨床工学技士の所属部門を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

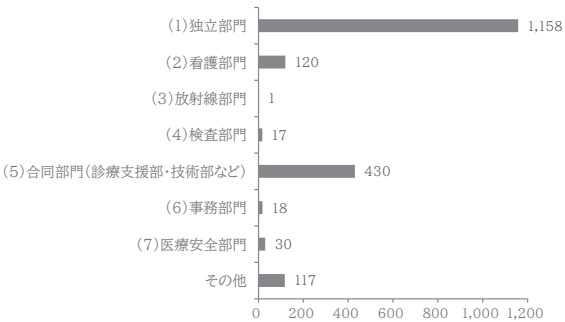
有効回答数：1,891

項目	n	割合
(1)独立部門	1,158	61.2%
(2)看護部門	120	6.3%
(3)放射線部門	1	0.1%
(4)検査部門	17	0.9%
(5)合同部門（診療支援部・技術部など）	430	22.7%
(6)事務部門	18	1.0%
(7)医療安全部門	30	1.6%
その他	117	6.2%

その他 透析センター・室・部門：38、なし：12、診療部：7、手術部・室：6、麻酔科・部：6、臨床工学部：5、医療技術部・診療技術部：5。

解説：所属部門は、独立部門が最も多く 61%であった。次いで合同部門が 23%と多かった。

問18 所属部門を選択してください。（単一回答） n=1,891



問19 臨床工学技士が所属している部署名を選択してください。部署名に選択枝の名称が含まれていればそれを選択してください。（単一回答）

目的：臨床工学技士通称および所属部署名調査のため。（組織強化機能委員会）

定義：所属施設の臨床工学技士の所属している部署名を選択して下さい。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

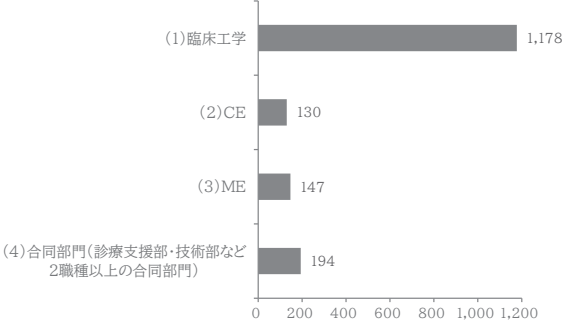
有効回答数：1,848

項目	n	割合
(1)臨床工学	1,178	63.7%
(2)CE	130	7.0%
(3)ME	147	8.0%
(4)合同部門（診療支援部・技術部など2職種以上の合同部門）	194	10.5%
その他	199	10.8%

その他 透析室・センター42、医療機器管理室 16、なし 13、技士部 12、看護部 12、手術室 5、診療部 4、血液浄化部 4、医療機器安全管理室 4、医療安全管理室 3、医療技術部 3、総務課 2。

解説：臨床工学技士が所属している部署名は、臨床工学が最も多く 64%であった。

問19 臨床工学技士が所属している部署名を選択してください。部署名に選択枝の名称が含まれていればそれを選択してください。（単一回答） n=1,848



問20 臨床工学技士の主な通称（呼び名）を選択してください。（単一回答）

目的：臨床工学技士通称および所属部署名調査のため。（組織強化機能委員会）

定義：所属施設の臨床工学技士の主な通称（呼び名）を選択して下さい。

対象：2024年10月1日時点

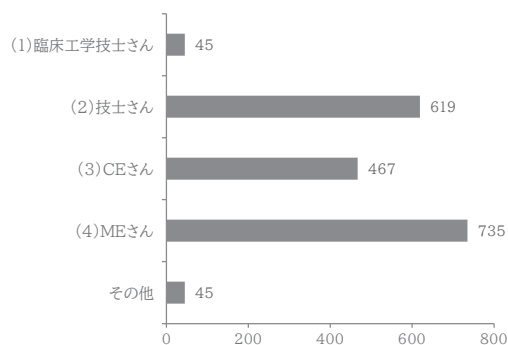
有効回答数：1,911

項目	n	割合
(1)臨床工学技士さん	45	2.4%
(2)技士さん	619	32.4%
(3)CEさん	467	24.4%
(4)MEさん	735	38.5%
その他	45	2.4%

その他 臨床さん:17,CE ME 技士など複数:11,氏名:6,ME から CE に移行中:2,TC:2.

解説：臨床工学技士の主な通称は、ME さんが最も多く 39%であった。次いで技士さん 32%、CE さん 24%であった。

問20 臨床工学技士の主な通称(呼び名)を選択してください。(単一回答) n=1,911



問21 もし所属施設で部署名を変更する場合、その難易度はどの程度でしょうか。（単一回答）

目的：臨床工学技士通称および所属部署名統一について難易度を把握する。（組織強化機能委員会）

定義：臨床工学技士の通称（呼び名）と英語表記を CE に統一について、想定する難易度を選択して下さい。

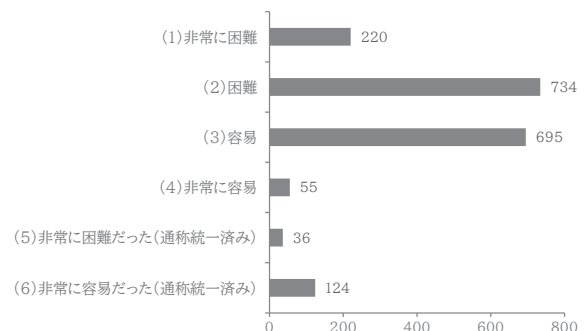
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,864

項目	n	割合
(1)非常に困難	220	11.8%
(2)困難	734	39.4%
(3)容易	695	37.3%
(4)非常に容易	55	3.0%
(5)非常に困難だった(通称統一済み)	36	1.9%
(6)非常に容易だった(通称統一済み)	124	6.7%

解説：所属施設で部署名を変更する場合の難易度について、困難が一番多く 39%であった。次いで容易が 37%と僅差であった。

問21 もし所属施設で部署名を変更する場合、その難易度はどの程度でしょうか。(単一回答) n=1,864



問22 部署名変更できない施設に質問です。日臨工に何を求めるか、またはどうすれば名称変更できると思うか。記載してください。

目的：部署名変更できない施設に対して日本臨床工学技士会に何を求めるか把握するため。

定義：部署名変更できない施設が日本臨床工学技士会に求めることを記載する。また、どうすれば名称変更できると思うかを記載してください。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：547

主な回答

1. 認知度不足

- ・CE という名称が浸透していない。
- ・知名度が圧倒的に低い。
- ・そもそも部署という単位がないのでどうしても出来ない。
- ・臨床工学技士の知名度をあげる。
- ・どうしても知名度が低く難しいとおもいます。病院によっては独立するほどの人数が居ない施設も多い。

2. 慣習・定着

- ・技士さんくらいまでなら呼称変更は可能と思われるが、英語表記になると昔から ME さんと呼んでいる他部門の職員が今更呼び方を変えてくれない点が最大の障壁になる。
- ・20 年以上「ME さん」で通しているので、変更するメリットもないため、当院では変更していない。
- ・ME さんが浸透している。
- ・ME でよい

- ・ME という略称が医療業界に固定された状態で年数が経過している。

3. 上層部・組織の理解不足

- ・臨床工学部の名称を提案したが、理事長が「大袈裟な」と思っている。
- ・部署名変更についての説明と要望書は少なくとも必要、ただ確認していないため詳細は不明
- ・理事長宛に、名称変更の依頼を行って欲しいです。
- ・そもそも変更できないわけではない。理事会などにかけるため手順等で困難である。
- ・日本臨床工学技士会が何かをしても管理者には響かないため期待していない
- ・院長、事務長などの経営者宛てに名称変更の案内を送信・発信してもらいたい。

4. コスト・手続き

- ・ME 機器センターという名称が入っているすべての委員会や院内案内版、ホームページや職員の名札、名刺など変更するものに費用がかかること作業が必要となることは予想される
- ・自治体病院は特に、所属科の名称変更が手続き等で色々面倒みたいで、「透析科」→「臨床工学科」を申し出たが、病院の変革の際まで持ち越したくなった。
- ・名称変更には理由が必要で明確な理由がないと変更できない。また本部申請になるため時間と労力がかかる。
- ・細かい部分は担当していないので不明だが、4 年前に ME 部から CE 部に変更した。現在は施設が新しくなり、壁などの印刷等を変えなければならないので、そういった作業や、付随する費用に対してなぜ変える必要があるのか疑問視されている。

5. 他職種の理解不足

- ・企業の方の我々に対する呼称が『ME』の方が多いと感じる。営業や講演などの折に、『CE』と呼んでくださいとお願いしている。
- ・医師や看護師が古い名称を使用しているのがすべての原因。医師会や看護協会などの他職種学会へ協力を仰ぎ、統一する旨を伝えることが必須である。可能となればそれを理由に院内は容易に改善出来る。
- ・医師を始め各コメディカルの学会へ周知することが大事ではないでしょうか。名称変更には時間がかかると思います。
- ・看護協会へ働きかける。看護師が CE という職種を理解していないまま入職している。

6. 法律・制度

- ・法律で決定してほしい。
- ・技士会だけでなく厚生労働省に呼称を定義してもらう。
- ・日本臨床工学技士会および厚生労働省からの通達
- ・技士会または国として名称等の統一指針を出して頂きたい。＊現状では、技師長⇒技士長への名称変更要望も棄却されている
- ・厚生労働省に働きかけていただき、全国一律で変更することとする旨を通達していただければ良いと思います。

7. ME 機器等の呼称

- ・ME 機器を扱うので ME という名称が昔から浸透している
- ・医療機器に対して ME 機器という呼称を使うことがあるなど、ME という表記が医療現場で使用されないようにならないか
- ・ME 機器という名称がすでに一般的である

8. 独立部署・人員不足

- ・人数が少ないため部署名の必要性を感じない
- ・臨床工学部は組織図上、中央診療支援部門（検査・放射線・リハ）と同列でないとならない。特に CE が少ない施設は事務部門傘下であったり、手術室傘下であったりと不遇な状況にある。
- ・部署名を変更する程、スタッフが定着せず、長くても 3 年でグループ病院に転勤希望、もしくは退職する職員が多くを占めているため、ME 室がなく透析室兼 ME 室となっているため、ME 室が出来れば部署名変更はしやすいのではないかと思います。また、根本的な問題である人員不足を解決して、定着するスタッフが多くなれば、部署名変更も可能になるのではないかと思います。
- ・CE 1 人のみのため、CE 増員希望ですが、病床数に対して配置基準や診療報酬に反映して欲しい。

9. 必要性を感じない

- ・変更できないわけではない。
- ・特になし
- ・ME の呼び名で何ら問題はない
- ・別に名称を拘る必要がない
- ・変更する必要がない。

10. その他

- ・呼び名はともかく、臨床工学技士（CE）という標記が様々な人の目に入るように広報活動
- ・告示研修の終了者を CE、未終了者を ME とすれば良い

- ・日臨工で公式に CE なら CE, ME なら ME と統一すべき
- ・CVITで「コメディカル」を「メディカルスタッフ」に呼び名を変えたように養成学校でも今後どちらかに変えて教えていく統一できたら「臨床工学技士」を認知してもらうのと名前が変わったことを TVCM とか You tube CM 作成したら宣伝になるかも
- ・トップダウンで名称変更をしないと治らないと思う。

問23 血液浄化が実施されていますか。(単一回答)

目的：所属施設の血液浄化の実施割合を把握する。

定義：所属施設において血液浄化を実施しているかを選択して下さい。※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無。

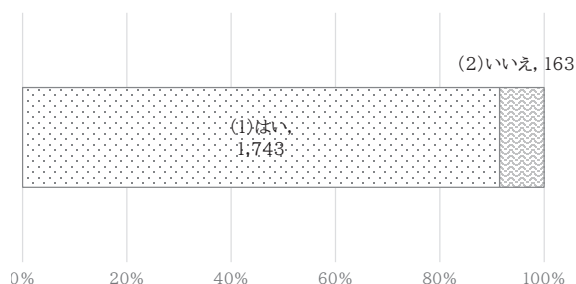
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,906

項目	n	割合
(1)はい	1,743	91.4%
(2)いいえ	163	8.6%

解説：血液浄化が実施されている施設が 91%であった。

問23 血液浄化が実施されていますか。(単一回答)
n=1,906



問24 血液浄化において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

目的：血液浄化における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

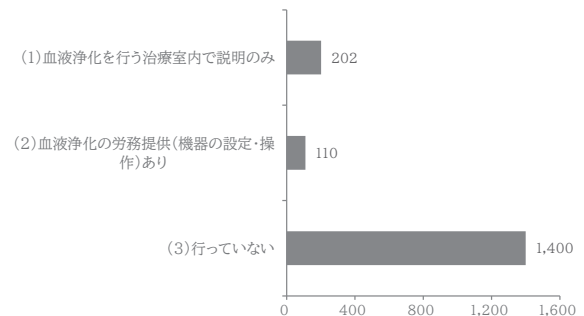
有効回答数：1,712

項目	n	割合
(1)血液浄化を行う治療室内で説明のみ	202	11.8%
(2)血液浄化の労務提供(機器の設定・操作)あり	110	6.4%
(3)行っていない	1,400	81.8%

解説：血液浄化の外部業者（メーカーおよび販売代理店）立ち合いについて、行っていないが 82%であった。

問24 血液浄化において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

n=1,712



問25 呼吸療法が実施されていますか。(単一回答)

目的：所属施設で呼吸療法を実施しているか把握する。

定義：所属施設において呼吸療法を実施しているかを選択して下さい。※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無。

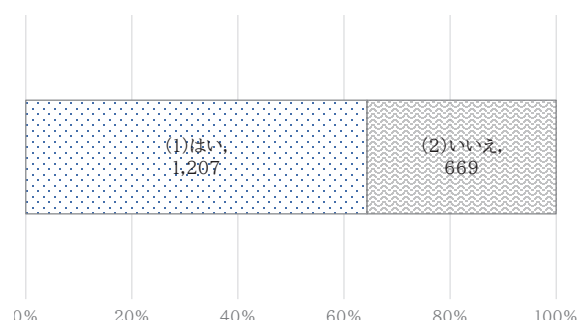
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,876

項目	n	割合
(1)はい	1,207	64.3%
(2)いいえ	669	35.7%

解説：呼吸療法が実施されている施設は 64%であった。

問25 呼吸療法が実施されていますか。(単一回答)
n=1,876



問26 呼吸療法において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

目的：呼吸療法における業者の立ち合い行為を把握する。

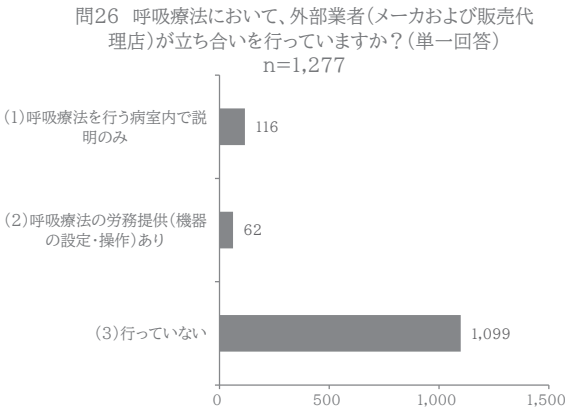
定義：業者の立ち合い行為を選択する。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,277

項目	n	割合
(1)呼吸療法を行う病室内で説明のみ	116	9.1%
(2)呼吸療法の労務提供（機器の設定・操作）あり	62	4.9%
(3)行っていない	1,099	86.1%

解説：呼吸療法の外部業者（メーカーおよび販売代理店）立ち合いについて、行っていないが86%であった。



問27 在宅呼吸療法が実施されていますか。（単一回答）

目的：所属施設で在宅呼吸療法を実施しているか把握する。

定義：所属施設において入院を含む在宅呼吸療法を実施しているかを選択して下さい。※CEの介入有無ではなく施設の実施有無。

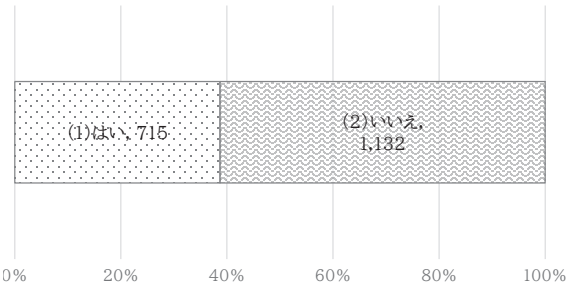
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,847

項目	n	割合
(1)はい	715	38.7%
(2)いいえ	1,132	61.3%

解説：在宅呼吸療法が実施されている施設は39%であった。

問27 在宅呼吸療法が実施されていますか。（単一回答）
n=1,847



問28 在宅呼吸療法において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

目的：在宅呼吸療法における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

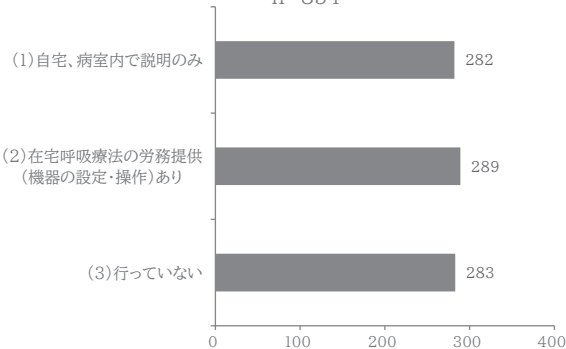
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：854

項目	n	割合
(1)自宅、病室内で説明のみ	282	33.0%
(2)在宅呼吸療法の労務提供（機器の設定・操作）あり	289	33.8%
(3)行っていない	283	33.1%

解説：在宅呼吸療法における外部業者の立ち合いは、自宅病室内の説明のみ33%、在宅呼吸療法の労務提供（機器の設定・操作）あり34%、行っていないは33%であった。

問28 在宅呼吸療法において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）
n=854



問29 集中治療室・救急室（ICU、NICU、ハイケアユニット、救急初療室等）が設置されていますか。（単一回答）

目的：集中治療室の設置実態を把握する。

定義：所属施設の集中治療室の有無を選択して下さい。※次の届出を集中治療室とする。特定集中治療室管理料1～6、ハイケアユニット入院医療管理料、救命救急入院料1～4、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料1～2、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料。

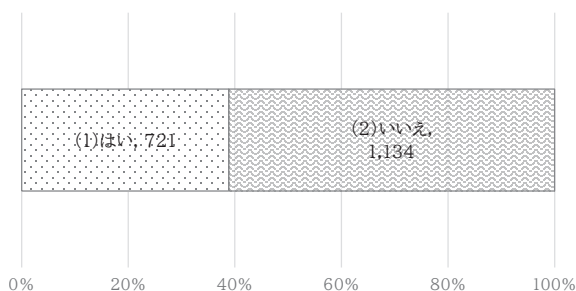
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,855

項目	n	割合
(1)はい	721	38.9%
(2)いいえ	1,134	61.1%

解説：集中治療室・救急室（ICU、NICU、ハイケアユニット、救急初療室等）が設置されている施設は39%であった。

問29 集中治療室・救急室（ICU、NICU、ハイケアユニット、救急初療室等）が設置されていますか。（単一回答）
n=1,855



問30 集中治療室・救急室（ICU、NICU、ハイケアユニット、救急初療室等）において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか。（単一回答）

目的：集中治療室・救急室（ICU、NICU、ハイケアユニット、救急初療室等）における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

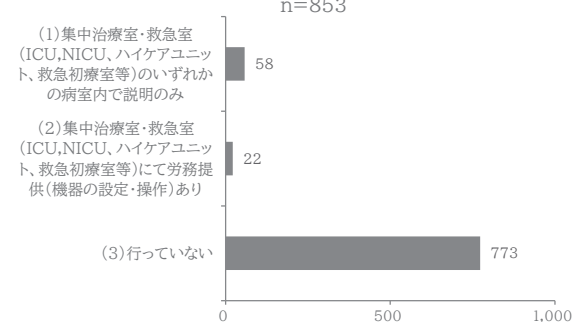
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：853

項目	n	割合
(1)集中治療室・救急室（ICU、NICU、ハイケアユニット、救急初療室等）のいずれかの病室内で説明のみ	58	6.8%
(2)集中治療室・救急室（ICU、NICU、ハイケアユニット、救急初療室等）にて労務提供（機器の設定・操作）あり	22	2.6%
(3)行っていない	773	90.6%

解説：集中治療室・救急室（ICU、NICU、ハイケアユニット、救急初療室等）において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っている施設は91%であった。

問30 集中治療室・救急室（ICU、NICU、ハイケアユニット、救急初療室等）において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか。（単一回答）
n=853



問31 心臓・血管カテーテル室はありますか。（単一回答）

目的：所属施設の心臓・血管カテーテル室の有無を把握する。

定義：心臓・血管カテーテル室の有無を選択して下さい。※Hybridを含める。

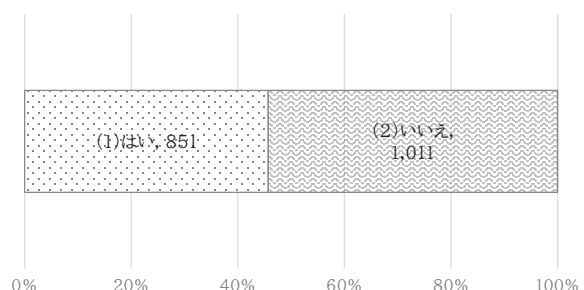
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,862

項目	n	割合
(1)はい	851	45.7%
(2)いいえ	1,011	54.3%

解説：心臓・血管カテーテル室が設置されている施設は、46%であった。

問31 心臓・血管カテーテル室はありますか。（単一回答）
n=1,862



問32 心臓・血管カテーテル治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

目的：心臓・血管カテーテル治療における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

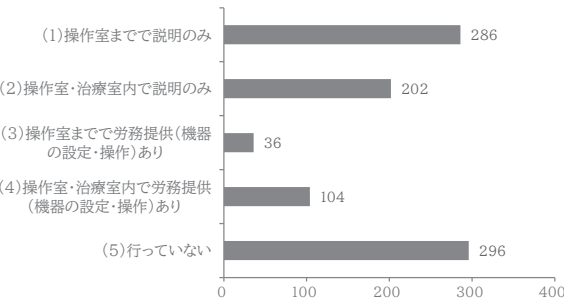
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：924

項目	n	割合
(1)操作室までで説明のみ	286	31.0%
(2)操作室・治療室内で説明のみ	202	21.9%
(3)操作室までで労務提供(機器の設定・操作)あり	36	3.9%
(4)操作室・治療室内で労務提供(機器の設定・操作)あり	104	11.3%
(5)行っていない	296	32.0%

解説：心臓・血管カテーテル治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていないと答えた施設が一番多く 32%，次いで操作室までで説明のみが 31%であった。

問32 心臓・血管カテーテル治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？
（単一回答） n=924



問33 不整脈アブレーション治療を実施していますか。（単一回答）

目的：所属施設で不整脈アブレーション治療を実施しているか把握する。

定義：所属施設で不整脈アブレーション治療を実施しているかを選択して下さい。

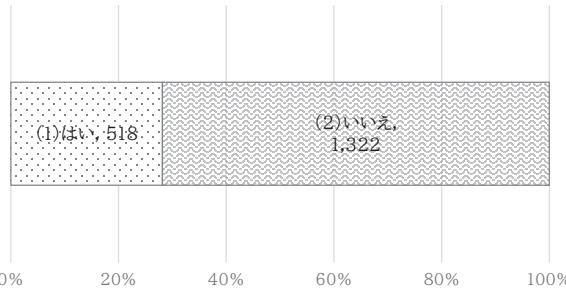
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,840

項目	n	割合
(1)はい	518	28.2%
(2)いいえ	1,322	71.8%

解説：不整脈アブレーション治療を実施している施設は 28%であった。

問33 不整脈アブレーション治療を実施していますか。
（単一回答） n=1,840



問34 不整脈アブレーション治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

目的：不整脈アブレーション治療における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

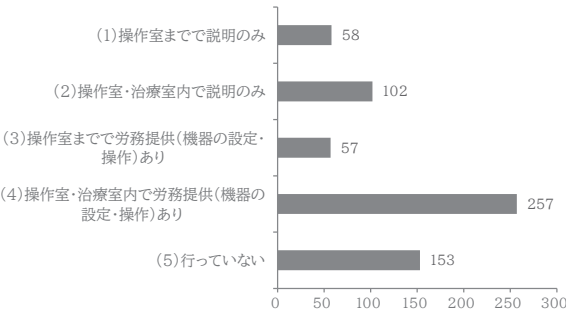
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：627

項目	n	割合
(1)操作室までで説明のみ	58	9.3%
(2)操作室・治療室内で説明のみ	102	16.3%
(3)操作室までで労務提供(機器の設定・操作)あり	57	9.1%
(4)操作室・治療室内で労務提供(機器の設定・操作)あり	257	41.0%
(5)行っていない	153	24.4%

解説：不整脈アブレーション治療の外部業者（メーカーおよび販売代理店）立ち合いについて、操作室・治療室内で労務提供（機器の設定・操作）ありが一番多く 41%，次いで行っていないが 24%であった。

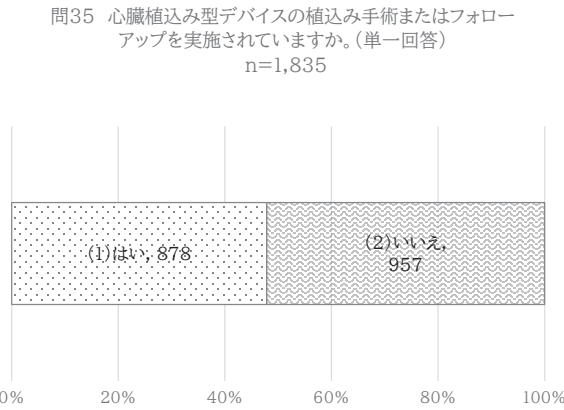
問34 不整脈アブレーション治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？
（単一回答） n=627



問35 心臓植込み型デバイスの植込み手術または
フォローアップを実施されていますか。(単一回答)
目的：所属施設で心臓植込み型デバイスの植込み手術
またはフォローアップを実施しているか把握する。
定義：所属施設で心臓植込み型デバイスの植込み手術
またはフォローアップを実施しているかを選択して
下さい。※CEの介入有無ではなく施設の実施有無。
対象：2024年10月1日時点
有効回答数：1,835

項目	n	割合
(1)はい	878	47.8%
(2)いいえ	957	52.2%

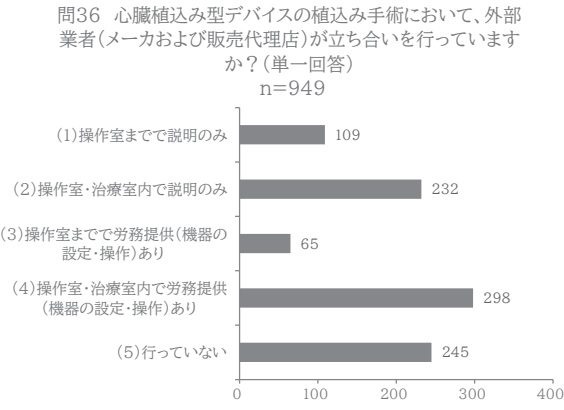
解説：心臓植込み型デバイスの植込み手術または
フォローアップを実施している施設は48%であった。



問36 心臓植込み型デバイスの植込み手術におい
て、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合
いを行っていますか？(単一回答)
目的：心臓植込み型デバイスの植込み手術における
業者の立ち合い行為を把握する。
定義：業者の立ち合い行為を選択する。
対象：2024年10月1日時点
有効回答数：949

項目	n	割合
(1)操作室までで説明のみ	109	11.5%
(2)操作室・治療室内で説明のみ	232	24.4%
(3)操作室までで労務提供(機器の設定・操作)あり	65	6.8%
(4)操作室・治療室内で労務提供(機器の設定・操作)あり	298	31.4%
(5)行っていない	245	25.8%

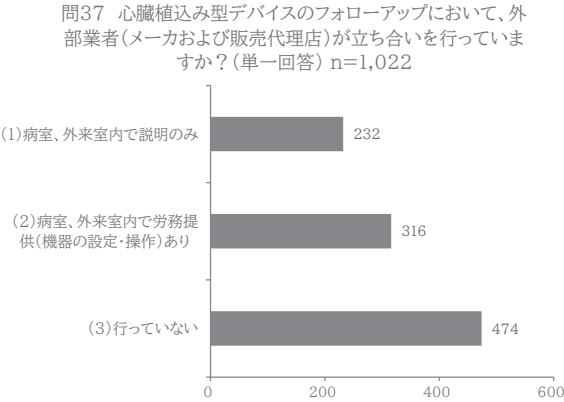
解説：心臓植込み型デバイスの植込み手術の外部
業者（メーカーおよび販売代理店）立ち合いについ
て、操作室・治療室内で労務提供（機器の設定・操
作）ありが一番多く31.4%，次いで行っていない
が25.8%，操作室・治療室内で説明のみが24.4%
であった。



問37 心臓植込み型デバイスのフォローアップにお
いて、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立
ち合いを行っていますか？(単一回答)
目的：心臓植込み型デバイスのフォローアップにお
ける業者の立ち合い行為を把握する。
定義：業者の立ち合い行為を選択する。
対象：2024年10月1日時点
有効回答数：1,022

項目	n	割合
(1)病室、外来室内で説明のみ	232	22.7%
(2)病室、外来室内で労務提供(機器の設定・操作)あり	316	30.9%
(3)行っていない	474	46.4%

解説：心臓植込み型デバイスのフォローアップにつ
いて、外部業者（メーカーおよび販売代理店）の立ち
合いは、行っていないが一番多く46%であった。



問38 内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）が設置されていますか。（単一回答）

目的：内視鏡診療の実態を把握する。

定義：内視鏡室の有無を選択して下さい。内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）とする。

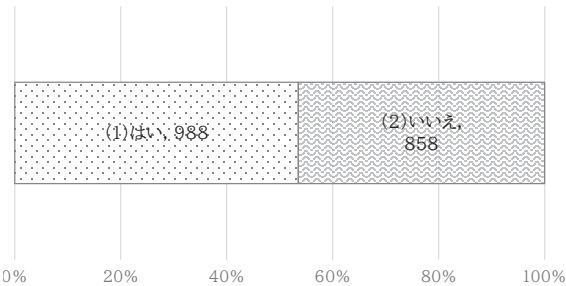
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,846

項目	n	割合
(1)はい	988	53.5%
(2)いいえ	858	46.5%

解説：内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）が設置されている施設は54%であった。

問38 内視鏡検査治療を専門に実施する内視鏡室（センター）が設置されていますか。（単一回答） n=1,846



問39 内視鏡検査治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

目的：内視鏡検査治療における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

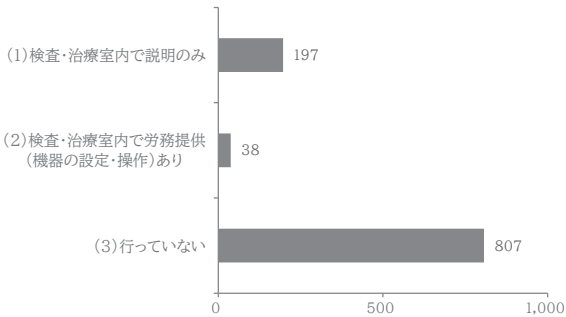
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,042

項目	n	割合
(1)検査・治療室内で説明のみ	197	18.9%
(2)検査・治療室内で労務提供（機器の設定・操作）あり	38	3.6%
(3)行っていない	807	77.4%

解説：内視鏡検査治療の外部業者（メーカーおよび販売代理店）立ち合いについて、行っていないが77%であった。

問39 内視鏡検査治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答） n=1,042



問40 手術室における手術を実施していますか。（単一回答）

目的：所属施設で手術を実施しているか把握する。
定義：所属施設で手術室における手術を実施しているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無。

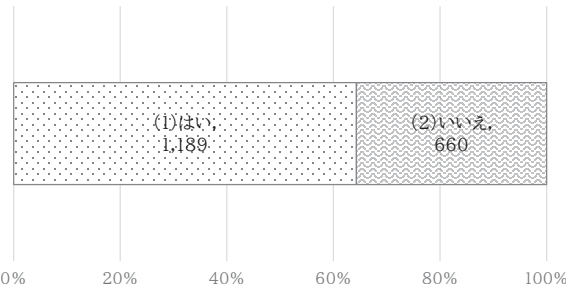
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,849

項目	n	割合
(1)はい	1,189	64.3%
(2)いいえ	660	35.7%

解説：手術室における手術を実施している施設は、64%であった。

問40 手術室における手術を実施していますか。（単一回答） n=1,849



問41 手術室において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

目的：手術室における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

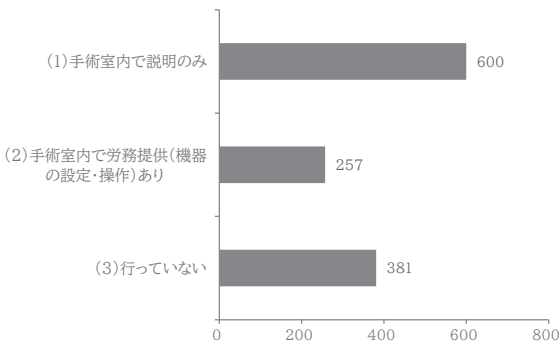
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,238

項目	n	割合
(1)手術室内で説明のみ	600	48.5%
(2)手術室内で労務提供(機器の設定・操作)あり	257	20.8%
(3)行っていない	381	30.8%

解説：手術室の外部業者（メーカーおよび販売代理店）立ち合いについて、手術室内で説明のみが一番多く 49%であった。

問41 手術室において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）n=1,238



問42 高気圧酸素治療装置が設置されていますか。（単一回答）

目的：所属施設で高気圧酸素治療を実施しているか把握する。

定義：所属施設で高気圧酸素治療装置が設置されているかを選択して下さい。 ※ CE の介入有無ではなく施設の実施有無。

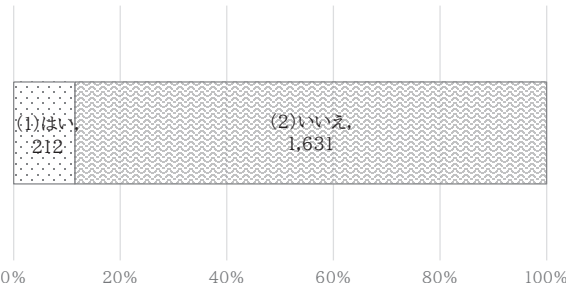
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,843

項目	n	割合
(1)はい	212	11.5%
(2)いいえ	1,631	88.5%

解説：高気圧酸素治療装置が設置されている施設は、12%であった。

問42 高気圧酸素治療装置が設置されていますか。（単一回答）n=1,843



問43 高気圧酸素治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

目的：高気圧酸素治療における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

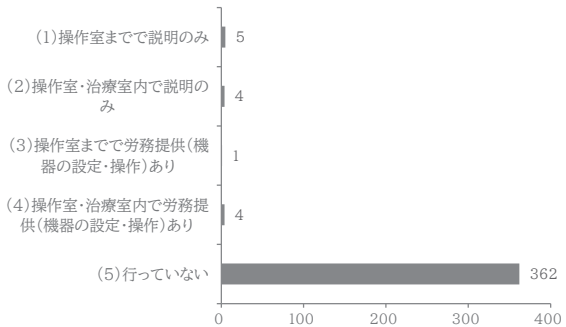
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：376

項目	n	割合
(1)操作室までで説明のみ	5	1.3%
(2)操作室・治療室内で説明のみ	4	1.1%
(3)操作室までで労務提供(機器の設定・操作)あり	1	0.3%
(4)操作室・治療室内で労務提供(機器の設定・操作)あり	4	1.1%
(5)行っていない	362	96.3%

解説：高気圧酸素治療の外部業者（メーカーおよび販売代理店）立ち合いについて、行っていないが 96%であった。

問43 高気圧酸素治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）n=376



問44 ハイパーサーミア治療装置が設置されていますか。(単一回答)

目的：所属施設でハイパーサーミアを実施しているか把握する。

定義：所属施設でハイパーサーミア治療装置が設置されているかを選択して下さい。※CEの介入有無ではなく施設の実施有無。

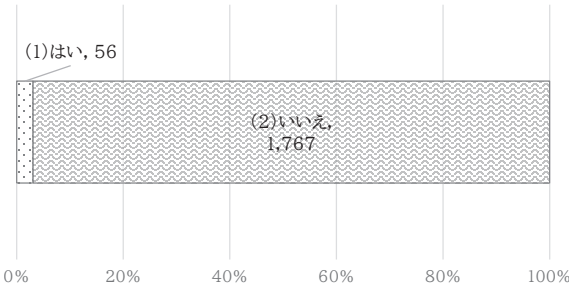
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,823

項目	n	割合
(1)はい	56	3.1%
(2)いいえ	1,767	96.9%

解説：ハイパーサーミア治療装置が設置されている施設は3%であった。

問44 ハイパーサーミア治療装置が設置されていますか。(単一回答) n=1,823



問45 ハイパーサーミア治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？(単一回答)

目的：ハイパーサーミア治療における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

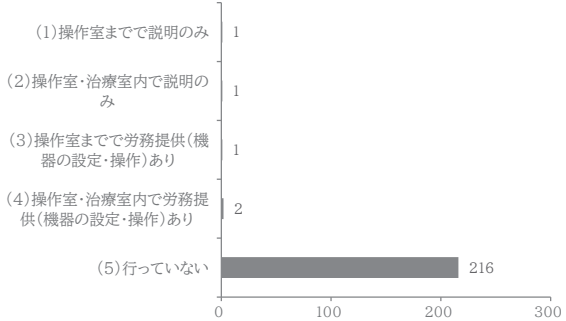
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：221

項目	n	割合
(1)操作室までで説明のみ	1	0.5%
(2)操作室・治療室内で説明のみ	1	0.5%
(3)操作室までで労務提供(機器の設定・操作)あり	1	0.5%
(4)操作室・治療室内で労務提供(機器の設定・操作)あり	2	0.9%
(5)行っていない	216	97.7%

解説：ハイパーサーミア治療の外部業者（メーカーおよび販売代理店）立ち合いについて、行っていないが98%であった。

問45 ハイパーサーミア治療において、外部業者（メーカーおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？(単一回答) n=221



問46 腹膜透析が実施されていますか。(単一回答)

目的：所属施設で腹膜透析を実施しているか把握する。

定義：所属施設で腹膜透析を実施しているかを選択して下さい。※CEの介入有無ではなく施設の実施有無。

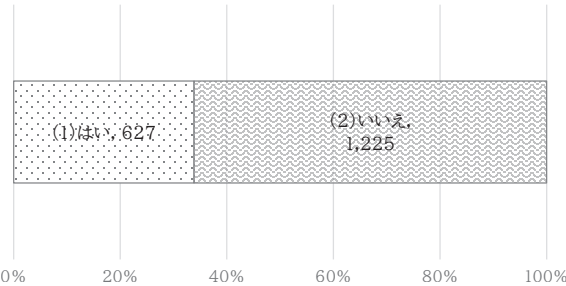
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,852

項目	n	割合
(1)はい	627	33.9%
(2)いいえ	1,225	66.1%

解説：腹膜透析が実施されている施設は34%であった。

問46 腹膜透析が実施されていますか。(単一回答) n=1,852



問47 腹膜透析において、外部業者（メーカおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）

目的：腹膜透析における業者の立ち合い行為を把握する。

定義：業者の立ち合い行為を選択する。

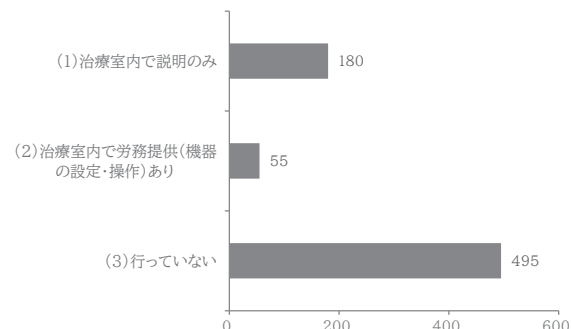
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：730

項目	n	割合
(1)治療室内で説明のみ	180	24.7%
(2)治療室内で労務提供(機器の設定・操作)あり	55	7.5%
(3)行っていない	495	67.8%

解説：腹膜透析の外部業者（メーカおよび販売代理店）立ち合いについて、行っていないが68%であった。

問47 腹膜透析において、外部業者（メーカおよび販売代理店）が立ち合いを行っていますか？（単一回答）n=730



問48 医療安全部門は設置されていますか。（単一回答）

目的：所属施設で医療安全部門の有無を把握する。

定義：所属施設で医療安全部門が設置されているかを選択して下さい。※CEの介入有無ではなく施設の実施有無

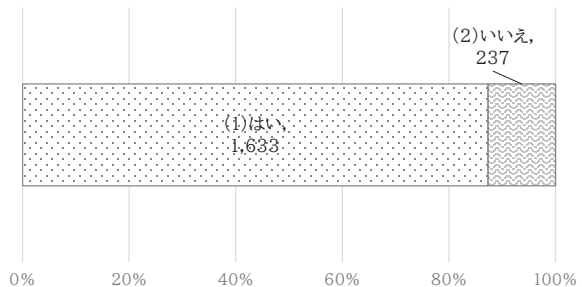
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：1,870

項目	n	割合
(1)はい	1,633	87.3%
(2)いいえ	237	12.7%

解説：医療安全部門が設置されている施設は87%であった。

問48 医療安全部門は設置されていますか。（単一回答）n=1,870



3. 業務実態報告 2024 施設報告血液浄化アドオン

問1 エコーガイド下のシャント穿刺を実施していますか。（単一回答）

目的：所属施設で血液透析におけるCEのエコーガイド下のシャント穿刺の実施状況を把握する。

定義：血液透析におけるCEのエコーガイド下のシャント穿刺の実施状況について最も適した選択肢を選択してください。

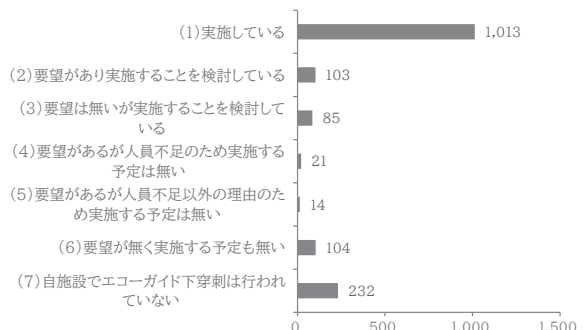
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：n = 1,572

項目	n	割合
(1)実施している	1,013	64.4%
(2)要望があり実施することを検討している	103	6.6%
(3)要望は無いが実施することを検討している	85	5.4%
(4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	21	1.3%
(5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	14	0.9%
(6)要望が無く実施する予定も無い	104	6.6%
(7)自施設でエコーガイド下穿刺は行われていない	232	14.8%

解説：64%の施設でCEが超音波診断装置を用いた評価を行っている。

問1 エコーガイド下のシャント穿刺を実施していますか。（単一回答）n=1,572



問2 血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価を実施しているか把握する。

定義：血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価について最も適した選択肢を選択してください。

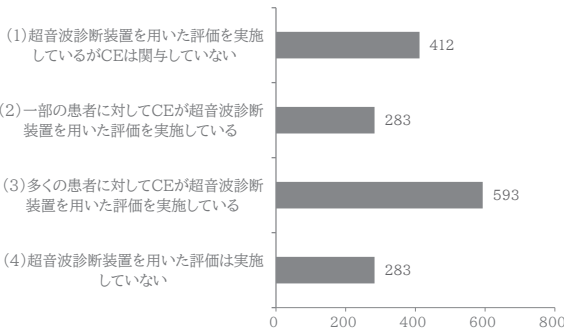
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：n = 1,571

項目	n	割合
(1)超音波診断装置を用いた評価を実施しているがCEは関与していない	412	26.2%
(2)一部の患者に対してCEが超音波診断装置を用いた評価を実施している	283	18.0%
(3)多くの患者に対してCEが超音波診断装置を用いた評価を実施している	593	37.7%
(4)超音波診断装置を用いた評価は実施していない	283	18.0%

解説：55%の施設でCEが超音波診断装置を用いた評価を行っている。一方で、26%の施設では超音波診断装置を用いた評価を実施しているがCEは関与していない。

問2 血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価を実施していますか。(単一回答) n=1,571



問3 バスキュラーアクセスの情報共有資料（VAカルテなど）を作成している職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスカルテを作成している職種を把握する。

定義：血液透析における超音波診断装置によるバスキュラーアクセスカルテを作成する職種を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

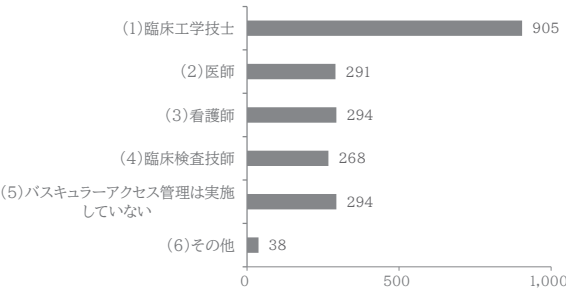
有効回答数：n = 1,565

項目	n	割合
(1)臨床工学技士	905	57.8%
(2)医師	291	18.6%
(3)看護師	294	18.8%
(4)臨床検査技師	268	17.1%
(5)バスキュラーアクセス管理は実施していない	294	18.8%
(6)その他	38	2.4%

その他 診療放射線技師:23、管理はしているがカルテ化はしていない:8.

解説：57.8%の施設でCEがVAカルテの作成をしていた。

問3 バスキュラーアクセスの情報共有資料（VAカルテなど）を作成している職種を回答してください。(複数回答) n=1,565



問4 バスキュラーアクセス管理を実施している職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設でバスキュラーアクセス管理を実施している職種を把握する。

定義：バスキュラーアクセス管理を実施している職種を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

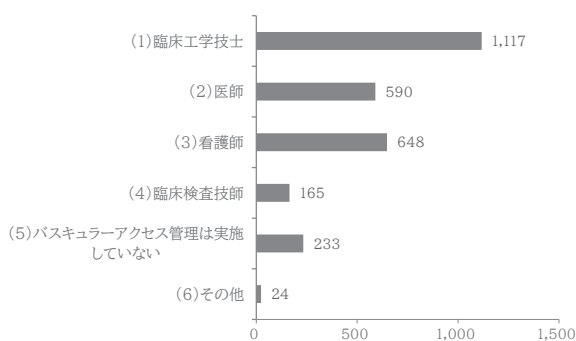
有効回答数：n = 1,565

項目	n	割合
(1)臨床工学技士	1,117	71.4%
(2)医師	590	37.7%
(3)看護師	648	41.4%
(4)臨床検査技師	165	10.5%
(5)バスキュラーアクセス管理は実施していない	233	14.9%
(6)その他	24	1.5%

その他 診療放射線技師 18、臨床検査技師 1。

解説：71%の施設でCEがVA管理を行っている。また、41%の施設の看護師、38%の施設の医師もVA管理をしている。

問4 バスキュラーアクセス管理を実施している職種を回答してください。(複数回答) n=1,565



問5 動脈表在化への穿刺をCEが実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で血液透析における動脈表在化への穿刺の実施状況を把握する。

定義：血液透析におけるCEの動脈表在化への穿刺の実施状況について最も適した選択肢を選択してください。

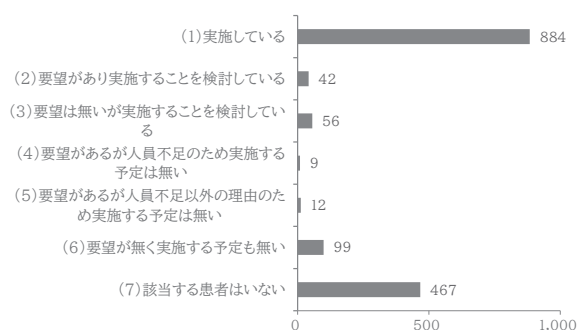
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：n = 1,569

項目	n	割合
(1)実施している	884	56.3%
(2)要望があり実施することを検討している	42	2.7%
(3)要望は無いが実施することを検討している	56	3.6%
(4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	9	0.6%
(5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	12	0.8%
(6)要望が無く実施する予定も無い	99	6.3%
(7)該当する患者はいない	467	29.8%

解説：56%の施設でCEが動脈表在化穿刺を行っている。30%の施設では該当する患者がいらない。

問5 動脈表在化への穿刺をCEが実施していますか。(単一回答) n=1,569



問6 透析条件の検討に対してCEが関与している項目を全て選択してください。(複数回答)

目的：透析(HDF含む)条件の検討に対しCEが関与している項目を把握する。

定義：透析(HDF含む)条件の検討に対しCEが関与している項目をすべて選択してください。

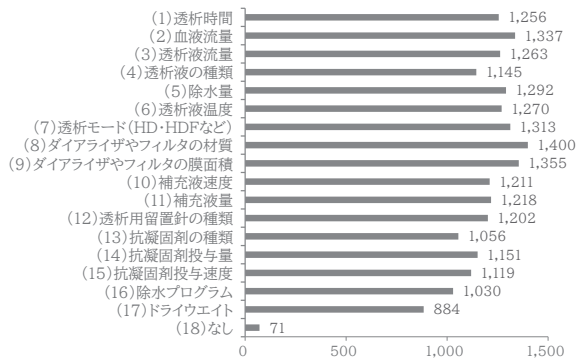
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：n = 1,569

項目	n	割合
(1)透析時間	1,256	80.1%
(2)血液流量	1,337	85.2%
(3)透析液流量	1,263	80.5%
(4)透析液の種類	1,145	73.0%
(5)除水量	1,292	82.3%
(6)透析液温度	1,270	80.9%
(7)透析モード(HD・HDFなど)	1,313	83.7%
(8)ダイアライザやフィルタの材質	1,400	89.2%
(9)ダイアライザやフィルタの膜面積	1,355	86.4%
(10)補充液速度	1,211	77.2%
(11)補充液量	1,218	77.6%
(12)透析用留置針の種類	1,202	76.6%
(13)抗凝固剤の種類	1,056	67.3%
(14)抗凝固剤投与量	1,151	73.4%
(15)抗凝固剤投与速度	1,119	71.3%
(16)除水プログラム	1,030	65.6%
(17)ドライウエイト	884	56.3%
(18)なし	71	4.5%

解説：9割近くの施設のCEがダイアライザのフィルタの材質・膜面積、血液流量の検討に参与している。

問6 透析条件の検討に対してCEが関与している項目を全て選択してください。(複数回答) n=1,569



問7 下肢および患者の状態把握のためにCEが使用している項目を全て選択してください。(複数回答)

目的：CEが下肢および患者の状態把握のために実施している内容を把握する。

定義：CEが下肢および患者の状態把握のために使用している項目をすべて選択してください。

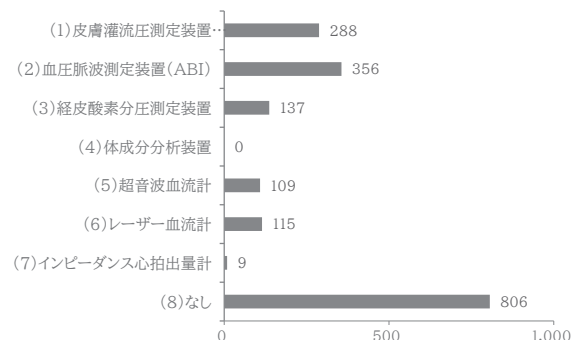
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：n = 1,569

項目	n	割合
(1)皮膚灌流圧測定装置(SPP)	288	18.4%
(2)血圧脈波測定装置(ABI)	356	22.7%
(3)経皮酸素分圧測定装置	137	8.7%
(4)体成分分析装置	0	0.0%
(5)超音波血流計	109	6.9%
(6)レーザー血流計	115	7.3%
(7)インピーダンス心拍出量計	9	0.6%
(8)なし	806	51.4%

解説：51%施設のCEは下肢状態把握のための検査をしていないが、約2割の施設ではSPPやABIの検査を行っている。

問7 下肢および患者の状態把握のためにCEが使用している項目を全て選択してください(複数回答) n=1,569



問8 「腎代替療法専門指導士」を取得したCEは、患者の治療選択時や腎移植等に関わっていますか。(単一回答)

目的：腎代替療法の適切な選択を推進するために腎代替療法専門指導士制度が発足しました。臨床工学技士も血液浄化専門・認定臨床工学技士を有していると応募することが可能となるため、習得状況を把握する。

定義：「腎代替療法専門指導士」を取得したCEが、患者の治療選択時や腎移植等に関わっているかどうか回答してください。

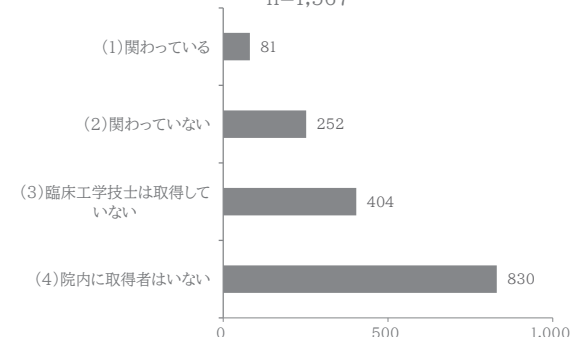
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：n = 1,567

項目	n	割合
(1)関わっている	81	5.2%
(2)関わっていない	252	16.1%
(3)臨床工学技士は取得していない	404	25.8%
(4)院内に取得者はいない	830	53.0%

解説：53%の施設で「腎代替療法専門指導士」の取得者がいない。しかし、5%のCEが「腎代替療法専門指導士」取得し治療選択や腎移植に関わっている。

問8 「腎代替療法専門指導士」を取得したCEは、患者の治療選択時や腎移植等に関わっていますか。(単一回答) n=1,567



問9 分離膜や吸着器を用いたアフエリシスを実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で分離膜や吸着膜を用いたアフエリシスの実施状況とCEの関わりを把握する。

定義：分離膜や吸着膜を用いたアフエリシスを実施しているのか、CEはその業務に関わっているのかを選択してください。

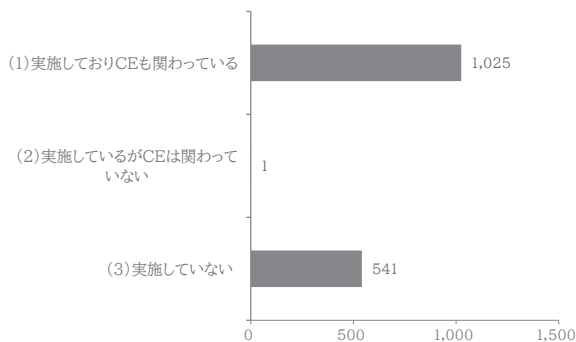
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：n = 1,567

項目	n	割合
(1)実施しておりCEも関わっている	1,025	65.4%
(2)実施しているがCEは関わっていない	1	0.1%
(3)実施していない	541	34.5%

解説：65%の施設でアフレスシスを実施し、CE も関与している。

問9 分離膜や吸着器を用いたアフレスシスを実施していますか。(単一回答) n=1,567



問10 分離膜や吸着器を用いたアフレスシス治療に必要な薬剤、医療材料、運転条件（治療時間、血液流量、除水量、置換液量等）の設定及び変更を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で分離膜や吸着膜を用いたアフレスシスに必要な薬剤、医療材料、運転条件（治療時間、血液流量、除水量、置換液量等）の設定及び変更を行っている主な職種を把握する。

定義：分離膜や吸着膜を用いたアフレスシスに必要な薬剤、医療材料、運転条件（治療時間、血液流量、除水量、置換液量等）の設定及び変更を行っている主な職種を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

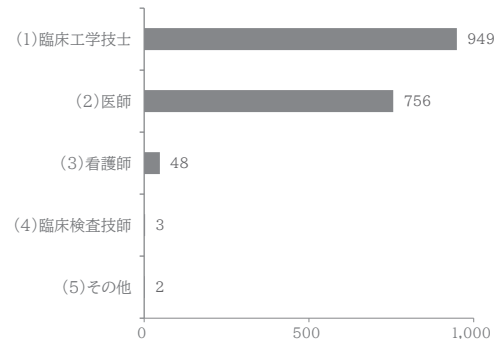
有効回答数：n = 1,041

項目	n	割合
(1)臨床工学技士	949	91.2%
(2)医師	756	72.6%
(3)看護師	48	4.6%
(4)臨床検査技師	3	0.3%
(5)その他	2	0.2%

その他 実施していない:1, 症例がない:1.

解説：91%の施設のCEがアフレスシス治療に必要な薬剤、医療材料、運転条件の設定及び変更を行っている。

問10 分離膜や吸着器を用いたアフレスシス治療に必要な薬剤、医療材料、運転条件の設定及び変更を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=1,041



問11 分離膜や吸着器を用いたアフレスシスに於いて各種検査データによる浄化効率や条件の評価を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：分離膜や吸着膜を用いたアフレスシスに於いて各種検査データによる浄化効率や条件の評価を行っている主な職種を把握する。

定義：分離膜や吸着膜を用いたアフレスシスに於いて各種検査データによる浄化効率や条件の評価を行っている主な職種を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

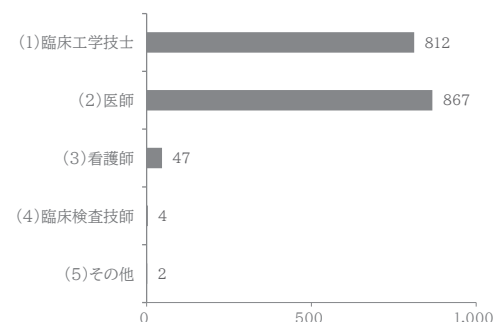
有効回答数：n = 1,040

項目	n	割合
(1)臨床工学技士	812	78.1%
(2)医師	867	83.4%
(3)看護師	47	4.5%
(4)臨床検査技師	4	0.4%
(5)その他	2	0.2%

その他 実施していない:1, 症例がない:1.

解説：アフレスシスにおいて浄化効率や条件の評価を行っている職種は医師が一番多く83%，次いでCEが78%であった，

問11 分離膜や吸着器を用いたアフレスシスに於いて各種検査データによる浄化効率や条件の評価を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=1,040



問12 遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシスを実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設で遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシスの実施状況とCEの関わりを把握する。
定義：遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシスを実施しているのか、CEはその業務に関わっているのかを選択してください。

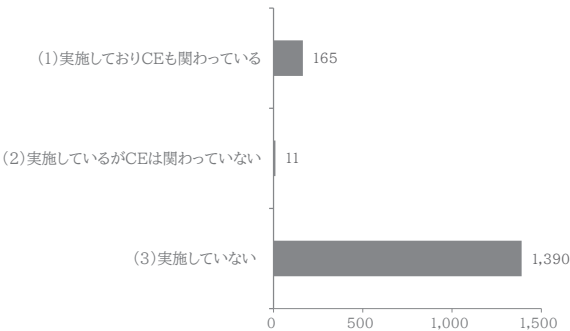
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：n = 1,566

項目	n	割合
(1)実施しておりCEも関わっている	165	10.5%
(2)実施しているがCEは関わっていない	11	0.7%
(3)実施していない	1,390	88.8%

解説：遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシスを実施し、CEも関わっている施設は11%であった。

問12 遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシスを実施していますか。(単一回答) n=1,566



問13 CEは遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシス治療に於いて表在静脈へ穿刺を行っていますか。(単一回答)

目的：遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシス治療のための表在静脈穿刺実施状況を把握する。
定義：遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシス治療のための表在静脈穿刺実施状況を回答してください。

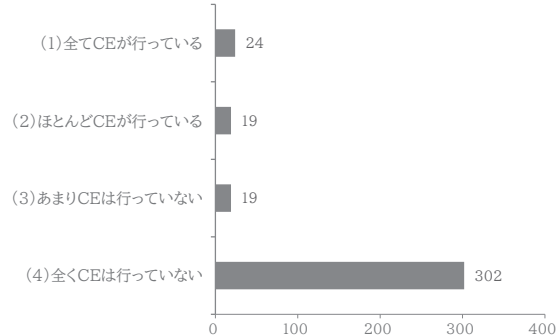
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：n = 364

項目	n	割合
(1)全てCEが行っている	24	6.6%
(2)ほとんどCEが行っている	19	5.2%
(3)あまりCEは行っていない	19	5.2%
(4)全くCEは行っていない	302	83.0%

解説：83%施設のCEは遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシス治療で表在静脈へ穿刺を行っていない。

問13 CEは遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシス治療に於いて表在静脈へ穿刺を行っていますか。(単一回答) n=364



問14 CEは遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシス治療終了時に表在静脈からの抜去及び止血処置を行っていますか。(単一回答)

目的：遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシス治療のための表在静脈からの抜去及び止血処置実施状況を把握する。

定義：遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシス治療のための表在静脈からの抜去及び止血処置実施状況を回答してください。

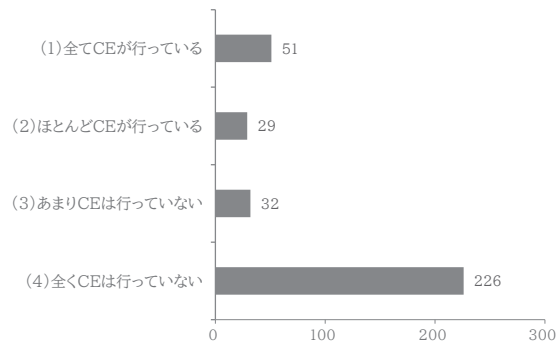
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：n = 338

項目	n	割合
(1)全てCEが行っている	51	15.1%
(2)ほとんどCEが行っている	29	8.6%
(3)あまりCEは行っていない	32	9.5%
(4)全くCEは行っていない	226	66.9%

解説：67%の施設のCEは遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシス治療終了時に表在静脈からの抜去および止血処理を行っていない。

問14 CEは遠心型血液成分分離装置を用いたアフエレシス治療終了時に表在静脈からの抜去及び止血処置を行っていますか。(単一回答) n=338



4. 業務実態報告 2024 施設報告アドオン腹膜透析

問1 腹膜透析認定指導臨床工学技士を取得していますか。(単一回答)

目的: 腹膜透析認定指導臨床工学技士の取得者がいるか、認知度を把握するため。

定義: 腹膜透析認定指導臨床工学技士について最も適した選択肢を選択してください。

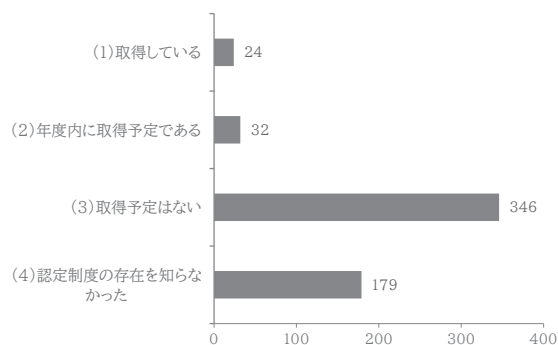
対象: 2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 581

項目	n	割合
(1)取得している	24	4.1%
(2)年度内に取得予定である	32	5.5%
(3)取得予定はない	346	59.6%
(4)認定制度の存在を知らなかった	179	30.8%

解説: 腹膜透析認定指導臨床工学技士を取得している CE は 4%, 年度内に取得予定が 6%, 取得予定がないが 60% だった。31% の施設が認定制度の存在を知らなかった。

問1 腹膜透析認定指導臨床工学技士を取得していますか。(単一回答) n=581



問2 所属施設での PD 患者の診療を行っていますか。(単一回答)

目的: 所属施設で PD 業務を実施しているか把握するため。

定義: 所属施設での PD 業務について最も適した選択肢を選択してください。

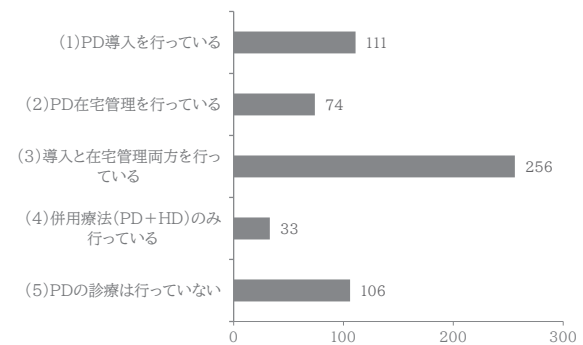
対象: 2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 580

項目	n	割合
(1)PD 導入を行っている	111	19.1%
(2)PD 在宅管理を行っている	74	12.8%
(3)導入と在宅管理両方を行っている	256	44.1%
(4)併用療法(PD+HD)のみ行っている	33	5.7%
(5)PD の診療は行っていない	106	18.3%

解説: 44% の施設で PD 導入と在宅管理の両方を行っていた。18% の施設では PD 診療を行っていない。

問2 所属施設でのPD患者の診療を行っていますか？(単一回答) n=580



問3 PD 患者に関与している施設に質問です。PD 業務に CE が関与していますか？(単一回答)

目的: CE がどの程度 PD 業務に携わっているか、関心を持っているかを把握する。

定義: PD 業務に CE が関与しているか適した選択肢を選択してください。

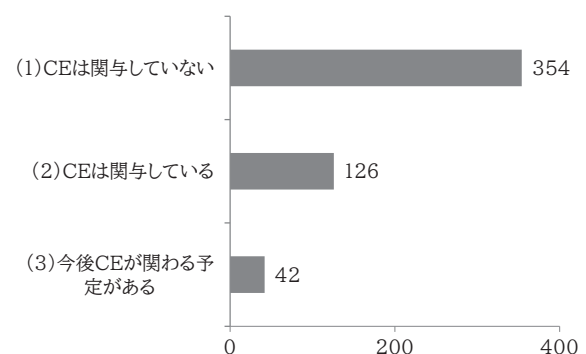
対象: 2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 522

項目	n	割合
(1)CE は関与していない	354	67.8%
(2)CE は関与している	126	24.1%
(3)今後 CE が関わる予定がある	42	8.0%

解説: PD 患者に関与している施設の中で、PD 業務に CE が関与している施設は 24% であった。

問3 PD患者に関与している施設に質問です。PD業務にCEが関与していますか？(単一回答) n=522



問4 問3で「CEは関与していない」と回答した施設に質問です。CEがPD業務に参入しない、参入できない理由について教えてください。（複数回答）
目的：CEがPD業務に参入しない、参入できない理由を把握する。

定義：CEがPD業務に参入しない、参入できない理由を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

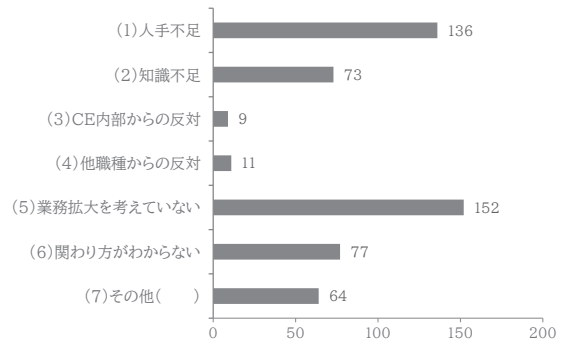
有効回答数：364

項目	n	割合
(1)人手不足	136	37.4%
(2)知識不足	73	20.1%
(3)CE内部からの反対	9	2.5%
(4)他職種からの反対	11	3.0%
(5)業務拡大を考えていない	152	41.8%
(6)関わり方がわからない	77	21.2%
(7)その他	64	17.6%

その他 看護師が介入しているから19, 対象者がいない 14, 依頼がない 12, 必要性がない 6.

解説：CEがPD業務へ関与していない理由として、PD業務への拡大を考えていない施設が42%と一番多く、次いで人手不足が37%だった。

問4 問3で「CEは関与していない」と回答した施設に質問です。CEがPD業務に参入しない、参入できない理由について教えてください。（複数回答）n=364



問5 問3で「CEは関与していない」と回答した施設に質問です。他職種からの要望はありますか？要望のある職種を教えてください。（複数回答）

目的：PD業務に対してCEの需要を把握する。

定義：PD業務に対してCEの参入を要望している職種を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

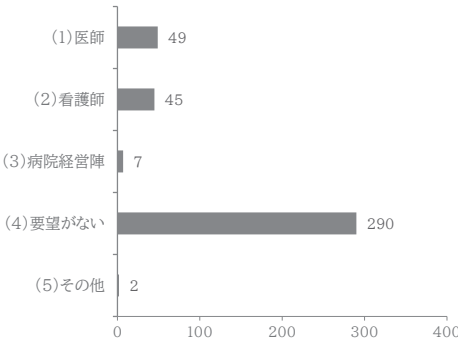
有効回答数：364

項目	n	割合
(1)医師	49	13.5%
(2)看護師	45	12.4%
(3)病院経営陣	7	1.9%
(4)要望がない	290	79.7%
(5)その他	2	0.5%

その他 機材準備などの要望があれば行っている:1, 要望があるが具体的には進めておらず部分的介入のみ:1.

解説：PD業務に関与していない施設では、他職種からの要望がない施設が80%。しかし、約10%程度の施設では医師・看護師から要望がある。

問5 問3で「CEは関与していない」と回答した施設に質問です。他職種からの要望はありますか？要望のある職種を教えてください。（複数回答）n=364



問6 問5で「要望がない」と回答した施設に質問です。今後、要望が出た場合にはPD業務に参入しますか？（単一回答）

目的：PD業務に参入するきっかけを把握する。

定義：他職種からPD業務にCEの参入要望が出た場合の対応として最も適するものを選択してください。

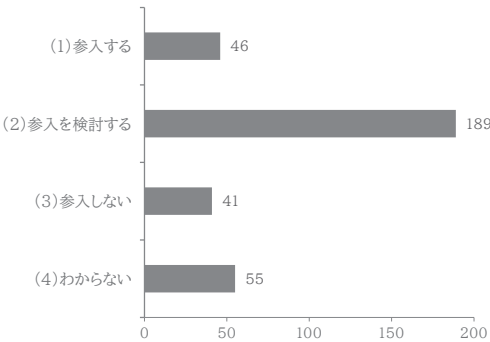
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：331

項目	n	割合
(1)参入する	46	13.9%
(2)参入を検討する	189	57.1%
(3)参入しない	41	12.4%
(4)わからない	55	16.6%

解説：他職種からPD業務の参入要望が出た場合、参入する施設が14%、参入を検討する施設が57%であった。

問6 問5で「要望がない」と回答した施設に質問です。今後、要望が出た場合にはPD業務に参入しますか？（単一回答）n=331



問7 問3で「CEは関与している」と回答した施設に質問です。CEが行っている業務を回答してください。（複数回答）

目的：所属施設でCEが行っているPD業務を把握する。

定義：CEが行っているPD業務を選択してください。

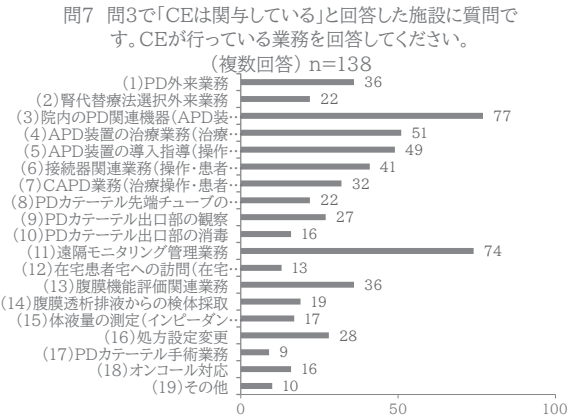
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：138

項目	n	割合
(1)PD外来業務	36	26.1%
(2)腎代替療法選択外来業務	22	15.9%
(3)院内のPD関連機器(APD装置、接続器など)管理業務	77	55.8%
(4)APD装置の治療業務(治療操作・設定など)	51	37.0%
(5)APD装置の導入指導(操作方法、APD装置機種選択など)	49	35.5%
(6)接続器関連業務(操作・患者教育など)	41	29.7%
(7)CAPD業務(治療操作・患者教育など)	32	23.2%
(8)PDカテーテル先端チューブの交換	22	15.9%
(9)PDカテーテル出口部の観察	27	19.6%
(10)PDカテーテル出口部の消毒	16	11.6%
(11)遠隔モニタリング管理業務	74	53.6%
(12)在宅患者宅への訪問(在宅PD関連機器業務を含む)	13	9.4%
(13)腹膜機能評価関連業務	36	26.1%
(14)腹膜透析排液からの検体採取	19	13.8%
(15)体液量の測定(インピーダンス法などを含む)	17	12.3%
(16)処方設定変更	28	20.3%
(17)PDカテーテル手術業務	9	6.5%
(18)オンコール対応	16	11.6%
(19)その他	10	7.2%

その他 貸出管理:2, 出口部エコー評価:1, 通信制APDの内容把握等:1, 導入時, 入退院時のメーカー対応:1.

解説：CEが行っているPD業務として、院内のPD関連機器管理業務が55.8%、遠隔モニタリング管理業務が53.6%と過半数を超えていた。



問8 問3で「CEは関与している」と回答した施設に質問です。PD業務に関わっているCEの人数を教えてください。（単一回答）

目的：所属施設でPD業務にCEが関わっている人数を把握する。

定義：PD業務にCEが関わっている人数を選択してください。

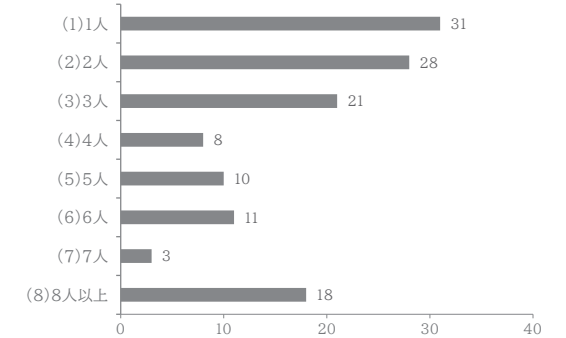
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：130

項目	n	割合
(1)1人	31	23.8%
(2)2人	28	21.5%
(3)3人	21	16.2%
(4)4人	8	6.2%
(5)5人	10	7.7%
(6)6人	11	8.5%
(7)7人	3	2.3%
(8)8人以上	18	13.8%

解説：PD業務に関与しているCEの人数は、1人が24%、2人が22%。14%の施設では8人以上が関与している。

問8 問3で「CEは関与している」と回答した施設に質問です。PD業務に関わっているCEの人数を教えてください。（単一回答） n=130



問9 問3で「CEは関与している」と回答した施設に質問です。CEがPD業務に参入することにより、どのような点が向上しましたか。(複数回答)
目的：CEがPD業務に参入したことによる利益を把握する。

定義：CEがPD業務に参入することにより向上したと思われるもの選択してください。

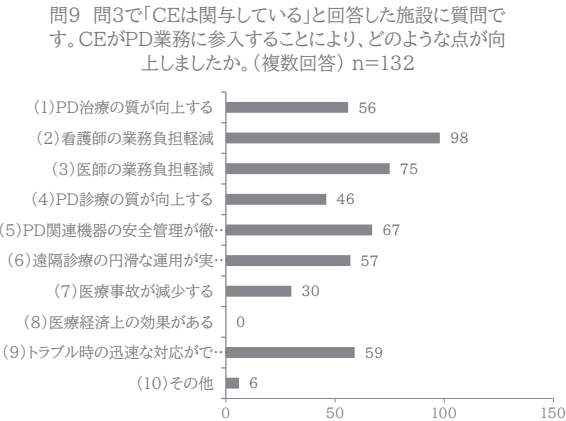
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：132

項目	n	割合
(1)PD治療の質が向上する	56	42.4%
(2)看護師の業務負担軽減	98	74.2%
(3)医師の業務負担軽減	75	56.8%
(4)PD診療の質が向上する	46	34.8%
(5)PD関連機器の安全管理が徹底される	67	50.8%
(6)遠隔診療の円滑な運用が実現できる	57	43.2%
(7)医療事故が減少する	30	22.7%
(8)医療経済上の効果がある	0	0.0%
(9)トラブル時の迅速な対応ができる	59	44.7%
(10)その他	6	4.5%

その他 特になし:3, 院内におけるCEの地位向上:1.

解説：74%の施設が、CEがPD業務に参入することにより看護師の業務負担軽減を実感していた。また、57%の施設は医師の業務負担軽減も実感していた。



問10 問3で「CEは関与している」と回答した施設に質問です。PD業務にCEが関与したきっかけについて回答してください。(複数回答)

目的：CEのPD業務参入理由を把握する。

定義：PD業務にCEが関与したきっかけを選択してください。

対象：2024年10月1日時点

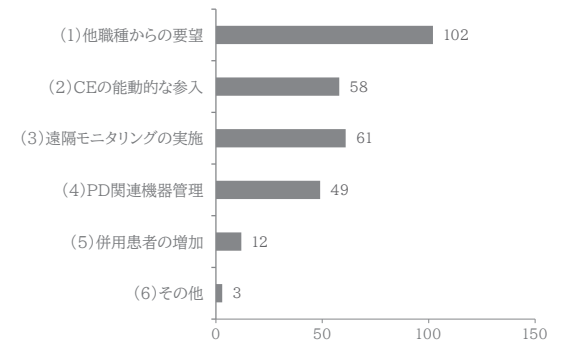
有効回答数：156

項目	n	割合
(1)他職種からの要望	102	65.4%
(2)CEの能動的な参入	58	37.2%
(3)遠隔モニタリングの実施	61	39.1%
(4)PD関連機器管理	49	31.4%
(5)併用患者の増加	12	7.7%
(6)その他	3	1.9%

その他 腹膜機能検査システム操作(PC操作):1, 前医で関わっていた:1.

解説：他職種からの要望によりPD業務に関与を始めた施設が66%と多かった。次いで、遠隔モニタリングがきっかけになっている施設が39%だった。

問10 問3で「CEは関与している」と回答した施設に質問です。PD業務にCEが関与したきっかけについて回答してください。(複数回答) n=156



問11 院内のPD関連機器管理を実施している職種を回答してください。(複数回答)

目的：PD関連機器は生命維持管理装置に該当します。所属施設でPD関連機器管理を実施している職種を把握する。

定義：院内のPD関連機器管理を行っている主な職種を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

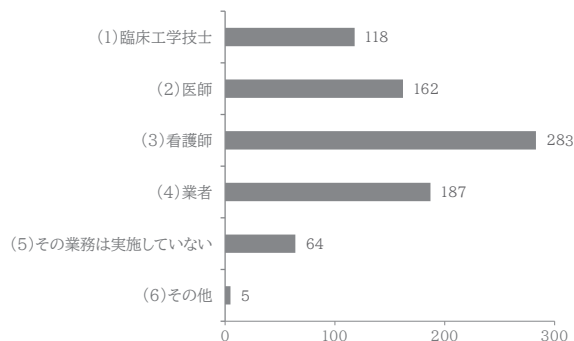
有効回答数：500

項目	n	割合
(1)臨床工学士	118	23.6%
(2)医師	162	32.4%
(3)看護師	283	56.6%
(4)業者	187	37.4%
(5)その業務は実施していない	64	12.8%
(6)その他	5	1.0%

その他 管理対象患者がいない:2, CEが関与していないので不明:1.

解説：57%の施設では看護師がPD関連機器管理を実施している。医師・業者が行っている施設は30%台、CEが行っている施設は24%だった。

問11 院内のPD関連機器管理を実施している職種を回答してください。(複数回答) n=500



問12 患者宅のPD関連機器管理を実施している職種を回答してください。(複数回答)

目的：PD関連機器は生命維持管理装置に該当します。在宅環境でPD関連機器管理を実施している職種を把握する。

定義：患者宅のPD関連機器管理を行っている主な職種を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

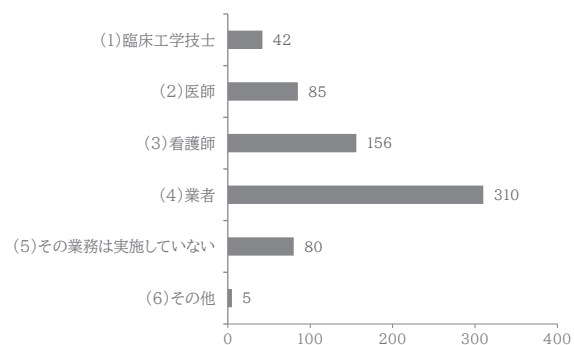
有効回答数：497

項目	n	割合
(1)臨床工学技士	42	8.5%
(2)医師	85	17.1%
(3)看護師	156	31.4%
(4)業者	310	62.4%
(5)その業務は実施していない	80	16.1%
(6)その他	5	1.0%

その他 不明:3, 患者本人:1, 何かあれば受診:1.

解説：患者宅のPD関連機器管理を実施しているのは業者が62%と過半数を占めている。CEが実施している施設は9%だった。

問12 患者宅のPD関連機器管理を実施している職種を回答してください。(複数回答) n=497



問13 PD遠隔管理システムのモニタリングを行っている職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で遠隔管理システムのモニタリングに関わっている職種を把握する。

定義：PD遠隔管理システムのモニタリングを行っている職種を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

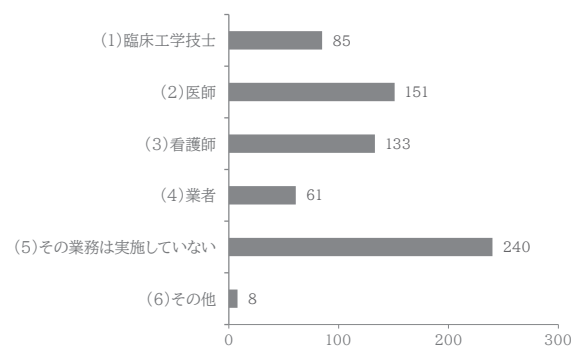
有効回答数：500

項目	n	割合
(1)臨床工学技士	85	17.0%
(2)医師	151	30.2%
(3)看護師	133	26.6%
(4)業者	61	12.2%
(5)その業務は実施していない	240	48.0%
(6)その他	8	1.6%

その他 不明:7, 薬剤師:1.

解説：PD遠隔モニタリング業務を実施していない施設が48%と一番多かった。PD遠隔モニタリング業務を実施している施設の30%は医師が行っていた。

問13 PD遠隔管理システムのモニタリングを行っている職種を回答してください。(複数回答) n=500



問14 PD遠隔管理システムのシステム管理（ユーザー管理、患者登録など）を行っている職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で遠隔管理システムのシステム管理に関わっている職種を把握する。

定義：PD遠隔管理システムのシステム管理（ユーザー管理、患者登録など）を行っている職種を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

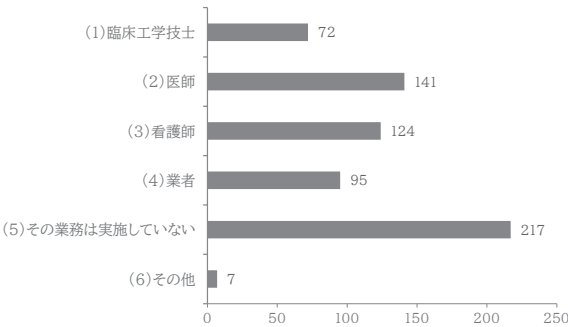
有効回答数：488

項目	n	割合
(1)臨床工学技士	72	14.8%
(2)医師	141	28.9%
(3)看護師	124	25.4%
(4)業者	95	19.5%
(5)その業務は実施していない	217	44.5%
(6)その他	7	1.4%

その他 不明 5, 薬剤師 1, 情報システム部 1.

解説：PD 遠隔管理システムのシステム管理を実施していない施設が 45% と一番多かった。PD 遠隔管理システムのシステム管理を実施している施設の 29% は医師が行っていた。

問14 PD遠隔管理システムのシステム管理(ユーザー管理、患者登録など)を行っている職種を回答してください。(複数回答) n=488



問15 PD 遠隔管理システムで CE が行っている業務を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で CE が PD 遠隔管理システムにどの程度関わっているのかを把握する。

定義：PD 遠隔管理システムで CE が行っている業務を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

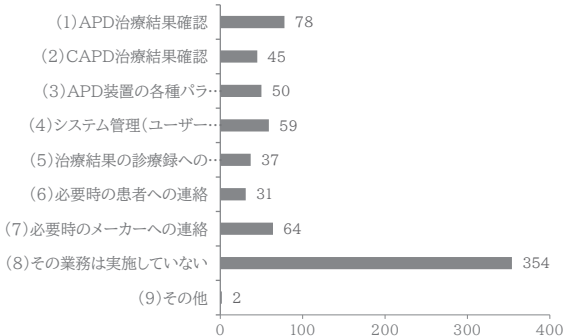
有効回答数：450

項目	n	割合
(1)APD 治療結果確認	78	17.3%
(2)CAPD 治療結果確認	45	10.0%
(3)APD 装置の各種パラメータ設定	50	11.1%
(4)システム管理(ユーザー管理, 患者登録など)	59	13.1%
(5)治療結果の診療録への記載	37	8.2%
(6)必要時の患者への連絡	31	6.9%
(7)必要時のメーカーへの連絡	64	14.2%
(8)その業務は実施していない	354	78.7%
(9)その他	2	0.4%

その他 不明:2.

解説：CE が PD 遠隔管理システムで業務を実施していない施設が 79% と一番多かった。実施している施設では APD 治療結果確認、必要時のメーカーへの連絡を行っていた。

問15 PD遠隔管理システムでCEが行っている業務を回答してください。(複数回答) n=450



問16 「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的：所属施設で「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている職種を把握する。

定義：「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている主な職種を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

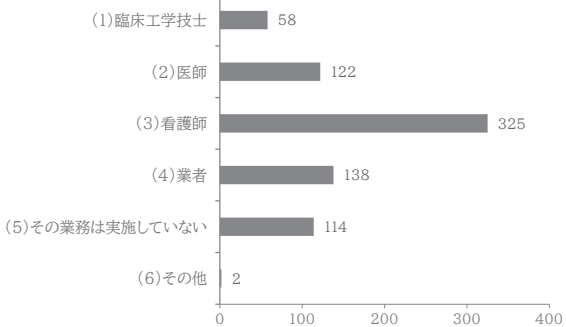
有効回答数：495

項目	n	割合
(1)臨床工学士	58	11.7%
(2)医師	122	24.6%
(3)看護師	325	65.7%
(4)業者	138	27.9%
(5)その業務は実施していない	114	23.0%
(6)その他	2	0.4%

その他 不明:2.

解説：66%の施設は「APD 装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を看護師が実施していた。CE が実施している施設は 12% だった。

問16 「APD装置の患者への手技・機器操作の指導、操作教育」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=495



問 17 「APD 装置の各種パラメータ設定」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的:所属施設で「APD 装置の各種パラメータ設定」を行っている職種を把握する。

定義:「APD 装置の各種パラメータ設定」を行っている主な職種を選択してください。

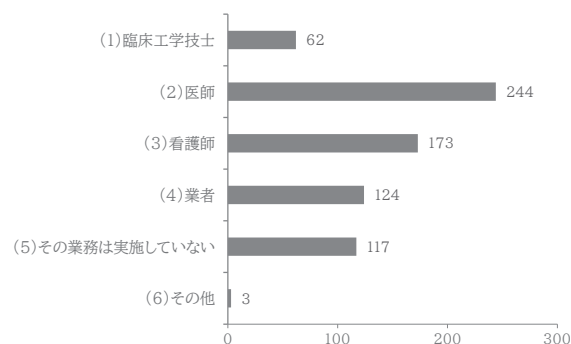
対象:2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数:492

項目	n	割合
(1)臨床工学技士	62	12.6%
(2)医師	244	49.6%
(3)看護師	173	35.2%
(4)業者	124	25.2%
(5)その業務は実施していない	117	23.8%
(6)その他	3	0.6%
その他 不明	3	

解説:50%の施設では「APD 装置の各種パラメータ設定」を医師が実施していた。CE が実施している施設は13%だった。

問17 「APD装置の各種パラメータ設定」を行っている主な職種を回答してください。(複数回答) n=492



問 18 「PD 外来業務」に携わっている主な職種を回答してください。(複数回答)

目的:所属施設で PD 外来を担っている職種を把握する。

定義:「PD 外来業務」に携わっている主な職種を選択してください。

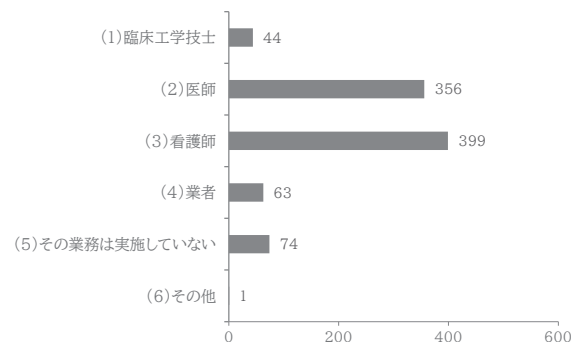
対象:2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数:493

項目	n	割合
(1)臨床工学技士	44	8.9%
(2)医師	356	72.2%
(3)看護師	399	80.9%
(4)業者	63	12.8%
(5)その業務は実施していない	74	15.0%
(6)その他	1	0.2%
その他 不明	1	

解説:81%の施設では看護師が「PD 外来業務」に携わっていた。CE が携わっている施設は9%だった。

問18 「PD外来業務」に携わっている主な職種を回答してください。(複数回答) n=493



5. 業務実態報告 2024 施設報告アドオン呼吸治療

問 1 施設において、呼吸療法業務に携わっている CE の人数の割合を記載してください。(単一回答)

目的:CE の人員のうち、呼吸療法に関わるスタッフが兼任を含め何%が携わっているか把握するため。

定義:呼吸療法業務に関わっている CE の人員の割合を記載する。

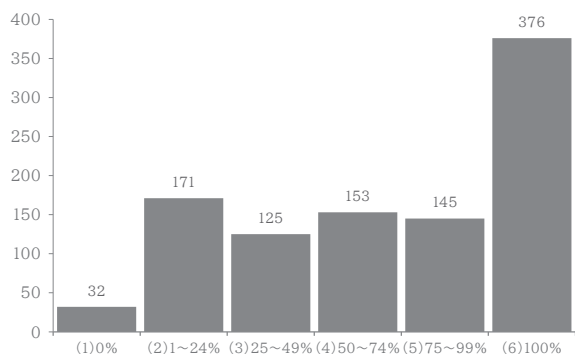
対象:2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数:1,002

項目	n	割合
(1)0%	32	3.2%
(2)1~24%	171	17.1%
(3)25~49%	125	12.5%
(4)50~74%	153	15.3%
(5)75~99%	145	14.5%
(6)100%	376	37.5%

解説:CE が100%呼吸療法を行っているが38%であった。

設問1 施設において、呼吸療法業務に携わっているCEの人数の割合を記載してください。(単一回答)n=1,002



問2 施設において、2023年度の1年間で、CEが新規で介入するようになった呼吸療法業務を記載してください。(複数回答)

目的：CEの呼吸療法業務の新規介入状況を把握する。
定義：1年間で新規に関わるようになった呼吸療法業務を記載する。

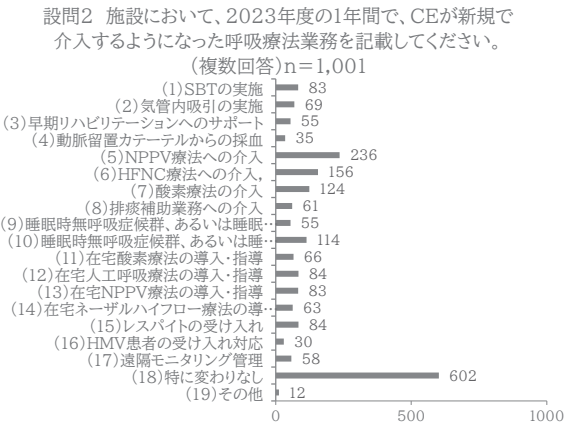
対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：1,001

項目	n	割合
(1) SBTの実施	83	8.3%
(2) 気管内吸引の実施	69	6.9%
(3) 早期リハビリテーションへのサポート	55	5.5%
(4) 動脈留置カテーテルからの採血	35	3.5%
(5) NPPV療法への介入	236	23.6%
(6) HFNC療法への介入	156	15.6%
(7) 酸素療法への介入	124	12.4%
(8) 排痰補助業務への介入	61	6.1%
(9) 睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対するPSGなどへの介入	55	5.5%
(10) 睡眠時無呼吸症候群、あるいは睡眠中の低換気に対するCPAP・ASVやNPPVへの介入	114	11.4%
(11) 在宅酸素療法の導入・指導	66	6.6%
(12) 在宅人工呼吸療法の導入・指導	84	8.4%
(13) 在宅NPPV療法の導入・指導	83	8.3%
(14) 在宅ネーザルハイフロー療法の導入・指導	63	6.3%
(15) レスパイトの受け入れ	84	8.4%
(16) HMV患者の受け入れ対応	30	3.0%
(17) 遠隔モニタリング管理	58	5.8%
(18) 特に変りなし	602	60.1%
(19) その他	12	1.2%

その他 RST:2,PAC-35の導入:1,トラブル対応・勉強会:1,回路交換:1,気管切開介助:1,業務介入なし:1,呼吸器関連の業務はクリニック自体が関与していない:1,新規無:1,人工呼吸器設定変更(タスクシフト内容)・排管抜管時の介入・CPA時(救急現場)介入:1,人工呼吸器装着患者のラウンド点検:1,抜管前・抜管後評価・カフリークテスト:1,

解説：特に変りなしが60%であった。



問3 設問2にて「(18) 特に変りなし」とお答えの施設において、その要因を記載してください。(複数回答)

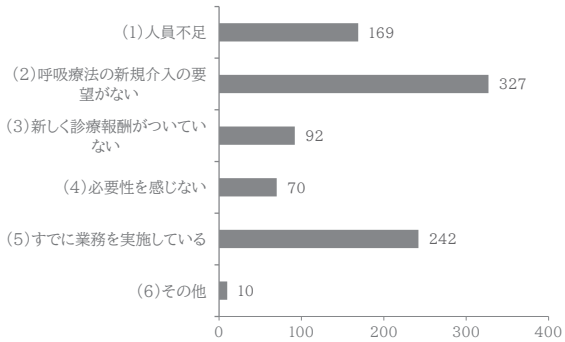
目的：新規介入できていない要因を把握する。
定義：「変わらない」要因を記載する。
対象：2024年10月1日時点
有効回答数：586

項目	n	割合
(1) 人員不足	169	28.8%
(2) 呼吸療法の新規介入の要望がない	327	55.8%
(3) 新しく診療報酬がついていない	92	15.7%
(4) 必要性を感じない	70	11.9%
(5) すでに業務を実施している	242	41.3%
(6) その他	10	1.7%

その他 ICUには専従医もいるため、周囲からのニーズがそれほど高い訳ではない面もある。また、人員の調整も必要である。:1,介入したいが、体制が整っていない。:1,呼吸器装着患者が少ない。:1,人工呼吸器使用中点検を行っているが、今後、患者アセスメント業務にも看護師とともに積極的にかかわっていききたい。:1,人工呼吸療法における装置管理中心から臨床介入への研修中である:1,睡眠医療部門の業務で臨床検査技師が行っているため:1,対象患者が少ないため検討不可:1,知識、経験不足:1,知識不足・症例数少ない:1,部内での業務優先度が低い:1,ため積極的な介入はできない:1,

解説：呼吸療法の新規介入の要望がないが56%であった。

設問3 設問2にて「(18) 特に変りなし」とお答えの施設において、その要因を記載してください。(複数回答) n=586



設問4 CEが人工呼吸器（NPPV・麻酔用人工呼吸器除く）について実施する業務はどれですか。（複数回答）

目的：CEが人工呼吸器において実施する業務を把握する。

定義：CEが人工呼吸器においてCEが実施する業務をすべて選択してください。※NPPV・麻酔用人工呼吸器除く、一部実施でも選択可能とする。

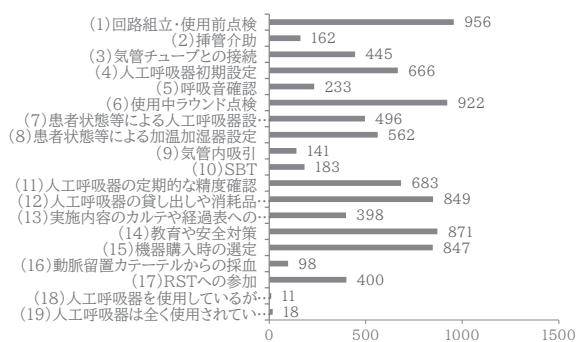
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：998

項目	n	割合
(1)回路組立・使用前点検	956	95.8%
(2)挿管補助	162	16.2%
(3)気管チューブとの接続	445	44.6%
(4)人工呼吸器初期設定	666	66.7%
(5)呼吸音確認	233	23.3%
(6)使用中ラウンド点検	922	92.4%
(7)患者状態等による人工呼吸器設定変更	496	49.7%
(8)患者状態等による加温加湿器設定	562	56.3%
(9)気管内吸引	141	14.1%
(10)SBT	183	18.3%
(11)人工呼吸器の定期的な精度確認	683	68.4%
(12)人工呼吸器の貸し出しや消耗品の払い出し	849	85.1%
(13)実施内容のカルテや経過表への記録	398	39.9%
(14)教育や安全対策	871	87.3%
(15)機器購入時の選定	847	84.9%
(16)動脈留置カテーテルからの採血	98	9.8%
(17)RSTへの参加	400	40.1%
(18)人工呼吸器を使用しているがCEは全く関与していない	11	1.1%
(19)人工呼吸器は全く使用されていない	18	1.8%

解説：回路組立・使用前点検が96%であった。

設問4 CEが人工呼吸器（NPPV・麻酔用人工呼吸器除く）について実施する業務はどれですか。（複数回答）n=998



設問5 CEがNPPVについて実施する業務はどれですか。（複数回答）

目的：CEがNPPVについて実施する業務を把握する。

定義：CEがNPPVについて実施する業務をすべて選択してください。※一部実施でも選択可能とする。

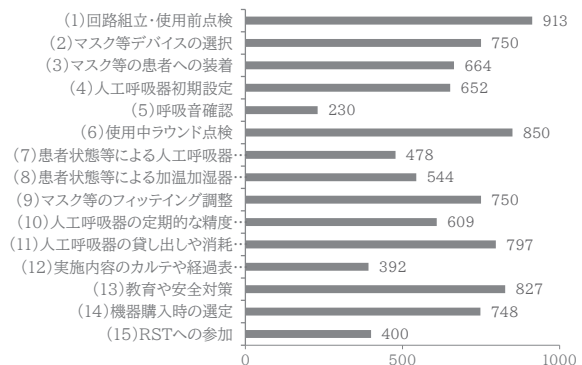
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：999

項目	n	割合
(1)回路組立・使用前点検	913	91.4%
(2)マスク等デバイスの選択	750	75.1%
(3)マスク等の患者への装着	664	66.5%
(4)人工呼吸器初期設定	652	65.3%
(5)呼吸音確認	230	23.0%
(6)使用中ラウンド点検	850	85.1%
(7)患者状態等による人工呼吸器設定変更	478	47.8%
(8)患者状態等による加温加湿器設定	544	54.5%
(9)マスク等のフィッティング調整	750	75.1%
(10)人工呼吸器の定期的な精度確認	609	61.0%
(11)人工呼吸器の貸し出しや消耗品の払い出し	797	79.8%
(12)実施内容のカルテや経過表への記録	392	39.2%
(13)教育や安全対策	827	82.8%
(14)機器購入時の選定	748	74.9%
(15)RSTへの参加	400	40.0%

解説：回路組立・使用前点検が91%であった。

設問5 CEがNPPVについて実施する業務はどれですか。（複数回答）n=999



設問 6 CE が人工呼吸器（NPPV 含む）の回路組立・使用前点検を実施しているのは、病院全体のどの程度の割合ですか。（単一回答）

目的：CE が院内の人工呼吸器（NPPV 含む）の回路組立・使用前点検を実施する割合を把握する。

定義：CE が院内の人工呼吸器（NPPV 含む）の回路組立・使用前点検を実施する割合選択してください。

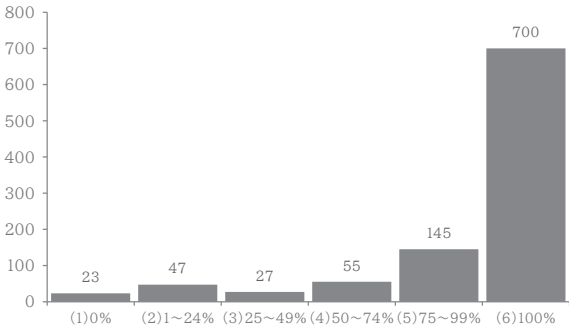
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：998

項目	n	割合
(1)0%	23	2.3%
(2)1～24%	47	4.7%
(3)25～49%	27	2.7%
(4)50～74%	55	5.5%
(5)75～99%	145	14.5%
(6)100%	700	70.1%

解説：100% CE が実施しているが 70% であった。

設問 6 CE が人工呼吸器（NPPV 含む）の回路組立・使用前点検を実施しているのは、病院全体のどの程度の割合ですか。（単一回答）n=998



設問 7 CE は人工呼吸器使用開始時の初期設定についてどの程度実施していますか。（単一回答）

目的：CE が実施する人工呼吸器の初期設定の状況を把握する。

定義：CE が実施する人工呼吸器の初期設定の程度を選択してください。

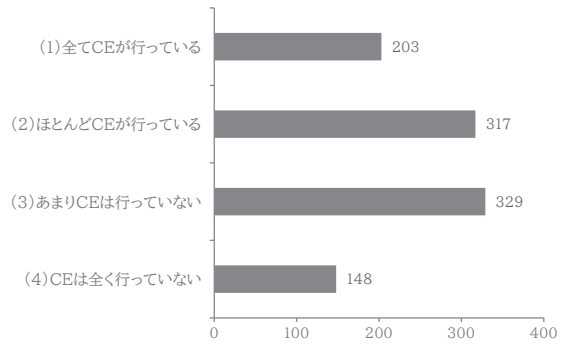
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：998

項目	n	割合
(1)全て CE が行っている	203	20.3%
(2)ほとんど CE が行っている	317	31.8%
(3)あまり CE は行っていない	329	33.0%
(4)CE は全く行っていない	148	14.8%

解説：あまり CE は行っていないが 33% であった。

設問 7 CE は人工呼吸器使用開始時の初期設定についてどの程度実施していますか。（単一回答）n=998



設問 8 CE は院内で人工呼吸器の使用ラウンド点検をどの程度実施していますか。（複数回答）

目的：CE が行う人工呼吸器の使用ラウンド点検実施状況を把握する。

定義：CE が院内で行う人工呼吸器の使用ラウンド点検実施状況を選択してください。

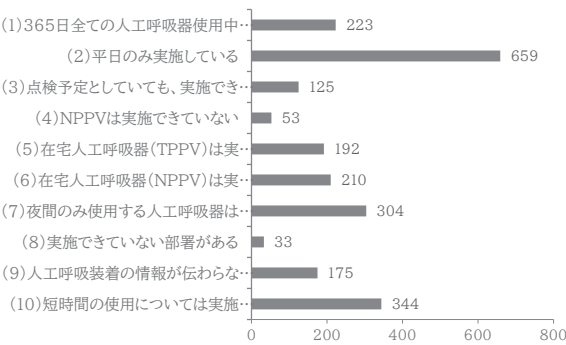
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：996

項目	n	割合
(1)365 日全ての人工呼吸器使用中ラウンド点検を実施している	223	22.4%
(2)平日のみ実施している	659	66.2%
(3)点検予定としていても、実施できていない日がある	125	12.6%
(4)NPPV は実施できていない	53	5.3%
(5)在宅人工呼吸器（TPPV）は実施できていない	192	19.3%
(6)在宅人工呼吸器（NPPV）は実施できていない	210	21.1%
(7)夜間のみ使用する人工呼吸器は実施できていない	304	30.5%
(8)実施できていない部署がある	33	3.3%
(9)人工呼吸装着の情報が伝わらない場合がある	175	17.6%
(10)短時間の使用については実施できない場合がある	344	34.5%

解説：平日のみ実施しているが 66% であった。

設問 8 CE は院内で人工呼吸器の使用ラウンド点検をどの程度実施していますか。（複数回答）n=996



設問9 CEが人工呼吸器設定変更のアセスメントとして何を用いていますか。(複数回答)

目的:CEが行う人工呼吸器設定をするうえで必要なツールを把握し、呼吸状態を評価した上で設定変更に携わっているか把握する。

定義:CEが院内で行う人工呼吸器設定に用いている評価ツールを選択してください。

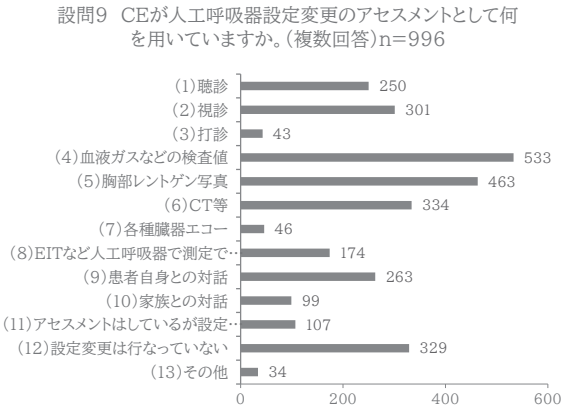
対象:2024年10月1日時点

有効回答数:996

項目	n	割合
(1)聴診	250	25.1%
(2)視診	301	30.2%
(3)打診	43	4.3%
(4)血液ガスなどの検査値	533	53.5%
(5)胸部レントゲン写真	463	46.5%
(6)CT等	334	33.5%
(7)各種臓器エコー	46	4.6%
(8)EITなど人工呼吸器で測定できるデータ	174	17.5%
(9)患者自身との対話	263	26.4%
(10)家族との対話	99	9.9%
(11)アセスメントはしているが設定変更には関与していない	107	10.7%
(12)設定変更は行っていない	329	33.0%
(13)その他	34	3.4%

その他 グラフィック:5,医師に指示された時に設定するのみ:4,Dr.とのカンファレンス時:3,医師,看護師との情報共有:2,RSTや認定看護師とチームで一緒に行っている.:1,換気量やSpO2など:1,看護師との情報交換:1,経皮的CO2モニター,患者の身長:1,呼吸器画面にての異常値,異常波形など:1,受け持ち看護師に状態を聞く:1,上記の結果を医師に報告し指示をいただく:1,設定が患者に合わない状態で,医師より相談された場合に対応している:1,設定変更を提案している:1,他職種との情報共有:1.

解説:血液ガスなどの検査値が54%,胸部レントゲン写真が47%であった。



設問10 CEが「血液ガス分析のための動脈留置カテーテル採血」をどの程度実施していますか。(単一回答)

目的:CEが血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施している状況を把握する。

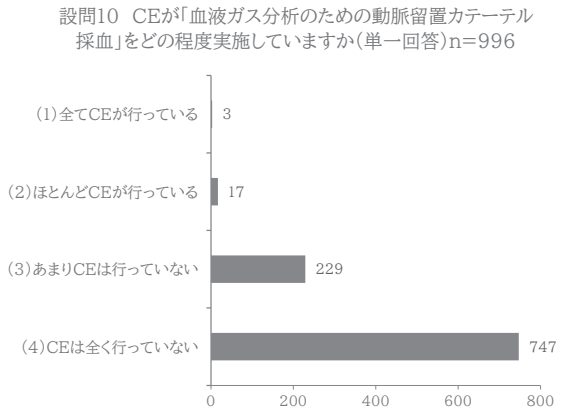
定義:CEが血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施している状況を選択してください。

対象:2024年10月1日時点

有効回答数:996

項目	n	割合
(1)全てCEが行っている	3	0.3%
(2)ほとんどCEが行っている	17	1.7%
(3)あまりCEは行っていない	229	23.0%
(4)CEは全く行っていない	747	75.0%

解説:CEは全く行っていないが75%であった。



設問11 CEは血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更をどの程度実施していますか。(単一回答)

目的:CEが行う血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更の状況を把握する。

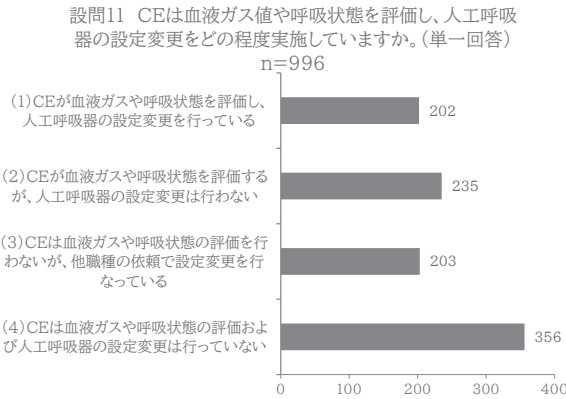
定義:CEが行う血液ガス値や呼吸状態を評価し、人工呼吸器の設定変更の状況を選択してください。(タスクシフト関連)

対象:2024年10月1日時点

有効回答数:996

項目	n	割合
(1)CEが血液ガスや呼吸状態を評価し,人工呼吸器の設定変更を行っている	202	20.3%
(2)CEが血液ガスや呼吸状態を評価するが,人工呼吸器の設定変更は行わない	235	23.6%
(3)CEは血液ガスや呼吸状態の評価を行わないが,他職種の依頼で設定変更を行なっている	203	20.4%
(4)CEは血液ガスや呼吸状態の評価および人工呼吸器の設定変更は行っていない	356	35.7%

解説：CE は血液ガスや呼吸状態の評価および人工呼吸器の設定変更は行っていないが 36%であった。



設問12 CE は人工呼吸器装着患者の SBT をどの程度実施していますか。(単一回答)

目的：CE が実施する人工呼吸器装着患者の SBT の状況を把握する。

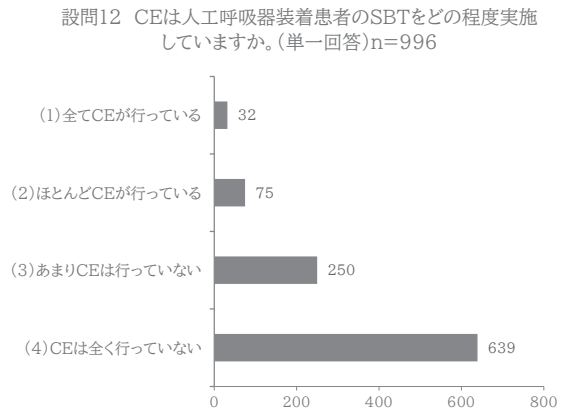
定義：CE が具体的指示を受けて実施する人工呼吸器装着患者の SBT の状況を選択してください。※ SBT とは自発呼吸試験とする。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：996

項目	n	割合
(1)全て CE が行っている	32	3.2%
(2)ほとんど CE が行っている	75	7.5%
(3)あまり CE は行っていない	250	25.1%
(4)CE は全く行っていない	639	64.2%

解説：CE は全く行っていないが 64%であった。



設問13 CE は人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引を行っていますか。(単一回答)

目的：CE が実施する人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引の状況を把握する。

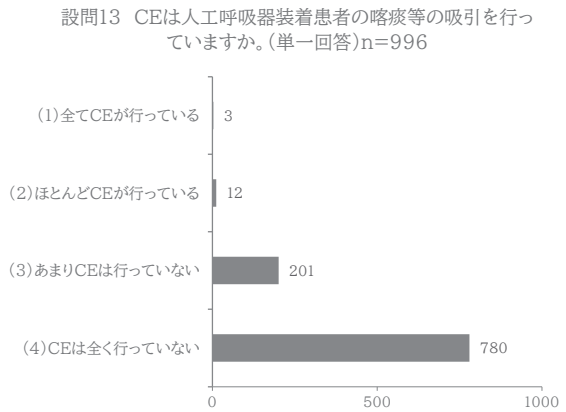
定義：CE が実施する人工呼吸器装着患者の喀痰等の吸引の状況を選択してください。(タスクシフト関連)

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：996

項目	n	割合
(1)全て CE が行っている	3	0.3%
(2)ほとんど CE が行っている	12	1.2%
(3)あまり CE は行っていない	201	20.2%
(4)CE は全く行っていない	780	78.3%

解説：CE は全く行っていないが 78%であった。



設問14 CE が HFNC において実施する業務どれですか。(複数回答)

目的：CE が実施する HFNC の状況を把握する。

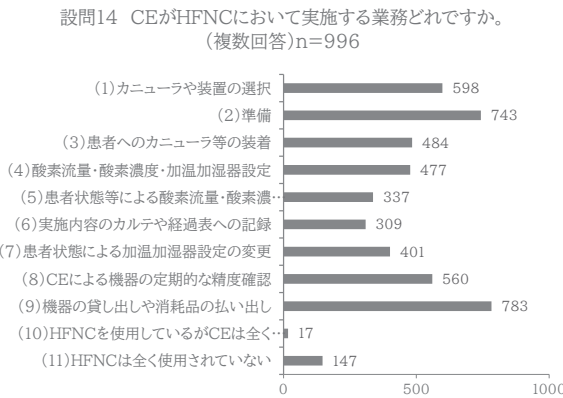
定義：CE が実施する HFNC の状況を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：996

項目	n	割合
(1)カニューラや装置の選択	598	60.0%
(2)準備	743	74.6%
(3)患者へのカニューラ等の装着	484	48.6%
(4)酸素流量・酸素濃度・加温加湿器設定	477	47.9%
(5)患者状態等による酸素流量・酸素濃度の変更	337	33.8%
(6)実施内容のカルテや経過表への記録	309	31.0%
(7)患者状態による加温加湿器設定の変更	401	40.3%
(8)CE による機器の定期的な精度確認	560	56.2%
(9)機器の貸し出しや消耗品の払い出し	783	78.6%
(10)HFNC を使用しているが CE は全く関与していない	17	1.7%
(11)HFNC は全く使用されていない	147	14.8%

解説：機器の貸し出しや消耗品の払い出しが 79 %であった。



設問 15 CE が酸素療法（HFNC は除く）について実施する業務はどれですか。（複数回答）

目的：CE が実施する酸素療法（HFNC は除く）の状況を把握する。

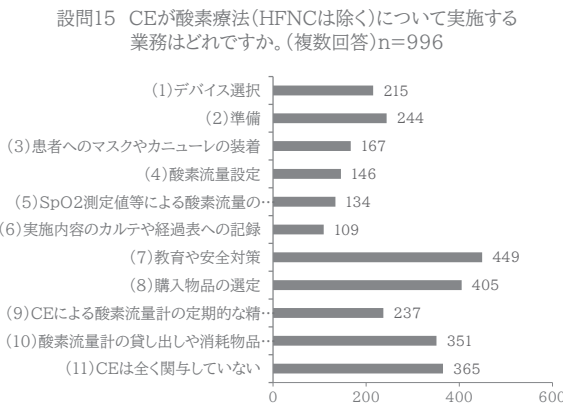
定義：CE が実施する酸素療法（HFNC は除く）の状況を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：996

項目	n	割合
(1)デバイス選択	215	21.6%
(2)準備	244	24.5%
(3)患者へのマスクやカニューレの装着	167	16.8%
(4)酸素流量設定	146	14.7%
(5)SpO2 測定値等による酸素流量の変更	134	13.5%
(6)実施内容のカルテや経過表への記録	109	10.9%
(7)教育や安全対策	449	45.1%
(8)購入物品の選定	405	40.7%
(9)CE による酸素流量計の定期的な精度確認	237	23.8%
(10)酸素流量計の貸し出しや消耗物品の払い出し	351	35.2%
(11)CE は全く関係していない	365	36.6%

解説：教育や安全対策が 45% であった。



設問 16 CE が実施する排痰補助装置の業務はどれですか。（複数回答）

目的：CE が実施する排痰補助装置の状況を把握する。

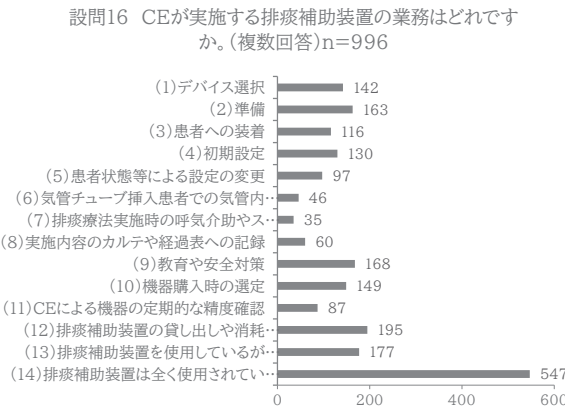
定義：CE が実施する排痰補助装置の状況を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：996

項目	n	割合
(1)デバイス選択	142	14.3%
(2)準備	163	16.4%
(3)患者への装着	116	11.6%
(4)初期設定	130	13.1%
(5)患者状態等による設定の変更	97	9.7%
(6)気管チューブ挿入患者での気管内吸引	46	4.6%
(7)排痰療法実施時の呼気助動やスクイーミング	35	3.5%
(8)実施内容のカルテや経過表への記録	60	6.0%
(9)教育や安全対策	168	16.9%
(10)機器購入時の選定	149	15.0%
(11)CE による機器の定期的な精度確認	87	8.7%
(12)排痰補助装置の貸し出しや消耗物品の払い出し	195	19.6%
(13)排痰補助装置を使用しているがCE は全く関係していない	177	17.8%
(14)排痰補助装置は全く使用されていない	547	54.9%

解説：排痰補助装置の貸し出しや消耗物品の払い出しが 20% であった。



設問 17 CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の業務はどれですか。（複数回答）

目的：CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の状況を把握する。

定義：CE が実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の状況を選択してください。

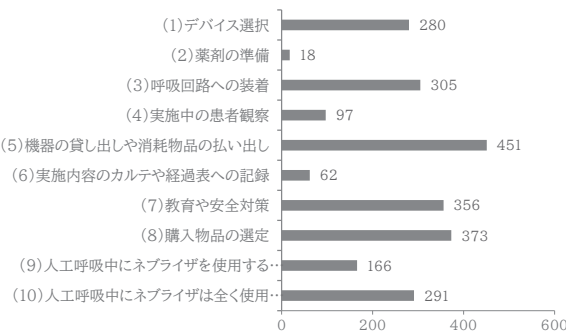
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：996

項目	n	割合
(1)デバイス選択	280	28.1%
(2)薬剤の準備	18	1.8%
(3)呼吸回路への装着	305	30.6%
(4)実施中の患者観察	97	9.7%
(5)機器の貸し出しや消耗物品の払い出し	451	45.3%
(6)実施内容のカルテや経過表への記録	62	6.2%
(7)教育や安全対策	356	35.7%
(8)購入物品の選定	373	37.4%
(9)人工呼吸中にネブライザを使用することがあるが CE は全く関与していない	166	16.7%
(10)人工呼吸中にネブライザは全く使用されていない	291	29.2%

解説：機器の貸し出しや消耗物品の払い出しが 45% であった。

設問17 CEが実施する人工呼吸中のネブライザを用いた吸入療法の業務はどれですか。（複数回答）n=996



設問 18 CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群，あるいは睡眠中の低換気に対する CPAP・ASV や NPPV の業務はどれですか。（複数回答）

目的：CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群，あるいは睡眠中の低換気に対する CPAP，ASV や NPPV の業務の状況を把握する。

定義：CE が院内で実施する睡眠時無呼吸症候群，あるいは睡眠中の低換気に対する CPAP，ASV や NPPV の業務の状況を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

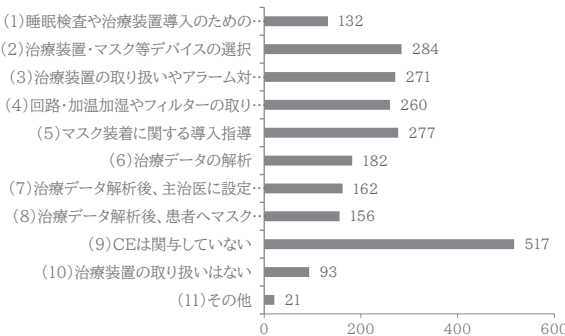
有効回答数：996

項目	n	割合
(1)睡眠検査や治療装置導入のための検査，あるいは評価の業務に関わっている。	132	13.3%
(2)治療装置・マスク等デバイスの選択	284	28.5%
(3)治療装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	271	27.2%
(4)回路・加温加湿やフィルターの取り扱いに関する導入指導	260	26.1%
(5)マスク装着に関する導入指導	277	27.8%
(6)治療データの解析	182	18.3%
(7)治療データ解析後，主治医に設定圧の変更提案やマスクや治療装置の変更提案を行っている	162	16.3%
(8)治療データ解析後，患者へマスクフィッティングの再指導を行っている	156	15.7%
(9)CE は関与していない	517	51.9%
(10)治療装置の取り扱いはない	93	9.3%
(11)その他	21	2.1%

その他 機器の貸し出し・返却・点検を行っている。：2,CPAP レポートの出力を院内で行えるように調整中：1,Dr への治療データの報告のみ：1,ME 室への装置の配置：1,web でのデータ管理（レポート作成）上，web トラブル時のみ対応している：1,メーカーとの連絡：1,件数が少ない。為ルーチン業務とはなっていない検査は生理機能室の担当：1,遠隔モニタリングの PW 管理：1,機器トラブル対応，メーカー対応：1,機器の故障対応：1,呼吸器の手配：1,在宅機器の為，導入時に要請があれば関与している：1,使用後点検：1,精密検査のデータ解析：1,装置の管理，貸出：1,装置の動作確認：1,入院患者の未対応・NPPV に準ずる。：1,

解説：CE は関与していないが 52% であった。

設問18 CEが院内で実施する睡眠時無呼吸症候群，あるいは睡眠中の低換気に対するCPAP・ASVやNPPVの業務はどれですか。（複数回答）n=996



問19 在宅呼吸療法（TPPV・NPPV・CPAP・HFNC・HOT など）を使用されている患者が入院された際、CE が実施する業務内容を選択してください。（複数回答）

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅呼吸療法の具体的な内容の把握する。

定義：CE が入院時の在宅呼吸療法に関して実施する業務を選択してください。

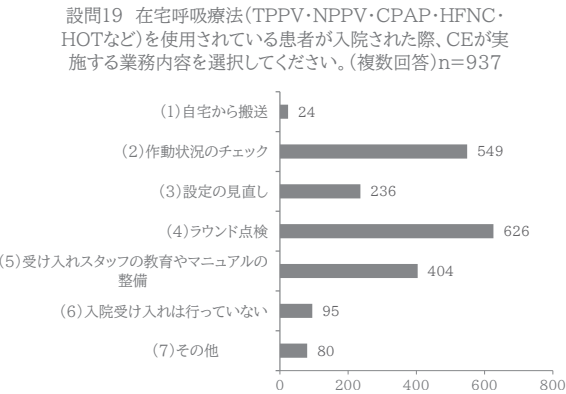
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：937

項目	n	割合
(1) 自宅から搬送	24	2.6%
(2) 作動状況のチェック	549	58.6%
(3) 設定の見直し	236	25.2%
(4) ラウンド点検	626	66.8%
(5) 受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	404	43.1%
(6) 入院受け入れは行っていない	95	10.1%
(7) その他	80	8.5%

その他 CE が関わっていない：32, 依頼があった場合のみ：14, 院内の人工呼吸器へ切り替える：4, 問い合わせの対応：3, 業者に依頼：3, 入院報告がないことが多い：3, トラブル時の相談・対応のみ：3, 使用機器の業者に連絡する：2, 設定、操作の助言等：2, SAS による CPAP は関与していない：1, ラウンド点検、取扱いの説明、わからない：1, 業者の保守実施状況の確認：1, 現在、介入の準備中：1, 事例なし：1, 持ち込み医療機器の情報把握：1, 消耗品の払い出し：1, 医師や看護師への教育、説明など：1.

解説：ラウンド点検が 67% であった。



6. 業務実態報告 2024 施設報告アドオン 在宅呼吸問 1 CE が在宅医療機器の導入もしくは在宅管理を実施している機器を教えてください。（複数回答）

目的：在宅治療の実施状況を把握する。

定義：在宅治療を実施している機器を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

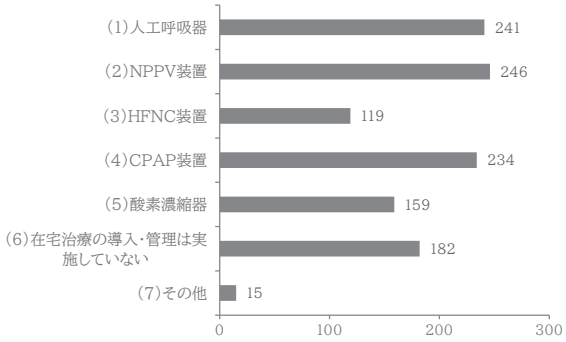
有効回答数：545

項目	n	割合
(1) 人工呼吸器	241	44.2%
(2) NPPV 装置	246	45.1%
(3) HFNC 装置	119	21.8%
(4) CPAP 装置	234	42.9%
(5) 酸素濃縮器	159	29.2%
(6) 在宅治療の導入・管理は実施していない	182	33.4%
(7) その他	15	2.8%

その他 CE は関与していない：3, 業者との連絡、連携：3, 在宅経腸栄養・在宅 TPN・持続皮下注など：3, ペースメーカー等、補助人工心臓ほか：1, 一部の CPAP, ASV を介入：1, 自院で導入し連携施設へ転院する場合がほとんど：1, 中心静脈用ポンプ、経管栄養用ポンプ、液化酸素装置、ポータブル吸引器、排痰補助装置：1, 排痰補助装置：1, 腹膜透析、補助人工心臓：1.

解説：NPPV 装置が 45 %，人工呼吸器が 44 %，CPAP 装置が 43% であった。

問1 CEが在宅医療機器の導入もしくは在宅管理を実施している機器を教えてください。(複数回答)n=545



問 2 CE が在宅機器の導入時の機種選定について関わってる項目はどれですか？（複数回答）

目的：在宅機器導入時の機種選定の関与を把握する。

定義：在宅機器の導入時の機種選定に関わっている機器を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

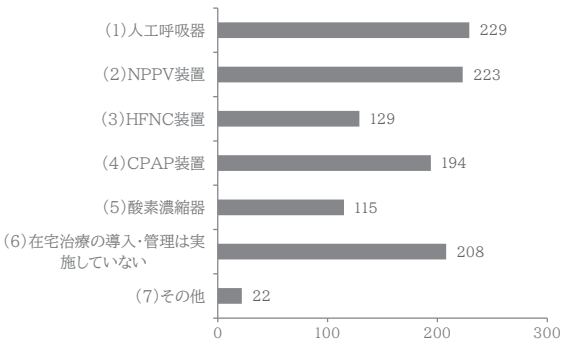
有効回答数：545

項目	n	割合
(1) 人工呼吸器	229	42.0%
(2) NPPV 装置	223	40.9%
(3) HFNC 装置	129	23.7%
(4) CPAP 装置	194	35.6%
(5) 酸素濃縮器	115	21.1%
(6) 在宅治療の導入・管理は実施していない	208	38.2%
(7) その他	22	4.0%

その他 CE は関与していない：8, 医師の選定：2, ハイセントラ療法、中心静脈栄養療法、経腸栄養：1, ペースメーカー等：1, 一部の CPAP, ASV を介入：1, 経腸栄養ポンプ・シリンジポンプ・輸液ポンプ：1, 受け入れ先の連携医の希望機種に沿う：1, 中心静脈用ポンプ・経管栄養用ポンプ・液化酸素装置、ポータブル吸引器・排痰補助装置：1, 当院と業務提携している業者の取り扱い機種による：1, 排痰補助装置：1.

解説:人工呼吸器が42%, NPPV 装置が41%であった。

問2 CEが在宅機器の導入時の機種選定について関わって
る項目はどれですか？(複数回答)n=545



問3 CE が在宅管理の移行に向け人工呼吸管理 (TPPV) の導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的:在宅管理の移行に向け人工呼吸管理の導入後から退院までの関与を把握する。

定義:在宅管理の移行に向け人工呼吸管理の導入後から退院までの関与を選択してください。

対象:2024年10月1日時点

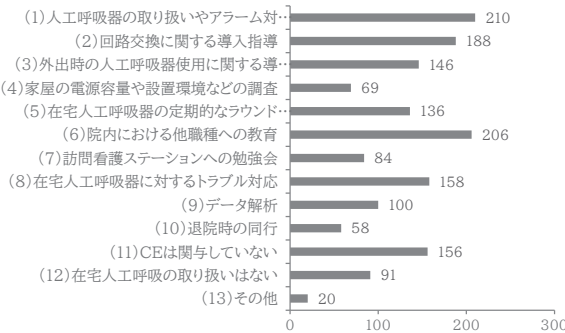
有効回答数:544

項目	n	割合
(1)人工呼吸器の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	210	38.6%
(2)回路交換に関する導入指導	188	34.6%
(3)外出時の人工呼吸器使用に関する導入指導	146	26.8%
(4)家屋の電源容量や設置環境などの調査	69	12.7%
(5)在宅人工呼吸器の定期的なラウンド点検	136	25.0%
(6)院内における他職種への教育	206	37.9%
(7)訪問看護ステーションへの勉強会	84	15.4%
(8)在宅人工呼吸器に対するトラブル対応	158	29.0%
(9)データ解析	100	18.4%
(10)退院時の同行	58	10.7%
(11)CEは関与していない	156	28.7%
(12)在宅人工呼吸の取り扱いはない	91	16.7%
(13)その他	20	3.7%

その他 業者との連絡・連携:4, tppv 症例がない:3, TPPV は対応していない:2, 機器選定:2, ベビーカー・バギーへの移乗訓練, 車への乗車訓練, 指示書の設定確認と業者への連絡, 退院時の車までの同行:1, メーカーとの連携・必要物品の調整・在宅関係者や家族などとの協議・多職種カンファレンス:1, 一部の CPAP, ASV を介入:1, 一部のメーカーのみ対応開始している:1, 院内において患者様入院中に人工呼吸器教育導入をおこない, 退院に向けての指導をおこなっている:1, 機器の貸し出しや消耗品の払い出し:1, 在宅診療所勤務ですので, 実際は患者が主業務となります:1, 勉強会の確認, 日程調整:1, 訪問看護と併席し退院カンファレンスから関わる:1.

解説:人工呼吸器の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導が39%であった。

問3 CEが在宅管理の移行に向け人工呼吸管理(TPPV)の
導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されて
いますか。(複数回答)n=544



問4 CE が在宅管理の移行に向け NPPV の導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的:在宅管理の移行に向け NPPV の導入後から退院までの関与を把握する。

定義:在宅管理の移行に向け NPPV の導入後から退院までの関与を選択してください。 ※ NPPV は睡眠時無呼吸に対する CPAP と ASV は含まない。

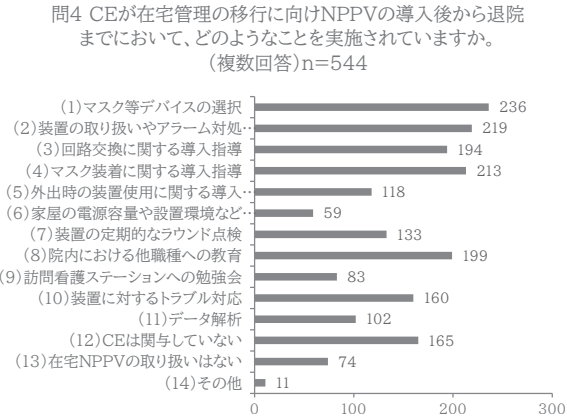
対象:2024年10月1日時点

有効回答数:544

項目	n	割合
(1)マスク等デバイスの選択	236	43.4%
(2)装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	219	40.3%
(3)回路交換に関する導入指導	194	35.7%
(4)マスク装着に関する導入指導	213	39.2%
(5)外出時の装置使用に関する導入指導	118	21.7%
(6)家屋の電源容量や設置環境などの調査	59	10.8%
(7)装置の定期的なラウンド点検	133	24.4%
(8)院内における他職種への教育	199	36.6%
(9)訪問看護ステーションへの勉強会	83	15.3%
(10)装置に対するトラブル対応	160	29.4%
(11)データ解析	102	18.8%
(12)CEは関与していない	165	30.3%
(13)在宅 NPPV の取り扱いはない	74	13.6%
(14)その他	11	2.0%

その他 業者との連絡・連携:4, 導入実績はほとんどない:2, 一部の CPAP, ASV を介入:1, 院内で人工呼吸器教育導入・退院指導をおこなう:1, 機器の貸出や消耗品の払い出し:1, メーカーとの連携・必要物品の調整・在宅関係者や家族などとの協議・多職種カンファレンス:1, 勉強会の内容・日程調整:1.

解説：マスク等デバイスの選択が43%であった。



問5 CEが在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的：在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までの関与を把握する。

定義：在宅管理の移行に向けHFNCの導入後から退院までの関与を選択してください。

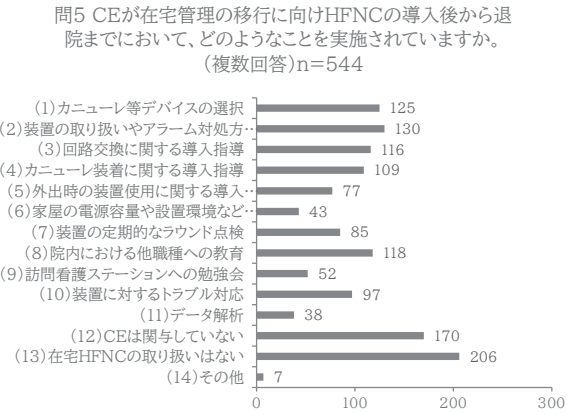
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：

項目	n	割合
(1)カニュレ等デバイスの選択	125	23.0%
(2)装置の取り扱いやアラーム対処方法に関する導入指導	130	23.9%
(3)回路交換に関する導入指導	116	21.3%
(4)カニュレ装着に関する導入指導	109	20.0%
(5)外出時の装置使用に関する導入指導	77	14.2%
(6)家屋の電源容量や設置環境などの調査	43	7.9%
(7)装置の定期的なラウンド点検	85	15.6%
(8)院内における他職種への教育	118	21.7%
(9)訪問看護ステーションへの勉強会	52	9.6%
(10)装置に対するトラブル対応	97	17.8%
(11)データ解析	38	7.0%
(12)CEは関与していない	170	31.3%
(13)在宅HFNCの取り扱いはない	206	37.9%
(14)その他	7	1.3%

その他 HFNC は対応していない:3,メーカー対応・連絡:1,わからない:1,メーカーとの連携・必要物品の調整・在宅関係者や家族などとの協議・多職種カンファレンス:1.

解説：在宅HFNCの取り扱いはないが38%, CEは関与していないが31%であった。



問6 CEが在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関わりにおいて、どのようなことを実施されていますか。(複数回答)

目的：在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関与を把握する。

定義：在宅管理の移行に向け在宅酸素療法の導入後から退院までの関与を選択してください。

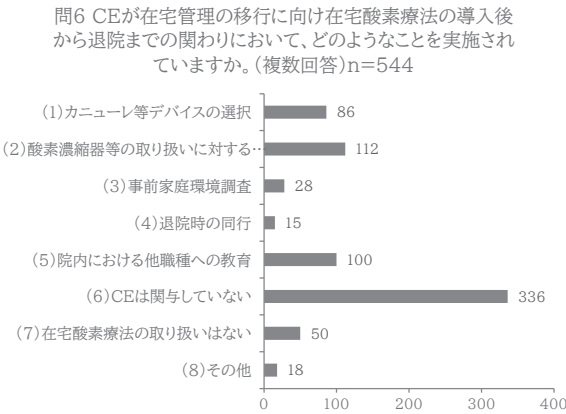
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：544

項目	n	割合
(1)カニュレ等デバイスの選択	86	15.8%
(2)酸素濃縮器等の取り扱いに対する導入指導	112	20.6%
(3)事前家庭環境調査	28	5.1%
(4)退院時の同行	15	2.8%
(5)院内における他職種への教育	100	18.4%
(6)CEは関与していない	336	61.8%
(7)在宅酸素療法の取り扱いはない	50	9.2%
(8)その他	18	3.3%

その他 業者との連絡・連携:5,導入時の対応:2,ボンベの取り扱い・注意点の指導:1,関わりはない:1,機器の選定と発注:1,機器の点検確認:1,業者選択・依頼:1,呼吸器導入時のみ濃縮器の取扱説明:1,使用状況解析:1,施設内のアラーム対応や操作手伝い:1,特殊な調整や複合した医療機器との組み合わせ時に対応:1.

解説：CEは関与していないが62%であった。



問7 在宅用医療機器を使用している患者が入院により在宅用医療機器を院内に持ち込み使用される際、どのような機器の場合 CE へ連絡が来る体制となっていますか。(複数回答)

目的：在宅患者が入院する場合の連絡体制構築状況を把握する。

定義：入院時の連絡体制は、どの機種における体制を構築しているか選択してください。

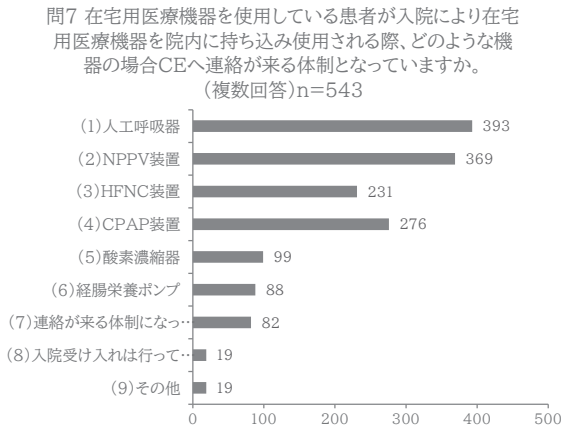
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：543

項目	n	割合
(1)人工呼吸器	393	72.4%
(2)NPPV 装置	369	68.0%
(3)HFNC 装置	231	42.5%
(4)CPAP 装置	276	50.8%
(5)酸素濃縮器	99	18.2%
(6)経腸栄養ポンプ	88	16.2%
(7)連絡が来る体制になっていない	82	15.1%
(8)入院受け入れは行っていない	19	3.5%
(9)その他	19	3.5%

その他 使用部署から必要時に連絡がくる：4,PCA ポンプ：1,ハイゼントラ療法・中心静脈栄養療法・経腸栄養：1,体内植込み医療機器・腹膜透析装置・吸引器：1,患者により連絡が来たり来なかったり：1,業者に依頼：1,不明：1,主治医による：1,介入必要度からの依頼：1,体制は整えていないが連絡が多くなる：1,体内植込み電気刺激装置：1,依頼内容に応じて対応している：1,補助人工心臓：1,臨床工学士が確認するが、連絡が来る場合もある：1,

解説：人工呼吸器が 72%であった。



問8 問9で人工呼吸器 (TPPV や NPPV) 患者入院時に CE へ連絡が来る体制になっていないと回答した施設へ質問です。体制の構築をされていない要因や理由を教えてください。(複数回答)

目的：体制の構築をされていない要因や理由を把握する。

定義：体制を構築されていない要因や理由を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

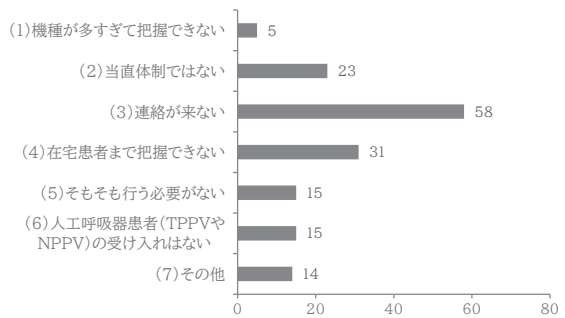
有効回答数：123

項目	n	割合
(1)機種が多すぎて把握できない	5	4.1%
(2)当直体制ではない	23	18.7%
(3)連絡が来ない	58	47.2%
(4)在宅患者まで把握できない	31	25.2%
(5)そもそも行う必要がない	15	12.2%
(6)人工呼吸器患者(TPPV や NPPV)の受け入れはない	15	12.2%
(7)その他	14	11.4%

その他 CE は関与していない：2,要望が無い：2,必要時のみ連絡が来る：1,トラブル対応は依頼時に行う・自主的に訪室している：1,院内のシステムで検索できるため：1,業者に依頼：1,構築中：1,職場のフィールドが違う：1,医師と看護師が対応している：1,担当部署が臨床工学士への連絡が必要ないと考えている：1,部署で対応できる場合は対応をお願いしている：1,夜間の装着が多く現在は行っていない：1,

解説：連絡が来ないが 47%であった。

問8 問9で人工呼吸器 (TPPV や NPPV) 患者入院時に CE へ連絡が来る体制になっていないと回答した施設へ質問です。体制の構築をされていない要因や理由を教えてください。(複数回答) n=123



問9 在宅人工呼吸器（TPPV）を使用される患者が入院する際、CE はどのようなことを実施しますか。実施することがある業務内容を選択してください。（複数回答）

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅人工呼吸器の具体的な内容について把握する。

定義：CE が入院時の在宅人工呼吸器に関して実施する業務を選択してください。

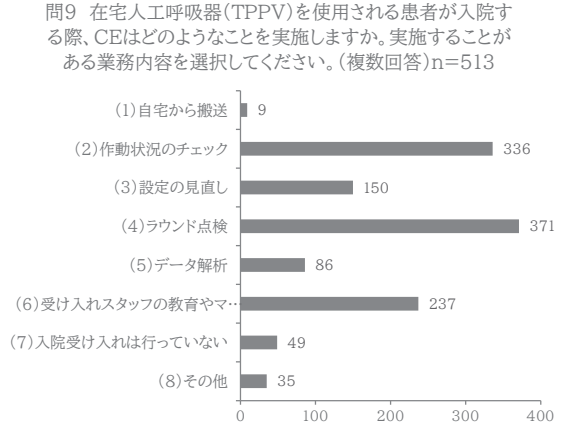
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：513

項目	n	割合
(1) 自宅から搬送	9	1.8%
(2) 作動状況のチェック	336	65.5%
(3) 設定の見直し	150	29.2%
(4) ラウンド点検	371	72.3%
(5) データ解析	86	16.8%
(6) 受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	237	46.2%
(7) 入院受け入れは行っていない	49	9.6%
(8) その他	35	6.8%

その他 CE は関与していない：8、依頼時に対応している：7、院内の人工呼吸器等に切り替える：5、症例がない：3、CE にほとんど連絡は来ない：1、医師と看護師が対応する：1、設定確認：1、通常の人工呼吸器の対応と同様の対応：1、基本はメーカー対応：1、不具合時の一次対応のみ：1、予備物品の確認：1。

解説：ラウンド点検が 72% であった。



問10 在宅 NPPV を使用される患者が入院する際、CE が実施する業務内容を選択してください。（複数回答）

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅 NPPV の具体的な内容の把握する。

定義：CE が入院時の在宅 NPPV に関して実施する業務を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

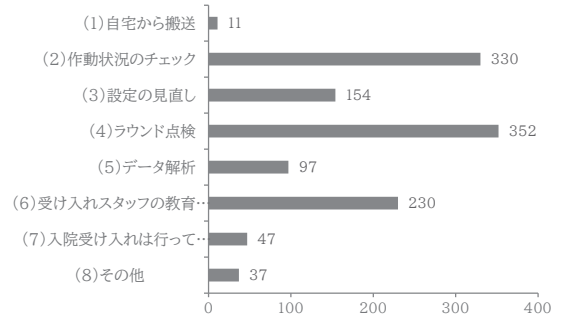
有効回答数：510

項目	n	割合
(1) 自宅から搬送	11	2.2%
(2) 作動状況のチェック	330	64.7%
(3) 設定の見直し	154	30.2%
(4) ラウンド点検	352	69.0%
(5) データ解析	97	19.0%
(6) 受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	230	45.1%
(7) 入院受け入れは行っていない	47	9.2%
(8) その他	37	7.3%

その他 CE は関与していない：10、依頼時に対応している：7、院内の人工呼吸器等に切り替える：4、通常の人工呼吸器の対応を実施：2、入院連絡がない：2、何もしない：1、業者に入院の連絡：1、症例がない：1、医師と看護師が対応：1、設定確認：1、基本は業者対応：1、予備物品の確認：1。

解説：ラウンド点検が 69% であった。

問10 在宅 NPPV を使用される患者が入院する際、CE が実施する業務内容を選択してください。（複数回答）n=510



問11 在宅 HFNC を使用される患者が入院する際、CE が実施する業務内容を選択してください。（複数回答）

目的：入院時の体制を構築している施設へ在宅 HFNC の具体的な内容について把握する。

定義：CE が入院時の在宅 HFNC に関して実施する業務を選択してください。

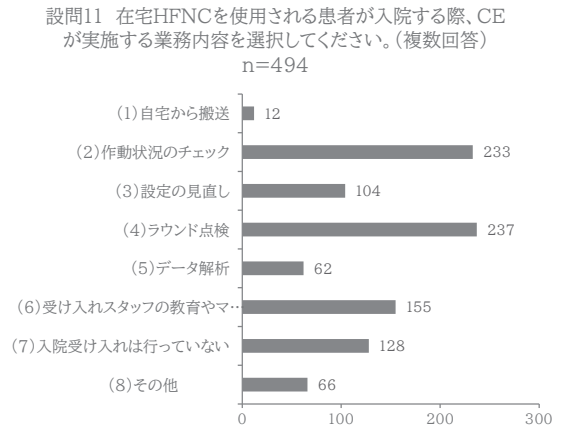
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：494

項目	n	割合
(1) 自宅から搬送	12	2.4%
(2) 作動状況のチェック	233	47.2%
(3) 設定の見直し	104	21.1%
(4) ラウンド点検	237	48.0%
(5) データ解析	62	12.6%
(6) 受け入れスタッフの教育やマニュアルの整備	155	31.4%
(7) 入院受け入れは行っていない	128	25.9%
(8) その他	66	13.4%

その他 症例なし：27、CE は関与していない：16、依頼時に対応している：7、院内のデバイスに切り替える：4、CE にほとんど連絡は来ない：1、わからない：1、医師と看護師が対応：1、設定確認：1、当院外来通院患者のみ：1、基本は業者対応：1。

解説：ラウンド点検が48%であった。



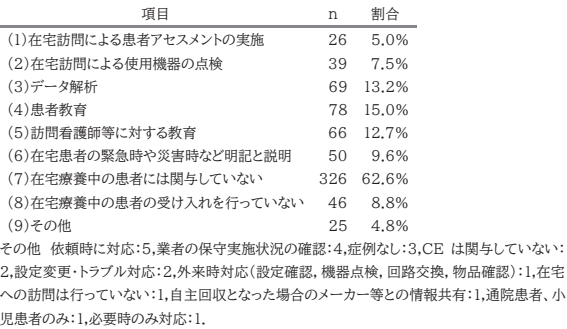
問12 在宅療養中の人工呼吸患者（TPPV）に対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅療養中の人工呼吸患者（TPPV）への関与を把握する。

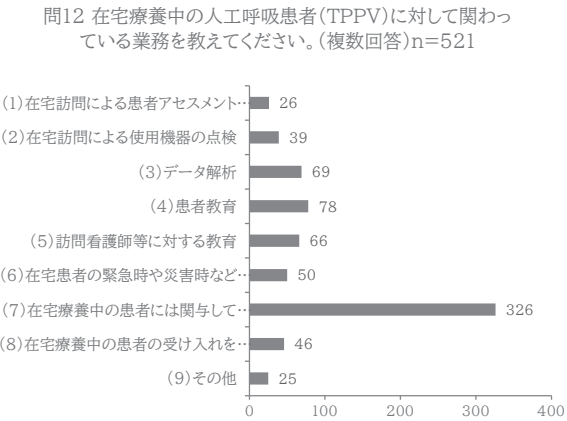
定義：在宅人工呼吸患者（TPPV）への関与を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：521



解説：在宅療養中の患者には関与していないが63%であった。



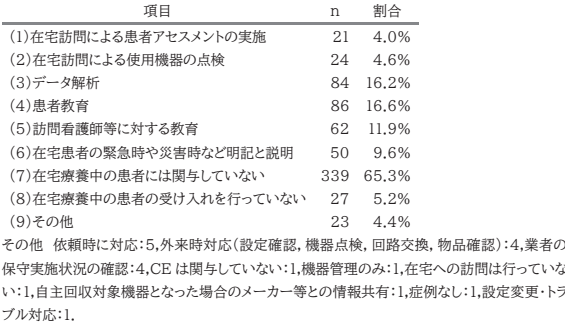
問13 在宅療養中のNPPVに対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅療養中のNPPVへの関与を把握する。

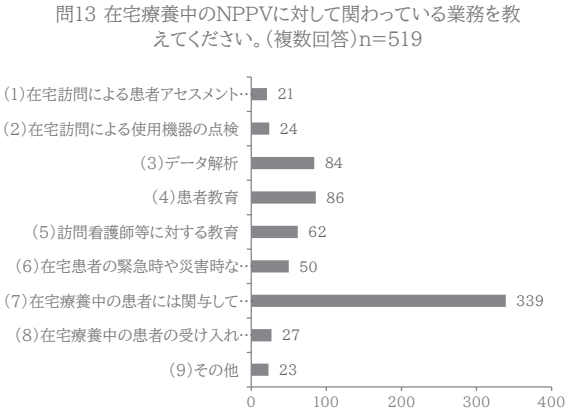
定義：在宅NPPVへの関与を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：519



解説：在宅療養中の患者には関与していないが65%であった。



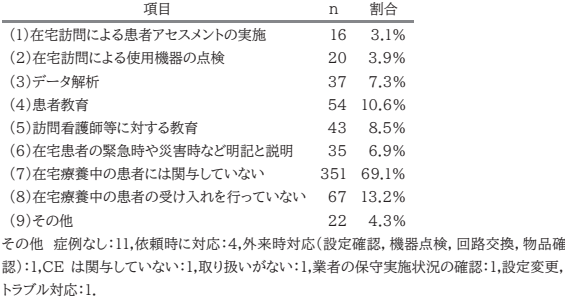
問14 在宅療養中のHFNCに対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)

目的：在宅療養中のHFNCへの関与を把握する。

定義：在宅HFNCへの関与を選択してください。

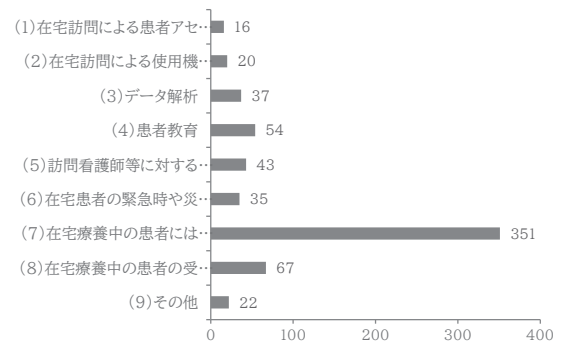
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：508



解説：在宅療養中の患者には関与していないが69%であった。

問14 在宅療養中のHFNCに対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)n=508



問15 在宅療養中の酸素療法に対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)

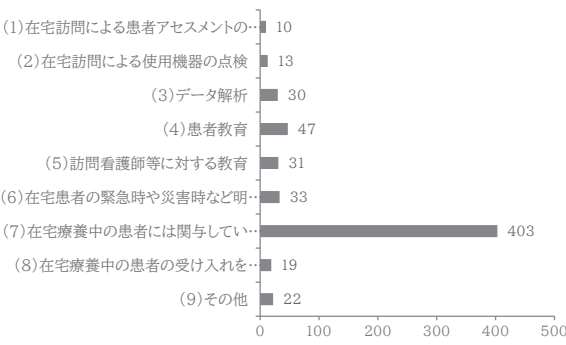
目的：在宅療養中の酸素療法の関与を把握する。
定義：在宅酸素療法への関与を選択してください。
対象：2024年10月1日時点
有効回答数：513

項目	n	割合
(1)在宅訪問による患者アセスメントの実施	10	1.9%
(2)在宅訪問による使用機器の点検	13	2.5%
(3)データ解析	30	5.8%
(4)患者教育	47	9.2%
(5)訪問看護師等に対する教育	31	6.0%
(6)在宅患者の緊急時や災害時など明記と説明	33	6.4%
(7)在宅療養中の患者には関与していない	403	78.6%
(8)在宅療養中の患者の受け入れを行っていない	19	3.7%
(9)その他	22	4.3%

その他 メーカーと共同:4,業者の保守実施状況の確認:3,依頼時に対応:3,CEは関与していない:2,外来時対応(設定確認,機器点検,回路交換,物品確認):2,機器管理のみ:1,呼吸器を使用している患者のみ実施.:1,在宅への訪問は行っていない:1,装置交換,トラブル対応:1,特殊な調整が必要な時点で関わる:1.

解説：在宅療養中の患者には関与していないが79%であった。

問15 在宅療養中の酸素療法に対して関わっている業務を教えてください。(複数回答)n=513



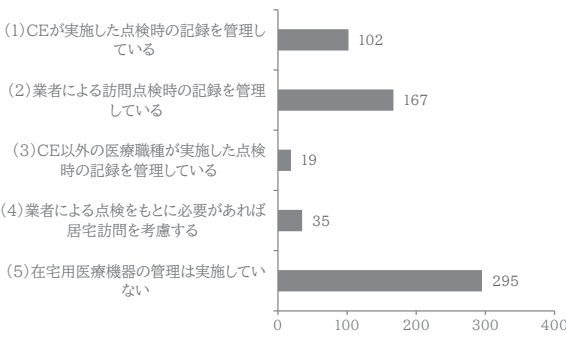
問16 在宅用医療機器の管理はどのようにされていますか。該当するものを選択してください。(複数回答)

目的：在宅管理機器の管理について把握する。
定義：在宅管理機器の管理について選択してください。
対象：2024年10月1日時点
有効回答数：541

項目	n	割合
(1)CEが実施した点検時の記録を管理している	102	18.9%
(2)業者による訪問点検時の記録を管理している	167	30.9%
(3)CE以外の医療職種が実施した点検時の記録を管理している	19	3.5%
(4)業者による点検をもとに必要があれば居宅訪問を考慮する	35	6.5%
(5)在宅用医療機器の管理は実施していない	295	54.5%

解説：在宅用医療機器の管理は実施していないが55%であった。

問16 在宅用医療機器の管理はどのようにされていますか。該当するものを選択してください。(複数回答)n=541



問17 在宅管理機器の点検記録を保管されている施設へお伺いします。管理されている機種は何ですか？(複数回答)

目的：在宅管理機器の点検記録を保管している機種を把握する。
定義：点検記録を保管している在宅管理機器の種類を選択してください。

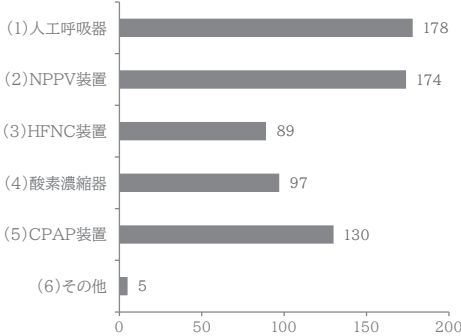
対象：2024年10月1日時点
有効回答数：232

項目	n	割合
(1)人工呼吸器	178	76.7%
(2)NPPV装置	174	75.0%
(3)HFNC装置	89	38.4%
(4)酸素濃縮器	97	41.8%
(5)CPAP装置	130	56.0%
(6)その他	5	2.2%

その他 カフアシスト:1,ベースメーカー等,補助人工心臓:1,血糖測定器・骨折治療器など:1,人工透析装置:1.

解説：人工呼吸器が77%, NPPV 装置が75%であった。

問17 在宅管理機器の点検記録を保管されている施設へお伺いします。管理されている機種は何ですか？(複数回答)
n=232



問18 呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を教えてください。(複数回答)

目的：呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を把握する。

定義：呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を選択してください。

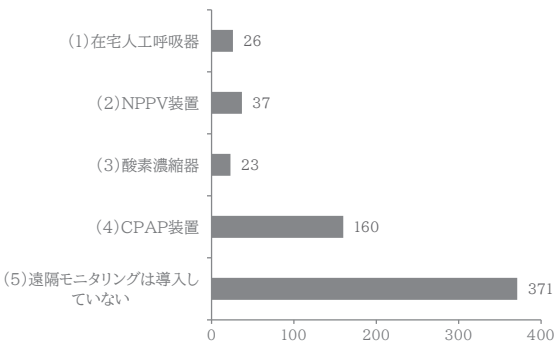
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：541

項目	n	割合
(1)在宅人工呼吸器	26	4.8%
(2)NPPV 装置	37	6.8%
(3)酸素濃縮器	23	4.3%
(4)CPAP 装置	160	29.6%
(5)遠隔モニタリングは導入していない	371	68.6%

解説：遠隔モニタリングは導入していないが69%であった。

問18 呼吸関係の遠隔モニタリングを行なっている機種を教えてください。(複数回答)n=541



問19 呼吸関係の遠隔モニタリングにて設定変更が必要な場合、どのような対応を行なっていますか。(複数回答)

目的：遠隔モニタリングのデータを解析してどのような対応を行なっているのか把握する。

定義：遠隔モニタリングのデータ解析後の対応方法を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

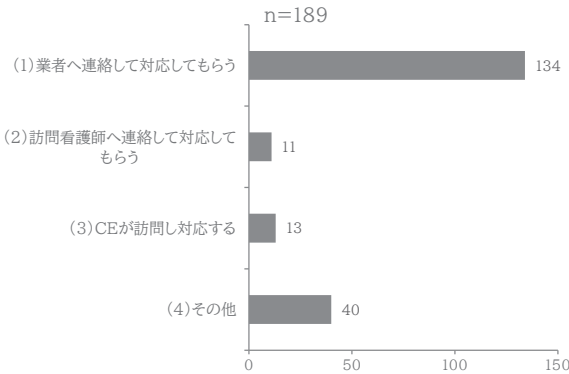
有効回答数：189

項目	n	割合
(1)業者へ連絡して対応してもらう	134	70.9%
(2)訪問看護師へ連絡して対応してもらう	11	5.8%
(3)CE が訪問し対応する	13	6.9%
(4)その他	40	21.2%

その他 外来時に対応する:11,遠隔で実施:9,CE は関与していない:4,業者対応:3,わからない:1,医師による電話診察または外来受診:1,医師へ報告:1,遠隔モニタリングなし:1,外来時の事前解析管理のみ:1,症例なし:1.

解説：業者へ連絡して対応してもらうが71%であった。

問19 呼吸関係の遠隔モニタリングにて設定変更が必要な場合、どのような対応を行なっていますか。(複数回答)
n=189



問20 在宅で起こったトラブルを知る手段について教えてください。(複数回答)

目的：在宅で起こったトラブルを知る手段を把握する。

定義：在宅で起こったトラブルを知る手段を選択してください。

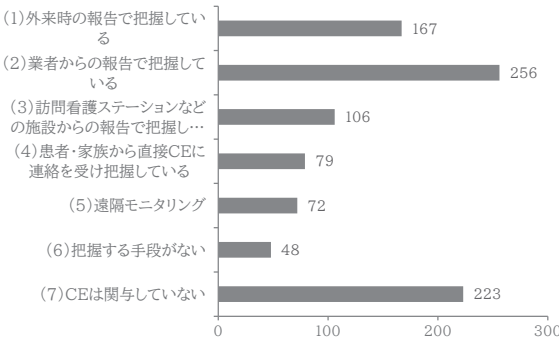
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：540

項目	n	割合
(1)外来時の報告で把握している	167	30.9%
(2)業者からの報告で把握している	256	47.4%
(3)訪問看護ステーションなどの施設からの報告で把握している	106	19.6%
(4)患者・家族から直接 CE に連絡を受け把握している	79	14.6%
(5)遠隔モニタリング	72	13.3%
(6)把握する手段がない	48	8.9%
(7)CE は関与していない	223	41.3%

解説：業者からの報告で把握しているが47%であった。

問20 在宅で起こったトラブルを知る手段について教えてください。(複数回答)n=541



問21 在宅で発生したトラブルなどの情報をインシデントやヒヤリハット報告などにより情報の共有化を行っていますか。(単一回答)

目的：在宅で発生したトラブル（インシデントやヒヤリハット）などの情報を共有する体制が構築されているかどうかを把握する。

定義：在宅で発生したトラブル（インシデントやヒヤリハット）などの情報共有の有無を選択してください。

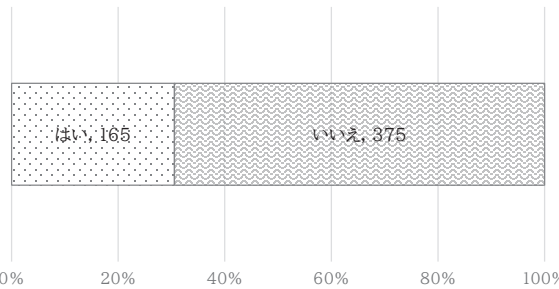
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：540

項目	n	割合
はい	165	30.6%
いいえ	375	69.4%

解説：いいえが 69%であった。

問21 在宅で発生したトラブルなどの情報をインシデントやヒヤリハット報告などにより情報の共有化を行っていますか。(単一回答)n=540



7. 業務実態報告 2024 施設報告アドオン集中治療・救急

問 1 算定されている集中治療関連の特定入院料及び加算を選択してください。(複数回答)

目的：集中治療室関連の設置状況を把握する。

定義：算定されている集中治療関連の特定入院料及び加算を選択してください。

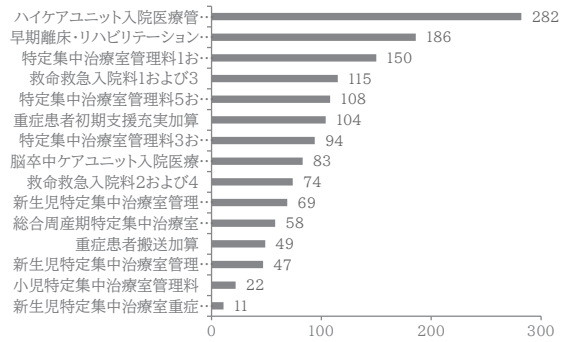
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：511

回答	n	割合
ハイケアユニット入院医療管理料	282	55.2%
早期離床・リハビリテーション加算	186	36.4%
特定集中治療室管理料 1 および 2	150	29.4%
救命救急入院料 1 および 3	115	22.5%
特定集中治療室管理料 5 および 6	108	21.1%
重症患者初期支援充実加算	104	20.4%
特定集中治療室管理料 3 および 4	94	18.4%
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	83	16.2%
救命救急入院料 2 および 4	74	14.5%
新生児特定集中治療室管理料2	69	13.5%
総合周産期特定集中治療室管理料	58	11.4%
重症患者搬送加算	49	9.6%
新生児特定集中治療室管理料1	47	9.2%
小児特定集中治療室管理料	22	4.3%
新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料	11	2.2%

解説：ハイケアユニット入院医療管理料を算定している施設は 55%であった。

問1 算定されている集中治療関連の特定入院料及び加算を選択してください。(複数回答) n=511



問2 問1で、特定集中治療室管理料1～6・救命救急入院料2および4を算定していると回答された施設にお尋ねします。令和4年度に新設された重症患者対応体制強化加算を算定していますか。算定していない場合は、その理由を選択してください。（複数回答）

目的：新設された加算獲得に対する弊害要因を把握する。

定義：重症患者対応体制強化加算を算定できない理由を選択してください。※専従とは、担当者となっており、その他の業務は緊急時以外は行わないものとする。

対象：2024年10月1日時点

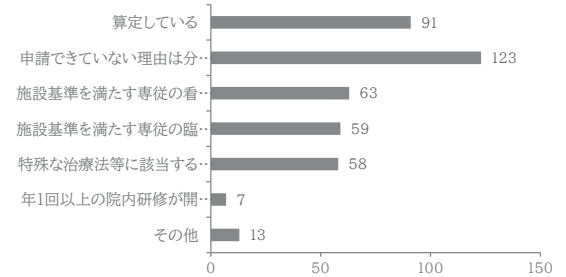
有効回答数：364

回答	n	割合
算定している	91	25.0%
申請できていない理由は分からない	123	33.8%
施設基準を満たす専従の看護師が不在	63	17.3%
施設基準を満たす専従の臨床工学士が不在	59	16.2%
特殊な治療法等に該当する患者が1割5分未満である	58	15.9%
年1回以上の院内研修が開催できない	7	1.9%
その他	13	3.6%

その他 不明:6,特定機能病院のため:6,急性期充実体制加算の届出を行っていないため:3,派遣要請に対応できない:1,全身麻酔の手術件数不足:1,専従以外の看護師が配置されていない:1,床面積の確保:1,医者の不足:1.

解説：重症患者対応体制強化加算を算定している施設は25.0%であった。申請できていない理由はわからないが34%であった。

問2 問1で、特定集中治療室管理料1～6・救命救急入院料2および4を算定していると回答された施設にお尋ねします。令和4年度に新設された重症患者対応体制強化加算を算定していますか。算定していない場合は、その理由を選択してください。（複数回答） n=364



問3 ICU（CCU・EICU・PICU 含む）を標榜している総ベッド数を教えてください。

目的：ICUの総ベッド数を把握する。

定義：ICUのベッド数を入力してください。ない場合は0を入力してください。※0を入力した場合は、設問12に進んでください。

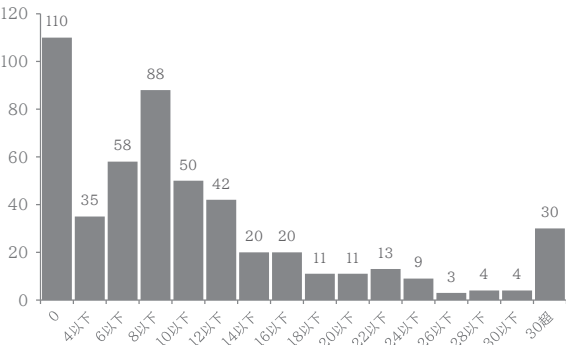
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：508

回答	n	割合
0	110	21.7%
4以下	35	6.9%
6以下	58	11.4%
8以下	88	17.3%
10以下	50	9.8%
12以下	42	8.3%
14以下	20	3.9%
16以下	20	3.9%
18以下	11	2.2%
20以下	11	2.2%
22以下	13	2.6%
24以下	9	1.8%
26以下	3	0.6%
28以下	4	0.8%
30以下	4	0.8%
30超	30	5.9%

解説：ICU（CCU・EICU・PICU 含む）を標榜している総ベッド数は0床が22%，1～8床以下が36%であった。

問3 ICU(CCU・EICU・PICU含む)を標榜している総ベッド数を教えてください。 n=508



問4 平日の日勤帯にICU（CCU・EICU・PICU含む）におけるCEの配置数（平均的な数値）を入力してください。

目的：平日のICUのCE人員配置の実態を把握する。

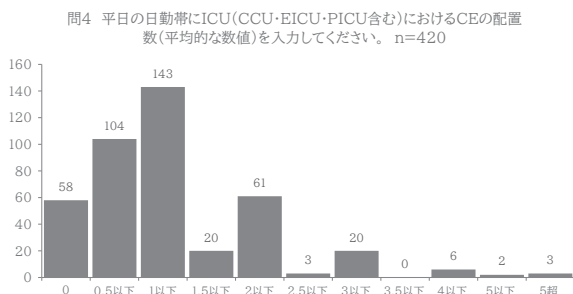
定義：平日の日勤帯にICU業務を行っているCEの人数を入力してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を入力。

対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：420

回答	n	割合
0	58	13.8%
0.5以下	104	24.8%
1以下	143	34.0%
1.5以下	20	4.8%
2以下	61	14.5%
2.5以下	3	0.7%
3以下	20	4.8%
3.5以下	0	0.0%
4以下	6	1.4%
5以下	2	0.5%
5超	3	0.7%

解説：平日の日勤帯にICU（CCU・EICU・PICU含む）におけるCEの配置数は1人以下が34%，0人が14%であった。



問5 休日の日勤帯にICU（CCU・EICU・PICU含む）におけるCEの配置数（平均的な数値）を入力してください。

目的：休日のICUのCE人員配置の実態を把握する。

定義：休日の日勤帯にICU業務を行っているCEの人数を入力してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を入力。

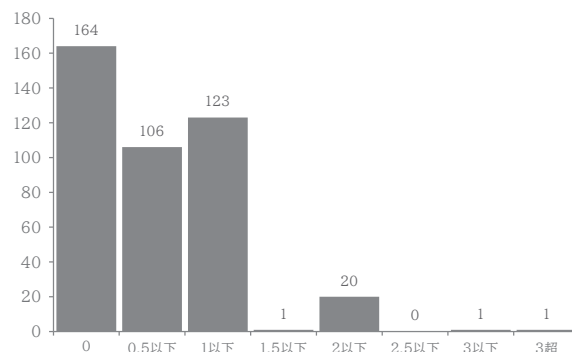
対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：416

回答	n	割合
0	164	39.4%
0.5以下	106	25.5%
1以下	123	29.6%
1.5以下	1	0.2%
2以下	20	4.8%
2.5以下	0	0.0%
3以下	1	0.2%
3超	1	0.2%

解説：休日の日勤帯にICU（CCU・EICU・PICU含む）におけるCEの配置数は0人が39%であった。1人以下が30%であった。

問5 休日の日勤帯にICU（CCU・EICU・PICU含む）におけるCEの配置数（平均的な数値）を入力してください。n=416



問6 夜勤帯にICU（CCU・EICU・PICU 含む）におけるCEの配置数（平均的な数値）を入力してください。

目的：夜勤帯のICUのCE人員配置の実態を把握する。

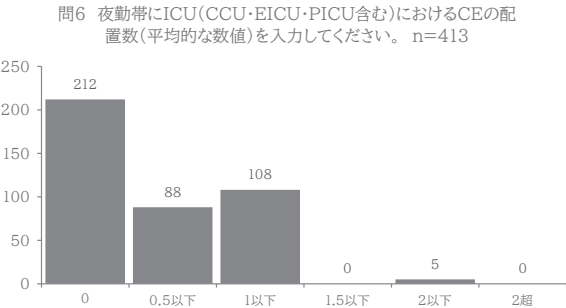
定義：夜勤帯にICU業務を行っているCEの人数を入力してください。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする。1人あたり4時間未満の場合は0.5、4時間以上の場合は1を入力。

対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：413

回答	n	割合
0	212	51.3%
0.5以下	88	21.3%
1以下	108	26.2%
1.5以下	0	0.0%
2以下	5	1.2%
2超	0	0.0%

解説：夜間帯にICU（CCU・EICU・PICU 含む）におけるCEの配置数は0人が51%であった。1人以下が26%であった。



問7 平日日勤帯にICU（CCU・EICU・PICU 含む）においてCEが実施している業務を選択してください。（複数回答）

目的：平日日勤帯のICUの業務内容を把握する。

定義：平日日勤帯に関与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする（タスクシフト関連）。

対象：2024年10月1日時点

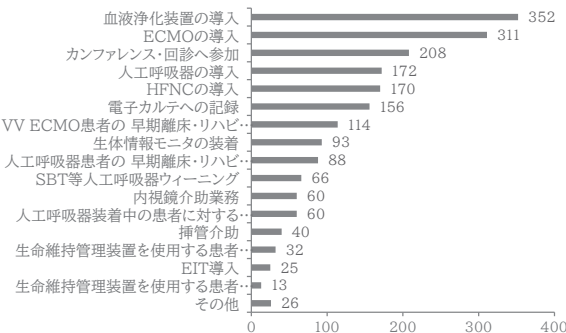
有効回答数：399

回答	n	割合
血液浄化装置の導入	352	88.2%
ECMOの導入	311	77.9%
カンファレンス・回診へ参加	208	52.1%
人工呼吸器の導入	172	43.1%
HFNCの導入	170	42.6%
電子カルテへの記録	156	39.1%
VV ECMO患者の 早期離床・リハビリテーションの介助	114	28.6%
生体情報モニタの装着	93	23.3%
人工呼吸器患者の 早期離床・リハビリテーションの介助	88	22.1%
SBT等人工呼吸器ウィーニング	66	16.5%
内視鏡介助業務	60	15.0%
人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血	60	15.0%
挿管介助	40	10.0%
生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更	32	8.0%
EIT導入	25	6.3%
生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去	13	3.3%
その他	26	6.5%

その他 生命維持管理装置装着患者の搬送：3、ラウンド業務・人工呼吸器・ECMO等の使用前・使用中点検業務：3、スコアリングの算出：2、人工心肺の準備・各トラブル対応・教育：1、持続脳波・間接熱量計・サーモガード：1、呼吸器ラウンド：1、血液ガス分析装置の保守点検管理機器点検：1、機材管理（セットアップ等）：1、患者アセスメント・VAD管理業務・Impella管理業務など：1、なし：1、カンファレンス・各種医療機器の点検：1、NOの導入：1、HCUのみ：1、ECMOの離脱テスト：1。

解説：平日日勤帯においてCEが実施している業務は、血液浄化装置の導入が88%、ECMOの導入が78%であった。

問7 平日日勤帯にICU（CCU・EICU・PICU含む）においてCEが実施している業務を選択してください。（複数回答）
n=399



問8 休日日勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む)においてCE が実施している業務を選択してください。(複数回答)

目的：休日日勤帯のICUの業務内容を把握する。
定義：休日日勤帯に関与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする(タスクシフト関連)。

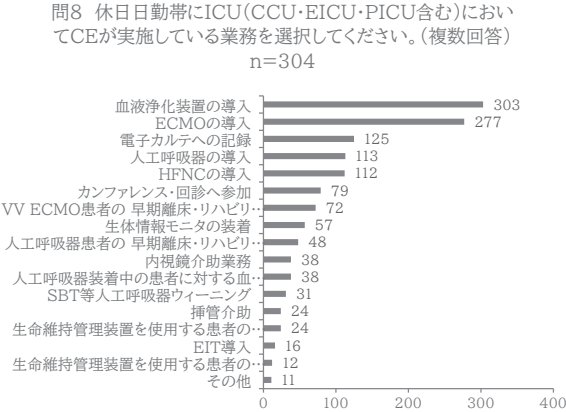
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：304

回答	n	割合
血液浄化装置の導入	303	99.7%
ECMOの導入	277	91.1%
電子カルテへの記録	125	41.1%
人工呼吸器の導入	113	37.2%
HFNCの導入	112	36.8%
カンファレンス・回診へ参加	79	26.0%
VV ECMO患者の早期離床・リハビリテーションの介助	72	23.7%
生体情報モニタの装着	57	18.8%
人工呼吸器患者の早期離床・リハビリテーションの介助	48	15.8%
内視鏡介助業務	38	12.5%
人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血	38	12.5%
SBT等人工呼吸器ウィーニング	31	10.2%
挿管介助	24	7.9%
生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更	24	7.9%
EIT導入	16	5.3%
生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去	12	3.9%
その他	26	8.6%

その他 生命維持管理装置装着患者の搬送:5,なし:3,オンコール対応:2,休日出勤なし:2,ECMO 離脱テスト:1,Impella 管理業務、VAD 管理業務など:1,CEは関与していない:1,持続脳波、間接熱量計、サーモガード、:1,人工呼吸器の準備、各トラブル対応:1。

解説：休日日勤帯においてCEが実施している業務は、血液浄化装置の導入が89%，ECMOの導入が82%であった。



問9 夜勤帯にICU (CCU・EICU・PICU 含む)においてCE が実施している業務を選択してください。(複数回答)

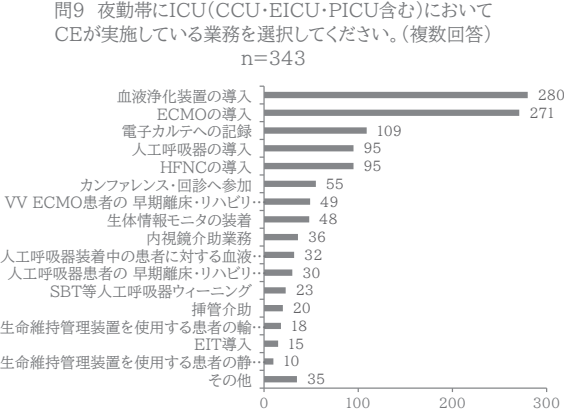
目的：夜勤帯のICUの業務内容を把握する。
定義：夜勤帯に関与している業務内容を選択してください。全ての患者に実施していない場合でも選択してください。※日勤帯は、8:00～16:30をおおむね含む勤務とする。休日とは日本の日曜日および祝日とする。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後10時から翌日午前5時までの時間帯を含む勤務とする(タスクシフト関連)。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：343

回答	n	割合
血液浄化装置の導入	278	81.0%
ECMOの導入	269	78.4%
電子カルテへの記録	109	31.8%
人工呼吸器の導入	95	27.7%
HFNCの導入	95	27.7%
カンファレンス・回診へ参加	55	16.0%
VV ECMO患者の早期離床・リハビリテーションの介助	49	14.3%
生体情報モニタの装着	48	14.0%
内視鏡介助業務	36	10.5%
人工呼吸器装着中の患者に対する血液ガス分析のための、動脈留置カテーテルからの採血	32	9.3%
人工呼吸器患者の早期離床・リハビリテーションの介助	30	8.7%
SBT等人工呼吸器ウィーニング	23	6.7%
挿管介助	20	5.8%
生命維持管理装置を使用する患者の輸液ポンプ・シリンジポンプの設定および設定変更	18	5.2%
EIT導入	15	4.4%
生命維持管理装置を使用する患者の静脈路確保および抜去	10	2.9%
その他	35	10.2%

解説：夜勤帯においてCEが実施している業務は、血液浄化装置の導入が86%，ECMOの導入が83%であった。



問10 NICU を標榜している総ベッド数を教えてください。

目的：NICU の総ベッド数を把握する。

定義：NICU のベッド数を数字で入力してください。
(ない場合は 0 を入力し、問 18 にお進みください。)

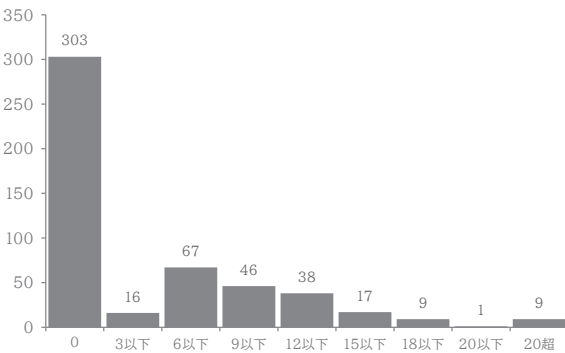
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：506

回答	n	割合
0	303	59.9%
3 以下	16	3.2%
6 以下	67	13.2%
9 以下	46	9.1%
12 以下	38	7.5%
15 以下	17	3.4%
18 以下	9	1.8%
20 以下	1	0.2%
20 超	9	1.8%

解説：NICU を標榜している総ベッド数は 0 床が 60%，1～6 床以下が 16%であった。

問10 NICUを標榜している総ベッド数を教えてください。
n=506



問11 平日の日勤帯に NICU にて業務を行っている CE の人数 (平均的な数値) を入力してください。

目的：平日の NICU の CE 人員配置の実態を把握する。

定義：NICU 業務を行っている CE の人数 (平均的な数値) を記入してください。 ※日勤帯は、8:00～16:30 がおおむね含む勤務とする。 ※1 人あたり 4 時間未満の場合は 0.5，4 時間以上の場合は 1 を入力する。

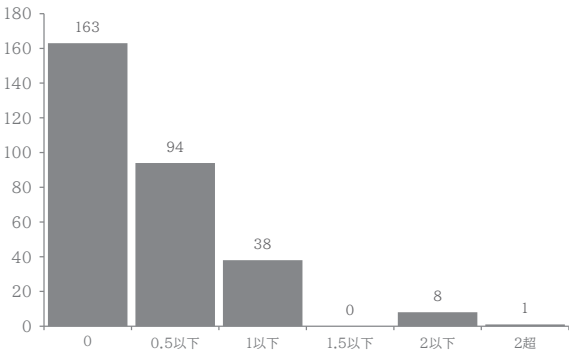
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：304

回答	n	割合
0	163	53.6%
0.5 以下	94	30.9%
1 以下	38	12.5%
1.5 以下	0	0.0%
2 以下	8	2.6%
2 超	1	0.3%

解説：平日の日勤帯に NICU にて業務を行っている CE の人数は 0 人が 54%であった。

問11 平日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数
(平均的な数値)を入力してください。 n=304



問12 休日の日勤帯に NICU にて業務を行っている CE の人数 (平均的な数値) を入力してください。

目的：休日の日勤帯の NICU の CE 人員配置の実態を把握する。

定義：休日の日勤帯に NICU 業務を行っている CE の人数 (平均的な数値) を入力してください。 夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後 10 時から翌日午前 5 時までの時間帯を含む勤務とする。 ※1 人あたり 4 時間未満の場合は 0.5，4 時間以上の場合は 1 を入力する。

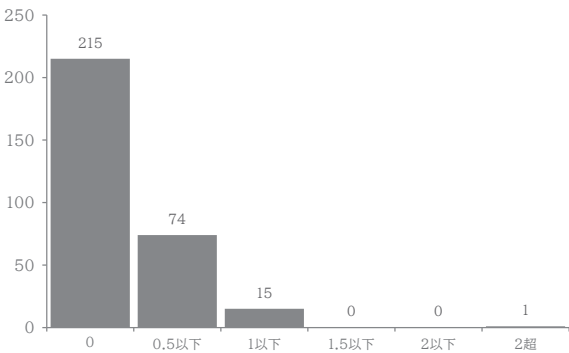
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：305

回答	n	割合
0	215	70.5%
0.5 以下	74	24.3%
1 以下	15	4.9%
1.5 以下	0	0.0%
2 以下	0	0.0%
2 超	1	0.3%

解説：休日の日勤帯に NICU にて業務を行っている CE の人数は 0 人が 71%であった。

問12 休日の日勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数
(平均的な数値)を入力してください。 n=305



問13 夜勤帯に NICU にて業務を行っている CE の人数（平均的な数値）を入力してください。

目的：夜勤帯の NICU の CE 人員配置の実態を把握する。

定義：夜勤帯に NICU 業務を行っている CE の人数（平均的な数値）を入力してください。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後 10 時から翌日午前 5 時までの時間帯を含む勤務とする。※ 1 人あたり 4 時間未満の場合は 0.5、4 時間以上の場合は 1 を入力する。

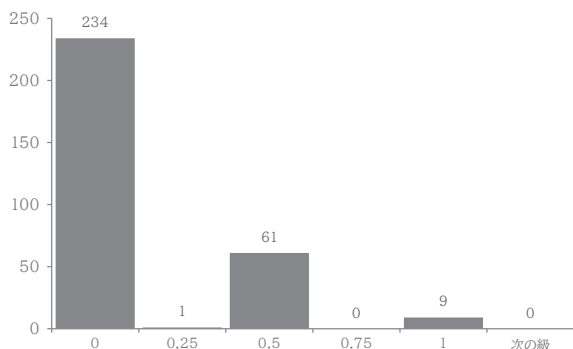
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：305

回答	n	割合
0	234	77.0%
0.25 以下	1	0.3%
0.5 以下	61	20.0%
0.75 以下	0	0.0%
1 以下	9	3.0%
1 超	0	0.0%

解説：夜勤帯に NICU にて業務を行っている CE の人数は 0 人が 77%であった。

問13 夜勤帯にNICUにて業務を行っているCEの人数
(平均的な数値)を入力してください n=305



問14 NICU にて実施している治療及び業務を選択してください。（複数回答）

目的：NICU における治療及び業務の種類の実態を把握する。

定義：NICU にて実施されている治療及び業務を選択してください。※ CE の実施ではない。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

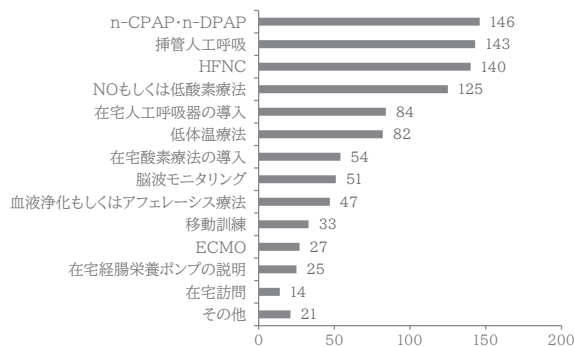
有効回答数：216

回答	n	割合
n-CPAP・n-D PAP	146	67.6%
挿管人工呼吸	143	66.2%
HFNC	140	64.8%
NO もしくは低酸素療法	125	57.9%
在宅人工呼吸器の導入	84	38.9%
低体温療法	82	38.0%
在宅酸素療法の導入	54	25.0%
脳波モニタリング	51	23.6%
血液浄化もしくはアフエーシス療法	47	21.8%
移動訓練	33	15.3%
ECMO	27	12.5%
在宅経腸栄養ポンプの説明	25	11.6%
在宅訪問	14	6.5%
その他	21	10.4%

その他 NICU はない:3,CE は関与していない:3,人工呼吸器の使用・使用後点検:2,人工呼吸器の導入、カンファレンス、各種医療機器の点検:2,現在は受け入れていない:1,9, 10, 11 は一度小児科に移動して行われる:1,トラブル対応:1,光線療法 :1,(10)在宅酸素療法の導入はNICUではなくGCUにて実施している:1.

解説：NICU にて実施している治療及び業務は n-CPAP・n-D PAP が 73%，挿管人工呼吸が 71%であった。

問14 NICUにて実施している治療及び業務を選択してください。(複数回答) n=216



問15 NICUにてCEが回路装着・使用前点検を実施している業務について選択してください。(複数回答)

目的：NICUにおけるCEの回路装着・使用前点検業務の実態を把握する。

定義：NICUにてCEが実施している業務を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

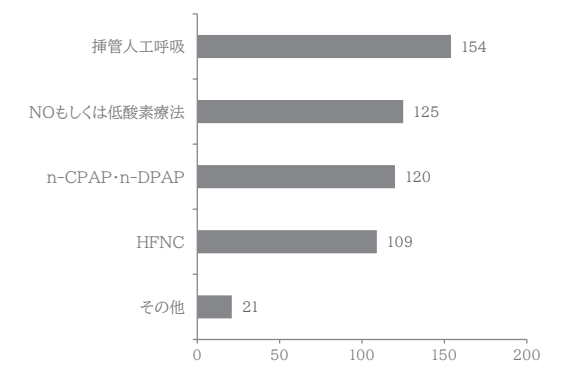
有効回答数：199

回答	n	割合
挿管人工呼吸	153	76.9%
NOもしくは低酸素療法	125	62.8%
n-CPAP・n-DPAP	119	59.8%
HFNC	108	54.3%
その他	21	10.6%

その他 CEは関与していない：11,NIVおよび挿管管理でのNAVA：1,回路装着、使用前点検は看護師が行っている：1,使用中点検：1.

解説：CEが回路装着・使用前点検を実施している業務は挿管人工呼吸が85%であった。

問15 NICUにてCEが回路装着・使用前点検を実施している業務について選択してください。(複数回答) n=199



問16 NICUにてCEが回路交換を実施している業務について選択してください。(複数回答)

目的：NICUにおけるCEの回路交換業務の実態を把握する。

定義：NICUにてCEが回路交換を行なっている業務を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

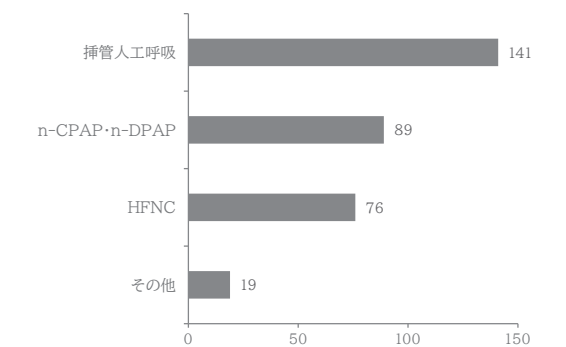
有効回答数：165

回答	n	割合
挿管人工呼吸	142	86.1%
n-CPAP・n-DPAP	90	54.5%
HFNC	77	46.7%
その他	19	11.5%

その他 CEは関与していない：9,回路交換はせず、機器交換をしている：1,看護師が行う：1.

解説：CEが回路交換を実施している業務は挿管人工呼吸が77%であった。

問16 NICUにてCEが回路交換を実施している業務について選択してください。(複数回答) n=165



問17 NICUにてCEが導入・装着に関与している治療もしくは関与している業務について選択してください。(複数回答)

目的：NICUにおけるCEの導入・装着に関与している業務の実態を把握する。

定義：NICUにて導入・装着を行なっている業務を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

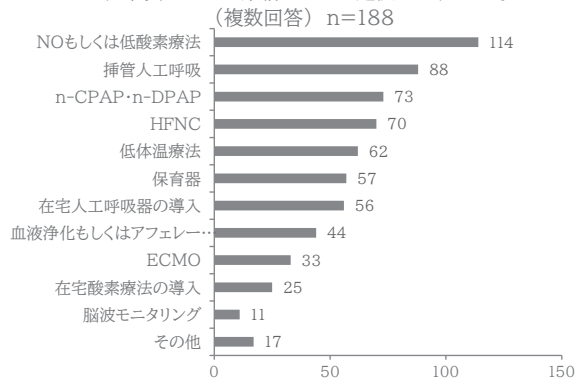
有効回答数：188

回答	n	割合
NOもしくは低酸素療法	114	60.6%
挿管人工呼吸	88	46.8%
n-CPAP・n-DPAP	73	38.8%
HFNC	70	37.2%
低体温療法	62	33.0%
保育器	57	30.3%
在宅人工呼吸器の導入	56	29.8%
血液浄化もしくはアフエーシス療法	44	23.4%
ECMO	33	17.6%
在宅酸素療法の導入	25	13.3%
脳波モニタリング	11	5.9%
その他	17	9.0%

その他 CEは関与していない：ICUに移動しての導入：1,VAD・ペースメーカー：1,導入・装着に関する相談やトラブル対応：1.

解説：CE が導入・装着に関与している治療もしくは関与している業務は、NO もしくは低酸素療法が 61%，挿管人工呼吸が 47%であった。準備までしか関与していない施設もあった。

問17 NICUにてCEが導入・装着に関与している治療もしくは関与している業務について選択してください。



問18 救急初療室は設置されていますか。(複数回答)

目的：救急初療室の設置実態を把握する。

定義：救急初療室の有無と種別を把握する。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

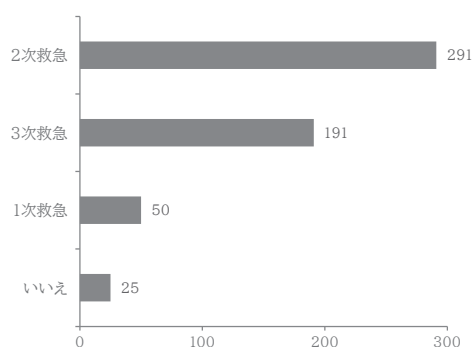
有効回答数：506

回答	n	割合
2 次救急	291	57.5%
3 次救急	191	37.7%
1 次救急	50	9.9%
いいえ	26	5.1%

解説：救急初療室は 1 次救急が 10%，2 次救急が 57%，3 次救急が 38%であった。

問18 救急初療室は設置されていますか。(複数回答)

n=506



問19 救急初療室における業務に CE が対応している時間帯を選択してください。(複数回答)

目的：CE が救急初療室における業務に対応している時間帯の実態を把握する。

定義：対応している時間帯を選択してください。ただし機器ラウンド点検などで使用中点検のみは除きます。※日勤帯は、8:00～16:30（半角かどうかは他の業務設問と統一をお願いします）をおおむね含む勤務とする。休日とは日曜日および日本の祝日とする。夜勤帯とは、労働基準法に定められた深夜業午後 10 時から翌日午前 5 時までの時間帯を含む勤務とする。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

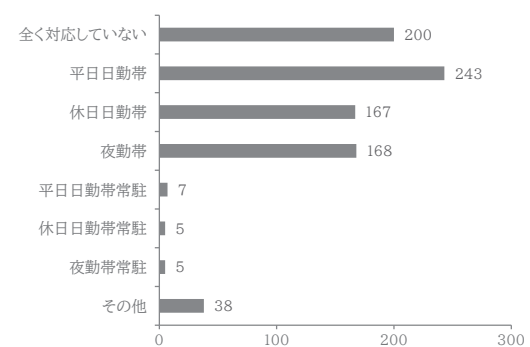
有効回答数：485

回答	n	割合
平日日勤帯	243	50.1%
全く対応していない	200	41.2%
夜勤帯	168	34.6%
休日日勤帯	167	34.4%
平日日勤帯常駐	7	1.4%
休日日勤帯常駐	5	1.0%
夜勤帯常駐	5	1.0%
その他	38	7.8%

その他 必要時にオンコール対応:27,休日日勤帯・夜勤帯はオンコール対応:4,平日、休日準夜勤帯:1,呼吸・循環装置装着時や搬送時の有事対応:1.

解説：救急初療室における業務に CE が対応している時間帯は平日日勤帯が 50%，全く対応していないが 41%であった。その他として、必要に応じて対応している施設があった。

問19 救急初療室における業務にCEが対応している時間帯を選択してください。(複数回答) n=485



問20 救急初療室にてCEが実施することがある業務を選択してください。（複数回答）

目的：CEが救急初療室において対応している業務の実態を把握する。

定義：対応している業務を選択してください。

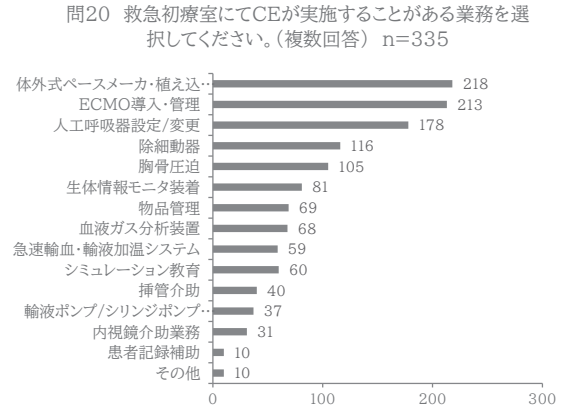
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：335

回答	割合
体外式ペースメーカー・植え込みデバイス設定/変更	218 65.1%
ECMO導入・管理	213 63.6%
人工呼吸器設定/変更	178 53.1%
除細動器	116 34.6%
胸骨圧迫	105 31.3%
生体情報モニタ装着	81 24.2%
物品管理	69 20.6%
血液ガス分析装置	68 20.3%
急速輸血・輸液加温システム	59 17.6%
シミュレーション教育	60 17.9%
挿管介助	40 11.9%
輸液ポンプ/シリンジポンプの設定/変更	37 11.0%
内視鏡介助業務	31 9.3%
患者記録補助	10 3.0%
その他	10 3.0%

その他 麻酔機点検：1,ECMO, IABPの機器載替・搬送・呼吸器関連装着患者の移動等：1,CEは関与なし：1,TTMの導入：1,TTM,補助循環装置装着患者受入：1,HFNC：1.

解説：救急初療室にてCEが実施する業務は、体外式ペースメーカー・植え込みデバイス設定／変更が65%，ECMO導入・管理が64%であった。その他として、補助循環装置装着患者受け入れがあった。



問21 CEが立ち会う院内搬送患者を選択してください。（複数回答）

目的：CEが院内搬送に対応している業務の実態を把握する。

定義：CEが立ち会う院内搬送患者を選択してください。人工呼吸器は用手式を除きます。

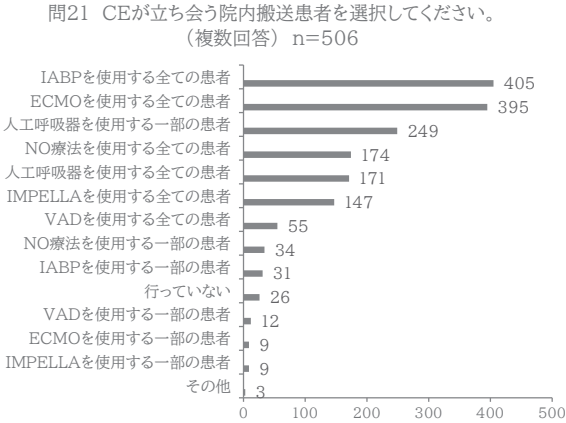
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：506

回答	n	割合
IABPを使用する全ての患者	405	80.0%
ECMOを使用する全ての患者	395	78.1%
人工呼吸器を使用する一部の患者	249	49.2%
NO療法を使用する全ての患者	174	34.4%
人工呼吸器を使用する全ての患者	171	33.8%
IMPELLAを使用する全ての患者	147	29.1%
VADを使用する全ての患者	55	10.9%
NO療法を使用する一部の患者	34	6.7%
IABPを使用する一部の患者	31	6.1%
行っていない	26	5.1%
VADを使用する一部の患者	12	2.4%
ECMOを使用する一部の患者	9	1.8%
IMPELLAを使用する一部の患者	9	1.8%
その他	3	0.6%

その他 NHF, NPPVの一部の患者：1,HFNCを使用する一部の患者：1.

解説：CEが立ち会う院内搬送患者は、IABPを使用する全ての患者が80%，ECMOを使用する全ての患者が78%，人工呼吸器を使用する全ての患者は34%であった。



問22 CE が立ち会う院外搬送患者を選択してください。（複数回答）

目的：CE が院外搬送に対応している業務の実態を把握する。

定義：CE が立ち会う院外搬送患者を選択してください。人工呼吸器は用手式を除きます。

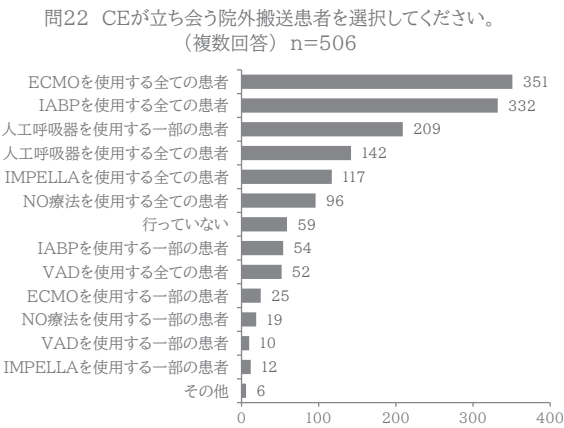
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：506

回答	n	割合
ECMO を使用する全ての患者	351	69.4%
IABP を使用する全ての患者	332	65.6%
人工呼吸器を使用する一部の患者	209	41.3%
人工呼吸器を使用する全ての患者	142	28.1%
IMPELLA を使用する全ての患者	117	23.1%
NO 療法を使用する全ての患者	96	19.0%
行っていない	59	11.7%
IABP を使用する一部の患者	54	10.7%
VAD を使用する全ての患者	52	10.3%
ECMO を使用する一部の患者	25	4.9%
NO 療法を使用する一部の患者	19	3.8%
VAD を使用する一部の患者	10	2.0%
IMPELLA を使用する一部の患者	12	2.4%
その他	6	1.2%

その他 NHF, NPPV の一部の患者:1, HFNC を使用する一部の患者:1, 依頼時に立会う:1,

解説：CE が立ち会う院外搬送患者は、ECMO を使用する全ての患者が 69%，IABP を使用する全ての患者が 66%，人工呼吸器を使用する全ての患者は 28% であった。



問23 ドクターカー（医療機関所有の、患者搬送機能を有する救急車）に関する業務として CE が

行っていることを選択してください。（複数回答）

目的：CE が行なっているドクターカーに関する業務の実態を把握する。

定義：CE が対応している業務を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

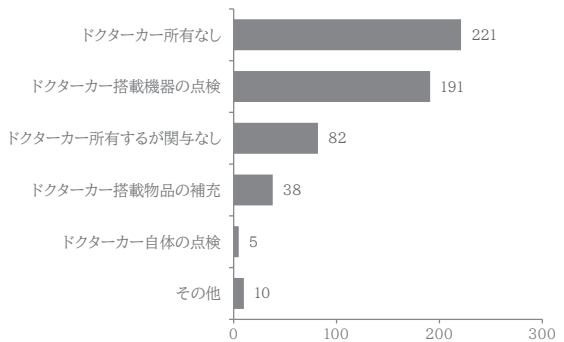
有効回答数：506

回答	n	割合
ドクターカー所有なし	221	43.7%
ドクターカー搭載機器の点検	191	37.7%
ドクターカー所有するが関与なし	82	16.2%
ドクターカー搭載物品の補充	38	7.5%
ドクターカー自体の点検	5	1.0%
その他	10	2.0%

その他 搭載機器の不具合時に対応:3, 保育器, 除細動器, 生体モニター, 人工呼吸器の管理:1, 救急車の対応:1, 搬送に立ち合いが必要時:1, ドクターカーの運転:1, CE は関与なし:1, 業者に委託:1,

解説：ドクターカーの所有なしが 44%，ドクターカー搭載機器の点検が 38% であった。所有しているが関与なしは 16% であった。その他として、トラブル対応があった。

問23 ドクターカー(医療機関所有の、患者搬送機能を有する救急車)に関する業務としてCEが行っていることを選択してください。(複数回答) n=506



問24 貴院では ICU およびそれに準ずる治療室 (CCU, SCU, NICU, HCU, PICU), 救急外来, 病棟, 放射線透視室において, (清潔) 介助業務を実施していますか。(複数回答)

目的：CE の (清潔) 介助業務の実施状況を把握する。

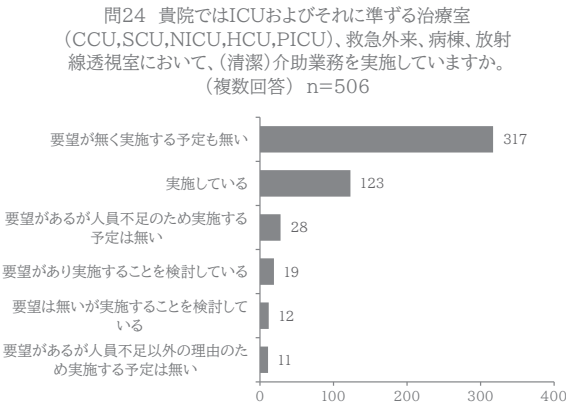
定義：CE が (清潔) 介助業務を実施しているか記入してください (タスクシフト関連)。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：506

回答	n	割合
要望が無く実施する予定も無い	317	62.6%
実施している	123	24.3%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	28	5.5%
要望があり実施することを検討している	19	3.8%
要望は無いが実施することを検討している	12	2.4%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	11	2.2%

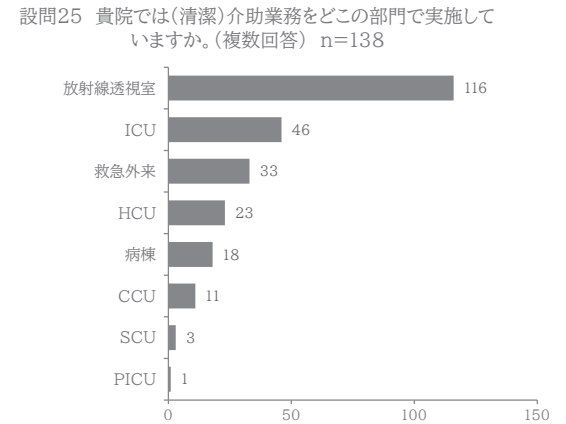
解説：ICU およびそれに準ずる治療室（CCU，SCU，NICU，HCU，PICU），救急外来，病棟，放射線透視室において，（清潔）介助業務を実施しているが24%であった。



問25 貴院では（清潔）介助業務をどの部門で実施していますか。（複数回答）
目的：CE の（清潔）介助業務の実施状況を把握する。
定義：CE が（清潔）介助業務を実施しているか記入してください（タスクシフト関連）。
対象：2024 年 10 月 1 日時点
有効回答数：138

回答	n	割合
放射線透視室	116	84.1%
ICU	46	33.3%
救急外来	33	23.9%
HCU	23	16.7%
病棟	18	13.0%
CCU	11	8.0%
SCU	3	2.2%
PICU	1	0.7%

解説：（清潔）介助業務を実施している部門は，放射線透視室が84%，ICUは33%であった。

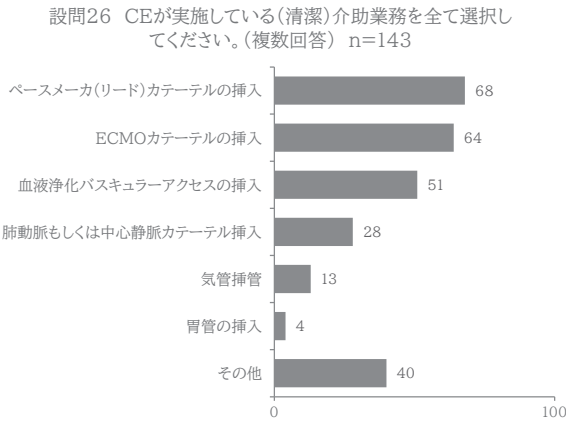


問26 CE が実施している（清潔）介助業務を全て選択してください。（複数回答）
目的：CE が実施している（清潔）介助業務を把握する。
定義：CE が実施している（清潔）介助業務を選択してください。（タスクシフト関連）
対象：2024 年 10 月 1 日時点
有効回答数：143

回答	n	割合
ペースメーカ（リード）カテーテルの挿入	68	47.6%
ECMO カテーテルの挿入	64	44.8%
血液浄化バスキュラーアクセスの挿入	51	35.7%
肺動脈もしくは中心静脈カテーテル挿入	28	19.6%
気管挿管	13	9.1%
胃管の挿入	4	2.8%
その他	40	28.0%

その他 心血管カテーテル業務デバイス出し:11,VAIVT 介助:5,ECMO 抜去:2,アブレーションの器材手渡し:2,透視室で施行する検査・治療（ERCP、DJ ステンント術等）の介助業務:2,TAVI 導入時:2,麻酔のブロック介助:1.

解説：CE が実施している（清潔）介助業務は，ペースメーカ（リード）カテーテルの挿入が48%，ECMO カテーテルの挿入が45%であった。



問27 人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施していますか。（単一回答）

目的：人工呼吸器装着中の患者に対する、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血の実施状況を把握する。

定義：CE が人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施しているか選択してください。（タスクシフト関連）

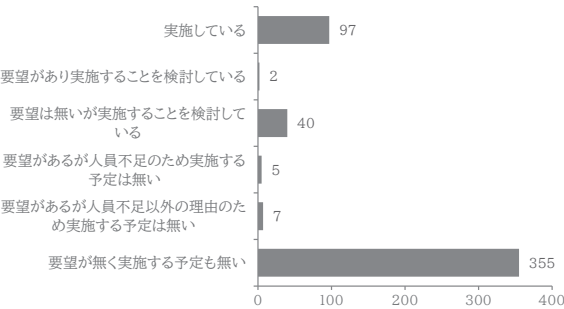
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：506

回答	n	割合
実施している	97	19.2%
要望があり実施することを検討している	2	0.4%
要望は無いが実施することを検討している	40	7.9%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	5	1.0%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	7	1.4%
要望が無く実施する予定も無い	355	70.2%

解説：人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施している施設は 19% であった。

問27 人工呼吸器装着中の患者に対して、血液ガス分析のための動脈留置カテーテルからの採血を実施していますか。（単一回答） n=506



問28 CE は生命維持管理装置に必要な静脈路の確保を実施していますか。（単一回答）

目的：生命維持管理装置に必要な静脈路の確保の実施状況を把握する。

定義：集中治療室における生命維持管理装置に必要な静脈路の確保の実施予定を選択してください。（タスクシフト関連）

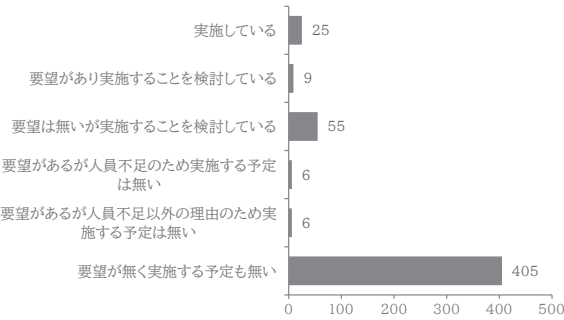
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：506

回答	n	割合
実施している	25	4.9%
要望があり実施することを検討している	9	1.8%
要望は無いが実施することを検討している	55	10.9%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	6	1.2%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	6	1.2%
要望が無く実施する予定も無い	405	80.0%

解説：生命維持管理装置に必要な静脈路の確保を実施している施設は 5% であった。

問28 CEは生命維持管理装置に必要な静脈路の確保を実施していますか。（単一回答） n=506



問29 CE は生命維持管理装置に必要なシリンジポンプ・輸液ポンプによる薬剤の投与・設定変更を実施していますか。（単一回答）

目的：生命維持管理装置に必要な薬剤投与の実施状況を把握する。

定義：集中治療室における生命維持管理装置に必要な薬剤投与において、輸液ポンプ・シリンジポンプの接続や設定変更の実施予定を選択してください。（タスクシフト関連）

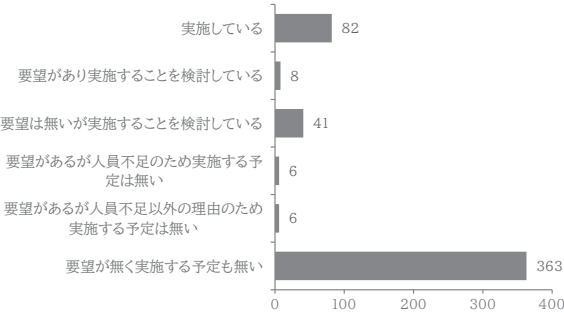
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：506

回答	n	割合
実施している	82	16.2%
要望があり実施することを検討している	8	1.6%
要望は無いが実施することを検討している	41	8.1%
要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	6	1.2%
要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	6	1.2%
要望が無く実施する予定も無い	363	71.7%

解説：生命維持管理装置に必要なシリンジポンプ・輸液ポンプによる薬剤の投与・設定変更を実施している施設は 16% であった。

問29 CEは生命維持管理装置に必要なシリンジポンプ・輸液ポンプによる薬剤の投与・設定変更を実施していますか。（単一回答） n=506



問30 貴院では、院内防災対策に CE がどれだけ関与していますか？（複数回答）

目的：院内防災への CE の関与を把握する。

定義：院内防災対策に関与しているものを選択してください。

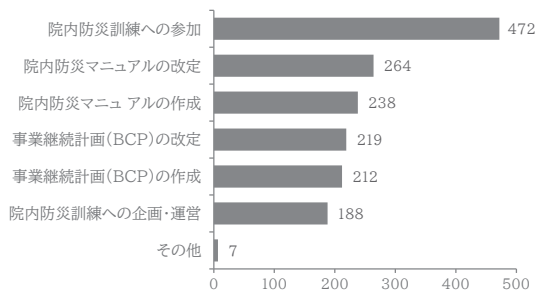
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：506

回答	n	割合
院内防災訓練への参加	472	93.3%
院内防災マニュアルの改定	264	52.2%
院内防災マニュアルの作成	238	47.0%
事業継続計画(BCP)の改定	219	43.3%
事業継続計画(BCP)の作成	212	41.9%
院内防災訓練への企画・運営	188	37.2%
その他	7	1.4%
その他 委員会への参加:1,CE は関与なし:1.		

解説：院内防災訓練への参加が 93%，院内防災マニュアルの改定は 52% 関与していた。

問30 貴院では、院内防災対策に CE がどれだけ関与していますか？（複数回答） n=506



8. 業務実態報告 2024 施設報告アドオン 内視鏡

問1 内視鏡室（センター）における年間の内視鏡検査治療総件数を選択してください。

目的：施設の年間の内視鏡検査治療総件数把握のため。

定義：施設の内視鏡室における年間（対象期間）内視鏡検査治療総件数を入力してください。※ CE の関与は関係ない。

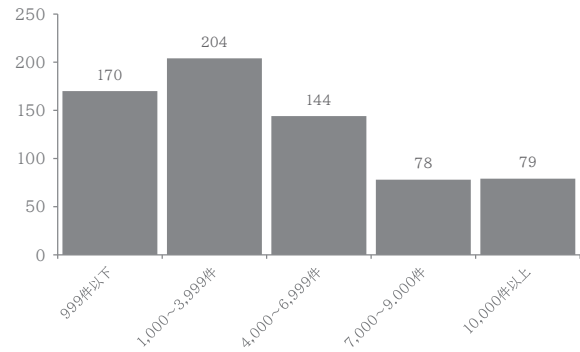
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：675

回答	n	割合
999 件以下	170	25.2%
1,000～3,999 件	204	30.2%
4,000～6,999 件	144	21.3%
7,000～9,000 件	78	11.6%
10,000 件以上	79	11.7%

解説：年間の総件数は、1,000～3,999 件が 30% であり、999 件以下が 25% であった。

問1 内視鏡室（センター）における年間の内視鏡検査治療総件数を選択してください。 n=675



問2 内視鏡室（センター）では CE が業務を行っていますか。（単一回答）

目的：施設の内視鏡室（センター）への CE 業務参画件数の把握のため。

定義：施設の内視鏡室（センター）で CE が業務を行っているか、いないかを選択してください。※ 必要時（呼び出し）の対応も含む。

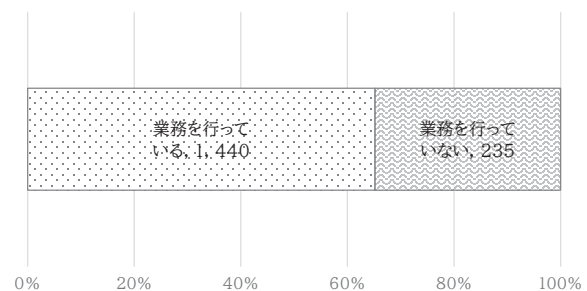
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：675

回答	n	割合
業務を行っている	440	65.2%
業務を行っていない	235	34.8%

解説：内視鏡室で CE が業務を行っているのは 65% であった。

問2 内視鏡室（センター）では CE が業務を行っていますか。（単一回答） n=675



問3 内視鏡室（センター）への平日業務時間帯における CE 配置人数（平均的な数値）を選択してください。

目的：施設の内視鏡室（センター）の CE 配置人員の把握のため。

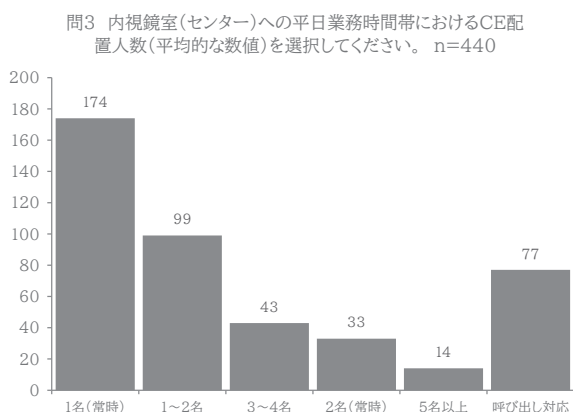
定義：内視鏡室（センター）に対する平日業務時間帯における CE 配置人数の 1 日あたり平均値を入力してください（任意の 1 週間でも可）。※業務時間の制限はない，配置がない場合は 0 を入力。

対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：440

回答	n	割合
1名(常時)	174	39.5%
1～2名	99	22.5%
3～4名	43	9.8%
2名(常時)	33	7.5%
5名以上	14	3.2%
呼び出し対応	77	17.5%

解説：平日業務時間帯の配置人数は常時 1 名が 40% ともっとも多く，1～2 名が 23% であった。常時 2 名は 8% であった



問4 内視鏡室（センター）での CE の業務について選択してください。（複数回答）

目的：施設の内視鏡室（センター）の CE 業務の内容把握のため。

定義：施設の内視鏡室（センター）において CE が行っている業務について選択してください。

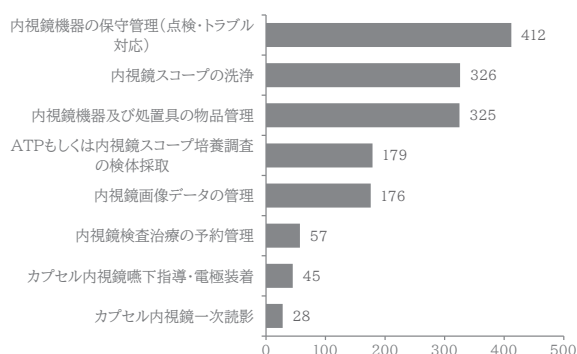
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：438

回答	n	割合
内視鏡機器の保守管理(点検・トラブル対応)	412	94.1%
内視鏡スコープの洗浄	326	74.4%
内視鏡機器及び処置具の物品管理	325	74.2%
ATPもしくは内視鏡スコープ培養調査の検体採取	179	40.9%
内視鏡画像データの管理	176	40.2%
内視鏡検査治療の予約管理	57	13.0%
カプセル内視鏡嚥下指導・電極装着	45	10.3%
カプセル内視鏡一次読影	28	6.4%

解説：内視鏡室での CE 業務は内視鏡機器の保守管理が 94% であった。内視鏡スコープ洗浄業務は 74%，内視鏡機器および処置具の物品管理は 74% であった。

問4 内視鏡室（センター）での CE の業務について選択してください。（複数回答） n=438



問5 内視鏡室（センター）において、CE が鉗子及び処置具操作を実施していますか。（単一回答）

目的：内視鏡室（センター）でCE が鉗子及び処置具操作をどの程度実施しているか把握のため。

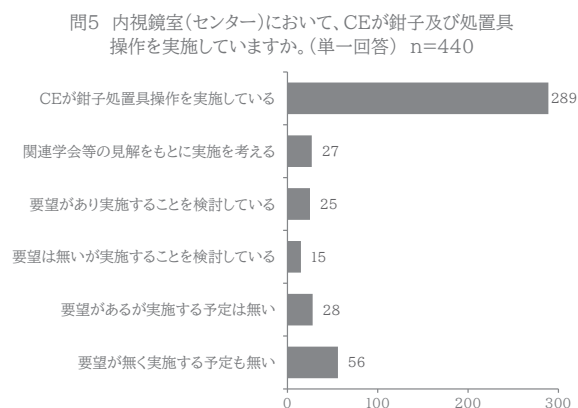
定義：施設の内視鏡室（センター）における内視鏡検査治療時においてCE が鉗子及び処置具操作をどの程度実施しているか、また実施していない場合の今後の対応について選択してください。（タスクシフト関連）

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：440

回答	n	割合
CE が鉗子処置具操作を実施している	289	65.7%
関連学会等の見解をもとに実施を考える	27	6.1%
要望があり実施することを検討している	25	5.7%
要望は無いが実施することを検討している	15	3.4%
要望があるが実施する予定は無い	28	6.4%
要望が無く実施する予定も無い	56	12.7%

解説：CE が鉗子処置具操作を実施している施設は 66% であった。要望がなく実施予定もない施設は 13% であった。



問6 内視鏡室（センター）において、鉗子及び処置具操作を実施している主な職種は誰ですか。（複数回答）

目的：内視鏡室（センター）で鉗子及び処置具操作を実施している職種の把握のため。

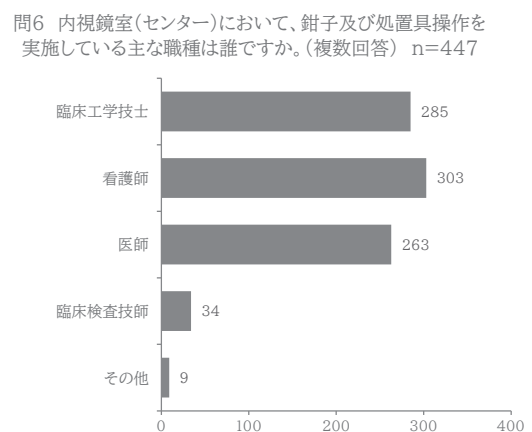
定義：施設の内視鏡室（センター）における内視鏡検査治療時において鉗子及び処置具操作をどの職種が実施しているか選択してください。（タスクシフト関連）

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：447

回答	n	割合
臨床工学技士	285	63.8%
看護師	303	67.8%
医師	263	58.8%
臨床検査技師	34	7.6%
その他	9	2.0%

解説：鉗子および処置具操作を実施している主な職種はCEが64%，看護師が68%，医師が59%であった。その他の職種は看護補助者や診療放射線技師，内視鏡技師であった。



問7 内視鏡室（センター）において、CE が実施している鉗子及び処置具の具体的操作について選択してください。（複数回答）

目的：内視鏡室（センター）における内視鏡検査治療時において CE がどのような具体的鉗子及び処置具操作を実施しているか把握するため。

定義：施設の内視鏡室（センター）において CE が実施している鉗子及び処置具の具体的な操作について選択してください。

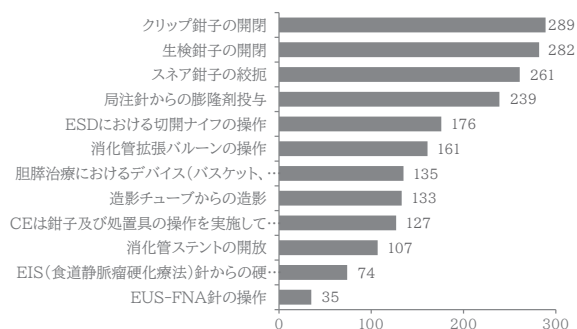
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：434

回答	n	割合
クリップ鉗子の開閉	289	66.6%
生検鉗子の開閉	282	65.0%
スネア鉗子の絞扼	261	60.1%
局注針からの膨隆剤投与	239	55.1%
ESD における切開ナイフの操作	176	40.6%
消化管拡張バルーンの操作	161	37.1%
胆膵治療におけるデバイス（バスケット、バルーン、ステント等）操作	135	31.1%
造影チューブからの造影	133	30.6%
CE は鉗子及び処置具の操作を実施していない	127	29.3%
消化管ステントの開放	107	24.7%
EIS（食道静脈硬化療法）針からの硬化剤投与	74	17.1%
EUS-FNA 針の操作	35	8.1%

解説：CE が実施している鉗子および処置具操作はクリップ鉗子の開閉が 67%，生検鉗子の開閉が 65%であった。

問7 内視鏡室（センター）において、CE が実施している鉗子及び処置具の具体的操作について選択してください。（複数回答） n=434



問8 CE が実施している鉗子及び処置具の操作についての周知範囲を選択してください。（単一回答）

目的：内視鏡室（センター）で鉗子及び処置具操作を実施するにあたり院内のコンセンサスがどれだけ取れているか把握するため。

定義：施設の内視鏡室（センター）において CE が実施している鉗子及び処置具の操作についての院内の関連制について選択してください。

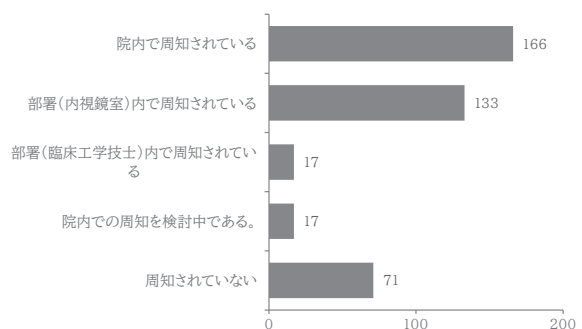
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：404

回答	n	割合
院内で周知されている	166	41.1%
部署（内視鏡室）内で周知されている	133	32.9%
部署（臨床工学士）内で周知されている	17	4.2%
院内での周知を検討中である	17	4.2%
周知されていない	71	17.6%

解説：CE が実施している鉗子及び処置具の操作についての周知範囲は院内で周知されているが 41%，周知されていないが 18%であった。

問8 CE が実施している鉗子及び処置具の操作についての周知範囲を選択してください。（単一回答） n=404



問9 内視鏡室（センター）で使用しているエネルギーデバイス（電気メス）の関わりについて選択してください。（複数回答）

目的：内視鏡室（センター）における内視鏡検査治療時において CE がどの程度具体的に電気メスに関与しているのを把握するため。

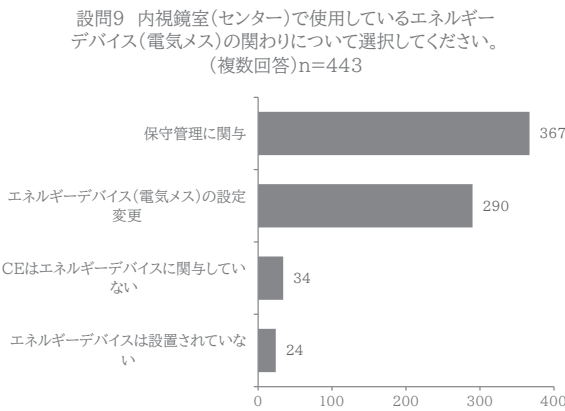
定義：施設の内視鏡室（センター）において CE が実施している電気メスへの関わりについて選択してください。

対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：443

回答	n	割合
保守管理に関与	367	82.8%
エネルギーデバイス（電気メス）の設定変更	290	65.5%
CE はエネルギーデバイスに関与していない	34	7.7%
エネルギーデバイスは設置されていない	24	5.4%

解説：内視鏡室で使用しているエネルギーデバイスに保守管理に関与している施設は83%であった。



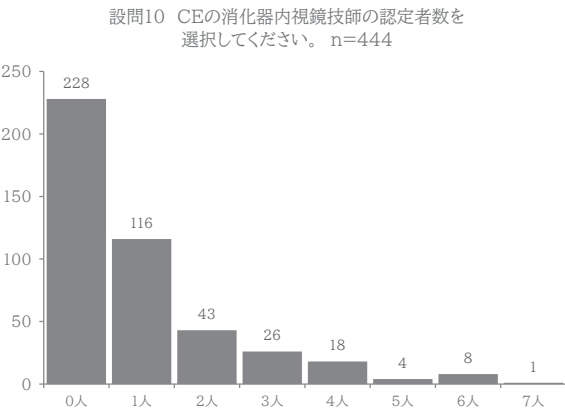
問10 CEの消化器内視鏡技師の認定者数を選択してください。

目的：CEの消化器内視鏡技師の認定者数を把握する。
定義：CEの消化器内視鏡技師の認定者数を入力してください。※該当者がいない場合は0を入力してください。

対象：2024年10月1日時点
有効回答数：444

回答	n	割合
0人	228	51.4%
1人	116	26.1%
2人	43	9.7%
3人	26	5.9%
4人	18	4.1%
5人	4	0.9%
6人	8	1.8%
7人	1	0.2%

解説：CEの消化器内視鏡技師の認定者数は0人が51%、1人が26%であった。



問11 CEが休日もしくは夜間における緊急内視鏡(止血や異物除去等)に備えて待機を行っていますか。(単一回答)

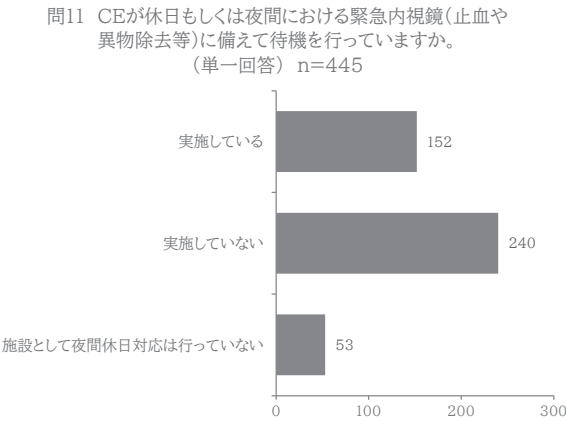
目的：CEが緊急内視鏡に対する待機実施状況を把握する。

定義：緊急内視鏡に備え、院内もしくは自宅で待機を行っているか。

対象：2024年10月1日時点
有効回答数：445

回答	n	割合
実施している	152	34.2%
実施していない	240	53.9%
施設として夜間休日対応は行っていない	53	11.9%

解説：CEが休日もしくは夜間における緊急内視鏡に備えて待機している施設は34%であった。



9. 業務実態報告 2024 施設報告アドオン 手術室

問1 CEは麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施していますか。(単一回答)

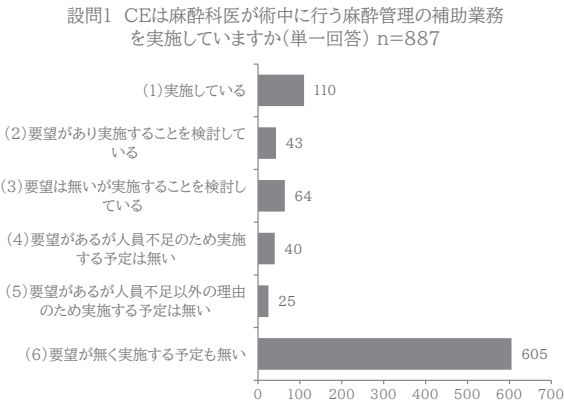
目的：麻酔管理の補助業務をCEが実施しているか把握する。

定義：CEは麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を実施しているか選択する。※麻酔器の機器管理などでの準備業務だけを行っている場合は含まない。

対象：2024年10月1日時点
有効回答数：887

項目	n	割合
(1)実施している	110	12.4%
(2)要望があり実施することを検討している	43	4.8%
(3)要望は無いが実施することを検討している	64	7.2%
(4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	40	4.5%
(5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	25	2.8%
(6)要望が無く実施する予定も無い	605	68.2%

解説：麻酔管理の補助業務を実施する予定が無いが68%と最も多かった。



問2 CEが行った年間の麻酔補助件数を選択してください。

目的：施設の年間のCEによる麻酔補助件数把握のため。

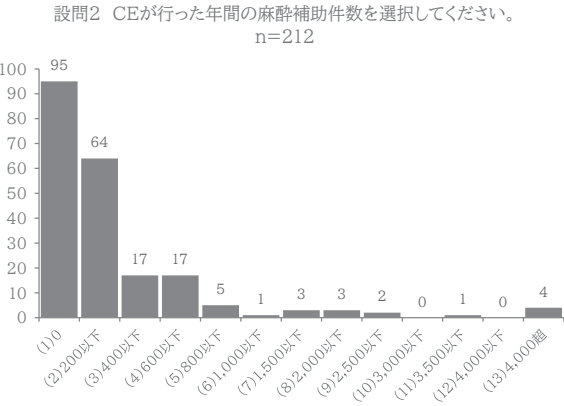
定義：施設における年間(対象期間)麻酔補助実施総件数を入力してください。

対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：212

項目	n	割合
(1)0	95	44.8%
(2)200 以下	64	30.2%
(3)400 以下	17	8.0%
(4)600 以下	17	8.0%
(5)800 以下	5	2.4%
(6)1,000 以下	1	0.5%
(7)1,500 以下	3	1.4%
(8)2,000 以下	3	1.4%
(9)2,500 以下	2	0.9%
(10)3,000 以下	0	0.0%
(11)3,500 以下	1	0.5%
(12)4,000 以下	0	0.0%
(13)4,000 超	4	1.9%

解説：0件が45%と最も多く、次は200件以下30%だった。



問3 CEが実施している麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務を全て選んでください。(複数回答)

目的：CEが実施する麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務の把握。

定義：CEが実施する麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助業務をすべて選択してください。

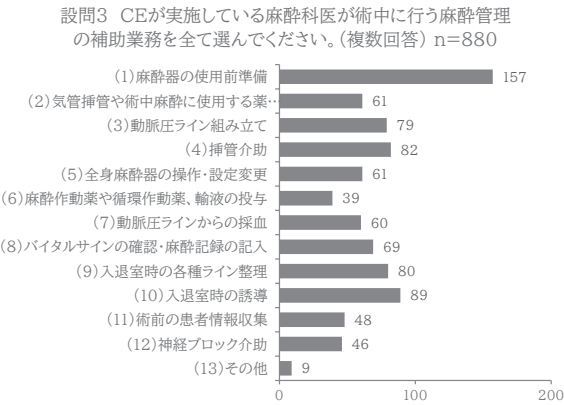
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：187

項目	n	割合
(1)麻酔器の使用前準備	157	17.8%
(2)気管挿管や術中麻酔に使用する薬剤の準備	61	6.9%
(3)動脈圧ライン組み立て	79	9.0%
(4)挿管介助	82	9.3%
(5)全身麻酔器の操作・設定変更	61	6.9%
(6)麻酔作動薬や循環作動薬、輸液の投与	39	4.4%
(7)動脈圧ラインからの採血	60	6.8%
(8)バイタルサインの確認・麻酔記録の記入	69	7.8%
(9)入退室時の各種ライン整理	80	9.1%
(10)入退室時の誘導	89	10.1%
(11)術前の患者情報収集	48	5.5%
(12)神経ブロック介助	46	5.2%
(13)その他	9	1.0%

その他 血圧低下時のポンピング:1,関与していない:1,麻酔器の使用前点検:1,CV 挿入時の介助・静脈路確保:1,静脈ラインの確保・胃管チューブの位置調整:1,分離肺換気・気管支ファイバー介助・吸痰:1.

解説：麻酔管理の補助業務は麻酔器の使用前準備(18%), 入退室時の誘導(10%)の順に多かった。



問4 CEは全身麻酔に必要な静脈路の確保を実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答)

目的：全身麻酔に必要な静脈路の確保をCEがどの程度実施するか把握する。

定義：全身麻酔に必要な静脈路の確保をCEは今後実施するかに対して近いものを選択する。

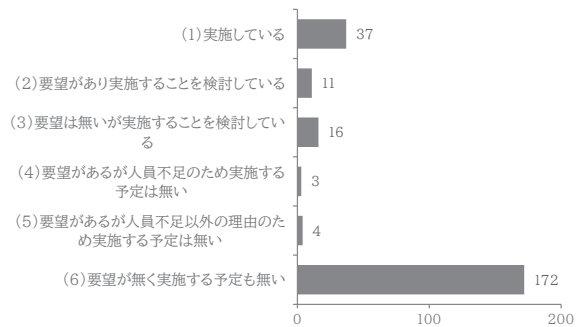
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：243

項目	n	割合
(1)実施している	37	15.2%
(2)要望があり実施することを検討している	11	4.5%
(3)要望は無いが実施することを検討している	16	6.6%
(4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	3	1.2%
(5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	4	1.6%
(6)要望が無く実施する予定も無い	172	70.8%

解説：全身麻酔に必要な静脈路の確保は要望が無く実施する予定も無いが71%と最も多かった。

設問4 CEは全身麻酔に必要な静脈路の確保を実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答)
n=243



問5 手術室における清潔野補助（器械出し）をCEは実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答)

目的：CEの手術室における清潔野補助（器械出し）の実施状況を把握する。

定義：CEの手術室における清潔野補助（器械出し）の実施状況に対して近いものを選択する。

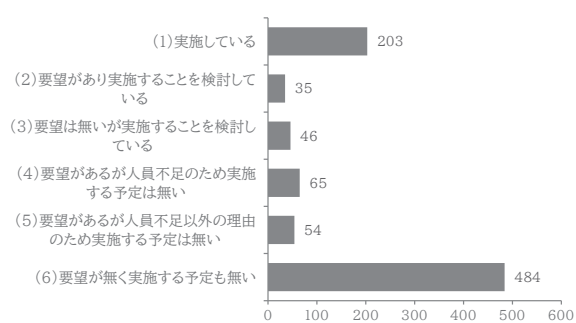
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：887

項目	n	割合
(1)実施している	203	22.9%
(2)要望があり実施することを検討している	35	3.9%
(3)要望は無いが実施することを検討している	46	5.2%
(4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	65	7.3%
(5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	54	6.1%
(6)要望が無く実施する予定も無い	484	54.6%

解説：清潔野補助（器械出し）は実施しているが23%、要望が無く実施する予定も無いが55%だった。

設問5 手術室における清潔野補助(器械出し)をCEは実施していますか。または今後実施する予定がありますか。(単一回答) n=887



問6 CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している診療科をすべて選択してください。(複数回答)

目的：CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している診療科を把握する。

定義：CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している診療科を全て選択してください。

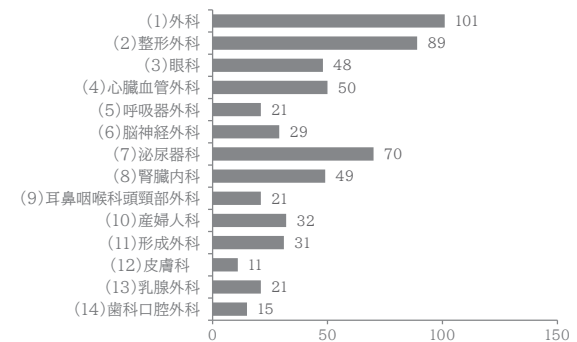
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：212

項目	n	割合
(1)外科	101	17.2%
(2)整形外科	89	15.1%
(3)眼科	48	8.2%
(4)心臓血管外科	50	8.5%
(5)呼吸器外科	21	3.6%
(6)脳神経外科	29	4.9%
(7)泌尿器科	70	11.9%
(8)腎臓内科	49	8.3%
(9)耳鼻咽喉科頭頸部外科	21	3.6%
(10)産婦人科	32	5.4%
(11)形成外科	31	5.3%
(12)皮膚科	11	1.9%
(13)乳腺外科	21	3.6%
(14)歯科口腔外科	15	2.6%

解説：清潔野補助（器械出し）を実施している診療科は、外科(17%)、泌尿器科(12%)の順に多かった。

設問6 CEが手術室において清潔野補助(器械出し)を実施している診療科をすべて選択してください。(複数回答)
n=212



問7 CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している人数を選択してください。（単一回答）

目的：CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している人数を把握する。

定義：CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している人数を選択してください。

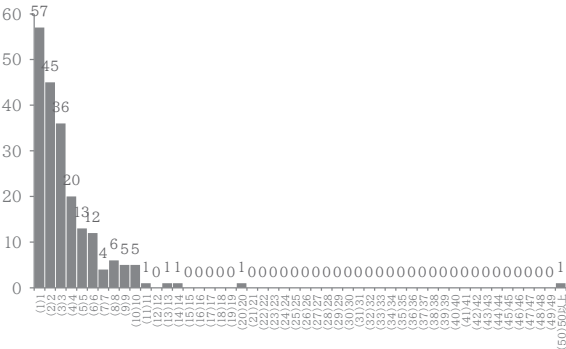
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：208

項目	n	割合
(1)1	57	27.4%
(2)2	45	21.6%
(3)3	36	17.3%
(4)4	20	9.6%
(5)5	13	6.3%
(6)6	12	5.8%
(7)7	4	1.9%
(8)8	6	2.9%
(9)9	5	2.4%
(10)10	5	2.4%
(11)11	1	0.5%
(12)12	0	0.0%
(13)13	1	0.5%
(14)14	1	0.5%
(15)15	0	0.0%
(16)16	0	0.0%
(17)17	0	0.0%
(18)18	0	0.0%
(19)19	0	0.0%
(20)20	1	0.5%
(21)21	0	0.0%
(22)22	0	0.0%
(23)23	0	0.0%
(24)24	0	0.0%
(25)25	0	0.0%
(26)26	0	0.0%
(27)27	0	0.0%
(28)28	0	0.0%
(29)29	0	0.0%
(30)30	0	0.0%
(31)31	0	0.0%
(32)32	0	0.0%
(33)33	0	0.0%
(34)34	0	0.0%
(35)35	0	0.0%
(36)36	0	0.0%
(37)37	0	0.0%
(38)38	0	0.0%
(39)39	0	0.0%
(40)40	0	0.0%
(41)41	0	0.0%
(42)42	0	0.0%
(43)43	0	0.0%
(44)44	0	0.0%
(45)45	0	0.0%
(46)46	0	0.0%
(47)47	0	0.0%
(48)48	0	0.0%
(49)49	0	0.0%
(50)50以上	1	0.5%

解説：清潔野補助（器械出し）を実施している人数は、1～3名で全体の66%を占めていた。

設問7 CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している人数を選択してください。（単一回答）n=208



問8 CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している件数を選択してください。（単一回答）

目的：CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している件数を把握する。

定義：CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している件数を選択してください。

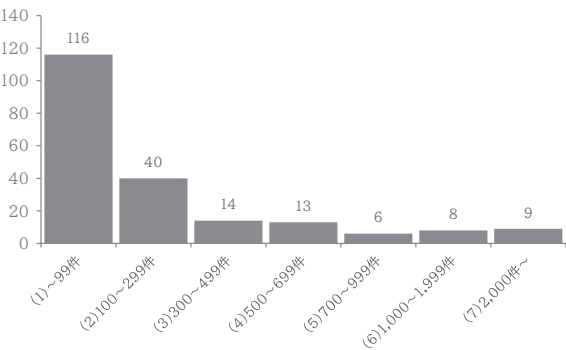
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：206

項目	n	割合
(1)～99件	116	56.3%
(2)100～299件	40	19.4%
(3)300～499件	14	6.8%
(4)500～699件	13	6.3%
(5)700～999件	6	2.9%
(6)1,000～1,999件	8	3.9%
(7)2,000件～	9	4.4%

解説：清潔野補助（器械出し）を実施している件数は0～99件が56%と最も多かった。

設問8 CEが手術室において清潔野補助（器械出し）を実施している件数を選択してください。（単一回答）n=206



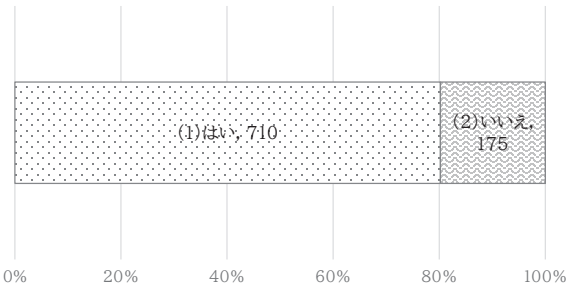
問9 内視鏡外科手術を実施していますか。(単一回答)
目的：所属施設の内視鏡外科手術の実施状況を把握する。

定義：内視鏡外科手術の実施について選択してください。※ CE 関与は関係ありません。手術支援ロボットを使用した手術も内視鏡外科手術に含みます。
対象：2024 年 10 月 1 日時点
有効回答数：885

項目	n	割合
(1)はい	710	80.2%
(2)いいえ	175	19.8%

解説：内視鏡外科手術は 80% 実施されていた。

設問9 内視鏡外科手術を実施していますか(単一回答)
n=885



問10 手術支援ロボットを使用した手術を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設の手術支援ロボットを使用した手術の実施状況を把握する。

定義：手術支援ロボットを使用した手術の実施について選択してください。※ CE の関与は関係ありません。

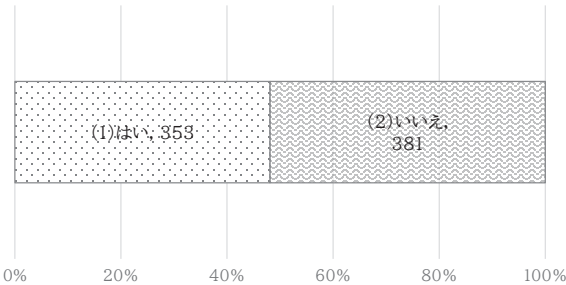
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：734

項目	n	割合
(1)はい	353	48.1%
(2)いいえ	381	51.9%

解説：手術支援ロボットを使用した手術は 48% 実施されていた。

設問10 手術支援ロボットを使用した手術を実施していますか(単一回答) n=734



問11 CE はロボット支援手術業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答)

目的：CE は内視鏡外科手術におけるロボット支援手術業務をどの程度実施しているか把握する。

定義：CE は内視鏡外科手術におけるロボット支援手術業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

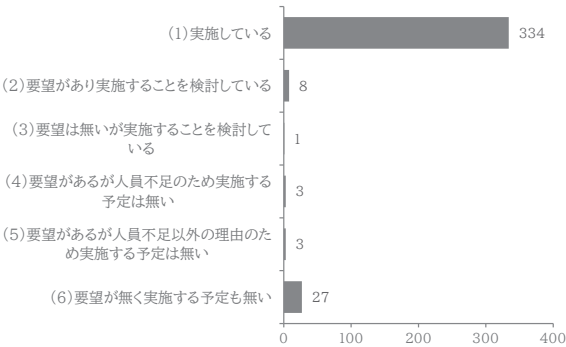
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：376

項目	n	割合
(1)実施している	334	88.8%
(2)要望があり実施することを検討している	8	2.1%
(3)要望は無いが実施することを検討している	1	0.3%
(4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	3	0.8%
(5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	3	0.8%
(6)要望が無く実施する予定も無い	27	7.2%

解説：CE がロボット支援手術業務を実施している割合は 89% と最も多かった。

設問11 CEはロボット支援手術業務を実施していますか。または今後実施しますか(単一回答) n=376



問12 CE が実施しているロボット支援手術業務を全て選んでください。(複数回答)

目的：CE が実施するロボット支援手術業務の把握。

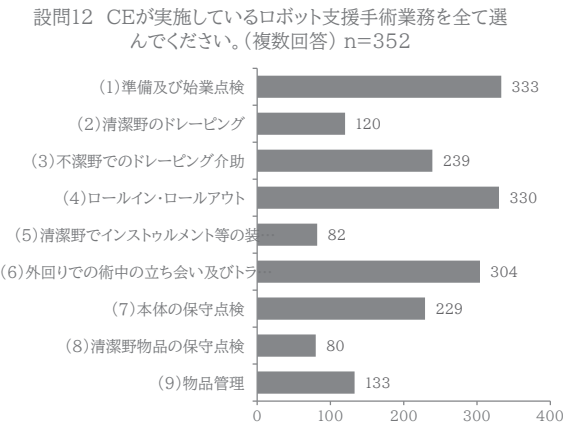
定義：CE が実施するロボット支援手術業務をすべて選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：352

項目	n	割合
(1)準備及び始業点検	333	18.0%
(2)清潔野のドレーピング	120	6.5%
(3)不潔野でのドレーピング介助	239	12.9%
(4)ロールイン・ロールアウト	330	17.8%
(5)清潔野でインストゥルメント等の装着及びトラブル対応	82	4.4%
(6)外回りでの術中の立ち会い及びトラブル対応	304	16.4%
(7)本体の保守点検	229	12.4%
(8)清潔野物品の保守点検	80	4.3%
(9)物品管理	133	7.2%

解説：準備及び始業点検（18%）、ロールイン・ロールアウト（18%）の順に多かった。



問13 CE は内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答)

目的：CE は内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務をどの程度実施しているか把握する。

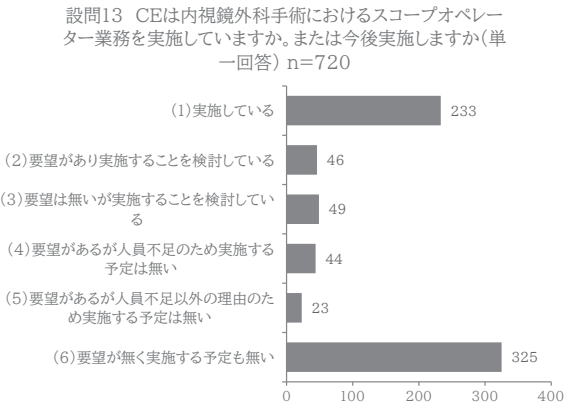
定義：CE は内視鏡外科手術におけるスコープオペレーター業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：720

項目	n	割合
(1)実施している	233	32.4%
(2)要望があり実施することを検討している	46	6.4%
(3)要望は無いが実施することを検討している	49	6.8%
(4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	44	6.1%
(5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	23	3.2%
(6)要望が無く実施する予定も無い	325	45.1%

解説：スコープオペレーター業務は要望が無く実施する予定も無いが 45%と最も多かった。



問14 CE が行った年間のスコープオペレーター業務件数を選択してください。

目的：CE による施設の年間のスコープオペレーター業務件数把握のため。

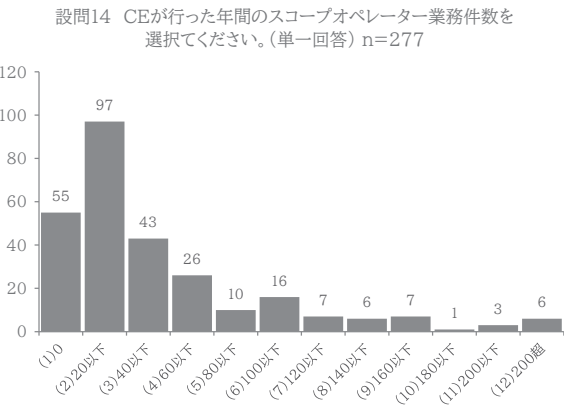
定義：CE による施設における年間（対象期間）スコープオペレーター実施件数を入力してください。

対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：277

項目	n	割合
(1)0	55	19.9%
(2)20 以下	97	35.0%
(3)40 以下	43	15.5%
(4)60 以下	26	9.4%
(5)80 以下	10	3.6%
(6)100 以下	16	5.8%
(7)120 以下	7	2.5%
(8)140 以下	6	2.2%
(9)160 以下	7	2.5%
(10)180 以下	1	0.4%
(11)200 以下	3	1.1%
(12)200 超	6	2.2%

解説：スコープオペレーター業務件数は 20 件以下が 35%と最も多かった。



問15 CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域を全て選択してください。(複数回答)

目的：CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域を把握する。

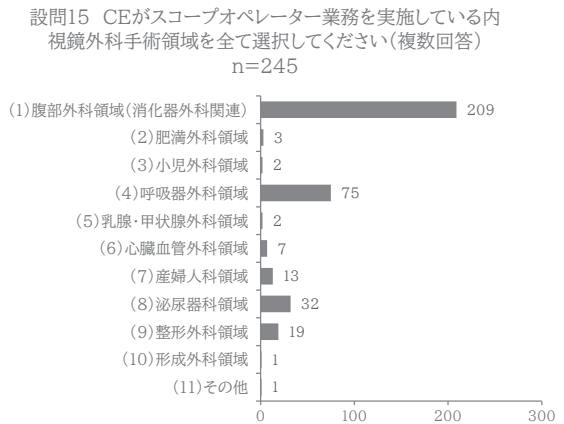
定義：CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域をすべて選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：245

項目	n	割合
(1)腹部外科領域(消化器外科関連)	209	57.4%
(2)肥満外科領域	3	0.8%
(3)小児外科領域	2	0.5%
(4)呼吸器外科領域	75	20.6%
(5)乳腺・甲状腺外科領域	2	0.5%
(6)心臓血管外科領域	7	1.9%
(7)産婦人科領域	13	3.6%
(8)泌尿器科領域	32	8.8%
(9)整形外科領域	19	5.2%
(10)形成外科領域	1	0.3%
(11)その他	1	0.3%

解説：スコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術領域は腹部外科領域(消化器外科関連)が 57%と最も多かった。



問16 CE がスコープオペレーター業務を実施している業務を具体的に全て選択してください。(複数回答)

目的：CE がスコープオペレーター業務を実施している内視鏡外科手術を把握する。

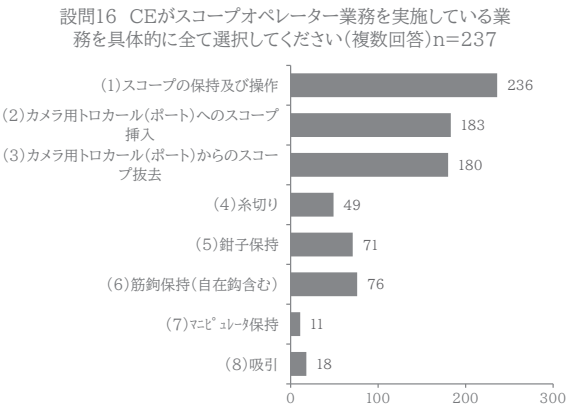
定義：CE がスコープオペレーター業務をすべて選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：237

項目	n	割合
(1)スコープの保持及び操作	236	28.6%
(2)カメラ用トロカール(ポート)へのスコープ挿入	183	22.2%
(3)カメラ用トロカール(ポート)からのスコープ抜去	180	21.8%
(4)糸切り	49	5.9%
(5)鉗子保持	71	8.6%
(6)筋鉤保持(自在鉤含む)	76	9.2%
(7)マニピュレータ保持	11	1.3%
(8)吸引	18	2.2%

解説：スコープの保持及び操作 29%，カメラ用トロカール(ポート)へのスコープ挿入 22%の順に多かった。



問17 術中神経モニタリング装置を使用した手術を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設の術中神経モニタリング装置を使用した手術の実施状況を把握する。

定義：術中の神経モニタリング業務の実施について選択してください。 ※ CE 関与は関係ありません。

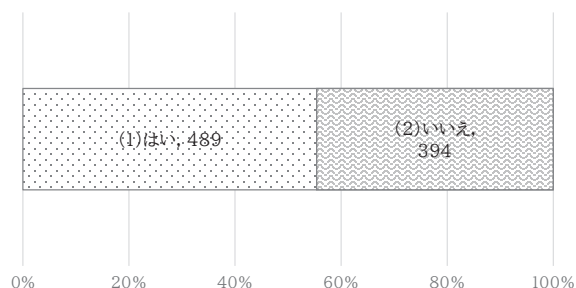
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：883

項目	n	割合
(1)はい	489	55.4%
(2)いいえ	394	44.6%

解説：術中神経モニタリング装置を使用した手術を実施している割合は55%だった。

設問17 術中神経モニタリング装置を使用した手術を実施していますか(単一回答)n=883



問18 CEは術中の神経モニタリング業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答)

目的：CEは術中の神経モニタリング業務をどの程度実施しているか把握する。

定義：CEは術中の神経モニタリング業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

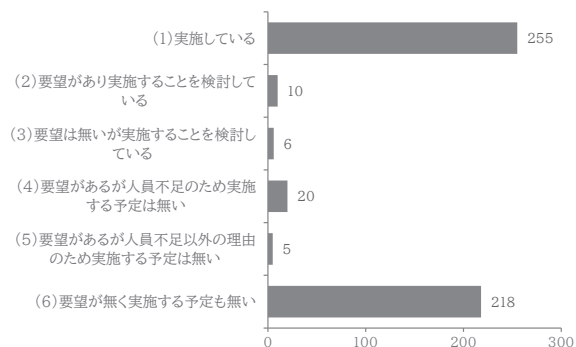
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：514

項目	n	割合
(1)実施している	255	49.6%
(2)要望があり実施することを検討している	10	1.9%
(3)要望は無いが実施することを検討している	6	1.2%
(4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	20	3.9%
(5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	5	1.0%
(6)要望が無く実施する予定も無い	218	42.4%

解説：術中の神経モニタリング業務は実施している割合が50%だった。

設問18 CEは術中の神経モニタリング業務を実施していますか。または今後実施しますか(単一回答) n=514



問19 CEが実施している術中の神経モニタリング業務を全て選んでください。(複数回答)

目的：CEが実施する神経モニタリング業務の把握。

定義：CEが実施する神経モニタリング業務をすべて選択してください。

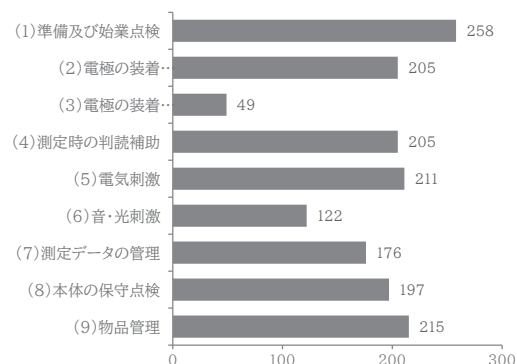
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：271

項目	n	割合
(1)準備及び始業点検	258	15.8%
(2)電極の装着(針電極以外)	205	12.5%
(3)電極の装着(針電極含む)	49	3.0%
(4)測定時の判読補助	205	12.5%
(5)電気刺激	211	12.9%
(6)音・光刺激	122	7.4%
(7)測定データの管理	176	10.7%
(8)本体の保守点検	197	12.0%
(9)物品管理	215	13.1%

解説：術中の神経モニタリング業務は、準備及び始業点検16%、物品管理13%の順に多かった。

設問19 CEが実施している術中の神経モニタリング業務を全て選んでください。(複数回答) n=271



問20 術中ナビゲーション装置を使用した手術を実施していますか。(単一回答)

目的：所属施設の術中ナビゲーション装置を使用した手術の実施状況を把握する。

定義：術中のナビゲーション業務の実施について選択してください。 ※ CE 関与は関係ありません。

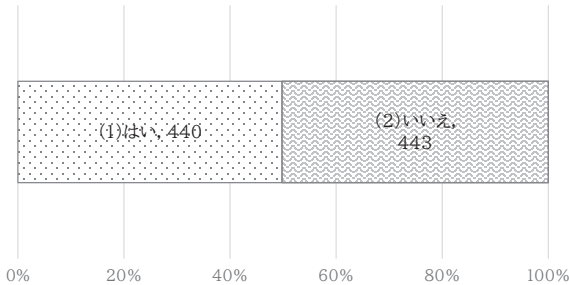
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：883

項目	n	割合
(1)はい	440	49.8%
(2)いいえ	443	50.2%

解説：術中ナビゲーション装置を使用した手術は50%実施されていた。

設問20 術中ナビゲーション装置を使用した手術を実施していますか(単一回答) n=883



問21 CEは術中のナビゲーション業務を実施していますか。または今後実施しますか。(単一回答)

目的：CEは術中のナビゲーション業務をどの程度実施しているか把握する。

定義：CEは術中のナビゲーション業務をどの程度実施しているか近いものを選択してください。

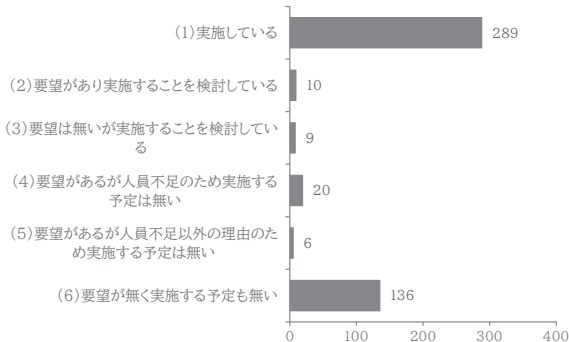
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：470

項目	n	割合
(1)実施している	289	61.5%
(2)要望があり実施することを検討している	10	2.1%
(3)要望は無いが実施することを検討している	9	1.9%
(4)要望があるが人員不足のため実施する予定は無い	20	4.3%
(5)要望があるが人員不足以外の理由のため実施する予定は無い	6	1.3%
(6)要望が無く実施する予定も無い	136	28.9%

解説：術中のナビゲーション業務を実施している割合は62%だった。

設問21 CEは術中のナビゲーション業務を実施していますか。または今後実施しますか(単一回答) n=470



問22 CEが実施している術中のナビゲーション業務を全て選んでください。(複数回答)

目的：CEが実施するナビゲーション業務の把握。

定義：CEが実施するナビゲーション業務をすべて選択してください。

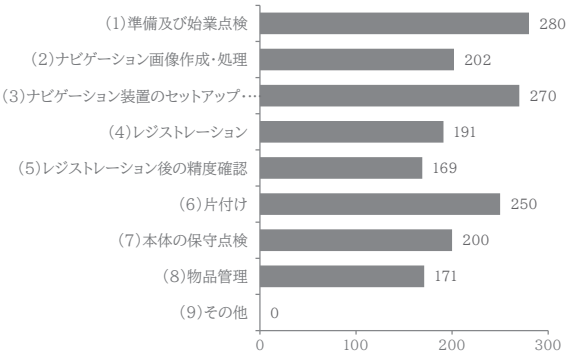
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：307

項目	n	割合
(1)準備及び始業点検	280	16.2%
(2)ナビゲーション画像作成・処理	202	11.7%
(3)ナビゲーション装置のセットアップ・セッティング	270	15.6%
(4)レジストレーション	191	11.0%
(5)レジストレーション後の精度確認	169	9.8%
(6)片付け	250	14.4%
(7)本体の保守点検	200	11.5%
(8)物品管理	171	9.9%
(9)その他	0	0.0%

解説：術中のナビゲーション業務は準備及び始業点検16%、ナビゲーション装置のセットアップ・セッティング16%の順に多かった。

設問22 CEが実施している術中のナビゲーション業務を全て選んでください。(複数回答)n=307



10. 業務実態報 2024 施設報告アドオン 心臓・血管カテーテル

問1 カテーテル室（ハイブリッド室含む）はいくつありますか。（単一回答）

目的：カテーテル室の数を把握する。

定義：カテーテル室の数を選択してください。（ハイブリッド室を含める）

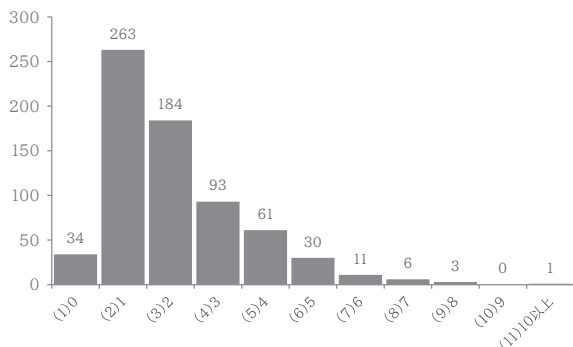
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：686

項目	n	割合
(1)0	34	5.0%
(2)1	263	38.3%
(3)2	184	26.8%
(4)3	93	13.6%
(5)4	61	8.9%
(6)5	30	4.4%
(7)6	11	1.6%
(8)7	6	0.9%
(9)8	3	0.4%
(10)9	0	0.0%
(11)10以上	1	0.1%

解説：1～2室が全体の65%を占めていた。

設問1 カテーテル室（ハイブリッド室含む）はいくつありますか（単一回答）n=686



問2 心・血管カテーテル検査もしくは治療にCEが関与していますか。（単一回答）

目的：心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与を把握する。

定義：心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与の有無を選択してください。

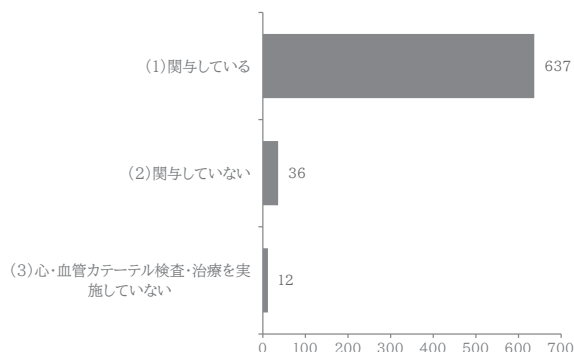
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：685

項目	n	割合
(1)関与している	637	93.0%
(2)関与していない	36	5.3%
(3)心・血管カテーテル検査・治療を実施していない	12	1.8%

解説：全体の93%が関与していた。

設問2 心・血管カテーテル検査もしくは治療にCEが関与していますか（単一回答）n=685



問3 CEが関与している心・血管カテーテル検査もしくは治療について教えてください。（複数回答）

目的：心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与を把握する。

定義：心・血管カテーテル検査もしくは治療への関与の有無を選択してください。

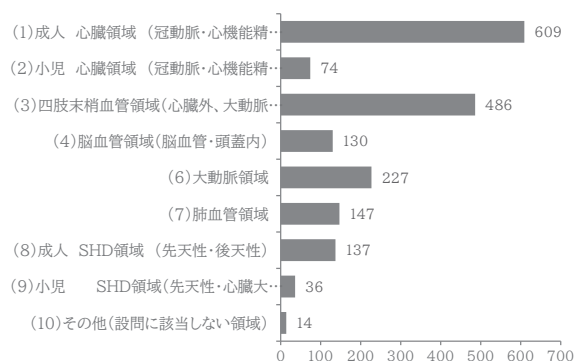
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：638

項目	n	割合
(1)成人 心臓領域（冠動脈・心機能精査など）	609	95.5%
(2)小児 心臓領域（冠動脈・心機能精査など）	74	11.6%
(3)四肢末梢血管領域（心臓外、大動脈以外）	486	76.2%
(4)脳血管領域（脳血管・頭蓋内）	130	20.4%
(6)大動脈領域	227	35.6%
(7)肺血管領域	147	23.0%
(8)成人 SHD 領域（先天性・後天性）	137	21.5%
(9)小児 SHD 領域（先天性・心臓大血管）	36	5.6%
(10)その他（設問に該当しない領域）	14	2.2%

解説：成人心臓領域96%が最も多く、次いで四肢末梢血管領域（心臓外、大動脈以外）76%であった。

設問3 CEが関与している心・血管カテーテル検査もしくは治療について教えてください（複数回答）n=638



問4 心血管カテーテル検査1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：心血管カテーテル検査1症例にあたる人数を選択してください。

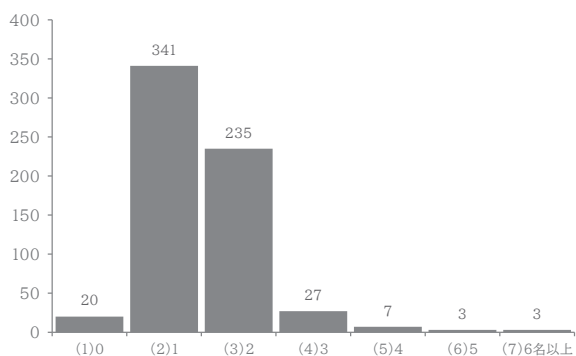
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：636

項目	n	割合
(1)0	20	3.1%
(2)1	341	53.6%
(3)2	235	36.9%
(4)3	27	4.2%
(5)4	7	1.1%
(6)5	3	0.5%
(7)6名以上	3	0.5%

解説：心血管カテーテル検査1症例あたり1～2名のCEが関与する割合が最も多かった（90.5%）。

設問4 心血管カテーテル検査1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=636



問5 待機的（予定）な経皮的冠動脈形成術（PCI）1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：待機的な経皮的冠動脈形成術（PCI）1症例にあたる人数を選択してください。

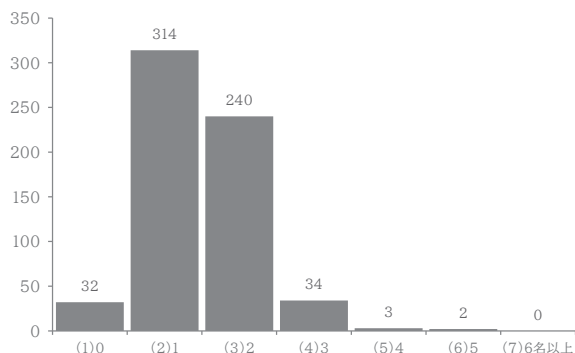
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：625

項目	n	割合
(1)0	32	5.1%
(2)1	314	50.2%
(3)2	240	38.4%
(4)3	34	5.4%
(5)4	3	0.5%
(6)5	2	0.3%
(7)6名以上	0	0.0%

解説：待機的（予定）PCIにおいて、1～2名のCEが関与する割合が最も多かった（89%）。

設問5 待機的（予定）な経皮的冠動脈形成術（PCI）1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=625



問6 緊急カテーテル検査治療1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：緊急カテーテル検査治療1症例にあたる人数を選択してください。

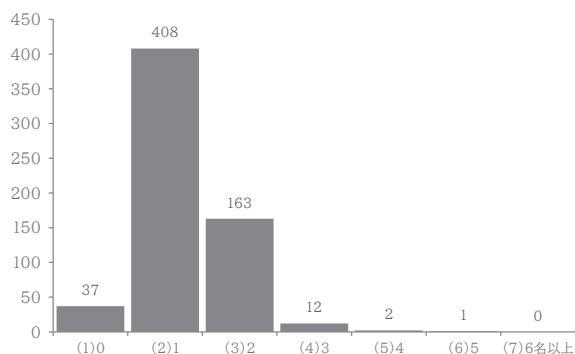
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：623

項目	n	割合
(1)0	37	5.9%
(2)1	408	65.5%
(3)2	163	26.2%
(4)3	12	1.9%
(5)4	2	0.3%
(6)5	1	0.2%
(7)6名以上	0	0.0%

解説：緊急カテーテル検査1症例あたり1～2名のCEが関与する割合が最も多かった（92%）。

設問6 緊急カテーテル検査治療1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=623



問7 四肢末梢血管領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：四肢末梢血管領域1症例にあたる人数を選択してください。

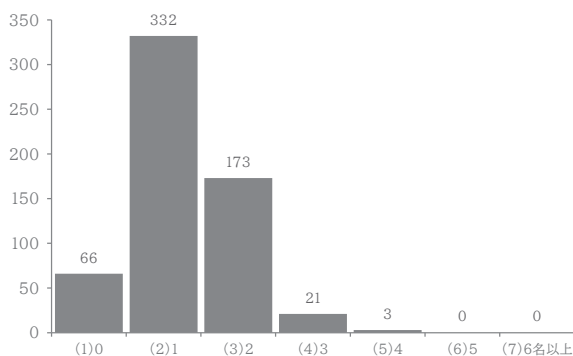
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：595

項目	n	割合
(1)0	66	11.1%
(2)1	332	55.8%
(3)2	173	29.1%
(4)3	21	3.5%
(5)4	3	0.5%
(6)5	0	0.0%
(7)6名以上	0	0.0%

解説：四肢末梢血管領域1症例あたり1～2名のCEが関与する割合が最も多かった（84.9%）。

設問7 四肢末梢血管領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=595



問8 脳血管領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：脳血管領域1症例にあたる人数を選択してください。

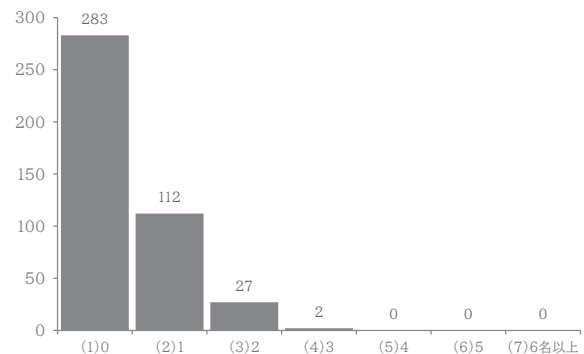
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：424

項目	n	割合
(1)0	283	66.7%
(2)1	112	26.4%
(3)2	27	6.4%
(4)3	2	0.5%
(5)4	0	0.0%
(6)5	0	0.0%
(7)6名以上	0	0.0%

解説：脳血管領域1症例あたり1名のCEが関与する割合は26%であり、関与していない割合は67%であった。

設問8 脳血管領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=424



問9 大動脈領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：大動脈領域1症例にあたる人数を選択してください。

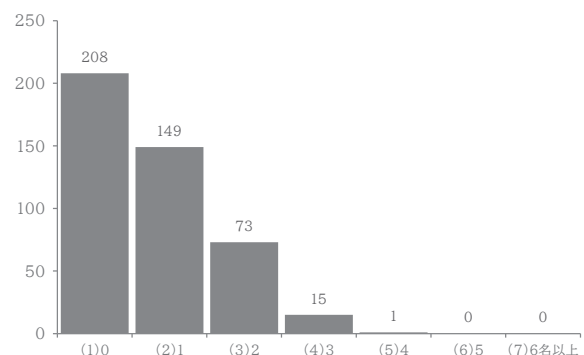
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：446

項目	n	割合
(1)0	208	46.6%
(2)1	149	33.4%
(3)2	73	16.4%
(4)3	15	3.4%
(5)4	1	0.2%
(6)5	0	0.0%
(7)6名以上	0	0.0%

解説：大動脈領域1症例あたり1～2名のCEが関与する割合は50%であり、関与していない割合は47%であった。

設問9 大動脈領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=446



問10 肺血管領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：肺血管領域1症例にあたる人数を選択してください。

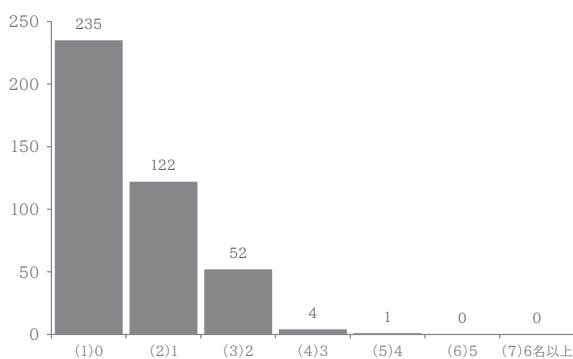
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：414

項目	n	割合
(1)0	235	56.8%
(2)1	122	29.5%
(3)2	52	12.6%
(4)3	4	1.0%
(5)4	1	0.2%
(6)5	0	0.0%
(7)6名以上	0	0.0%

解説：肺血管領域1症例あたり1～2名のCEが関与する割合は42%であり、関与していない割合は57%であった。

設問10 肺血管領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=414



問11 構造的心疾患（SHD）治療件数1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：構造的心疾患（SHD）治療件数1症例にあたる人数を選択してください。

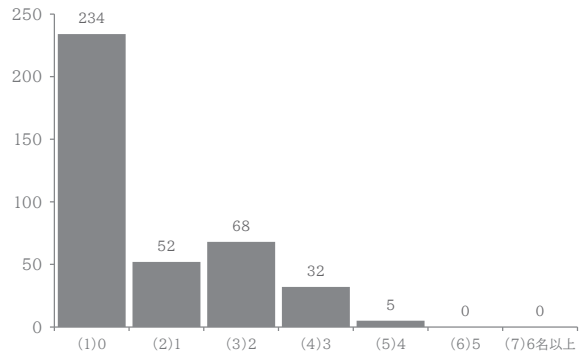
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：391

項目	n	割合
(1)0	234	59.8%
(2)1	52	13.3%
(3)2	68	17.4%
(4)3	32	8.2%
(5)4	5	1.3%
(6)5	0	0.0%
(7)6名以上	0	0.0%

解説：構造的心疾患（SHD）治療に関与していないCEは60%と最も多かった。

設問11 構造的心疾患（SHD）治療件数1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=391



問12 小児SHD領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。

目的：各施設のカテーテル検査治療における人員配置の実態を調査する。

定義：小児SHD領域1症例にあたる人数を選択してください。

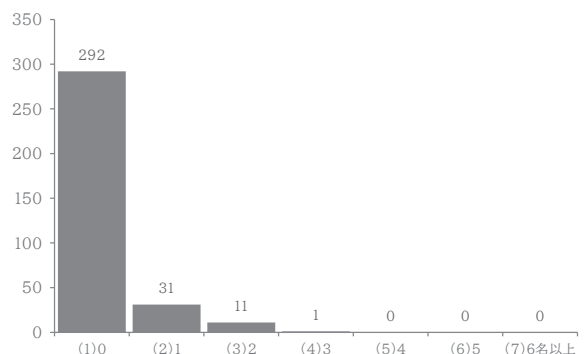
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：335

項目	n	割合
(1)0	292	87.2%
(2)1	31	9.3%
(3)2	11	3.3%
(4)3	1	0.3%
(5)4	0	0.0%
(6)5	0	0.0%
(7)6名以上	0	0.0%

解説：小児SHD領域に関与していないCEは87%と最も多かった。

設問12 小児SHD領域1症例あたりのCEの人数について教えてください。n=335



問13 心・血管カテーテルにおいてCEが準備，操作，測定，点検等を実施している医療機器を全て選択してください。（複数回答）

目的：心・血管カテーテル室で使用可能な医療機器を調査する

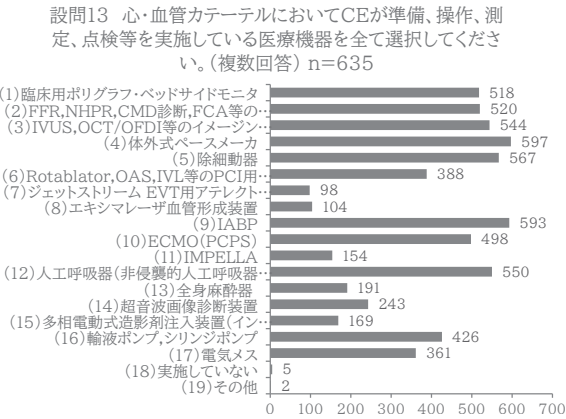
定義：CEが準備，操作，測定，点検等を実施している医療機器を全て選択してください。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：635

項目	n	割合
(1)臨床用ポリグラフ・ベッドサイドモニタ	518	81.6%
(2)FFR,NHPR,CMD診断,FCA等の機能評価装置	520	81.9%
(3)IVUS,OCT/OFDI等のイメージングモダリティ	544	85.7%
(4)体外式ペースメーカ	597	94.0%
(5)除細動器	567	89.3%
(6)Rotablator,OAS,IVL等のPCI用デバルキング装置	388	61.1%
(7)ジェットストリーム EVT用アテレクトミーシステム	98	15.4%
(8)エキシマレーザ血管形成装置	104	16.4%
(9)IABP	593	93.4%
(10)ECMO(PCPS)	498	78.4%
(11)IMPELLA	154	24.3%
(12)人工呼吸器(非侵襲的人工呼吸器含む)	550	86.6%
(13)全身麻酔器	191	30.1%
(14)超音波画像診断装置	243	38.3%
(15)多相電動式造影剤注入装置(インジェクター)	169	26.6%
(16)輸液ポンプ,シリンジポンプ	426	67.1%
(17)電気メス	361	56.9%
(18)実施していない	5	0.8%
(19)その他	2	0.3%

解説：選択肢に提示された医療機器の準備，操作，測定，点検等はすべて10%以上であった。



問14 心・血管カテーテル業務においてCEは薬剤の準備を実施していますか。（単一回答）

目的：心・血管カテーテル業務においてCEの薬剤の準備状況を把握する。

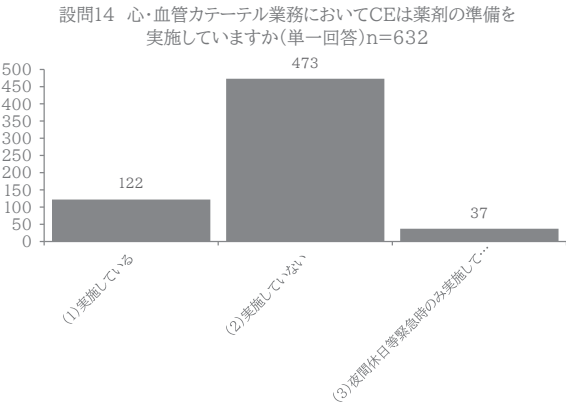
定義：心・血管カテーテル業務においてCEの薬剤準備の有無を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：632

項目	n	割合
(1)実施している	122	19.3%
(2)実施していない	473	74.8%
(3)夜間休日等緊急時のみ実施している	37	5.9%

解説：心・血管カテーテル業務において薬剤の準備を実施していないCEは75%だった。



問15 心・血管カテーテル業務においてCEは清潔介助業務を実施していますか。（単一回答）

目的：心・血管カテーテル業務においてCEの清潔介助業務の実施状況を把握する。

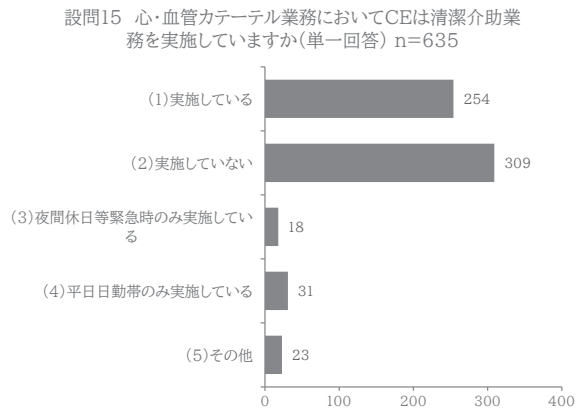
定義：心・血管カテーテル業務においてCEの清潔介助業務を実施について選択してください。（タスクシフト関連）

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：635

項目	n	割合
(1)実施している	254	40.0%
(2)実施していない	309	48.7%
(3)夜間休日等緊急時のみ実施している	18	2.8%
(4)平日日勤帯のみ実施している	31	4.9%
(5)その他	23	3.6%

解説：心・血管カテーテル業務において清潔解除をしている CE は 40%，実施していない CE は 49% だった。



問16 心・血管カテーテル業務において CE が清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい。(複数回答)

目的：心・血管カテーテル業務において CE が清潔介助業務の内容を把握する。

定義：心・血管カテーテル業務において CE が行う清潔介助業務をすべて選択してください。

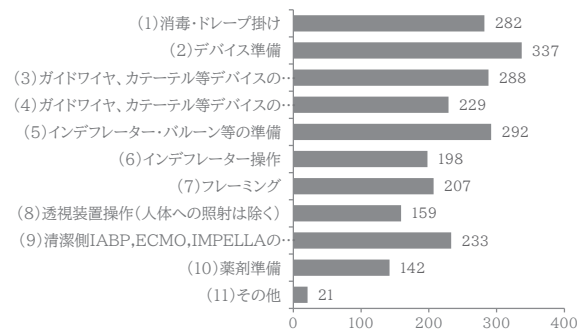
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：388

項目	n	割合
(1)消毒・ドレープ掛け	282	72.7%
(2)デバイス準備	337	86.9%
(3)ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの保持	288	74.2%
(4)ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの操作介助	229	59.0%
(5)インデフレーター・バルーン等の準備	292	75.3%
(6)インデフレーター操作	198	51.0%
(7)フレーミング	207	53.4%
(8)透視装置操作(人体への照射は除く)	159	41.0%
(9)清潔側IABP,ECMO,IMPELLAの準備、介助	233	60.1%
(10)薬剤準備	142	36.6%
(11)その他	21	5.4%

解説：心・血管カテーテル業務における CE の清潔介助業務はインデフレーター・バルーン等の準備(75%)，ガイドワイヤ，カテーテル等デバイスの保持(74%)の順で多かった。

設問16 心・血管カテーテル業務においてCEが清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい(複数回答) n=388



問17 タスクシェア・タスクシフトにおいて心・血管カテーテル業務における CE の清潔介助業務についての今後の予定を選択してください。(単一回答)

目的：心・血管カテーテル業務において CE の清潔介助業務を把握する。

定義：心・血管カテーテル業務において CE の清潔介助業務の取り組みについて選択してください。(タスクシフト関連)

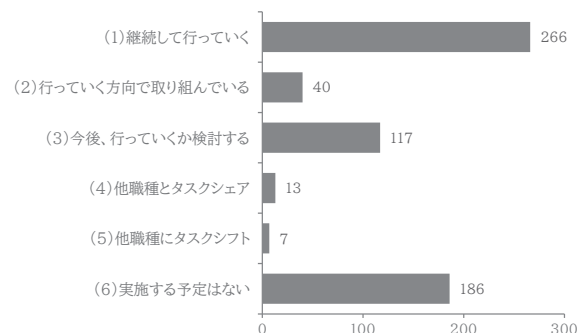
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：629

項目	n	割合
(1)継続して行っていく	266	42.3%
(2)行っていく方向で取り組んでいる	40	6.4%
(3)今後、行っていくか検討する	117	18.6%
(4)他職種とタスクシェア	13	2.1%
(5)他職種にタスクシフト	7	1.1%
(6)実施する予定はない	186	29.6%

解説：心・血管カテーテル業務において，タスクシェア・タスクシフトを継続して行っていく割合が 42%と最も多かった。

設問17 タスクシェア・タスクシフトにおいて心・血管カテーテル業務におけるCEの清潔介助業務についての今後の予定を選択してください(単一回答) n=629



問18 脳血管内カテーテルにおいて CE が実施している業務を全て選択してください。(複数回答)

目的：脳血管内カテーテルで CE が担っている業務を把握する。

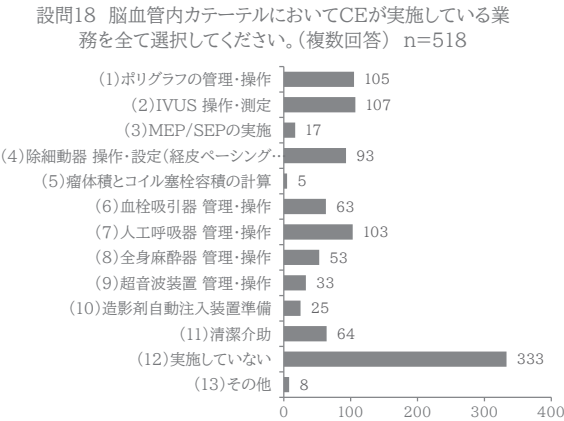
定義：脳血管内カテーテルにおいて CE が行う業務をすべて選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：518

項目	n	割合
(1)ポリグラフの管理・操作	105	20.3%
(2)IVUS 操作・測定	107	20.7%
(3)MEP/SEPの実施	17	3.3%
(4)除細動器 操作・設定(経皮ペースティング含む)	93	18.0%
(5)瘤体積とコイル塞栓容積の計算	5	1.0%
(6)血栓吸引器 管理・操作	63	12.2%
(7)人工呼吸器 管理・操作	103	19.9%
(8)全身麻酔器 管理・操作	53	10.2%
(9)超音波装置 管理・操作	33	6.4%
(10)造影剤自動注入装置準備	25	4.8%
(11)清潔介助	64	12.4%
(12)実施していない	333	64.3%
(13)その他	8	1.5%

解説：脳血管内カテーテルにおいて CE が実施していない割合が 64% と最も多く、IVUS 操作・測定 (21%)、ポリグラフの管理・操作 (20%) の順に多かった。



問19 脳血管内カテーテル業務において CE が清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい。(複数回答)

目的：脳血管内カテーテル業務において CE が清潔介助業務の内容を把握する。

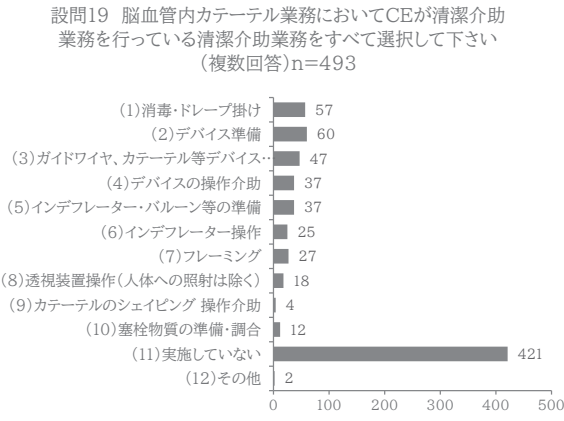
定義：脳血管内カテーテル業務において CE が行う清潔介助業務をすべて選択してください。(タスクシフト関連)

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：493

項目	n	割合
(1)消毒・ドレープ掛け	57	11.6%
(2)デバイス準備	60	12.2%
(3)ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの保持	47	9.5%
(4)デバイスの操作介助	37	7.5%
(5)インデフレーター・バルーン等の準備	37	7.5%
(6)インデフレーター操作	25	5.1%
(7)フレーミング	27	5.5%
(8)透視装置操作(人体への照射は除く)	18	3.7%
(9)カテーテルのシェイピング 操作介助	4	0.8%
(10)塞栓物質の準備・調合	12	2.4%
(11)実施していない	421	85.4%
(12)その他	2	0.4%

解説：脳血管内カテーテル業務において CE が実施していない割合が 85% と最も多く、デバイス準備 (12%)、消毒・ドレープ掛け (12%) の順に多かった。



問20 構造的心疾患（SHD）治療において CE が実施している業務を全て選択してください。（複数回答）

目的：構造的心疾患（SHD）治療で CE が担っている業務を把握する。

定義：構造的心疾患（SHD）治療において CE が実施している業務をすべて選択してください。

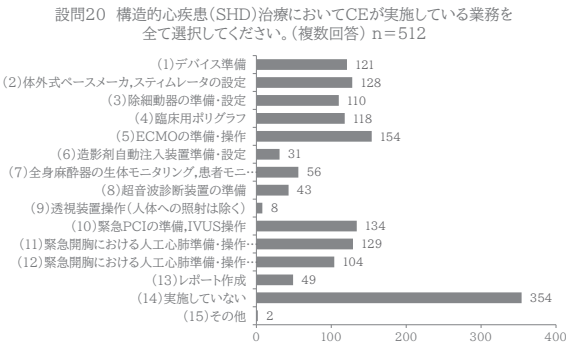
構造的な心疾患（SHD）治療とは、TAVI や Mitra-Clip 等を指します。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：512

項目	n	割合
(1)デバイス準備	121	23.6%
(2)体外式ペースメーカ、スティムレータの設定	128	25.0%
(3)除細動器の準備・設定	110	21.5%
(4)臨床用ポリグラフ	118	23.0%
(5)ECMO の準備・操作	154	30.1%
(6)造影剤自動注入装置準備・設定	31	6.1%
(7)全身麻酔器の生体モニタリング、患者モニタリング装着	56	10.9%
(8)超音波診断装置の準備	43	8.4%
(9)透視装置操作（人体への照射は除く）	8	1.6%
(10)緊急 PCI の準備、IVUS 操作	134	26.2%
(11)緊急開胸における人工心肺準備・操作（担当内）	129	25.2%
(12)緊急開胸における人工心肺準備・操作（担当外支援）	104	20.3%
(13)レポート作成	49	9.6%
(14)実施していない	354	69.1%
(15)その他	2	0.4%

解説：構造的な心疾患（SHD）治療において CE が実施していない割合が 69% と最も多く、緊急 PCI の準備、IVUS 操作（26%）、緊急開胸における人工心肺準備・操作（担当内）（25%）の順に多かった。



問21 構造的な心疾患（SHD）治療において CE が清潔介助業務を行っている清潔介助業務をすべて選択して下さい。（複数回答）

目的：構造的な心疾患（SHD）治療において CE が清潔介助業務の内容を把握する。

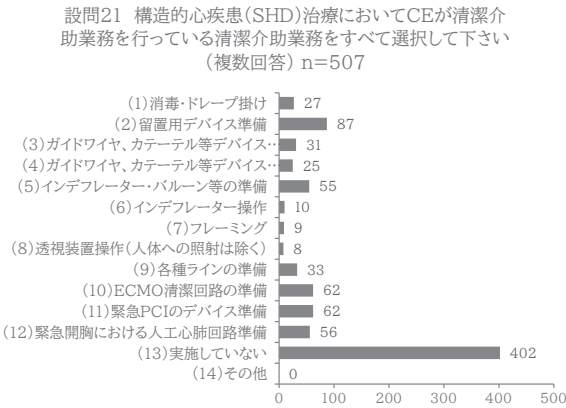
定義：構造的な心疾患（SHD）治療において CE が行う清潔介助業務をすべて選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：507

項目	n	割合
(1)消毒・ドレープ掛け	27	5.3%
(2)留置用デバイス準備	87	17.2%
(3)ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの保持	31	6.1%
(4)ガイドワイヤ、カテーテル等デバイスの操作介助	25	4.9%
(5)インデフレーター・バルーン等の準備	55	10.8%
(6)インデフレーター操作	10	2.0%
(7)フレーミング	9	1.8%
(8)透視装置操作（人体への照射は除く）	8	1.6%
(9)各種ラインの準備	33	6.5%
(10)ECMO 清潔回路の準備	62	12.2%
(11)緊急 PCI のデバイス準備	62	12.2%
(12)緊急開胸における人工心肺回路準備	56	11.0%
(13)実施していない	402	79.3%
(14)その他	0	0.0%

解説：構造的な心疾患（SHD）治療において CE が実施していない割合が 79% と最も多く、留置用デバイス準備（17%）、ECMO 清潔回路の準備（12%）、緊急 PCI のデバイス準備（12%）の順に多かった。



問22 心・血管カテーテル領域において CE が参加している情報共有に関する取り組みおよび臨床外業務を全て選択して下さい。(複数回答)

目的：カテーテル室で実施している業務範囲を把握する。

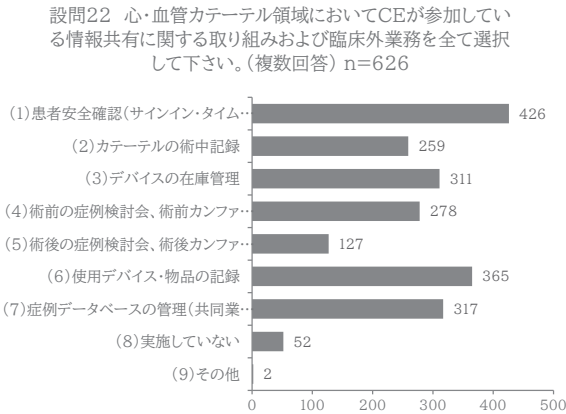
定義：カテーテル室で実施している業務内容を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：626

項目	n	割合
(1)患者安全確認(サインイン・タイムアウト・サインアウト)	426	68.1%
(2)カテーテルの術中記録	259	41.4%
(3)デバイスの在庫管理	311	49.7%
(4)術前の症例検討会、術前カンファレンスの参加	278	44.4%
(5)術後の症例検討会、術後カンファレンスの参加	127	20.3%
(6)使用デバイス・物品の記録	365	58.3%
(7)症例データベースの管理(共同業務も含む)	317	50.6%
(8)実施していない	52	8.3%
(9)その他	2	0.3%

解説：心・血管カテーテル領域における情報共有に関する取り組みおよび臨床外業務は、患者安全確認（サインイン・タイムアウト・サインアウト）が 68%と最も多かった。



問23 心・血管カテーテルにおける CE の時間外の緊急カテーテル対応について教えてください。(単一回答)

目的：緊急カテーテル対応の実態を把握する。

定義：心・血管カテーテルにおける CE の時間外の緊急カテーテル対応方法を選択してください。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

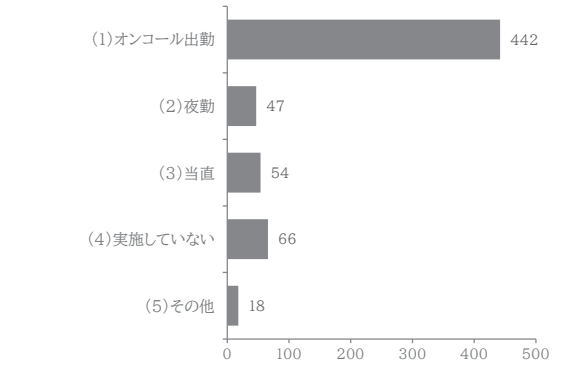
有効回答数：627

項目	n	割合
(1)オンコール出勤	442	70.5%
(2)夜勤	47	7.5%
(3)当直	54	8.6%
(4)実施していない	66	10.5%
(5)その他	18	2.9%

その他 当直者とオンコール者：14,夜勤にて準備, 当番到着後に業務引き継ぎ：1,呼び出し：1, オンコール体制はないが, 緊急カテーテルの際, CE の携帯に連絡ある. :1,勤務時間内の緊急ケアのみ：1.

解説：オンコール出勤が 71% と最も多かった。

設問23 心・血管カテーテルにおけるCEの時間外の緊急カテーテル対応について教えてください。(単一回答) n=627



11. 業務実態報告 2024 施設報告アドオン 不整脈アブレーション治療関連業務

問1 施設で実施されているアブレーション症例数は年間何件ですか。(単一回答)

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

定義：施設で実施している年間症例数を選択してください。

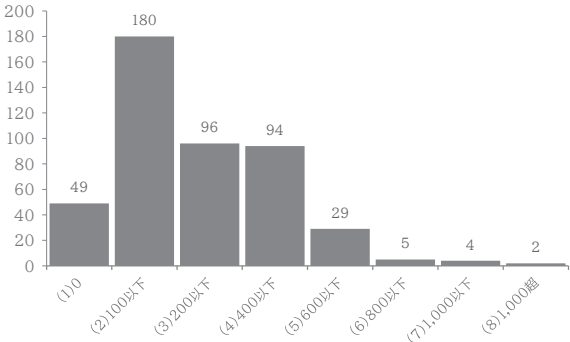
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：459

項目	n	割合
(1)0	49	10.7%
(2)100 以下	180	39.2%
(3)200 以下	96	20.9%
(4)400 以下	94	20.5%
(5)600 以下	29	6.3%
(6)800 以下	5	1.1%
(7)1,000 以下	4	0.9%
(8)1,000 超	2	0.4%

解説：施設で実施されている年間アブレーション症例数は何件かは、1件から100件で39%を占めていた。

問1 施設で実施されている年間アブレーション症例数は何件ですか。(単一回答)n=459



問2 不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士は何名在籍していますか？

目的：アブレーション業務に従事している技士数の実数を把握する。

定義：従事している臨床工学技士がいない場合は0を入力。

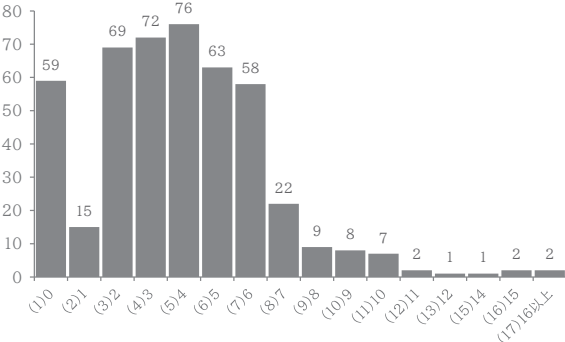
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：466

項目	n	割合
(1)0	59	12.7%
(2)1	15	3.2%
(3)2	69	14.8%
(4)3	72	15.5%
(5)4	76	16.3%
(6)5	63	13.5%
(7)6	58	12.4%
(8)7	22	4.7%
(9)8	9	1.9%
(10)9	8	1.7%
(11)10	7	1.5%
(12)11	2	0.4%
(13)12	1	0.2%
(15)14	1	0.2%
(16)15	2	0.4%
(17)16以上	2	0.4%

解説：不整脈カテーテルアブレーションに従事するCEは何名在籍するかは、従事者2～6名で73%を占めていた。

問2 不整脈カテーテルアブレーションに従事する臨床工学技士は何名在籍していますか？。(単一回答)n=466



問3 不整脈カテーテルアブレーションにおいて臨床工学技士が担当している業務を選択してください。(複数回答)

目的：アブレーション業務実態を把握する。

定義：複数選択（タスクシフト関連）

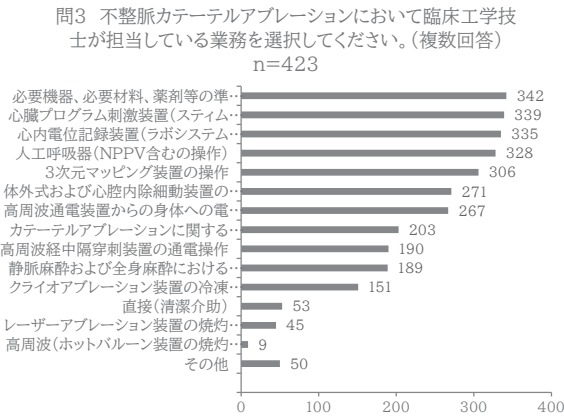
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：423

項目	n	割合
(1)必要機器、必要材料、薬剤等の準備や間接介助	357	84.4%
(2)直接(清潔)介助	342	80.9%
(3)心内電位記録装置(ラボシステム)の操作	339	80.1%
(4)心臓プログラム刺激装置(スティムレータ)の操作	335	79.2%
(5)3次元マッピング装置の操作	328	77.5%
(6)高周波通電装置からの身体への電氣的負荷の実施(通電操作)	306	72.3%
(7)クライオアブレーション装置の冷凍焼灼操作	271	64.1%
(8)レーザーアブレーション装置の焼灼操作	267	63.1%
(9)高周波(ホット)バルーン装置の焼灼操作	203	48.0%
(10)体外式および心腔内除細動装置のショック操作	190	44.9%
(11)高周波経中隔穿刺装置の通電操作	189	44.7%
(12)人工呼吸器(NPPV 含む)の操作	151	35.7%
(13)静脈麻酔および全身麻酔におけるバイタルモニタリング(EtCO2, BIS)	53	12.5%
(14)カテーテルアブレーションに関するデータ管理業務	45	10.6%
その他	9	2.1%

その他 アブレーションを行っていない:1,エコー操作・アンギオ操作:1,シース組み立て:1,なし:1,記録管理:1,血液凝固時間計測器の操作・点検・パルスフィールドアブレーション装置操作・超音波装置操作(主に心腔内):1,行わない:1,術中記録:1,当施設で不整脈アブレーションを行っていない:1.

解説：必要機器、必要材料、薬剤等の準備や間接介助が最も多く 77%であった。



12. 業務実態報 2024 施設報告アドオン 心臓不整脈デバイス

問1 心臓不整脈デバイス関連業務に従事する臨床工学技士は何名在籍していますか？

目的：心臓不整脈デバイス関連業務に従事している技士数の実数を把握する。

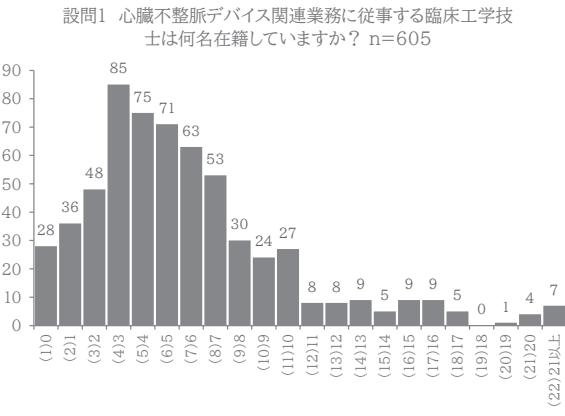
定義：従事している臨床工学技士がいない場合は0を選択してください。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：605

項目	n	割合
(1)0	28	4.6%
(2)1	36	6.0%
(3)2	48	7.9%
(4)3	85	14.0%
(5)4	75	12.4%
(6)5	71	11.7%
(7)6	63	10.4%
(8)7	53	8.8%
(9)8	30	5.0%
(10)9	24	4.0%
(11)10	27	4.5%
(12)11	8	1.3%
(13)12	8	1.3%
(14)13	9	1.5%
(15)14	5	0.8%
(16)15	9	1.5%
(17)16	9	1.5%
(18)17	5	0.8%
(19)18	0	0.0%
(20)19	1	0.2%
(21)20	4	0.7%
(22)21以上	7	1.2%

解説：3人が14%と最も多く、次いで4人が多かった。8人以上の施設は少なかった。



問2 心臓不整脈デバイス診療において臨床工学技士が担当している業務を選択してください。(複数回答)

目的：心臓不整脈デバイス関連業務実態を把握する。
定義：心臓不整脈デバイス診療において臨床工学技士が担当している業務を選択してください。複数選択(タスクシフト関連)

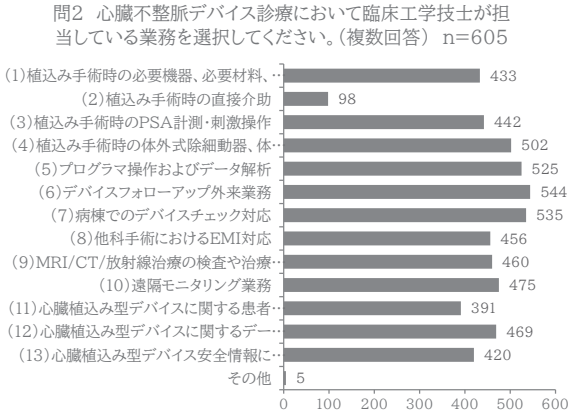
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：588

項目	n	割合
(1)植込み手術時の必要機器、必要材料、薬剤等の準備や間接介助	433	73.6%
(2)植込み手術時の直接介助	98	16.7%
(3)植込み手術時のPSA計測・刺激操作	442	75.2%
(4)植込み手術時の体外式除細動器、体外式ペースメーカの操作	502	85.4%
(5)プログラマ操作およびデータ解析	525	89.3%
(6)デバイスフォローアップ外来業務	544	92.5%
(7)病棟でのデバイスチェック対応	535	91.0%
(8)他科手術におけるEMI対応	456	77.6%
(9)MRI/CT/放射線治療の検査や治療時対応	460	78.2%
(10)遠隔モニタリング業務	475	80.8%
(11)心臓植込み型デバイスに関する患者指導および説明業務	391	66.5%
(12)心臓植込み型デバイスに関するデータ管理業務	469	79.8%
(13)心臓植込み型デバイス安全情報に関する管理業務	420	71.4%
その他	9	1.5%

その他 S-ICD 術前スクリーニング検査(ECG), WCD の患者指導ならびに説明業務:1, 医師からデバイスチェック依頼がある場合はメーカーへ依頼:1, 行っていない:1, 植込み患者の手術の際連絡がある:1, 臨床工学技士は従事していない:1.

解説：CE が担当する心臓不整脈デバイス関連業務は、(6) デバイスフォローアップ外来業務が最も多く 93%，次いで (7) 病棟でのデバイスチェック対応 91%，(5) プログラム操作およびデータ解析 89%であった。



問3 施設でフォローアップされているペースメーカ（リードレス含む）患者数は何名ですか。（単一回答）

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

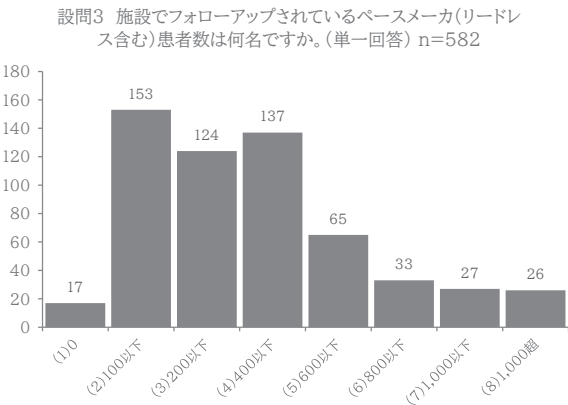
定義：施設でフォローアップしている患者数を選択してください。

対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：582

項目	n	割合
(1)0	17	2.9%
(2)100 以下	153	26.3%
(3)200 以下	124	21.3%
(4)400 以下	137	23.5%
(5)600 以下	65	11.2%
(6)800 以下	33	5.7%
(7)1,000 以下	27	4.6%
(8)1,000 超	26	4.5%

解説：100 人以下が 25%と最も多く，次いで 200 人超～400 人以下が 24%と多かった。



問4 施設でフォローアップされている ICD（TV-ICD・S-ICD 含む）患者数は何名ですか。（単一回答）

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

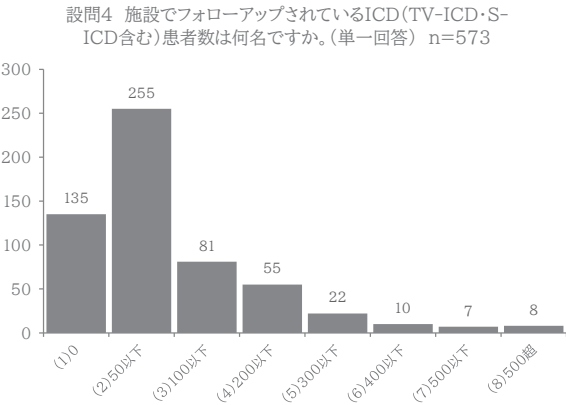
定義：施設でフォローアップしている患者数を選択してください。

対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：573

項目	n	割合
(1)0	135	23.6%
(2)50 以下	255	44.5%
(3)100 以下	81	14.1%
(4)200 以下	55	9.6%
(5)300 以下	22	3.8%
(6)400 以下	10	1.7%
(7)500 以下	7	1.2%
(8)500 超	8	1.4%

解説：50 人以下が 42%と最も多く，次いで 0 人が 24%と多かった。



問5 施設でフォローアップされている CRT-P・CRT-D 患者数は何名ですか。（単一回答）

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

定義：施設でフォローアップしている患者数を選択してください。

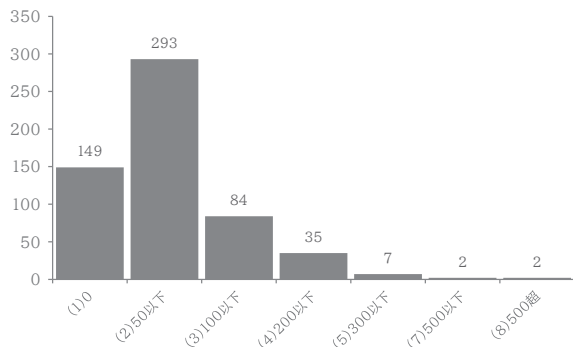
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：572

項目	n	割合
(1)0	149	26.0%
(2)50 以下	293	51.2%
(3)100 以下	84	14.7%
(4)200 以下	35	6.1%
(5)300 以下	7	1.2%
(7)500 以下	2	0.3%
(8)500 超	2	0.3%

解説：50 人以下が 48%と最も多く、ついで 0 人が 26%と多かった。

設問5 施設でフォローアップされているCRT-P・CRT-D患者数は何名ですか。(単一回答) n=572



問6 施設でフォローアップされている ICM 患者数は何名ですか。(単一回答)

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

定義：施設でフォローアップしている患者数を選択してください。

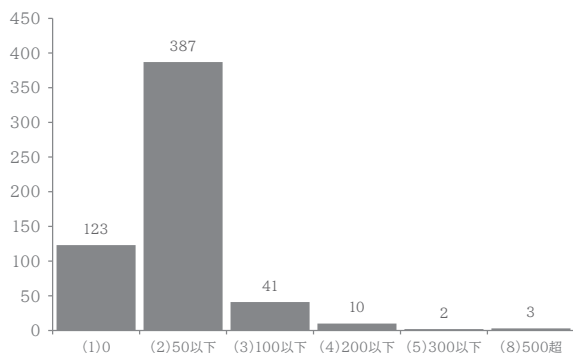
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：566

項目	n	割合
(1)0	123	21.7%
(2)50 以下	387	68.4%
(3)100 以下	41	7.2%
(4)200 以下	10	1.8%
(5)300 以下	2	0.4%
(8)500 超	3	0.5%

解説：50 人以下が 64%と最も多く、ついで 0 人が 22%と多かった。

設問6 施設でフォローアップされているICM患者数は何名ですか。(単一回答) n=566



問7 施設で管理されている遠隔モニタリング患者数は何名ですか。(単一回答)

目的：施設症例数と業務担当の度合いや関係性を把握する。

定義：施設で遠隔モニタリング管理している患者数を選択してください。

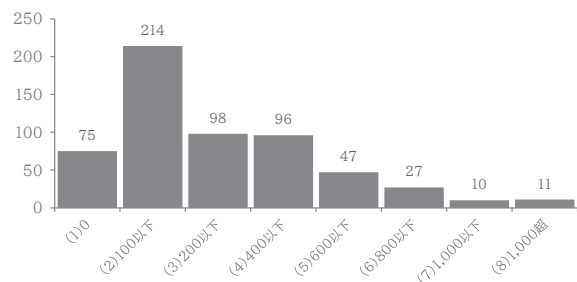
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：578

項目	n	割合
(1)0	75	13.0%
(2)100 以下	214	37.0%
(3)200 以下	98	17.0%
(4)400 以下	96	16.6%
(5)600 以下	47	8.1%
(6)800 以下	27	4.7%
(7)1,000 以下	10	1.7%
(8)1,000 超	11	1.9%

解説：100 人以下が 35%と最も多く、ついで 200 人以下 17%，400 人以下 17%が多かった。

設問7 施設で管理されている遠隔モニタリング患者数は何名ですか。(単一回答) n=578



問8 年間のプログラマによるテレメトリ業務の回数は何件ですか。(単一回答)

目的：全国の施設におけるテレメトリ業務の実数を把握する。

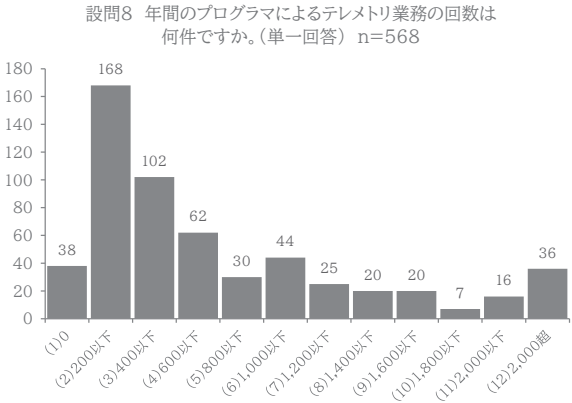
定義：年間のプログラマによるテレメトリ業務の回数を選択してください。

対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：568

項目	n	割合
(1)0	38	6.7%
(2)200 以下	168	29.6%
(3)400 以下	102	18.0%
(4)600 以下	62	10.9%
(5)800 以下	30	5.3%
(6)1,000 以下	44	7.7%
(7)1,200 以下	25	4.4%
(8)1,400 以下	20	3.5%
(9)1,600 以下	20	3.5%
(10)1,800 以下	7	1.2%
(11)2,000 以下	16	2.8%
(12)2,000 超	36	6.3%

解説：200 件以下が 28%と最も多かった。



問9 テレメトリ業務のうち EMI 対応（電気メス・MRI・放射線治療など）によるものは年間何件ですか。(単一回答)

目的：全国の施設におけるテレメトリ業務の実数を把握する。

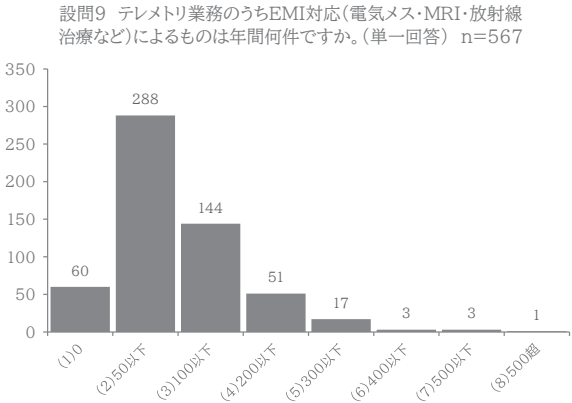
定義：年間のプログラマによるテレメトリ業務の回数を選択してください。

対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：567

項目	n	割合
(1)0	60	10.6%
(2)50 以下	288	50.8%
(3)100 以下	144	25.4%
(4)200 以下	51	9.0%
(5)300 以下	17	3.0%
(6)400 以下	3	0.5%
(7)500 以下	3	0.5%
(8)500 超	1	0.2%

解説：50 件以下が 48%，次いで 100 件以下が 24%であった。



13. 業務実態報告 2024 施設報告医療安全アドオン

問1 医療安全管理部門で CE が業務を行っているか選択してください。 ※医療安全管理部門とは、医療安全管理部等を指し、各部署所属のリスクマネジャー等は含めない。(単一回答)

目的：医療安全部門における CE の関与を把握するため。

定義：医療安全部門における CE の関与を選択する。

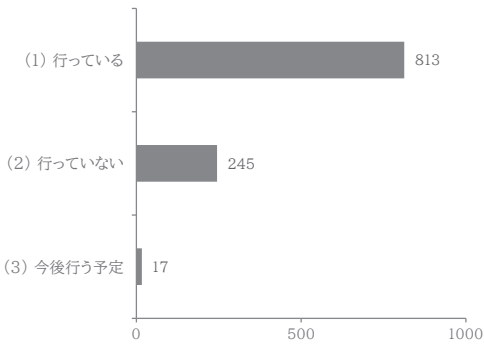
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：1,075

項目	n	割合
(1) 行っている	813	75.6%
(2) 行っていない	245	22.8%
(3) 今後行う予定	17	1.6%

解説：医療安全管理部門で CE が業務を行っている割合は 76%であり多くの施設で実施している。

問1 医療安全管理部門でCEが業務を行っているか選択してください。(単一回答) n=1,075



問2 医療安全管理部門に所属する医師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)

目的：医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義：医療安全管理部門に所属する医師の人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

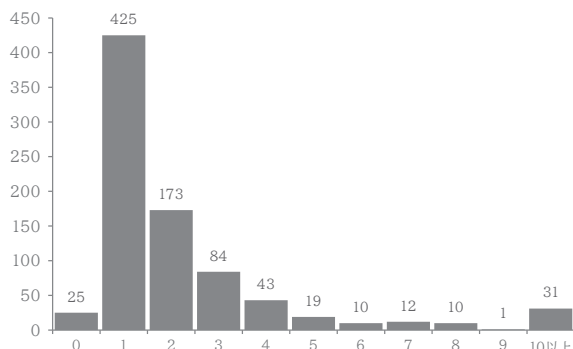
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：833

項目	n	割合
0	25	3.0%
1	425	51.0%
2	173	20.8%
3	84	10.1%
4	43	5.2%
5	19	2.3%
6	10	1.2%
7	12	1.4%
8	10	1.2%
9	1	0.1%
10 以上	31	3.7%

解説：医療安全管理部門に所属する医師の人数は、1人が最も多く51%であり、次いで2人が21%であった。10人以上所属する施設は4%であった。

問2 医療安全管理部門に所属する医師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答) n=833



問3 医療安全管理部門に所属する看護師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)
目的：医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義：医療安全管理部門に所属する看護師の人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

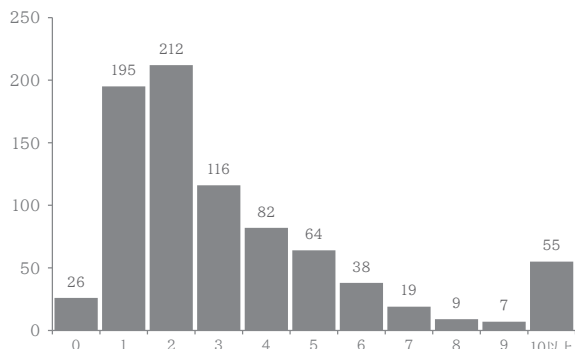
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：823

項目	n	割合
0	26	3.2%
1	195	23.7%
2	212	25.8%
3	116	14.1%
4	82	10.0%
5	64	7.8%
6	38	4.6%
7	19	2.3%
8	9	1.1%
9	7	0.9%
10以上	55	6.7%

解説：医療安全管理部門に所属する看護師の人数は、2人が最も多く26%であり、次いで1人が24%であった。10人以上所属する施設は7%であった。

問3 医療安全管理部門に所属する看護師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答) n=823



問4 医療安全管理部門に所属する薬剤師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)
目的：医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義：医療安全管理部門に所属する薬剤師の人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

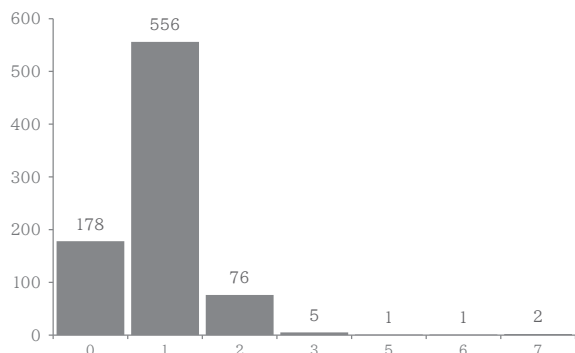
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：819

項目	n	割合
0	178	21.7%
1	556	67.9%
2	76	9.3%
3	5	0.6%
5	1	0.1%
6	1	0.1%
7	2	0.2%

解説：医療安全管理部門に所属する薬剤師の人数は、1人が最も多く68%であり、次いで0人が22%であった。2人以上所属する施設は10%であった。

問4 医療安全管理部門に所属する薬剤師の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答) n=819



問5 医療安全管理部門に所属する臨床工学技士の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)

目的：医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

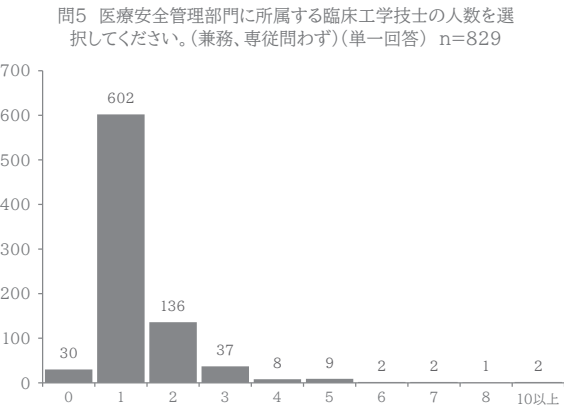
定義：医療安全管理部門に所属する臨床工学技士の人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：829

項目	n	割合
0	30	3.6%
1	602	72.6%
2	136	16.4%
3	37	4.5%
4	8	1.0%
5	9	1.1%
6	2	0.2%
7	2	0.2%
8	1	0.1%
10以上	2	0.2%

解説：医療安全管理部門に所属する臨床工学技士の人数は、1人が最も多く73%であり、次いで2人が16%であった。10人以上所属する施設は0.2%であった。



問6 医療安全管理部門に所属する事務員の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)

目的：医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

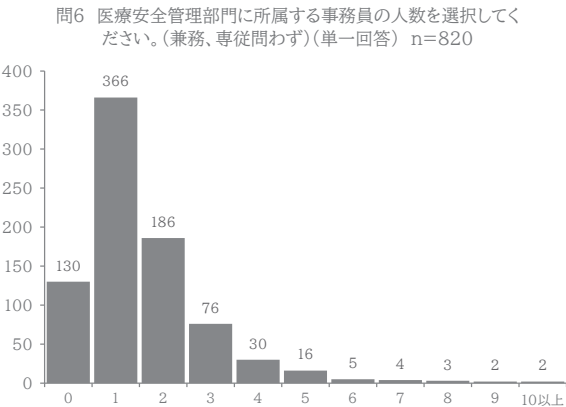
定義：医療安全管理部門に所属する事務員の人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

対象：2024年10月1日時点

有効回答数：820

項目	n	割合
0	130	15.9%
1	366	44.6%
2	186	22.7%
3	76	9.3%
4	30	3.7%
5	16	2.0%
6	5	0.6%
7	4	0.5%
8	3	0.4%
9	2	0.2%
10以上	2	0.2%

解説：医療安全管理部門に所属する事務員の人数は、1人が最も多く45%であり、次いで2人が23%であった。10人以上所属する施設は0.2%であった。



問7 医療安全管理部門に所属するその他の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答)
目的: 医療安全管理部門に所属する人員を把握するため。

定義: 医療安全管理部門に所属する人員を兼務、専任、専従を問わず選択する。

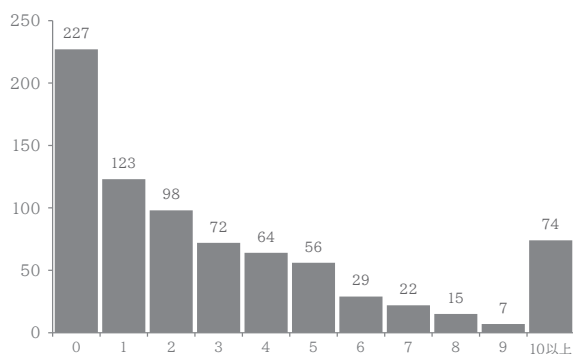
対象: 2024年10月1日時点

有効回答数: 787

項目	n	割合
0	227	28.8%
1	123	15.6%
2	98	12.5%
3	72	9.1%
4	64	8.1%
5	56	7.1%
6	29	3.7%
7	22	2.8%
8	15	1.9%
9	7	0.9%
10以上	74	9.4%

解説: 医療安全管理部門に所属するその他の人数は、0人が最も多く30%であり、次いで1人が16%であった。10人以上所属する施設は9%であった。

問7 医療安全管理部門に所属するその他の人数を選択してください。(兼務、専従問わず)(単一回答) n=787



問8 医療安全管理部門のCEの業務形式を入力してください。(単一回答)

目的: 医療安全管理部門でCEの業務形式を把握するため。

定義: 医療安全管理部門のCEの業務形式を選択する。※兼務(50%未満)、専任(50%～80%未満)、専従(80%以上)とする。

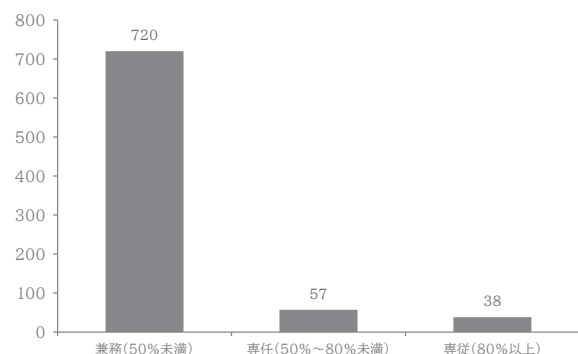
対象: 2024年10月1日時点

有効回答数: 815

項目	n	割合
兼務(50%未満)	720	88.3%
専任(50%～80%未満)	57	7.0%
専従(80%以上)	38	4.7%

解説: 医療安全管理部門のCEの業務形式は兼務が最も多く88%、次いで専任が7%、専従は5%であった。

問8 医療安全管理部門のCEの業務形式を入力してください。(単一回答) n=815



問9 医療安全管理部門の肩書き(職位)を選択してください。(単一回答)

目的: 院内での肩書き(職位)を選択してください。

定義: 医療安全管理部門のCEの肩書を選択する。

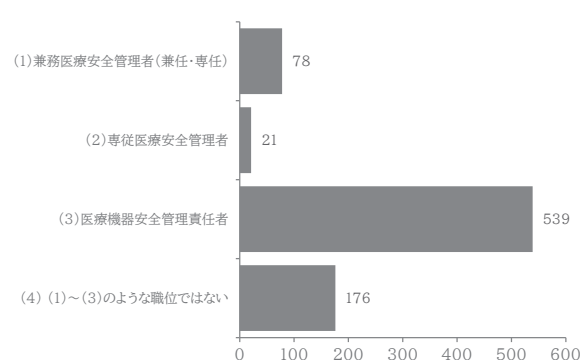
対象: 2024年10月1日時点

有効回答数: 814

項目	n	割合
(1)兼務医療安全管理者(兼任・専任)	78	9.6%
(2)専従医療安全管理者	21	2.6%
(3)医療機器安全管理責任者	539	66.2%
(4) (1)～(3)のような職位ではない	176	21.6%

解説: 医療安全管理部門の肩書き(職位)は医療機器安全管理責任者が最も多く66%、次いで(1)～(3)のような職位ではないが22%、兼務医療安全管理者10%であった。

問9 医療安全管理部門の肩書き(職位)を選択してください。(単一回答) n=814



問10 医療安全管理者研修は受講済みでしょうか。
(単一回答)

目的：医療安全管理者研修について選択してください。
定義：医療安全管理者研修は、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室の「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針（令和2年3月改定）」に準拠した研修とします。

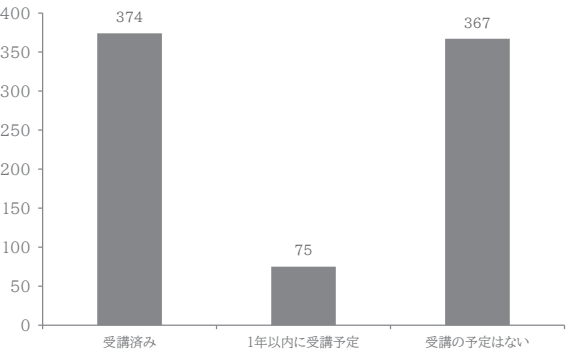
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：816

項目	n	割合
受講済み	374	45.8%
1年以内に受講予定	75	9.2%
受講の予定はない	367	45.0%

解説：医療安全管理者研修は受講は受講済みが最も多く46%、次いで受講の予定はないが45%であった。

問10 医療安全管理者研修は受講済みでしょうか。(単一回答) n=816



問11 医療安全管理部門での CE の業務について選択してください。(複数回答)

目的：医療安全管理部門での CE の業務について選択してください。

定義：医療安全管理部門での CE の業務を把握するため。

対象：2024年10月1日時点

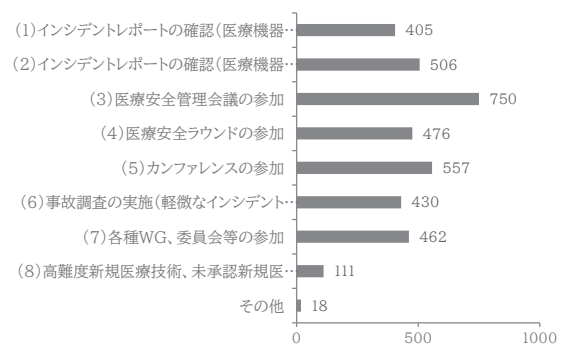
有効回答数：833

項目	n	割合
(1)インシデントレポートの確認(医療機器関連のみ)	405	48.6%
(2)インシデントレポートの確認(医療機器関連問わず全て)	506	60.7%
(3)医療安全管理会議の参加	750	90.0%
(4)医療安全ラウンドの参加	476	57.1%
(5)カンファレンスの参加	557	66.9%
(6)事故調査の実施(軽微なインシデント事例を含む)	430	51.6%
(7)各種 WG、委員会等の参加	462	55.5%
(8)高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等の会議の参加	111	13.3%
その他	18	2.2%

その他 医療機器・材料:11,教育・研修:7,情報発信:5,インシデントレポートシステム:4,委員会・会議:3,組織体制:3,医療事故調査:2.

解説：医療安全管理部門での CE の業務は、医療安全管理会議の参加が最も多く90%、次いでカンファレンスの参加67%、医療機器関連問わずインシデントレポートの確認61%、医療安全ラウンドの参加57%であった。

問11 医療安全管理部門でのCEの業務について選択してください。(複数回答) n=833



問12 医療安全管理部門へ配属となった経緯を選択してください。(前任者から引き継いだ方は最初の経緯を回答ください)(単一回答)

目的：医療安全管理部門へ配属となった経緯を把握するため。

定義：医療安全管理部門へ配属となった経緯を選択する。

対象：2024年10月1日時点

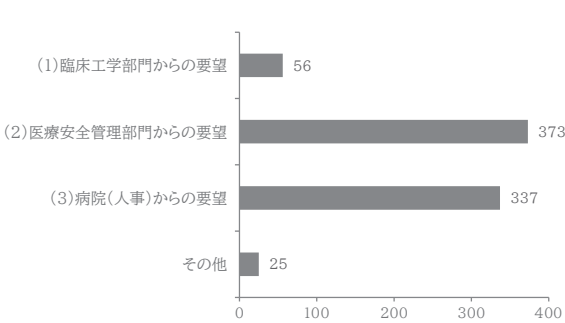
有効回答数：791

項目	n	割合
(1)臨床工学部門からの要望	56	7.1%
(2)医療安全管理部門からの要望	373	47.2%
(3)病院(人事)からの要望	337	42.6%
その他	25	3.2%

その他 個人のスキルや経験から:5,前任者の異動・退職に伴う:4,組織の必要性から:3,組織の規則や規定に基づく:2,部門間の連携や協力による:2,兼務:2,その他(不明、業務拡大など):7.

解説：医療安全管理部門へ配属となった経緯は、医療安全管理部門からの要望が最も多く47%、次いで病院(人事)からの要望43%であった。

問12 医療安全管理部門へ配属となった経緯を選択してください。(前任者から引き継いだ方は最初の経緯を回答ください)(単一回答) n=791



問13 医療安全管理部門の任期を選択してください。(単一回答)

目的：医療安全管理部門の任期を把握するため。

定義：医療安全部門の任期を選択する。

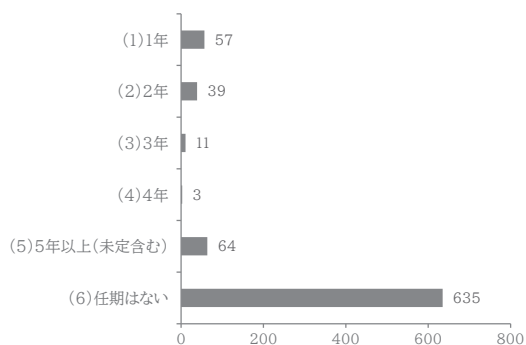
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：809

項目	n	割合
(1)1年	57	7.0%
(2)2年	39	4.8%
(3)3年	11	1.4%
(4)4年	3	0.4%
(5)5年以上(未定含む)	64	7.9%
(6)任期はない	635	78.5%

解説：医療安全管理部門の任期は、任期はないが最も多く79%、次いで5年以上(未定含む)8%、1年7%であった。

問13 医療安全管理部門の任期を選択してください。(単一回答) n=809



問14 医療安全管理部門に属して良かったと思うこと。(兼務、専任、専従の方) (フリー記載)

目的：医療安全管理部門に属して良かったと思うことを把握するため。

定義：医療安全管理部門に属して良かったと思うことを記載する。

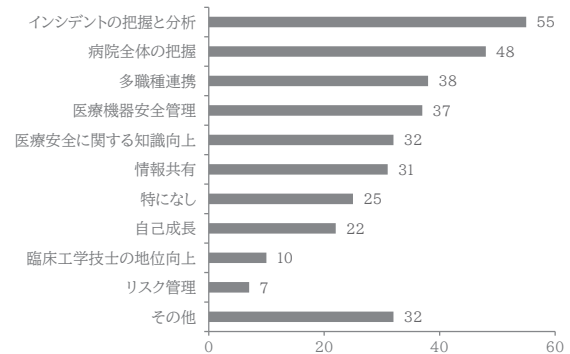
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：337

項目	n	割合
インシデントの把握と分析	55	16.3%
病院全体の把握	48	14.2%
多職種連携	38	11.3%
医療機器安全管理	37	11.0%
医療安全に関する知識向上	32	9.5%
情報共有	31	9.2%
特になし	25	7.4%
自己成長	22	6.5%
臨床工学技士の地位向上	10	3.0%
リスク管理	7	2.1%
その他	32	9.5%

解説：医療安全管理部門に属して良かったと思うことは、医療機器安全管理にすることが最も多く13%、次いで病院全体の把握12%、インシデントの把握と分析11%、多職種連携11%であった。

問14医療安全管理部門に属して良かったと思うこと。(兼務、専任、専従の方) (フリー記載) n=337



問15 医療安全管理部門からの依頼で行っている臨床工学部門の業務を選択してください。(複数回答)

目的：医療安全管理部門からの依頼業務を把握するため。

定義：医療安全管理部門の依頼業務を選択する。

対象：2024年10月1日時点

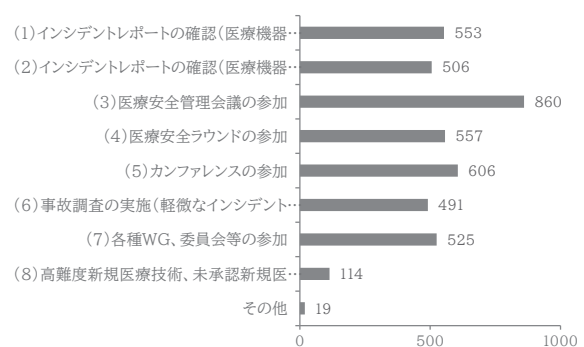
有効回答数：1,026

項目	n	割合
(1)インシデントレポートの確認(医療機器関連のみ)	553	53.9%
(2)インシデントレポートの確認(医療機器関連問わず全て)	506	49.3%
(3)医療安全管理会議の参加	860	83.8%
(4)医療安全ラウンドの参加	557	54.3%
(5)カンファレンスの参加	606	59.1%
(6)事故調査の実施(軽微なインシデント事例を含む)	491	47.9%
(7)各種WG、委員会等の参加	525	51.2%
(8)高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等の会議の参加	114	11.1%
その他	19	1.9%

その他(内訳)医療安全教育・研修5,医療機器関連のインシデント対応2,医療機器の保守点検・管理1,医療安全管理全般1,RCA分析1,その他(部門の業務、個人任命など)9.

解説：医療安全管理部門からの依頼で行っている臨床工学部門の業務は、医療安全管理会議の参加が最も多く84%、次いでカンファレンスの参加60%、医療安全ラウンドの参加54%であった。

問15医療安全管理部門からの依頼で行っている臨床工学部門の業務を選択してください。(複数回答) n=1,026



問16 今後、医療安全管理部門の臨床工学技士に期待する事。(フリー記載)

目的：医療安全部門への期待を把握するため。

定義：医療安全部門への期待を記載する。

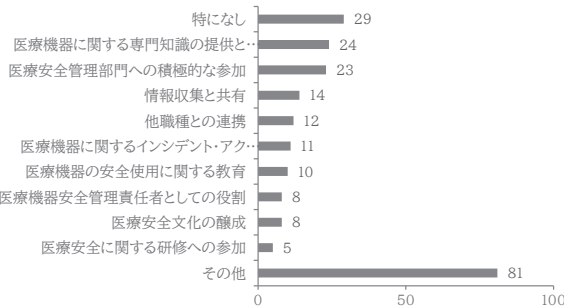
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：225

項目	n	割合
特になし	29	12.9%
医療機器に関する専門知識の提供とインシデント対応	24	10.7%
医療安全管理部門への積極的な参加	23	10.2%
情報収集と共有	14	6.2%
他職種との連携	12	5.3%
医療機器に関するインシデント・アクシデントの調査・分析	11	4.9%
医療機器の安全使用に関する教育	10	4.4%
医療機器安全管理責任者としての役割	8	3.6%
医療安全文化の醸成	8	3.6%
医療安全に関する研修への参加	5	2.2%
その他	81	36.0%

解説：医療安全管理部門の臨床工学技士に期待する事は、特になしが最も多く 13%，次いで医療機器に関する専門知識の提供とインシデント対応 11%，医療安全管理部門への積極的な参加 10%であった。

問16 今後、医療安全管理部門の臨床工学技士に期待する事。(フリー記載) n=225



14. 業務実態報告 2024 施設報告アドオン 高気圧治療

問1 高気圧酸素治療実施件数を選択してください。

目的：施設の高気圧酸素治療実施件数把握のため。

定義：施設の高気圧酸素治療実施件数を選択してください。

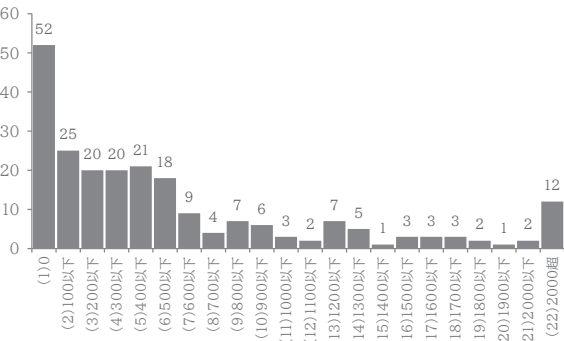
対象：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

有効回答数：226

項目	n	割合
(1)0	52	23.0%
(2)100 以下	25	11.1%
(3)200 以下	20	8.8%
(4)300 以下	20	8.8%
(5)400 以下	21	9.3%
(6)500 以下	18	8.0%
(7)600 以下	9	4.0%
(8)700 以下	4	1.8%
(9)800 以下	7	3.1%
(10)900 以下	6	2.7%
(11)1000 以下	3	1.3%
(12)1100 以下	2	0.9%
(13)1200 以下	7	3.1%
(14)1300 以下	5	2.2%
(15)1400 以下	1	0.4%
(16)1500 以下	3	1.3%
(17)1600 以下	3	1.3%
(18)1700 以下	3	1.3%
(19)1800 以下	2	0.9%
(20)1900 以下	1	0.4%
(21)2000 以下	2	0.9%
(22)2000 超	12	5.3%

解説：高気圧酸素治療の実施件数は、年間 100 件以下が 11%と多かった。一方、2,000 件を超えるハイボリュームセンターも見受けられた。

設問1 高気圧酸素治療実施件数を選択してください。n=226



問2 高気圧酸素治療装置（第1種装置）の保有数を選択してください。

目的：施設の高気圧酸素治療装置（第1種装置）の台数把握のため。

定義：施設の高気圧酸素治療装置（第1種装置）の保有数を選択してください。保有していない場合は0を選択してください。

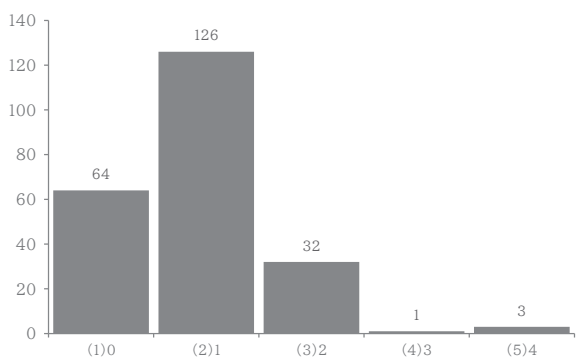
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：226

項目	n	割合
(1)0	64	28.3%
(2)1	126	55.8%
(3)2	32	14.2%
(4)3	1	0.4%
(5)4	3	1.3%

解説：多くの施設が1～2台の保有は70%であった。3台以上保有している施設もあった。

設問2 高気圧酸素治療装置(第1種装置)の保有数を選択してください。n=226



問3 高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の人数を選択してください。

目的：高気圧酸素治療の総従事者数を把握する。

定義：高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の専任者・兼任者を含めた総数を選択してください。関わる臨床工学技士がいない場合は0を選択してください。

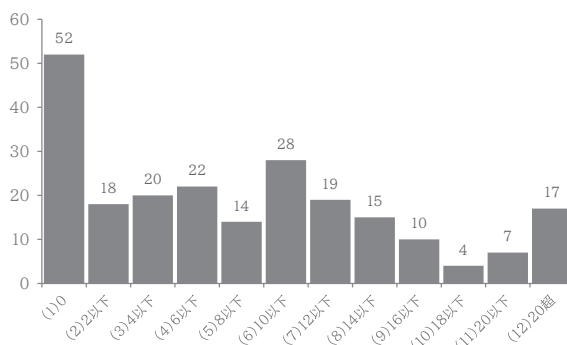
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：226

項目	n	割合
(1)0	52	23.0%
(2)2 以下	18	8.0%
(3)4 以下	20	8.8%
(4)6 以下	22	9.7%
(5)8 以下	14	6.2%
(6)10 以下	28	12.4%
(7)12 以下	19	8.4%
(8)14 以下	15	6.6%
(9)16 以下	10	4.4%
(10)18 以下	4	1.8%
(11)20 以下	7	3.1%
(12)20 超	17	7.5%

解説：高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士は、0人が23%と多く、次いで10人以下12%，6人以下10%と多かった。20人超の施設も8%あった。

設問3 高気圧酸素治療に関わる臨床工学技士の人数を選択してください。n=226



問4 高気圧酸素治療装置の加圧方式を教えてください。（複数回答可）

目的：高気圧酸素治療装置の加圧方式を把握する。

定義：高気圧酸素治療装置の加圧方式を選択してください。

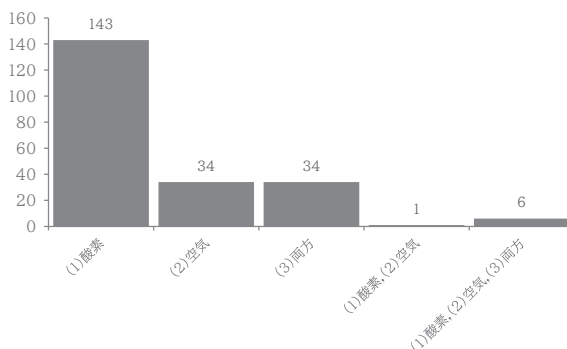
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：218

項目	n	割合
(1)酸素	143	65.6%
(2)空気	34	15.6%
(3)両方	34	15.6%
(1)酸素,(2)空気	1	0.5%
(1)酸素,(2)空気,(3)両方	6	2.8%

解説：高気圧酸素治療装置の加圧方式は、酸素が最も多く66%であった。次いで空気が16%，両方が16%であった。

問4 高気圧酸素治療装置の加圧方式を教えてください（複数回答可）n=218



問5 臨床工学技士が休日もしくは夜間における緊急的な高気圧酸素治療に備えて待機を行っていますか。(単一回答)

目的：緊急高気圧酸素治療に対する待機実施状況を把握する。

定義：緊急高気圧酸素治療に備え、院内もしくは自宅で待機を行っているか。

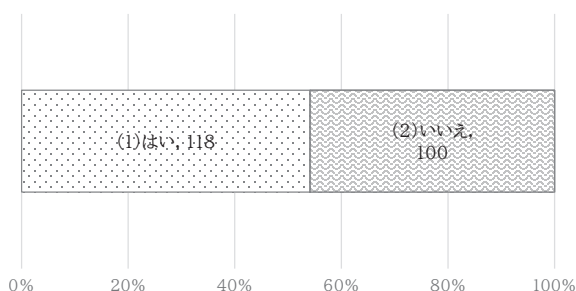
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：218

項目	n	割合
(1)はい	118	54.1%
(2)いいえ	100	45.9%

解説：休日または夜間における緊急的な高気圧酸素に備えて待機を行っている施設は54%あった。多くの施設では、緊急対応体制が整っていると考えられた。

設問5 臨床工学技士が休日もしくは夜間における緊急的な高気圧酸素治療に備えて待機を行っていますか。(単一回答) n=218



問6 高気圧酸素治療の災害（緊急時）訓練を行っていますか。(単一回答)

目的：高気圧酸素治療の災害（緊急時）訓練の実施状況を把握する。

定義：対象期間（1年間）に高気圧酸素治療の災害（緊急時）訓練の実施状況を入力してください。

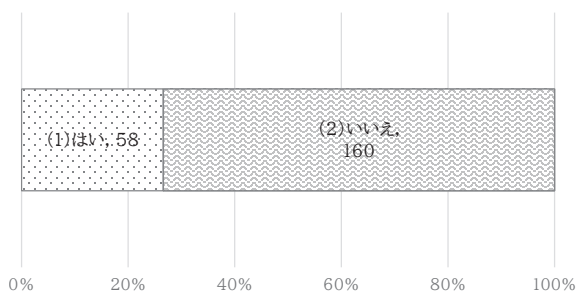
対象：対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：218

項目	n	割合
(1)はい	103	47.2%
(2)いいえ	115	52.8%

解説：高気圧酸素治療の災害（緊急時）訓練を行っている施設は47%に留まった。日本高気圧環境・潜水医学会が定める安全基準では、非常事態発生の場合に対処するため、次の各号の事項について手引き書及び計画を作成して定期訓練を行わなければならない、としているため、訓練の普及が必要であると考えられた。

設問6 高気圧酸素治療の災害（緊急時）訓練を行っていますか(単一回答) n=218



問7 高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れていますか。(単一回答)

目的：高気圧酸素治療の臨床実習の実施状況を把握する。

定義：高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れているか。

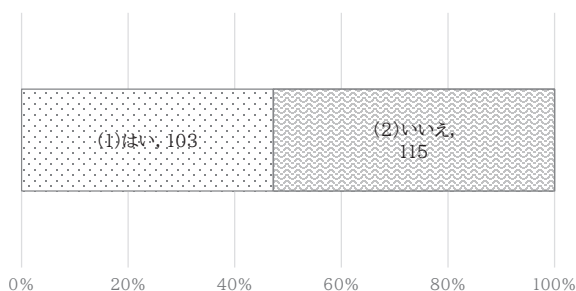
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：218

項目	n	割合
(1)はい	103	47.2%
(2)いいえ	115	52.8%

解説：臨床実習の受け入れは47%の施設で行われていた。一方、53%の施設は行われておらず、高気圧酸素治療装置を保有している医療機関は絶対数が少ないため、より多くの施設での臨床実習の受け入れが望まれる。

設問7 高気圧酸素治療の臨床実習を受け入れていますか(単一回答) n=226



問8 施設で実施している高気圧酸素治療の運用は日本高気圧潜水医学会の安全基準に沿った運用をされていますか。

目的：専門学会のガイドラインを遵守しているかを把握する。

定義：施設の高気圧酸素治療の運用は専門学会の安全基準に沿った運用であるか。

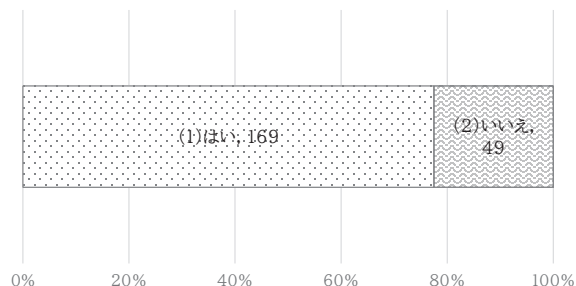
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：218

項目	n	割合
(1)はい	169	77.5%
(2)いいえ	49	22.5%

解説：施設の75%が日本高気圧潜水医学会の安全基準に沿った運用していた。

設問8 施設で実施している高気圧酸素治療の運用は日本高気圧潜水医学会の安全基準に沿った運用をされていますか n=226



15. 業務実態報告 2024 施設調査アドオン ハイパーサーミア

問1 CEがハイパーサーミア業務に関与していますか。(単一回答)

目的：ハイパーサーミアへの関与を把握する。

定義：ハイパーサーミアへの関与の有無を選択してください。

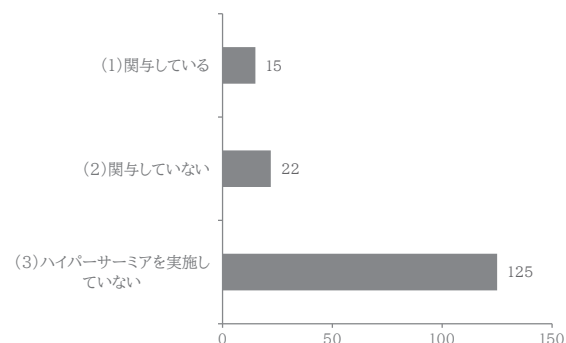
対象：2024年10月1日時点

有効回答数：162

項目	n	割合
(1)関与している	15	9.3%
(2)関与していない	22	13.6%
(3)ハイパーサーミアを実施していない	125	77.2%

解説：CEがハイパーサーミア業務に関与しているのは9%、関与していないは14%であった。ハイパーサーミアを実施していないは77%であった。

問1 CEがハイパーサーミア業務に関与していますか (単一回答) n=162



問2 ハイパーサーミアで深在部の治療件数を入力してください。

目的：施設のハイパーサーミアで深在部の実施件数把握のため。

定義：施設のハイパーサーミアで深在部の実施件数を入力してください。

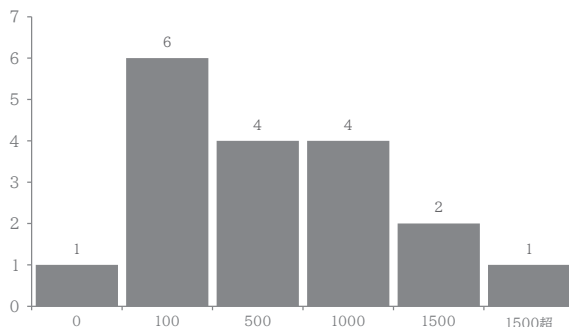
対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：18

項目	n	割合
0	1	5.6%
100	6	33.3%
500	4	22.2%
1000	4	22.2%
1500	2	11.1%
1500超	1	5.6%

解説：ハイパーサーミアで深在部の治療件数は0件超100件以下が33%で最も多く、次いで100件超500件以下22%、500件超1000件以下22%であった。1500件超は1施設あった。

問2 ハイパーサーミアで深在部の治療件数を入力してください。 n=18



問3 ハイパーサーミアで浅在部の治療件数を入力してください。

目的：施設のハイパーサーミアで浅在部の実施件数把握のため。

定義：施設のハイパーサーミアで浅在部の実施件数を入力してください。

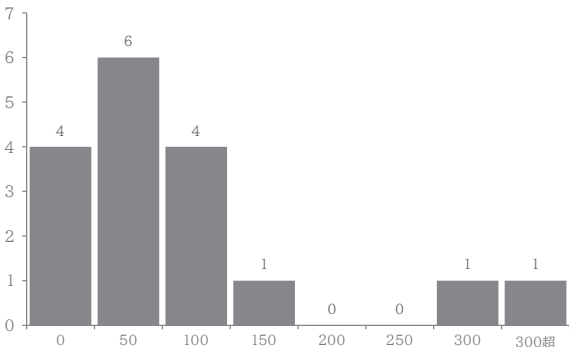
対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：17

項目	n	割合
0	4	23.5%
50	6	35.3%
100	4	23.5%
150	1	5.9%
200	0	0.0%
250	0	0.0%
300	1	5.9%
300超	1	5.9%

解説：ハイパーサーミアで浅在部の治療件数は0件超50件以下が35%で最も多く、次いで0件24%、50件超100件以下24%であった。300件超は1施設あった。

問3 ハイパーサーミアで浅在部の治療件数を入力してください。n=17



問4 CEが関与したハイパーサーミアの治療件数を入力してください。

目的：CEが関与した施設のハイパーサーミア実施件数の把握のため。

定義：CEが関与した施設のハイパーサーミア実施件数を入力する。

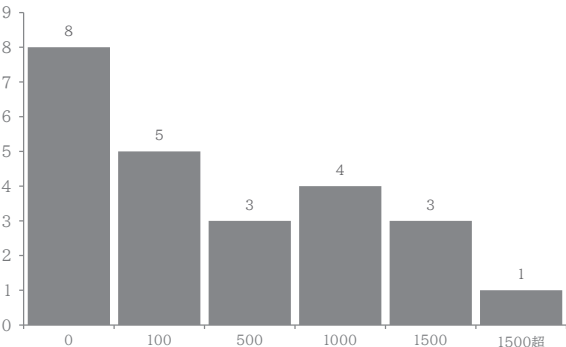
対象：2023年4月1日～2024年3月31日

有効回答数：24

項目	n	割合
0	8	33.3%
100	5	20.8%
500	3	12.5%
1000	4	16.7%
1500	3	12.5%
1500超	1	4.2%

解説：CEが関与したハイパーサーミアの治療件数は0件33%が最も多く、次いで50件超100件以下21%、500件超1,000件以下17%であった。

問4 CEが関与したハイパーサーミアの治療件数を入力してください。n=24



問5 ハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）を選択してください。（複数回答）

目的：施設のハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）把握のため。

定義：施設のハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）を選択する。

対象：2024年10月1日時点

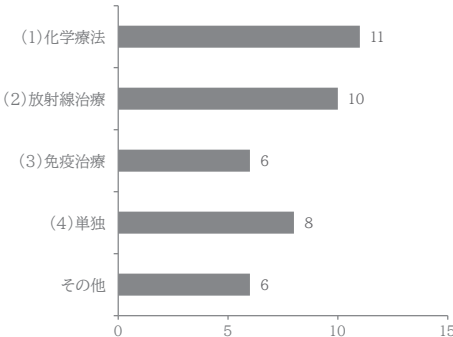
有効回答数：23

項目	n	割合
(1)化学療法	11	47.8%
(2)放射線治療	10	43.5%
(3)免疫治療	6	26.1%
(4)単独	8	34.8%
その他	6	26.1%

その他(内訳):行っていない1,高気圧酸素1,高気圧酸素療法1,分からない1.

解説：ハイパーサーミアの治療環境（集学的治療）は化学療法33%が最も多く、次いで放射線治療44%、単独35%であった。

問5 ハイパーサーミアの治療環境(集学的治療)を選択してください。(複数回答) n=23



問6 ハイパーサーミアにおける臨床工学技士の業務体制を選択してください。(単一回答)

目的: CE のハイパーサーミアにおける業務体制を把握するため。

定義: CE のハイパーサーミアにおける業務体制を選択する。※専従: 担当者となっており, その他の業務は緊急時以外は行わないものとする。

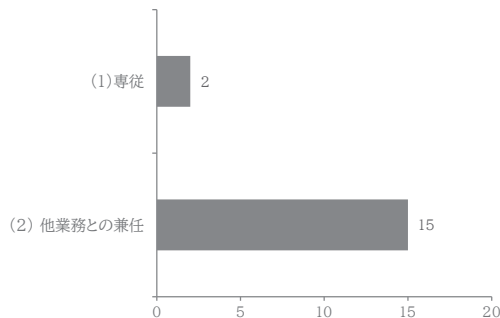
対象: 2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 17

項目	n	割合
(1)専従	2	11.8%
(2)他業務との兼任	15	88.2%

解説: ハイパーサーミアにおける臨床工学技士の業務体制は他業務との兼任が 88% で多く, 専従は 12% であった。

問6 ハイパーサーミアにおける臨床工学技士の業務体制を選択してください。(単一回答)n=17



問7 ハイパーサーミアに関わる臨床工学技士の人数は全部で何人ですか。

目的: ハイパーサーミアに従事する臨床工学技士の人数を把握する。

定義: ハイパーサーミアに従事する臨床工学技士の人数を入力して選択してください。※関与する臨床工学技士がいない場合は 0 を入力してください。

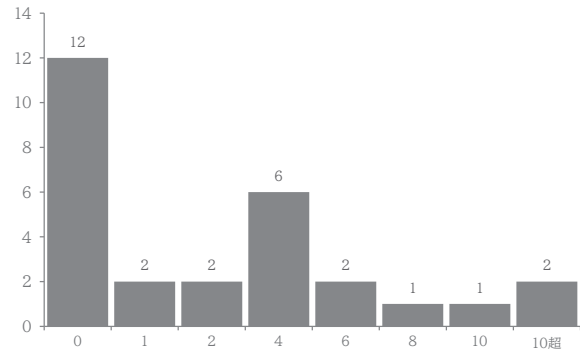
対象: 2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数: 28

項目	n	割合
0	12	42.9%
1	2	7.1%
2	2	7.1%
4	6	21.4%
6	2	7.1%
8	1	3.6%
10	1	3.6%
10 超	2	7.1%

解説: ハイパーサーミアに関わる臨床工学技士の人数は, 0 人が最も多く 43%, 次いで 4 人 14%, 1 人, 2 人, 3 人, 6 人が 7% であった。また, 10 人以上は 11% であった。

問7 ハイパーサーミアに関わる臨床工学技士の人数は全部で何人ですか。n=28



問8 CE がハイパーサーミアに従事する平日 1 日あたりの配置人数 (平均的な数値) を入力してください。

目的: CE のハイパーサーミアに従事する配置人員を把握するため。

定義: CE がハイパーサーミアに従事する平日 1 日あたりの平均配置人数を入力してください。※ 1 人あたり 4 時間未満の場合は 0.5, 4 時間以上の場合は 1 を入力する。

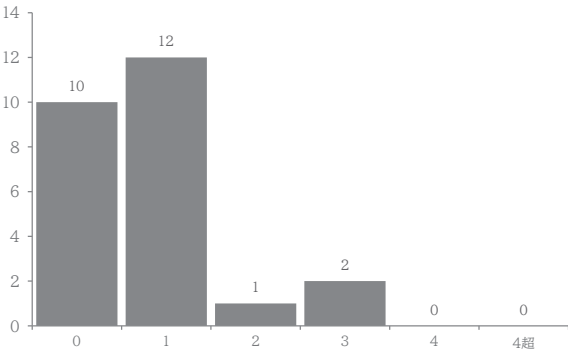
対象: 2023 年 4 月 1 日~2024 年 3 月 31 日

有効回答数: 25

項目	n	割合
0	10	40.0%
1	12	48.0%
2	1	4.0%
3	2	8.0%
4	0	0.0%
4 超	0	0.0%

解説：CE がハイパーサーミアに従事する平日 1 日あたりの人数は、1 人が最も多く 48%，次いで 0 人 40%，3 人 8%であった。

問8 CEがハイパーサーミアに従事する平日1日あたりの配置人数(平均的な数値)を入力してください。n=25



問9 ハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況について選択してください。(単一回答)

目的：施設のハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況把握のため。

定義：施設のハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況を選択する。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

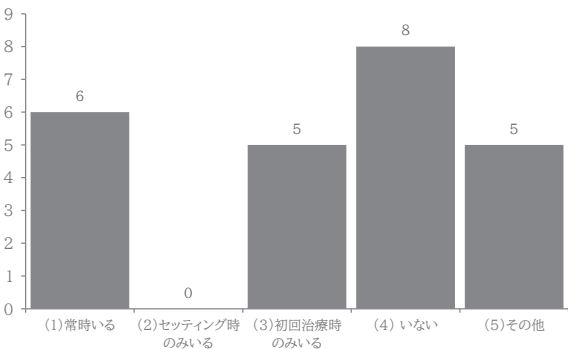
有効回答数：24

項目	n	割合
(1)常時いる	6	27.3%
(2)セッティング時のみいる	0	0.0%
(3)初回治療時のみいる	5	22.7%
(4) いない	8	36.4%
(5)その他	5	13.6%

その他 未記載:2, 不明:1, わからない:1, 治療現場には週 2 日 院内には常にいる:1.

解説：ハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況は、いないが最も多く 36%，次いで常時いるが 27%，初回治療時のみいる 23%であった。

問9 ハイパーサーミア治療時の医師の立ち合い状況について選択してください。(単一回答)n=22



問10 ハイパーサーミアで発生した機器トラブルのうち、CE で問題解決できる割合はどの程度ありますか。(単一回答)

目的：ハイパーサーミア室で発生した機器トラブルのうち、CE で対応可能であるものがどの程度であるか把握する。

定義：ハイパーサーミア室で発生した機器トラブルのうち、CE で問題解決できる割合を選択してください。

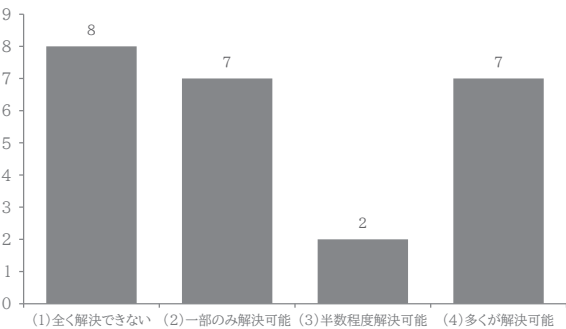
対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：24

項目	n	割合
(1)全く解決できない	8	33.3%
(2)一部のみ解決可能	7	29.2%
(3)半数程度解決可能	2	8.3%
(4)多くが解決可能	7	29.2%

解説：ハイパーサーミアで発生した機器トラブルのうち CE で問題解決できる割合は、全く解決できないは最も多く 33%であった。次いで一部の未解決可能、多くが解決可能は 29%であった。

問10 ハイパーサーミアで発生した機器トラブルのうち、CEで問題解決できる割合はどの程度ありますか。(単一回答)n=24



問11 CEに対するハイパーサーミアの教育体制について選択してください。(複数回答)

目的：施設のハイパーサーミアの教育体制把握のため。

定義：施設のCEに対するハイパーサーミアの教育体制を選択する。

対象：2024 年 10 月 1 日時点

有効回答数：27

項目	n	割合
(1)認定施設への研修	0	0.0%
(2)同施設の経験者からの教育	10	37.0%
(3)製造販売業者からの教育	10	37.0%
(4)特になし	10	37.0%
(5)その他	1	3.7%

その他 実施予定なし:1.

解説：CE に対するハイパーサーミアの教育体制は、
（２）同施設の経験者からの教育，（３）製造販売業者からの教育，（４）特になしが同数で 37%，次いでその他 3.7%であった。

問11 CEに対するハイパーサーミアの教育体制について
選択してください。(複数回答)n=27

